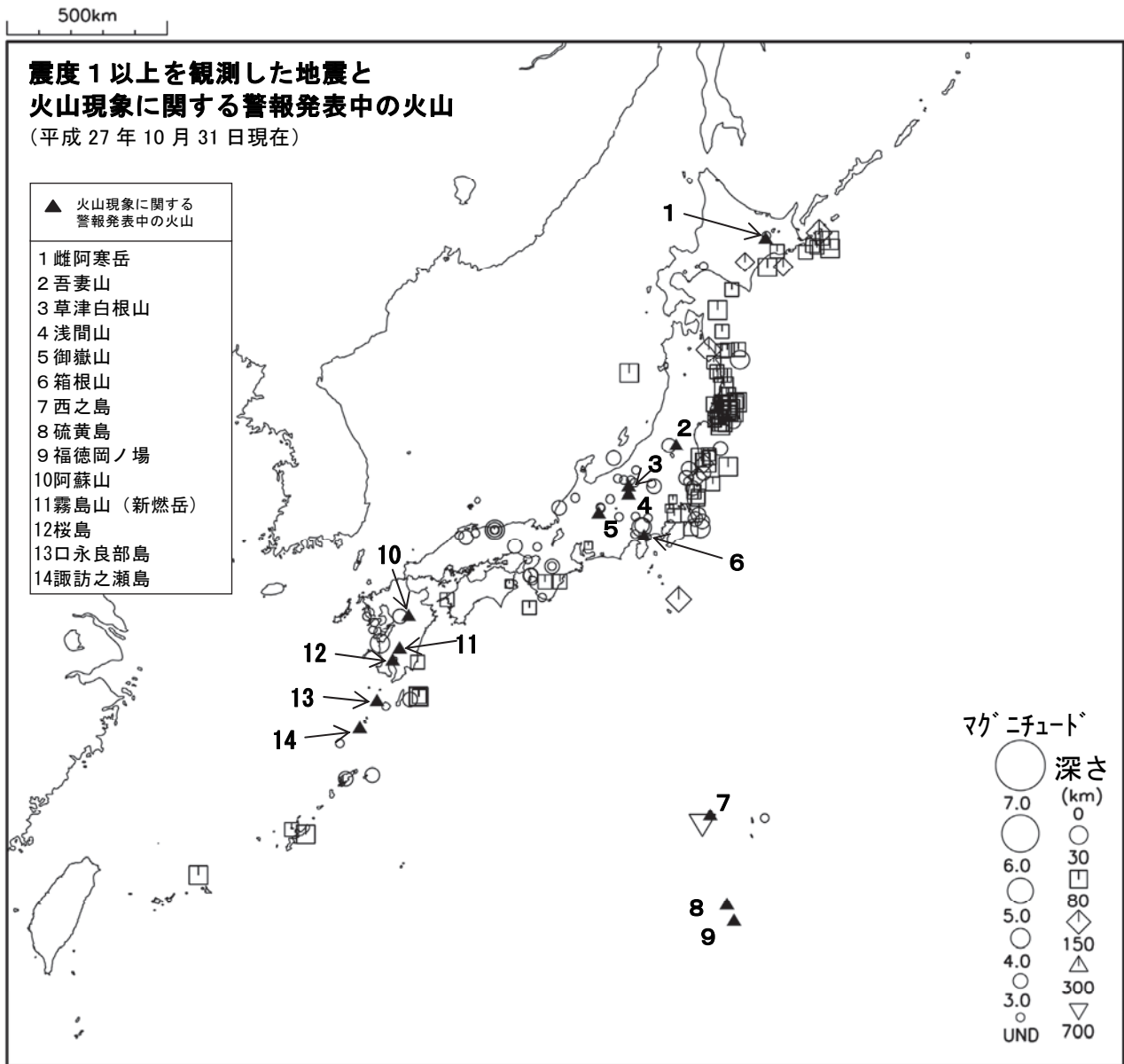


平成 27 年 10 月 地震・火山月報(防災編)

Monthly Report on Earthquakes and Volcanoes in Japan

October 2015



気 象 庁

Japan Meteorological Agency

利用にあたって

本書は、地震・火山に関連した各種防災情報や地震・火山活動に関する分析結果の最新版を防災機関等における効果的な利用に供するため、毎月刊行している。

気象庁では、平成 9 年 11 月 10 日より、国・地方公共団体及び住民が一体となった緊急防災対応の迅速かつ円滑な実施に資するため、気象庁の震度計の観測データに合わせて地方公共団体*及び国立研究開発法人防災科学技術研究所から提供されたものも震度情報として発表している。

また、気象庁では、地震防災対策特別措置法の趣旨に沿って、平成 9 年 10 月 1 日より、大学や国立研究開発法人防災科学技術研究所等の関係機関から地震観測データの提供を受け**、文部科学省と協力してこれを整理し、整理結果等を、同法に基づいて設置された地震調査研究推進本部地震調査委員会に提供するとともに、気象業務の一環として防災情報として適宜発表する等活用している。

本誌で使用している震源位置・マグニチュードは世界測地系（Japanese Geodetic Datum 2000）に基づいて計算したものである。

注* 平成 27 年 10 月 31 日現在：北海道、青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県、茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、新潟県、富山県、石川県、福井県、山梨県、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県、福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県、札幌市（北海道）、仙台市（宮城県）、千葉市（千葉県）、横浜市（神奈川県）、川崎市（神奈川県）、相模原市（神奈川県）、名古屋市（愛知県）、京都市（京都府）の 47 都道府県、8 政令指定都市。

注** 平成 27 年 10 月 31 日現在：国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、青森県、東京都、静岡県及び神奈川県温泉地学研究所、気象庁のデータを基に作成している。また、IRIS の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを利用している。

□ 本書利用上の注意

・ 震央分布図中の語句について

M：マグニチュード（通常、揺れの最大振幅から推定した気象庁マグニチュードだが、気象庁 CMT 解のモーメントマグニチュードの場合がある。）

Mw：モーメントマグニチュード（特にことわりがない限り、気象庁 CMT 解のモーメントマグニチュードを表す。）

depth：深さ（km）

UND：マグニチュードの決まらない地震が含まれていることを意味する。

N=XX：図中に表示している地震の回数を表す（通常図の右肩上に示してある）

・ 発震機構解について

本書での発震機構解の図は下半球投影である。また、本書での発震機構解は、特にことわりがない限り、初動による発震機構解である。初動発震機構解が求められない場合や、十分な精度が得られない場合には、初動発震機構解に替えて CMT 解を掲載する場合がある。

・ 発震機構解の図中の語句について

P：P 軸（圧力軸） T：T 軸（張力軸）

N：N 軸（中立軸）

・ Global CMT 解について

Global CMT 解は、米国のコロンビア大学とハーバード大学で行っている、世界で発生した規模の大きな地震の CMT 解を求めるプロジェクト（Global CMT Project）により求められた解である。

・ M-T 図について

縦軸にマグニチュード（M）、横軸に時間（T）を表示した図であり、地震活動の経過を見るために用いる。

・ 震央地名について

本書での震央地名は、原則として情報発表時に使用したものをを用いるが、震央を精査した結果等により、情報発表時とは異なる震央地名を用いる場合がある。なお、情報発表時の震央地名及びその領域については、各年の「地震・火山月報（防災編）」1 月号の付録「地震・火山月報（防災編）で用いる震央地名」を参照のこと。

・ 震源と震央について

震源とは地震の発生原因である地球内部の岩石の破壊が開始した点であり、震源の真上の地点を震央という。

・ 地震の震源要素等について

地震の震源要素、発震機構解、震度データ等は、再調査後、修正することがある。確定した値、算出方法については、地震月報（カタログ編）[気象庁ホームページ：<http://www.data.jma.go.jp/svd/eqev/data/bulletin/index.html>]に掲載する。

・ 火山の活動解説の火山性地震回数等について

火山性地震や火山性微動の回数等は、再調査後、修正することがある。確定した値については、火山月報（カタログ編）[気象庁ホームページ：http://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/bulletin/index_vcatalog.html]に掲載する。

・ 本書で使用した地図等について

本書中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 25000（行政界・海岸線）』を使用した（承認番号 平 26 情使、第 578 号）。また、震央分布図等に表記した活断層は、地震調査研究推進本部の長期評価による。

・ 図版作成には一部 GMT (Generic Mapping Tool [Wessel, P., and W. H. F. Smith, New, improved version of Generic Mapping Tools released, *EOS Trans. Amer. Geophys. U.*, vol. 79 (47), pp. 579, 1998]) を使用した。

目次

● 日本及びその周辺での主な地震活動	1
北海道地方の地震活動	6
東北地方の地震活動	7
関東・中部地方の地震活動	11
近畿・中国・四国地方の地震活動	12
九州地方の地震活動	15
沖縄地方の地震活動	17
その他の地域の地震活動	18
● 東海地震の想定震源域及びその周辺の地震活動と 地震防災対策強化地域判定会検討結果	20
● 日本の主な火山活動	29
北海道地方	32
東北地方	32
関東・中部地方及び伊豆・小笠原諸島	33
九州地方及び南西諸島	36
資料 1 全国の火山現象に関する特別警報・警報・予報の発表状況のまとめ	41
資料 2 第 133 回火山噴火予知連絡会について	45
● 世界の主な地震	55
● 世界の主な火山活動	57
● 特集 2015 年 10 月 26 日 アフガニスタン、ヒンドゥークシの地震	58
● 付録	
1. 震度 1 以上を観測した地震の表	61
2. 過去 1 年間に震度 1 以上を観測した地震の最大震度別の月別回数	81
3. 日本及びその周辺におけるマグニチュード (M) 別の月別地震回数	82
4. 緊急地震速報の提供状況	83
5. 長周期地震動階級 1 以上を観測した地震	84

●日本及びその周辺での主な地震活動

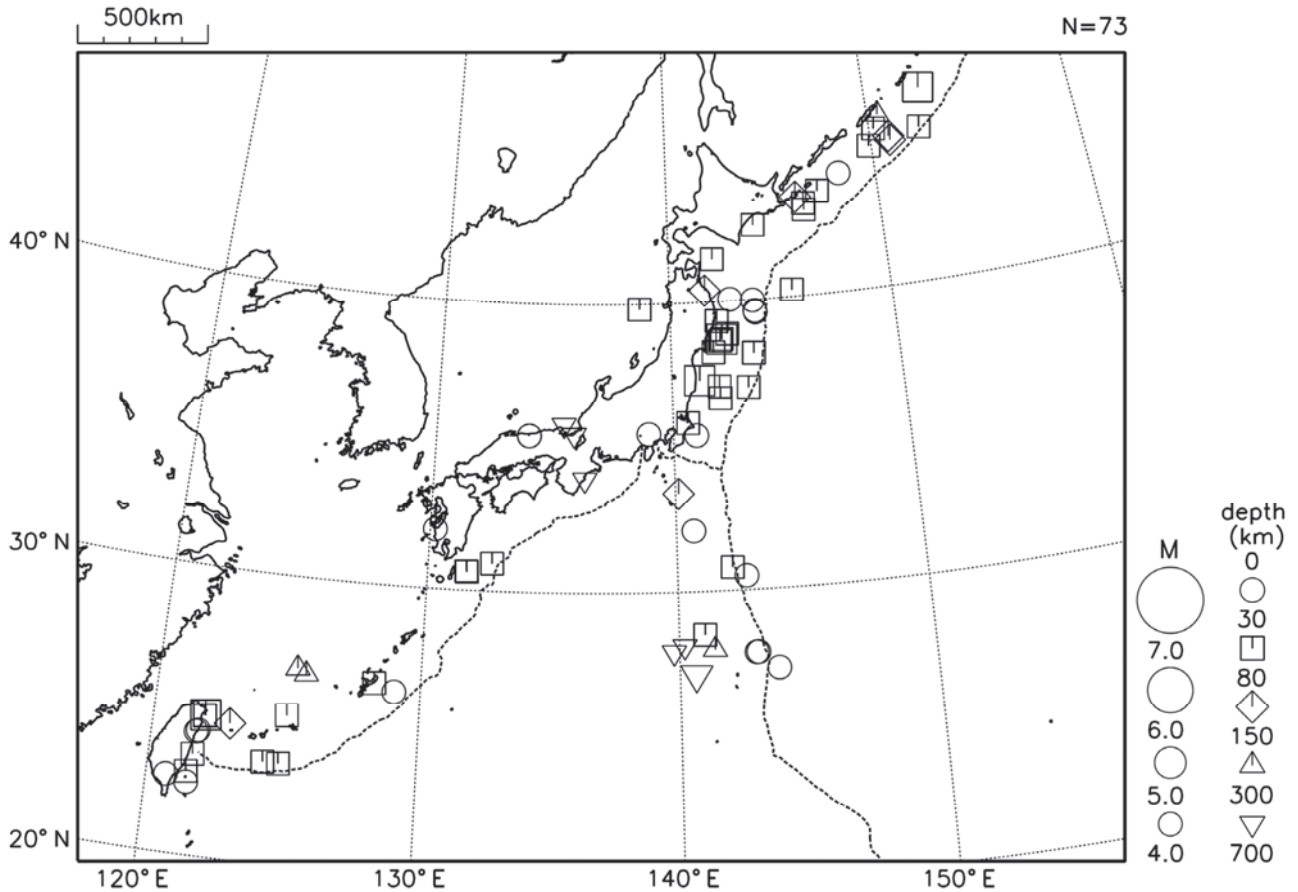


図 1 平成 27 年 10 月に日本及びその周辺で発生した M4.0 以上の地震の震央分布図

平成 27 年（2015 年）10 月に日本国内で震度 1 以上を観測した地震の回数は 169 回（9 月は 130 回）、日本及びその周辺で発生した M4.0 以上の地震の回数は 73 回（9 月は 104 回）であった。

10 月中に発生した主な地震を表 1（次ページ）に示す。10 月中に震度 5 弱以上を観測した地震及び津波を観測した地震はなかった（9 月は震度 5 弱以上を観測した地震は 1 回、津波を観測した地震（海外で発生）は 1 回であった）。

「平成 23 年（2011 年）東北地方太平洋沖地震」の余震は次第に少なくなってきたものの、余震域の沿岸に近い領域を中心に、本震発生以前に比べ活発な活動が継続している。10 月中に発生した M5.0 以上の地震の回数は 2 回（9 月は 2 回）であった。

表 1 平成 27 年 10 月に日本及びその周辺で発生した主な地震（注 1）（注 2）

No.	震源時 月 日 時 分	震央地名	M	Mw (注 3)	M H S T (注 4)	最大震度・被害状況等（注 5）	掲載 ページ
1	10 3 4 9	鹿児島県薩摩地方	4.1	4.1	・ ・ S ・	4：鹿児島県 阿久根市赤瀬川	4、16
2	10 6 18 32	宮城県沖	5.0	5.0	・ ・ ・ ・	3：宮城県 南三陸町志津川 岩手県 一関市千厩町* など 2 県 7 地点	4、9
3	10 17 17 53	鳥取県中部	3.8	—	・ ・ S ・	4：鳥取県 湯梨浜町龍島*	4、13～ 14
4	10 18 8 30	鳥取県中部	4.2	—	・ ・ S ・	4：鳥取県 湯梨浜町龍島*	4、13～ 14
5	10 18 8 36	鳥取県中部	4.3	—	・ ・ S ・	4：鳥取県 湯梨浜町龍島*	5、13～ 14
6	10 20 18 29	小笠原諸島西方沖	5.8	5.6	・ ・ ・ ・	3：東京都 小笠原村母島	5、19
7	10 21 15 4	福島県沖	5.3	5.3	・ ・ S ・	4：福島県 白河市新白河* など 4 県 26 地点	5、10

（注 1）主な地震とは、図 1 の領域内で発生した①M6.0 以上、②震度 4 以上、③内陸 M4.5 以上かつ震度 3、④海域 M5.0 以上かつ震度 3、⑤その他注目した地震を指す。

（注 2）震源時、震央地名、マグニチュードは再調査後、修正することがある。

（注 3）Mw 欄の「—」は Mw が求められていないことを示す。

（注 4）M H S T の各項目について、M:M6.0 以上の地震、H:被害を伴った地震、S:震度 4 以上を観測した地震、T:津波を観測した地震、として該当項目にそれぞれの記号を記した。

（注 5）最大震度の観測点名にある*印は地方公共団体もしくは国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点であることを表す。被害状況について出典の記載がないものは総務省消防庁による。

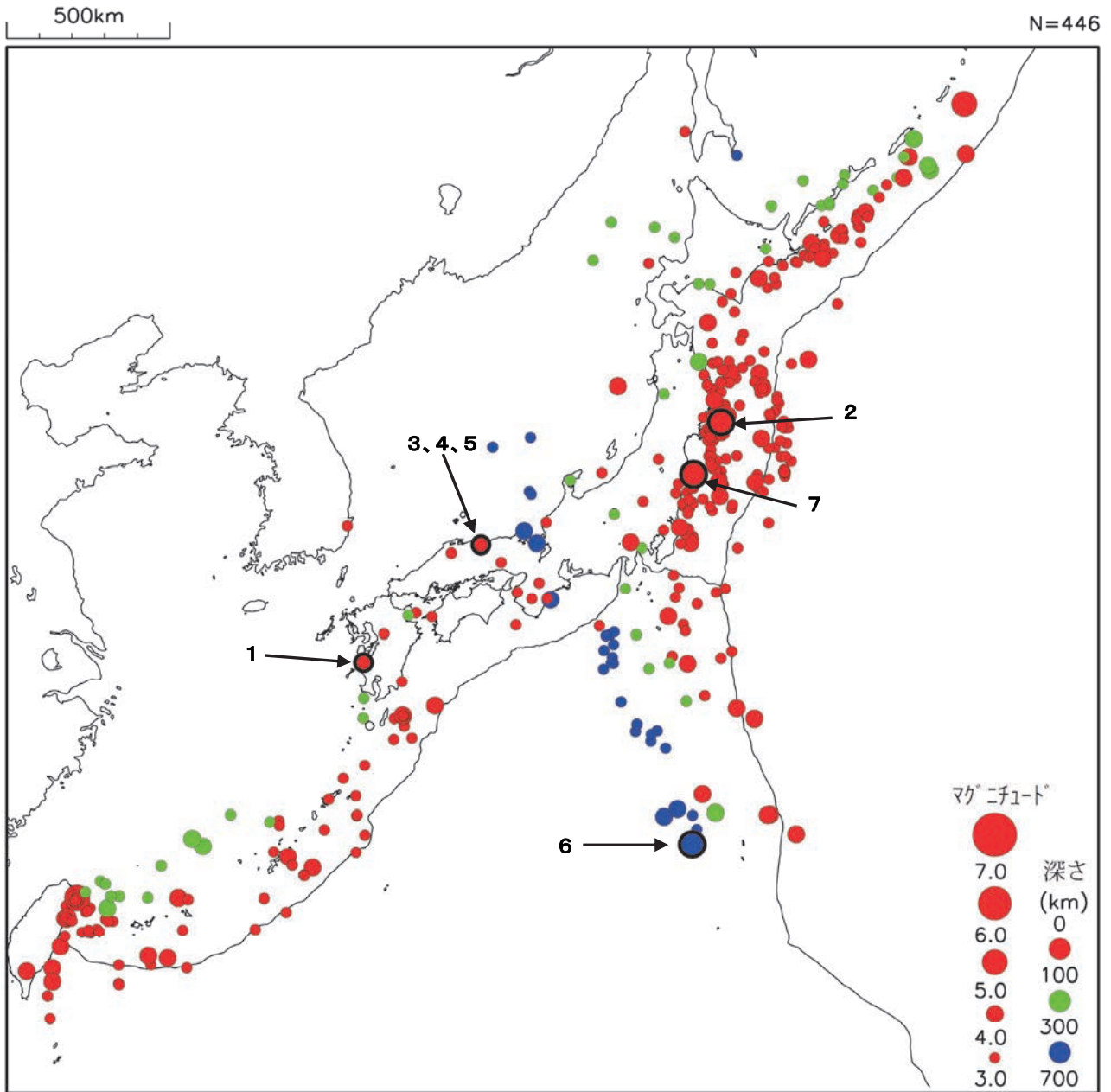
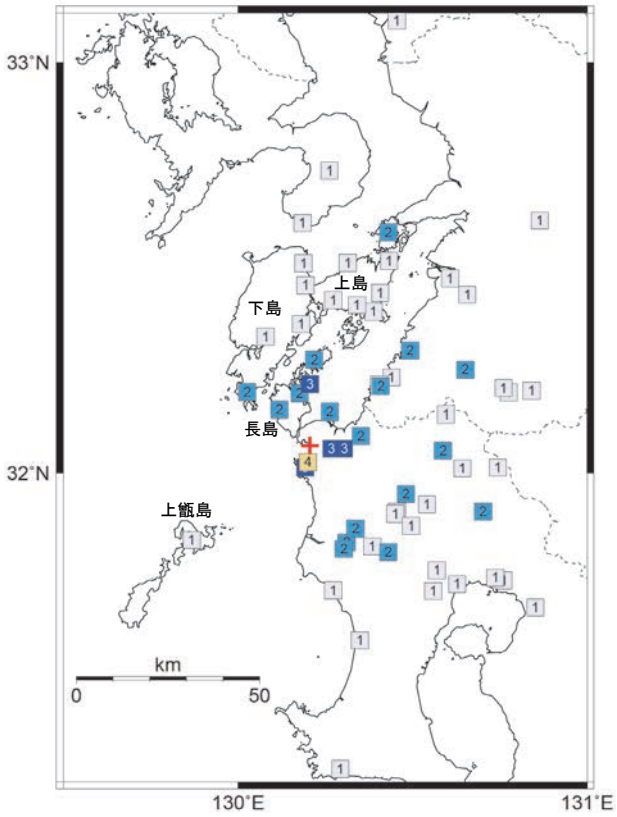
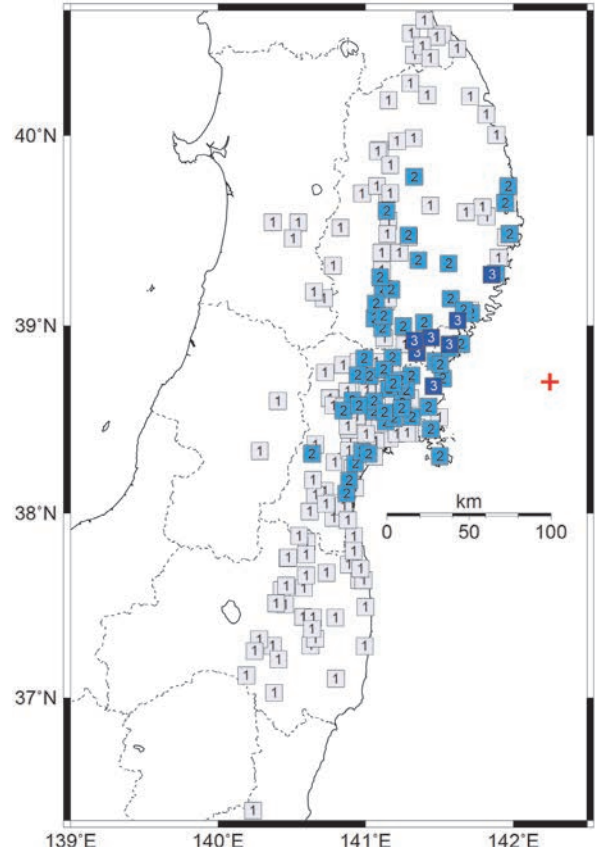


図 2 平成 27 年 10 月に日本及びその周辺で発生した M3.0 以上の地震の震央分布図
(図中の数字は表 1 の番号に対応)

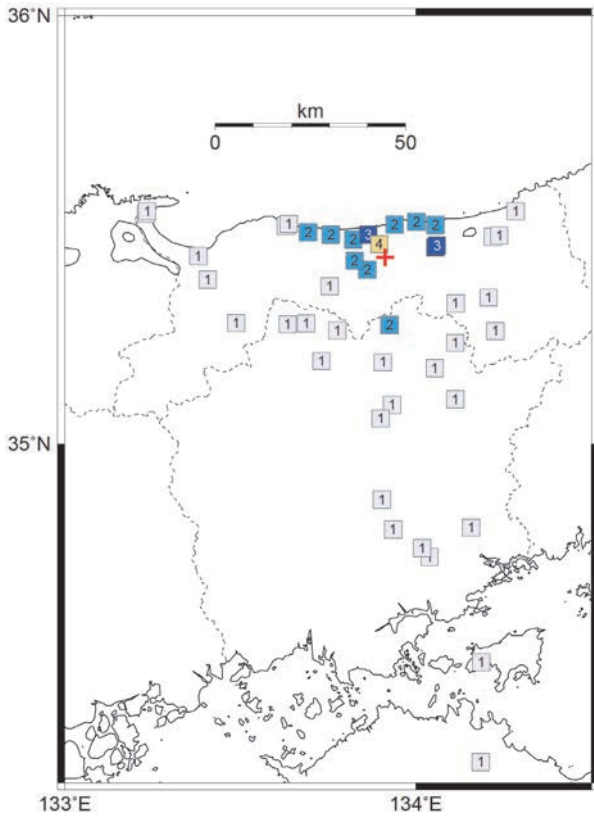
1 10月3日04時09分 鹿児島県薩摩地方
(M4.1、深さ9km、最大震度4)



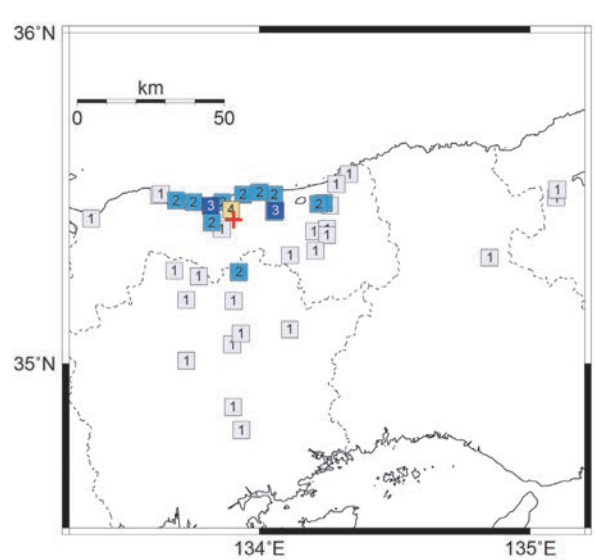
2 10月6日18時32分 宮城県沖
(M5.0、深さ39km、最大震度3)



3 10月17日17時53分 鳥取県中部
(M3.8、深さ8km、最大震度4)



4 10月18日08時30分 鳥取県中部
(M4.2、深さ8km、最大震度4)



震度分布図 凡例	
4	震度4
3	震度3
2	震度2
1	震度1

図3-1 震度分布図（各図の左上の数字は表1、図2の番号に対応する。+印は震央を示す。）

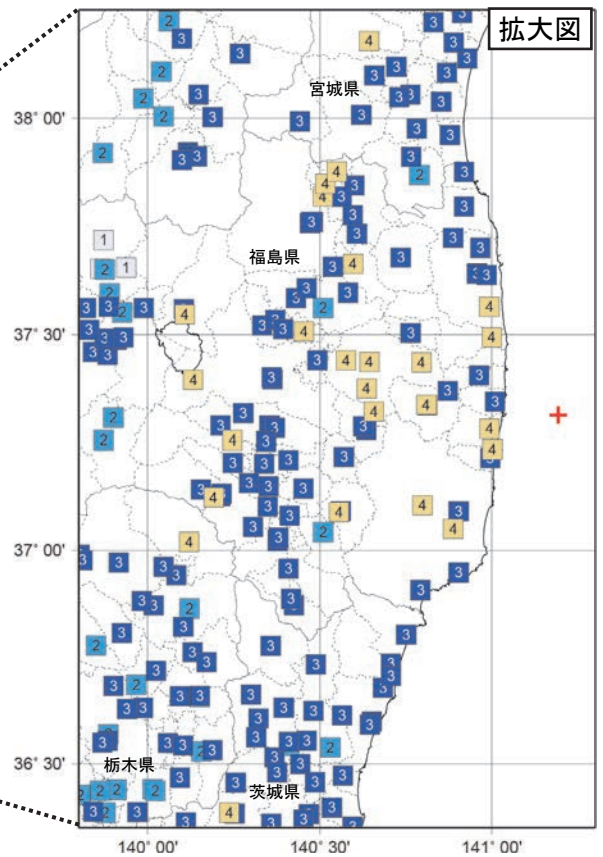
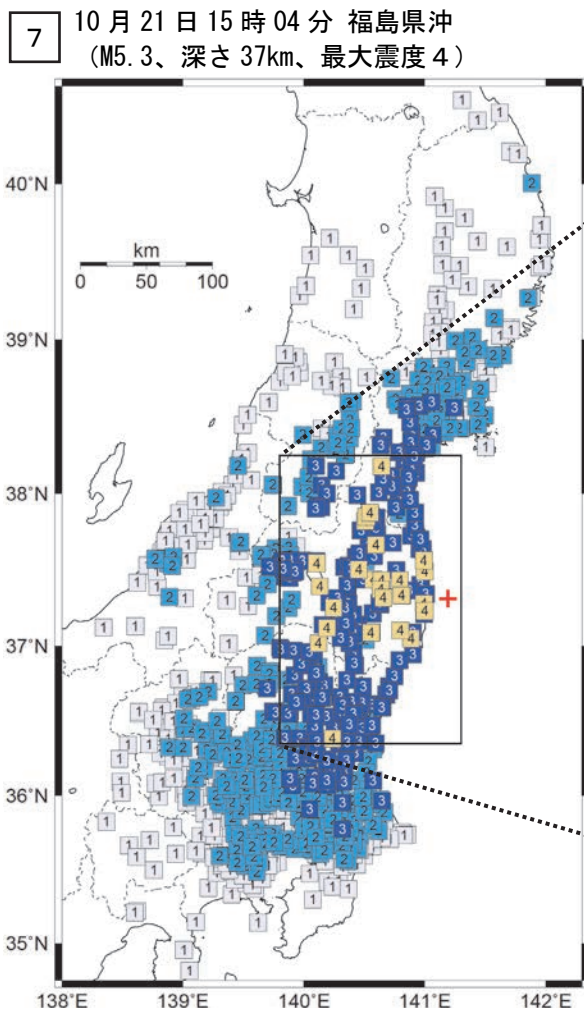
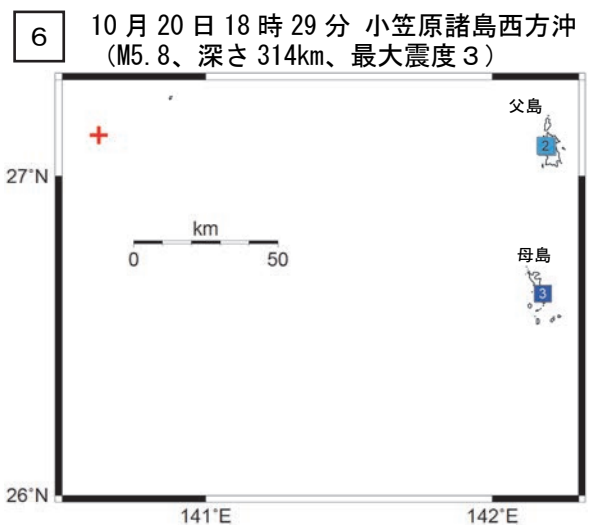
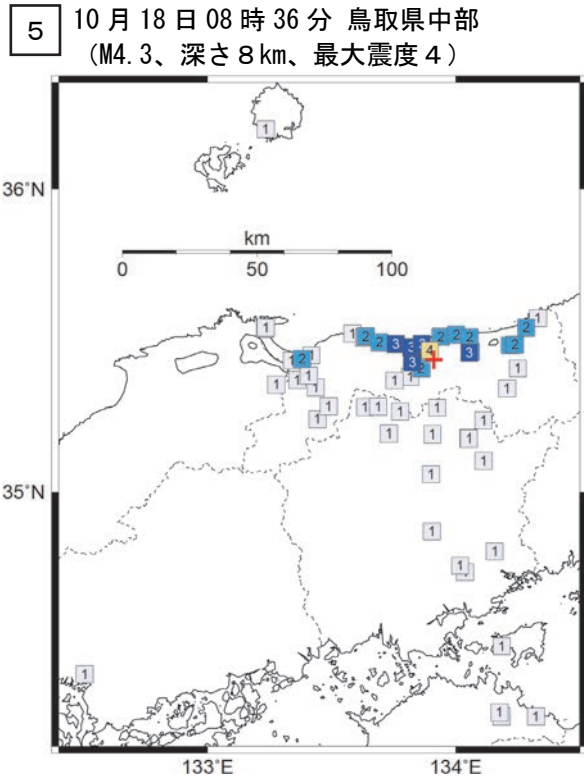


図3-2 震度分布図（各図の左上の数字は表1、図2の番号に対応する。+印は震央を示す。）

○北海道地方の地震活動

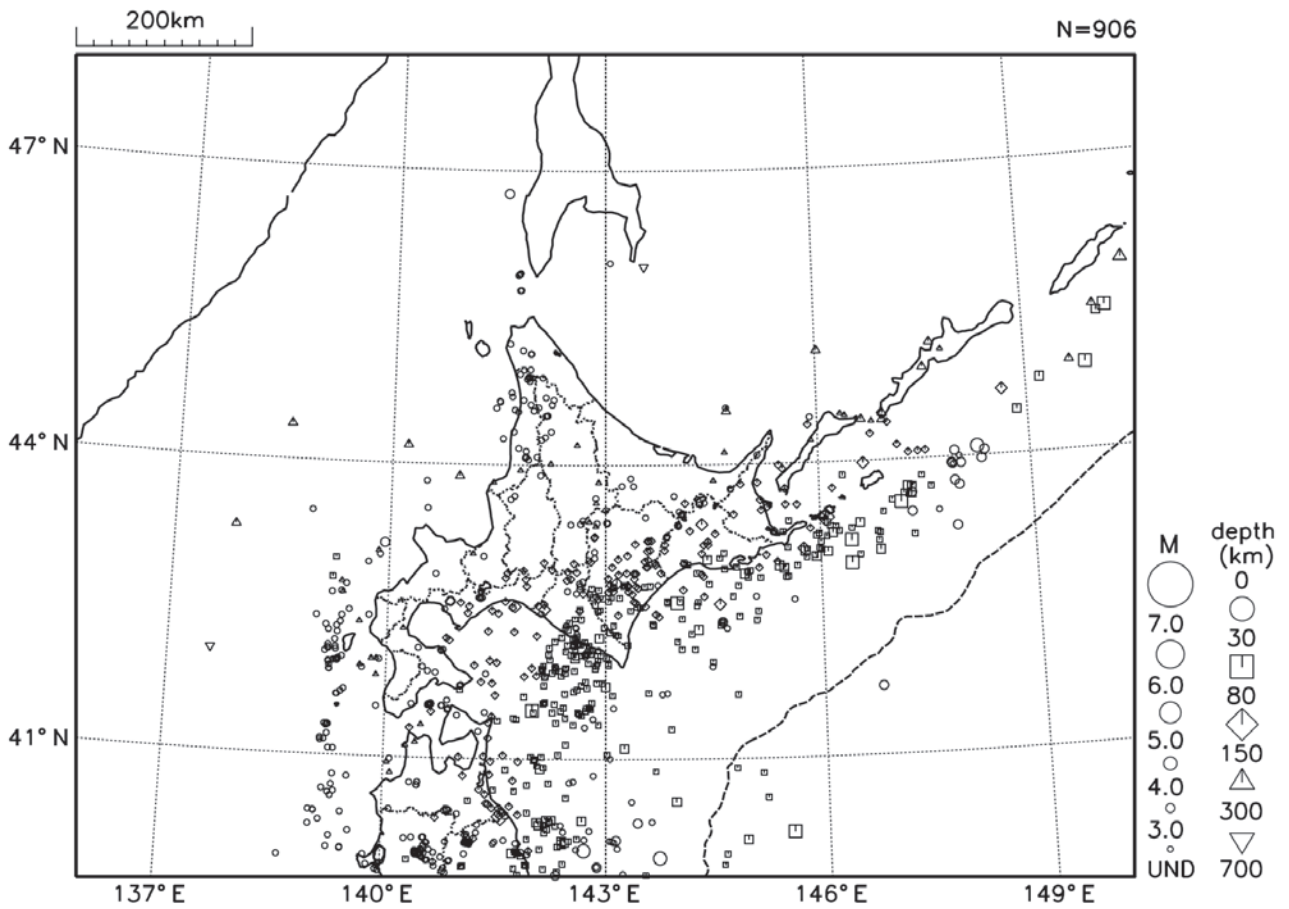


図 4 北海道地方の震央分布図 (2015 年 10 月 1 日~10 月 31 日)

[概況]

10 月に北海道地方で震度 1 以上を観測した地震は 15 回 (9 月は 11 回) であった。
10 月中、特に目立った活動はなかった。

○東北地方の地震活動

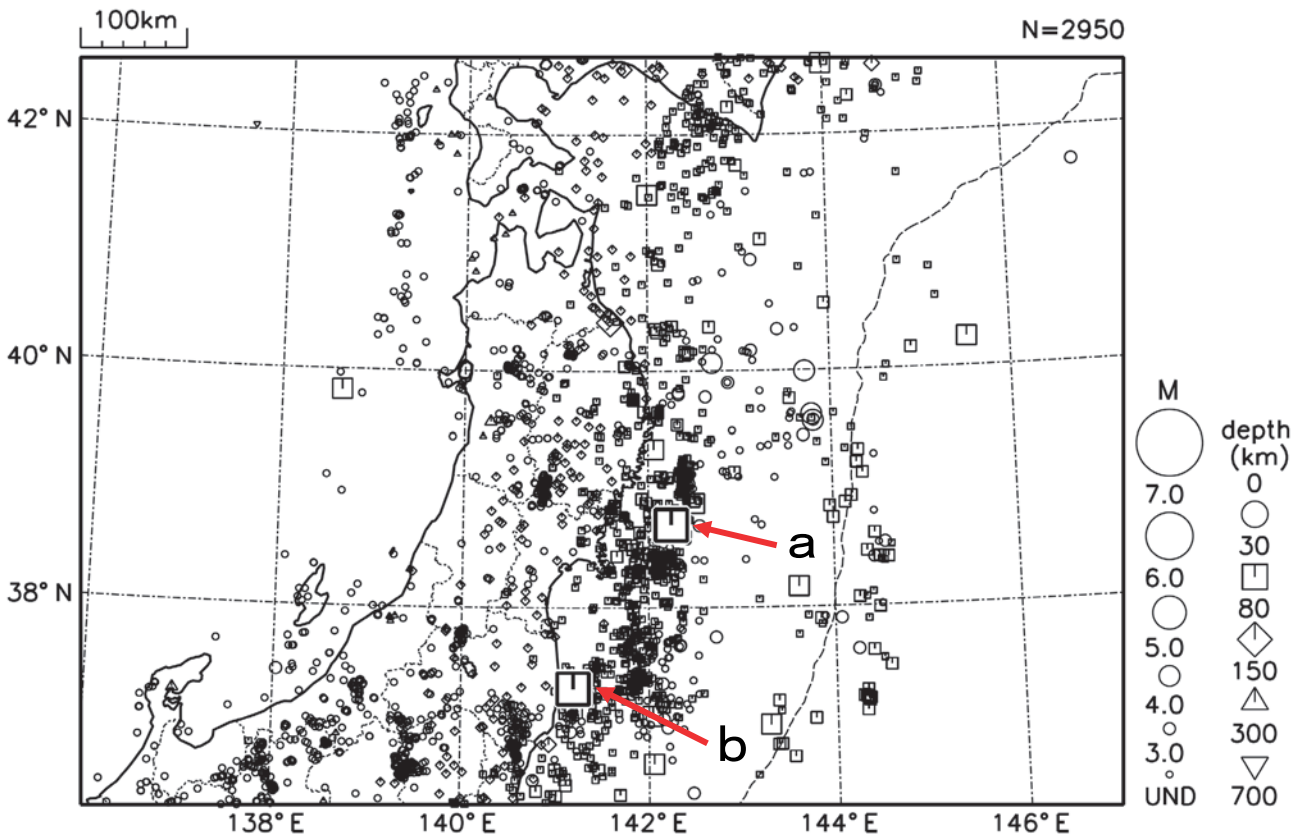


図5 東北地方の震央分布図 (2015年10月1日～10月31日)

〔概況〕

10月に東北地方で震度1以上を観測した地震は57回(9月は54回)であった。10月中の主な活動は次のとおりである。

「平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震」の余震が、引き続き岩手県から千葉県北東部にかけての沿岸及びその沖合の広い範囲で発生した(図5、p.8参照)。

6日18時32分に宮城県沖の深さ39kmでM5.0の地震(図5中のa)が発生し、岩手県釜石市、一関市、宮城県気仙沼市、南三陸町などで震度3を観測したほか、東北地方と茨城県で震度2～1を観測した(p.4、9参照)。

21日15時04分に福島県沖の深さ37kmでM5.3の地震(図5中のb)が発生し、宮城県、福島県、茨城県、栃木県で震度4を観測したほか、東北地方から中部地方にかけて震度3～1を観測した(p.5、10参照)。

平成 23 年 (2011 年) 東北地方太平洋沖地震の余震活動

2015 年 10 月は、領域 a (「平成 23 年 (2011 年) 東北地方太平洋沖地震」の震源域及び海溝軸の東側を含む震源域の外側) で M5.0 以上の地震は 2 回発生した。また、最大震度 4 以上を観測する地震は 1 回発生した。

2011 年 3 月 11 日に発生した「平成 23 年 (2011 年) 東北地方太平洋沖地震」の余震活動は次第に少なくなってきたものの、余震域の沿岸に近い領域を中心に、本震発生以前に比べ活発な地震活動が継続している。

領域 a で 2015 年 10 月に発生した M5.0 以上の地震は以下のとおり。

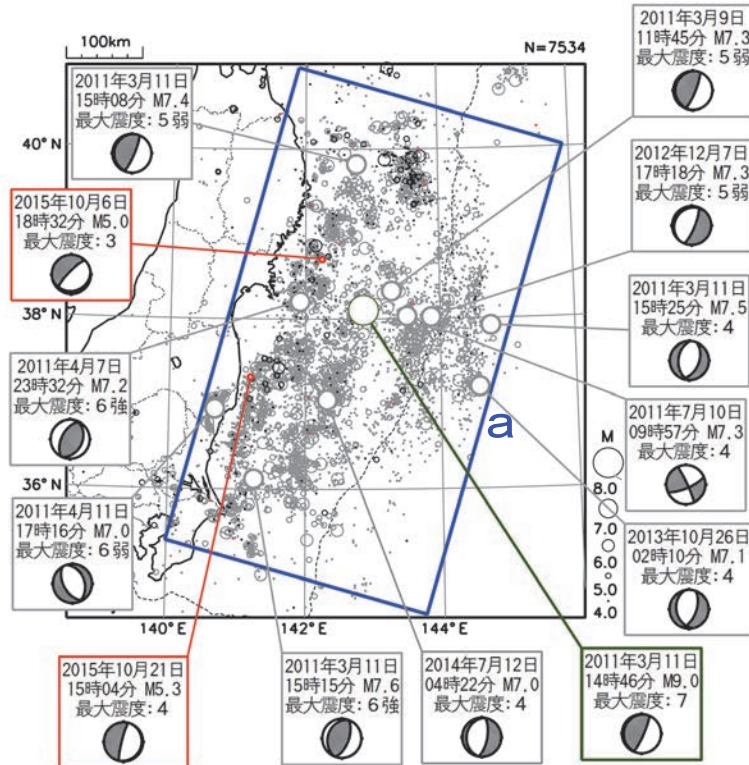
2015年10月に領域 a 内で発生した M5.0 以上の地震

発生日時	震央地名	M	Mw	最大震度	発震機構 (CMT解)
10月06日 18時32分	宮城県沖	5.0	5.0	3	北西-南東方向に張力軸を持つ型
10月21日 15時04分	福島県沖	5.3	5.3	4	西北西-東南東方向に張力軸を持つ正断層型

震央分布図

(2011 年 3 月 1 日~2015 年 10 月 31 日、深さすべて、M \geq 4.0)

2011 年 3 月からの地震を薄く、2014 年 10 月から 2015 年 9 月の地震を濃く、2015 年 10 月の地震を赤く表示。発震機構は CMT 解。



領域 a 内の M7.0 以上の地震と 2015 年 10 月に発生した M5.0 以上の地震に吹き出しをつけた。



10 月 6 日 宮城県沖の地震

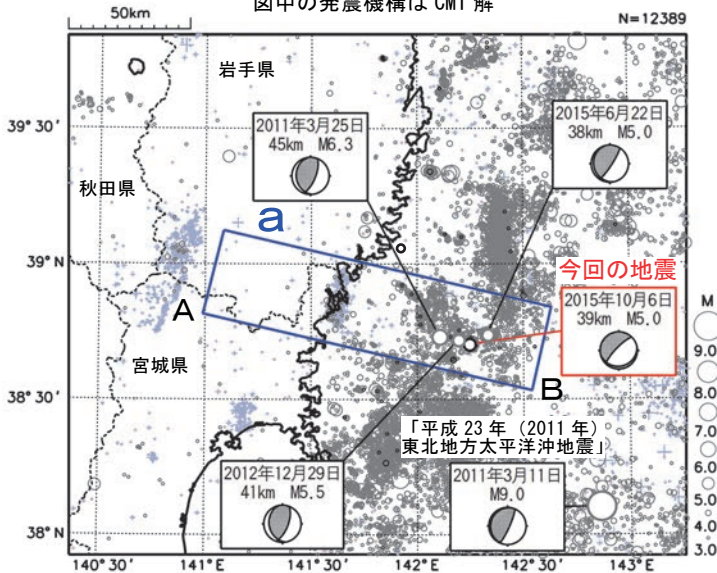
震央分布図

(1997 年 10 月 1 日～2015 年 10 月 31 日、
深さ 0～100km、 $M \geq 3.0$)

東北地方太平洋沖地震以前に発生した地震を+
東北地方太平洋沖地震発生以降に発生した地震を薄い○

2015 年 10 月の地震を濃い○で表示

図中の発震機構は CMT 解

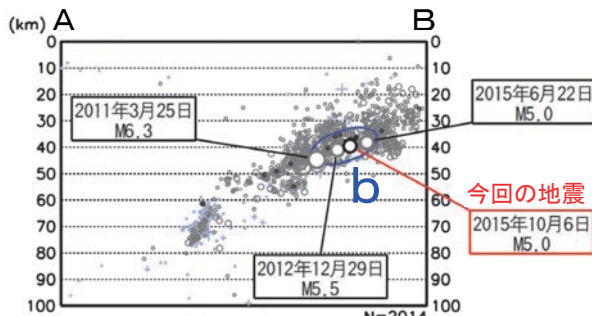


2015 年 10 月 6 日 18 時 32 分に宮城県沖の深さ 39km で M5.0 の地震 (最大震度 3) が発生した。発震機構 (CMT 解) は北西-南東方向に張力軸を持つ型である。この地震の発生以降、ほぼ同じ場所で震度 1 以上を観測する地震が同日中に 3 回発生した。

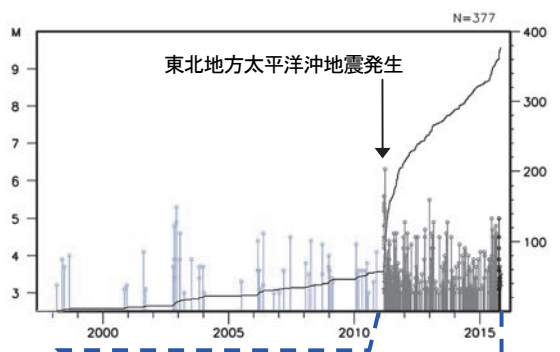
1997 年 10 月以降の活動を見ると、今回の地震の震源付近 (領域 b) では、M4.0 以上の地震が時々発生していたが、「平成 23 年 (2011 年) 東北地方太平洋沖地震」発生後は地震活動が活発化し、M5.0 前後の地震が発生している。

1923 年 1 月以降の活動を見ると、今回の地震の震央付近 (領域 c) では「平成 23 年 (2011 年) 東北地方太平洋沖地震」発生以前から M7.0 を超える地震が時々発生している。

領域 a 内の断面図 (A-B 投影)



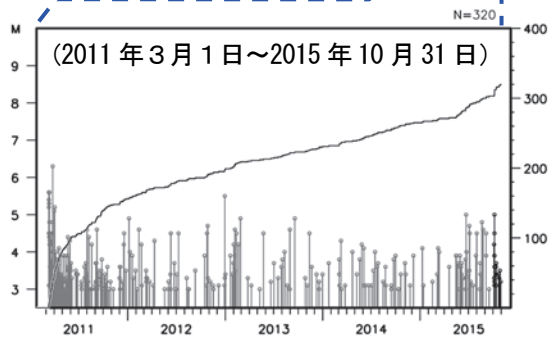
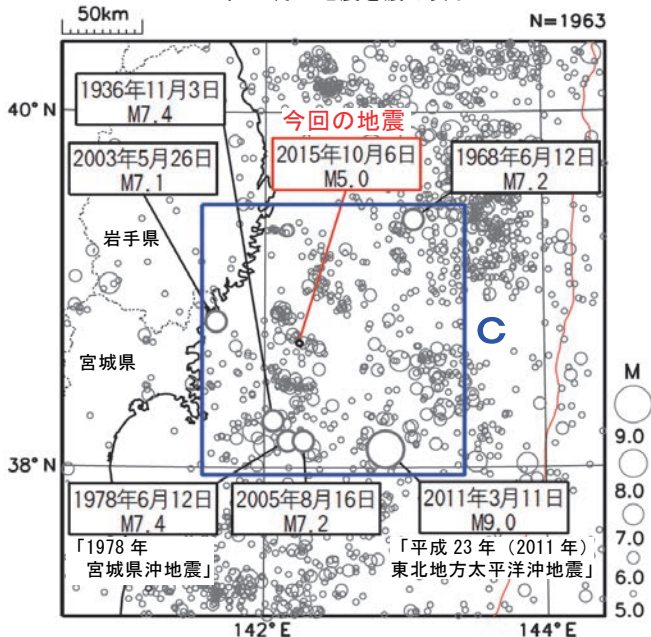
領域 b 内の M-T 図及び回数積算図



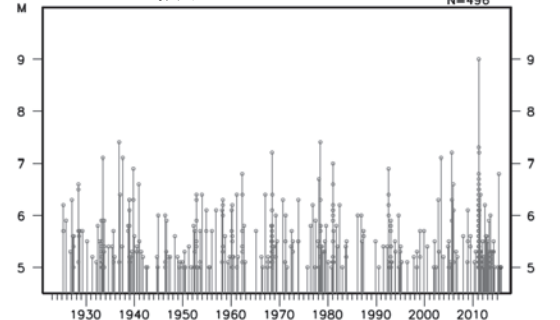
震央分布図

(1923 年 1 月 1 日～2015 年 10 月 31 日、
深さ 0～100km、 $M \geq 5.0$)

2015 年 10 月の地震を濃く表示



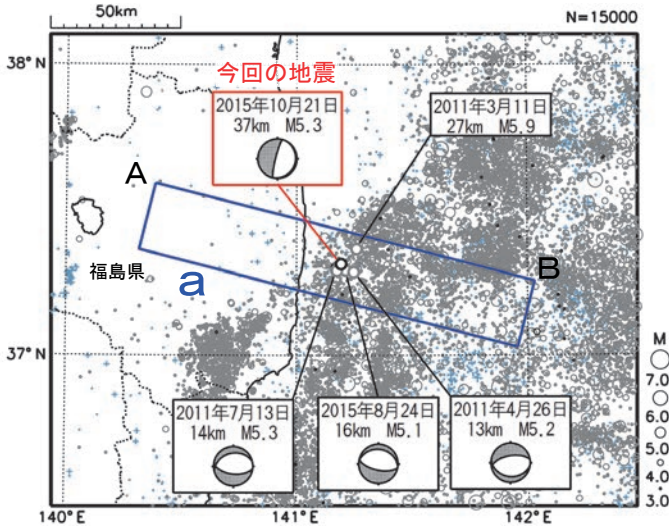
領域 c 内の M-T 図



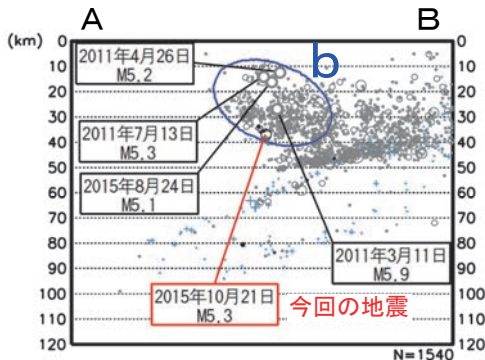
10 月 21 日 福島県沖の地震

震央分布図
(1997 年 10 月 1 日～2015 年 10 月 31 日、
深さ 0～120km、 $M \geq 3.0$)

東北地方太平洋沖地震以前に発生した地震を+
東北地方太平洋沖地震以降に発生した地震を薄い○
2015 年 10 月の地震を濃い○で表示
図中の発震機構は CMT 解

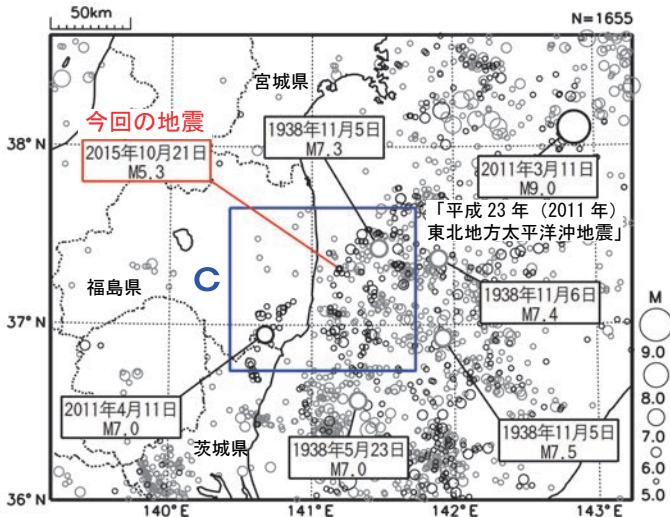


領域 a 内の断面図 (A-B 投影)



震央分布図
(1923 年 1 月 1 日～2015 年 10 月 31 日、
深さ 0～120km、 $M \geq 5.0$)

2011 年 3 月 11 日以降の地震を濃く表示

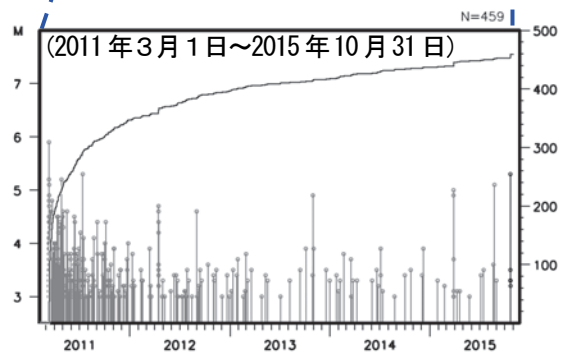
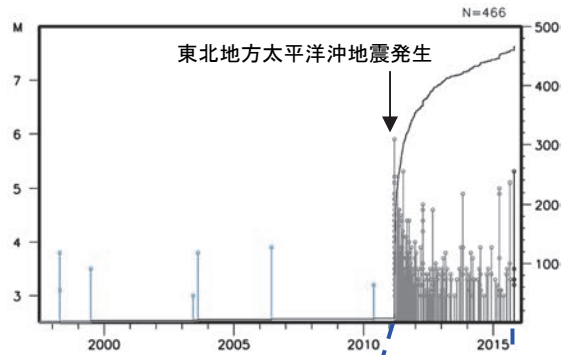


2015 年 10 月 21 日 15 時 04 分に福島県沖の深さ 37km で M5.3 の地震 (最大震度 4) が発生した。この地震は発震機構 (CMT 解) が西北西-東南東方向に張力軸を持つ正断層型で、陸のプレート内で発生した地震である。この地震の発生以降、ほぼ同じ場所で震度 1 以上を観測する地震が翌日 22 日までの間に 3 回発生した。

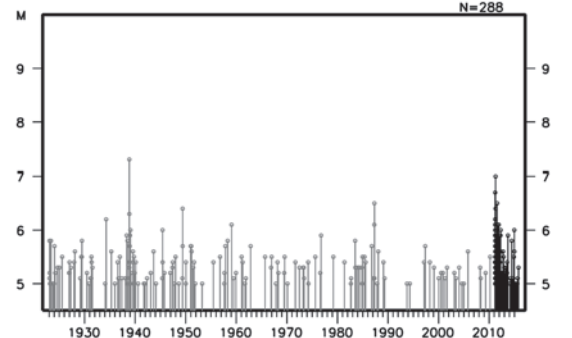
1997 年 10 月以降の活動を見ると、今回の地震の震源付近 (領域 b) では、M4.0 以上の地震は発生していなかったが、「平成 23 年 (2011 年) 東北地方太平洋沖地震」の発生以降、M5.0 前後の地震が発生するなど、地震活動が活発になっている。

1923 年 1 月以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺 (領域 c) では、M6.0 以上の地震が時々発生している。2011 年 4 月 11 日に M7.0 の地震 (最大震度 6 弱) が発生し、死者 4 人、負傷者 10 人の被害が生じた (総務省消防庁による)。

領域 b 内の M-T 図及び回数積算図



領域 c 内の M-T 図



○関東・中部地方の地震活動

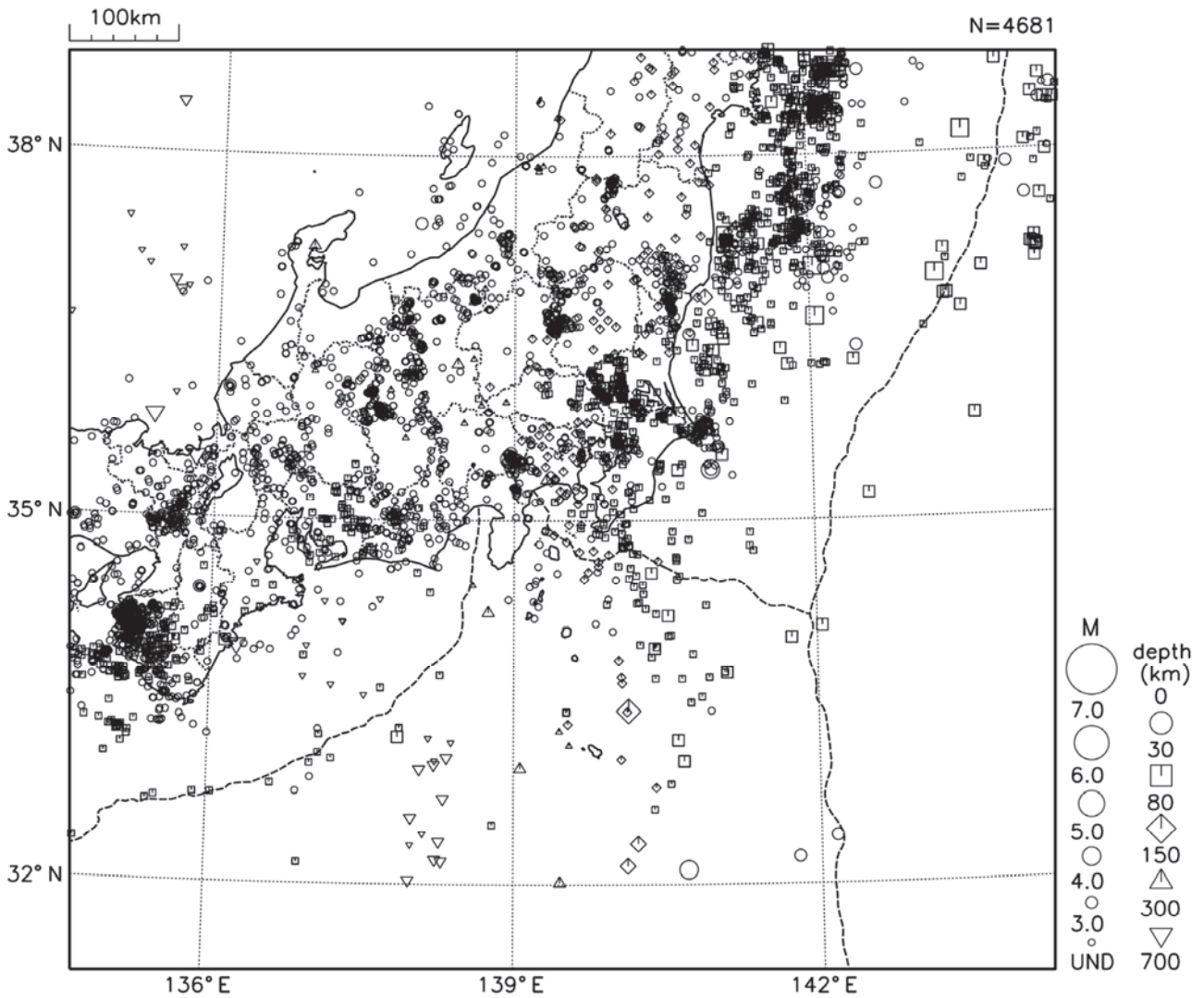


図6 関東・中部地方の震央分布図（2015年10月1日～10月31日）

[概況]

10月に関東・中部地方（三重県を含む）で震度1以上を観測した地震は48回（9月は53回）であった。10月中の主な地震活動は次のとおりである。

「平成23年（2011年）東北地方太平洋沖地震」の余震が、引き続き岩手県から千葉県北東部にかけての沿岸及びその沖合の広い範囲で発生した（p. 7の図5、p. 8参照）。

○ 近畿・中国・四国地方の地震活動

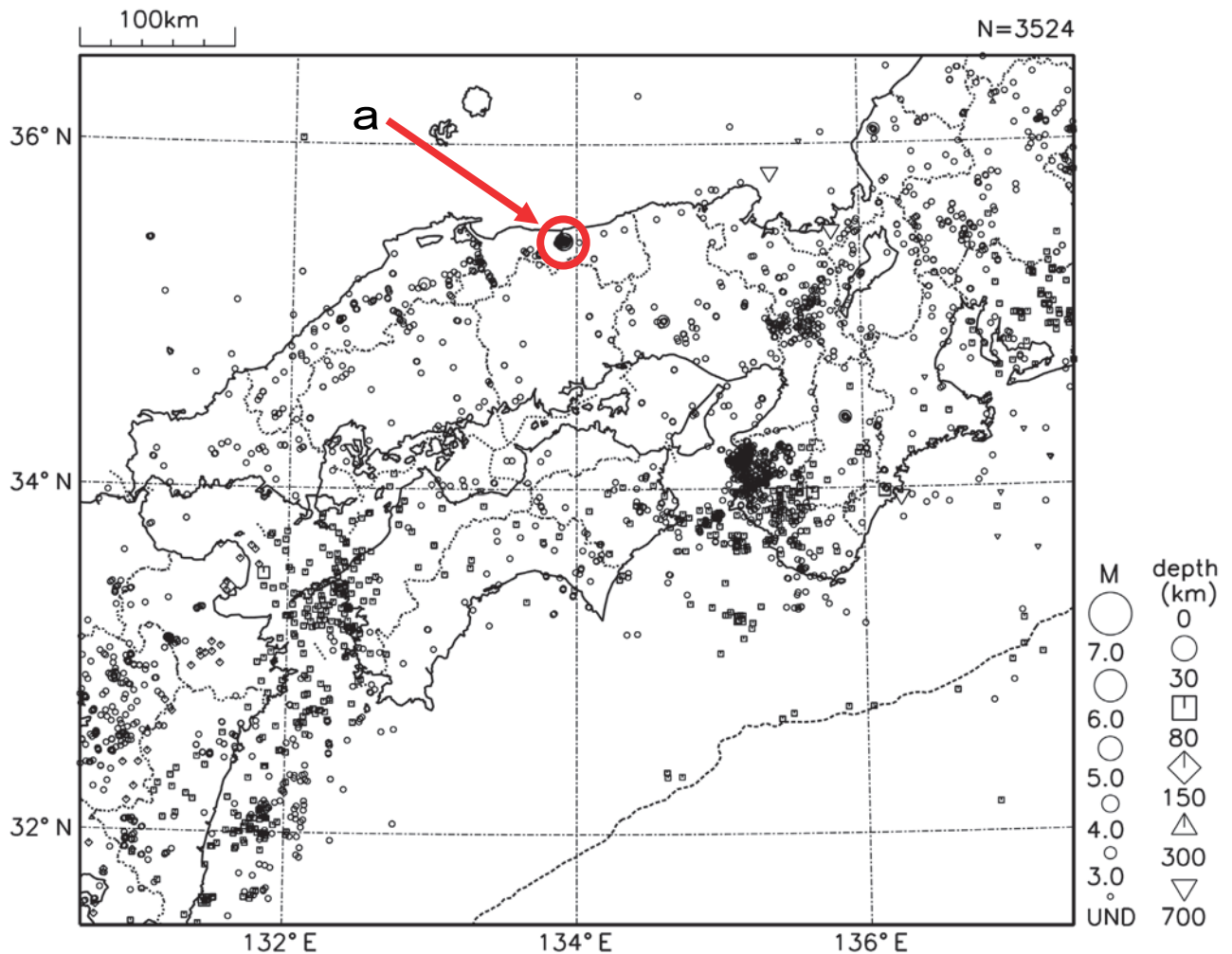


図7 近畿・中国・四国地方の震央分布図 (2015年10月1日～10月31日)

[概況]

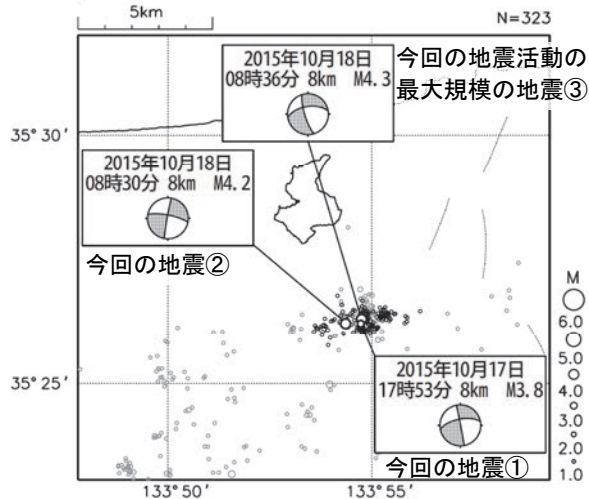
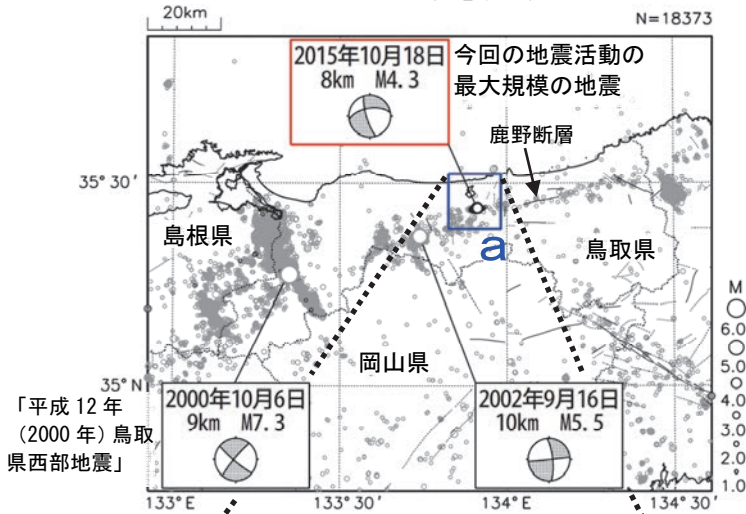
10月に近畿・中国・四国地方で震度1以上を観測した地震は41回(9月は14回)であった。10月中の主な活動は次のとおりである。

2015年10月15日から鳥取県中部(図7中の領域a)で地殻内を震源とする地震活動が活発になり、10月31日までに最大震度1以上を観測する地震が23回発生した。最大規模の地震は18日08時36分に深さ8kmで発生したM4.3の地震(最大震度4)である(p.4～5、13～14参照)。

10 月 15 日からの鳥取県中部の地震活動

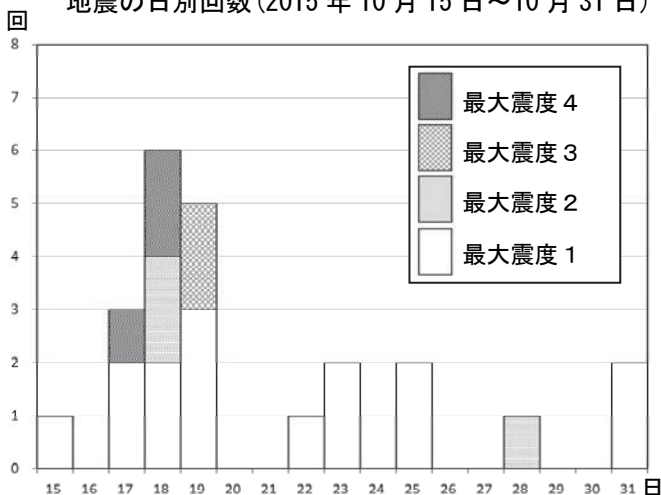
震央分布図

(2000 年 10 月 1 日～2015 年 10 月 31 日、
深さ 0～20km、 $M \geq 1.0$)
2015 年 10 月の地震を濃く表示



図中の細線は「新編日本の活断層」による活断層帯を示す

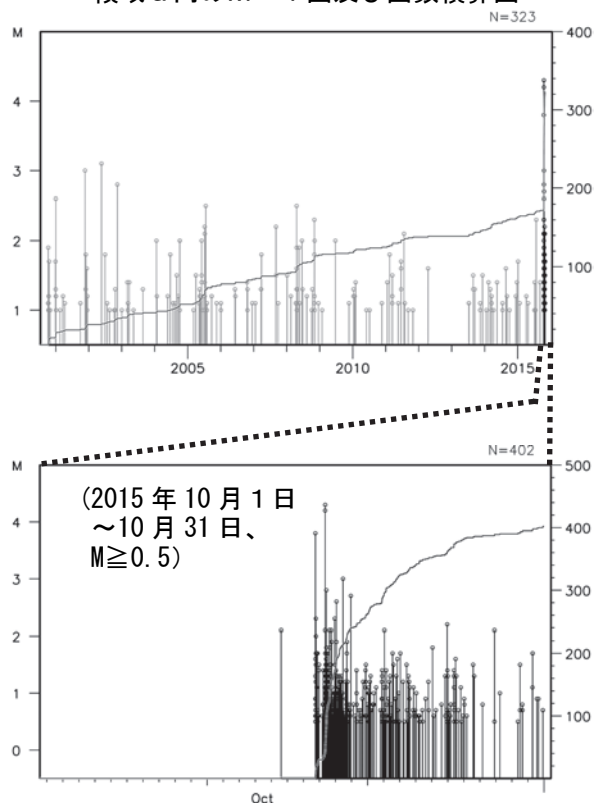
今回の地震活動で最大震度 1 以上を観測した地震の日別回数 (2015 年 10 月 15 日～10 月 31 日)



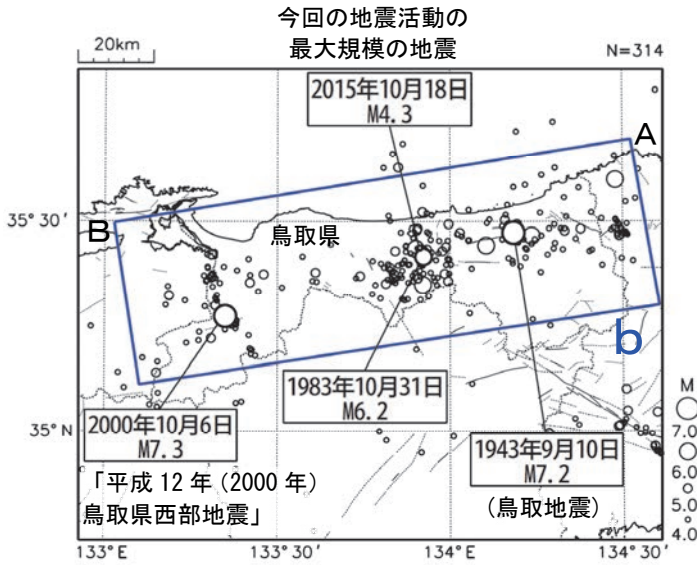
2015 年 10 月 15 日から鳥取県中部でまとまった地震活動が見られ、31 日までに最大震度 1 以上を観測する地震が 23 回 (最大震度 4 : 3 回、最大震度 3 : 2 回、最大震度 2 : 3 回、最大震度 1 : 15 回) 発生した。今回の地震活動は 10 月 18 日が最も活発で、その後徐々に落ち着きつつある。今回の地震活動は地殻内で発生し、そのうち、最大震度 4 を観測した地震は、10 月 17 日 17 時 53 分に深さ 8 km で発生した M3.8 の地震① (発震機構は西北西-東南東方向に圧力軸を持つ横ずれ断層型)、10 月 18 日 08 時 30 分に深さ 8 km で発生した M4.2 の地震② (発震機構は北西-南東方向に圧力軸を持つ横ずれ断層型)、10 月 18 日 08 時 36 分に深さ 8 km で発生した M4.3 の地震③ (発震機構は西北西-東南東方向に圧力軸を持つ横ずれ断層型) である (○付き数字は左中央の震央分布図内の○付き数字と対応)。

2000 年 10 月以降の活動を見ると、今回の地震の活動領域付近 (領域 a) では、M2.0 以上の地震が年に数回程度発生しているが、M4.0 以上の地震は今回が初めてである。今回の地震の震央から西南西に約 20km 離れたところで、2002 年 9 月 16 日に M5.5 の地震 (最大震度 4) が発生し、住家一部破損 8 棟などの被害が生じた (被害は「日本被害地震総覧」による)。

領域 a 内の M-T 図及び回数積算図

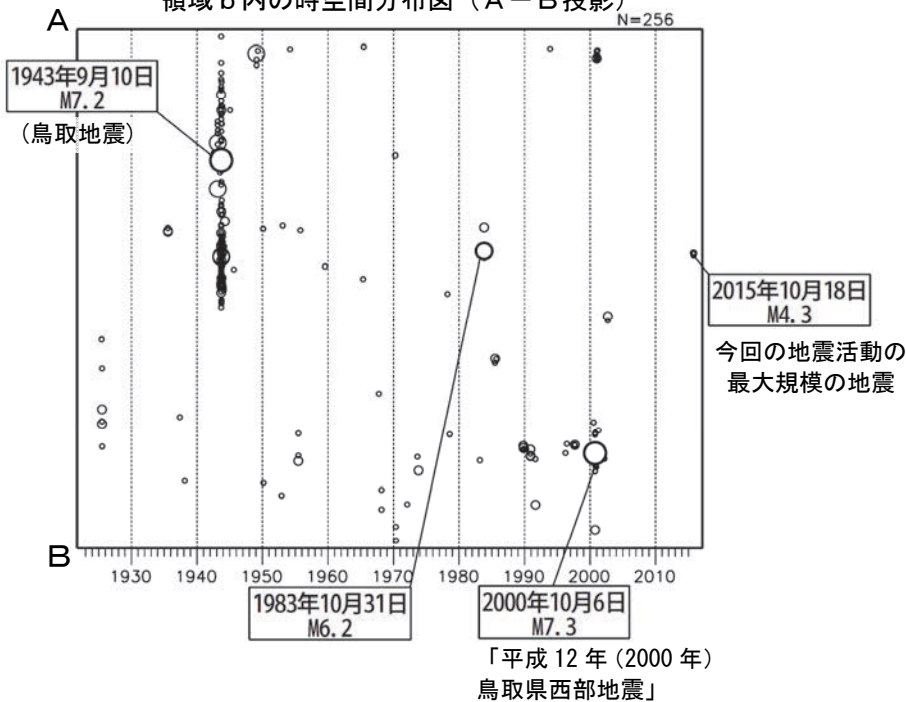


震央分布図
(1923 年 1 月 1 日～2015 年 10 月 31 日、
深さ 0～50km、 $M \geq 4.0$)

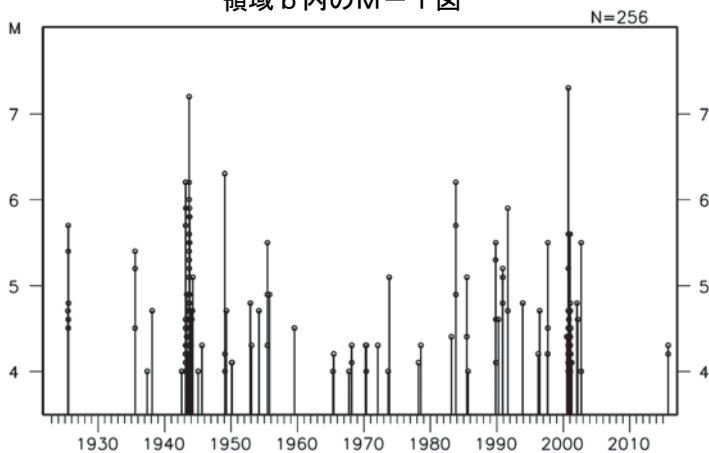


1923 年 1 月以降の活動を見ると、今回の活動領域の周辺 (領域 b) では、1943 年 9 月 10 日に M7.2 の地震 (鳥取地震) が発生しており、死者 1,083 人、重軽傷者 3,259 人などの被害が生じた。また、今回の地震活動の数 km 南方で 1983 年 10 月 31 日に M6.2 の地震が発生し、負傷者約 10 人、鉄筋コンクリート 3 階建建物の柱の剪断破壊などの被害が生じた (被害は共に「日本被害地震総覧」による)。2000 年 10 月 6 日には「平成 12 年 (2000 年) 鳥取県西部地震」 (M7.3、最大震度 6 強) が発生し、負傷者 182 人、住家全壊 435 棟、住家半壊 3,101 棟などの被害を生じた (被害は、総務省消防庁による)。

領域 b 内の時空間分布図 (A-B 投影)



領域 b 内の M-T 図



○九州地方の地震活動

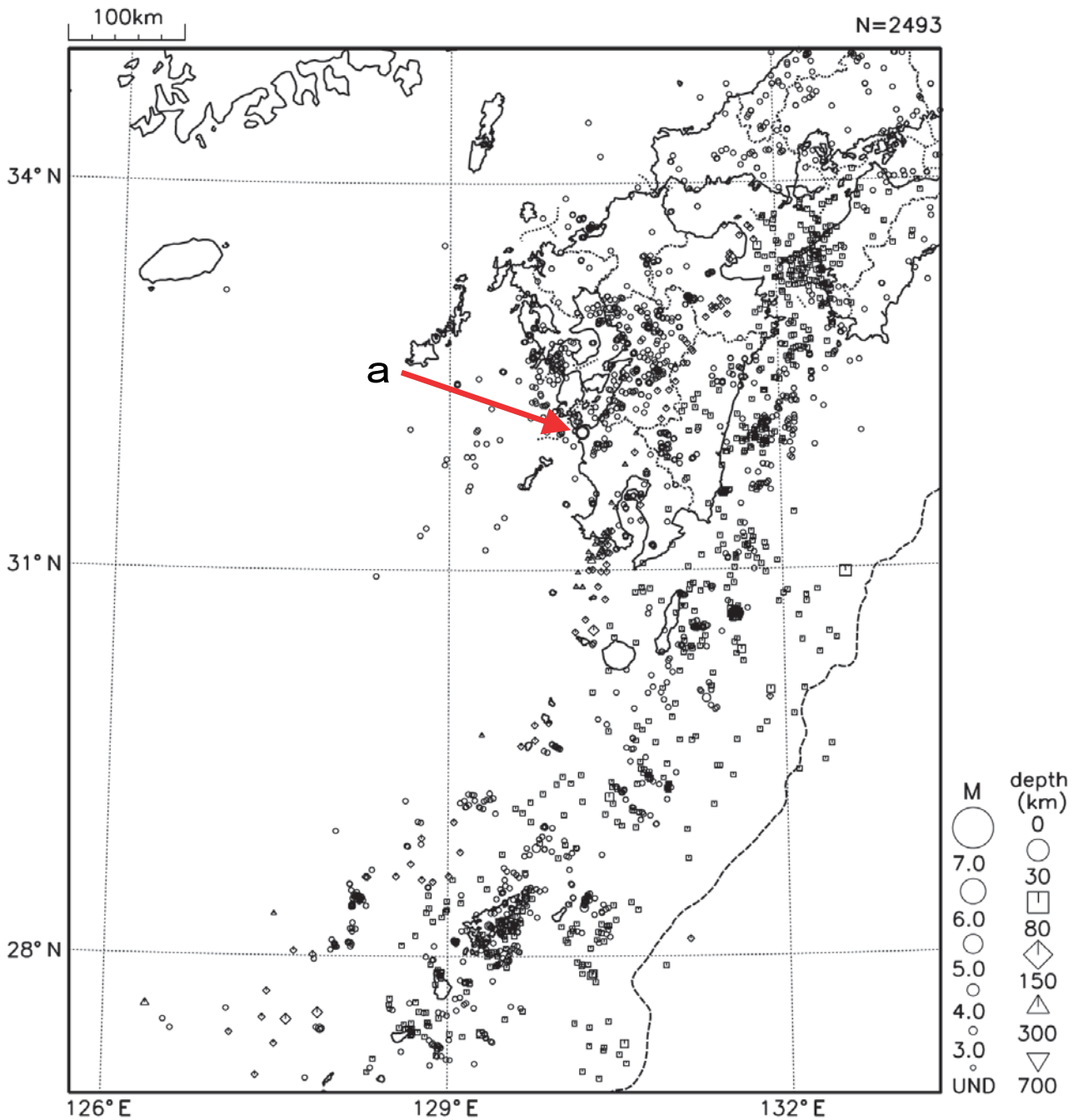


図 8 九州地方の震央分布図（2015 年 10 月 1 日～10 月 31 日）

〔概況〕

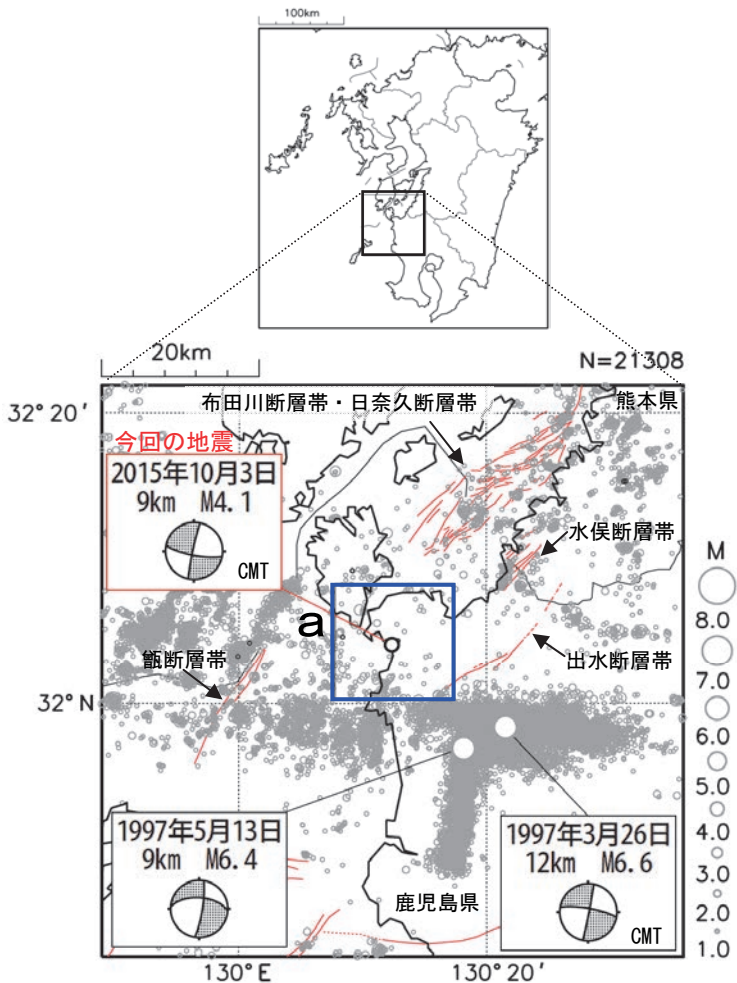
10 月に九州地方で震度 1 以上を観測した地震は 16 回（9 月は 11 回）であった。
10 月中の主な活動は次のとおりである。

3 日 04 時 09 分に鹿児島県薩摩地方の深さ 9 km で M4.1 の地震（図 8 中の a）が発生し、鹿児島県阿久根市で震度 4 を観測したほか、鹿児島県、熊本県、福岡県および長崎県で震度 3～1 を観測した（p. 4、16 参照）。

10 月 3 日 鹿児島県薩摩地方の地震

震央分布図

(1997 年 1 月 1 日~2015 年 10 月 31 日、
深さ 0~20km、 $M \geq 1.0$)
2015 年 10 月の地震を濃く表示



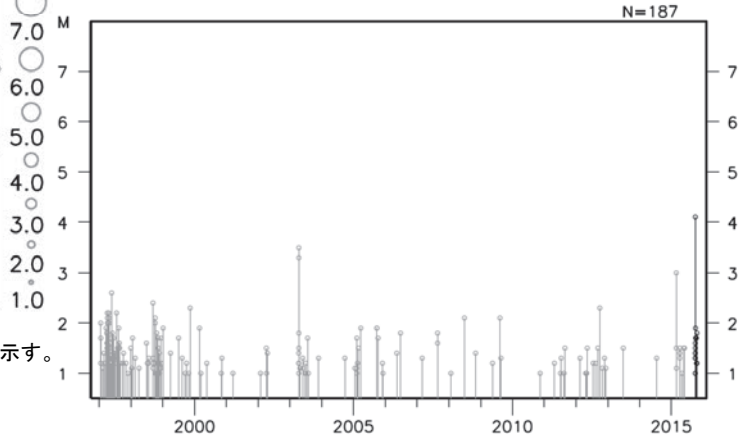
図中の細線は、地震調査研究推進本部の長期評価による活断層を示す。

2015 年 10 月 3 日 04 時 09 分に鹿児島県薩摩地方の深さ 9 km で M4.1 の地震 (最大震度 4) が発生した。この地震は、地殻内で発生した。発震機構 (CMT 解) は、北西-南東方向に張力軸を持つ横ずれ断層型である。

1997 年 1 月以降の活動を見ると、今回の地震の震源付近 (領域 a) では、M2.0 以上の地震が時々発生していたが、M4.0 以上の地震は発生していなかった。

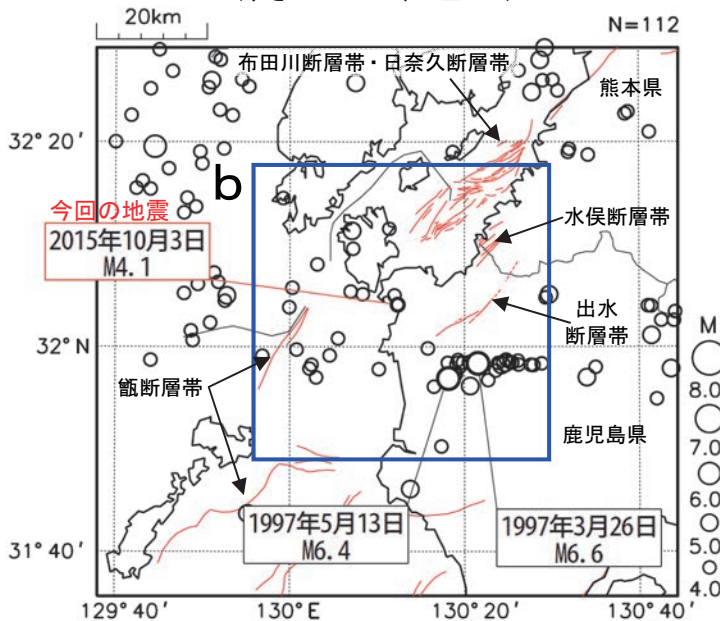
1923 年 1 月以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺 (領域 b) では、M6.0 以上の地震が 2 回発生しており、1997 年 3 月 26 日に発生した M6.6 の地震 (最大震度 5 強) では、重傷 2 人、軽傷 34 人、住家全壊 4 棟、半壊 31 棟、一部破損 2180 棟などの被害を生じた。また、同年 5 月 13 日に発生した M6.4 の地震 (最大震度 6 弱) では、重傷 1 人、軽傷 42 人、住家全壊 4 棟、半壊 25 棟、一部破損 4818 棟などの被害を生じた (被害は共に「日本被害地震総覧」による)。

領域 a 内の M-T 図



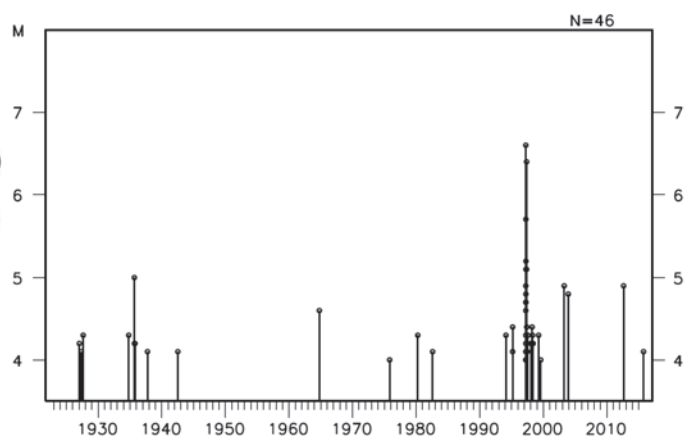
震央分布図

(1923 年 1 月 1 日~2015 年 10 月 31 日、
深さ 0~40km、 $M \geq 4.0$)



図中の細線は、地震調査研究推進本部の長期評価による活断層を示す。

領域 b 内の M-T 図



○沖縄地方の地震活動

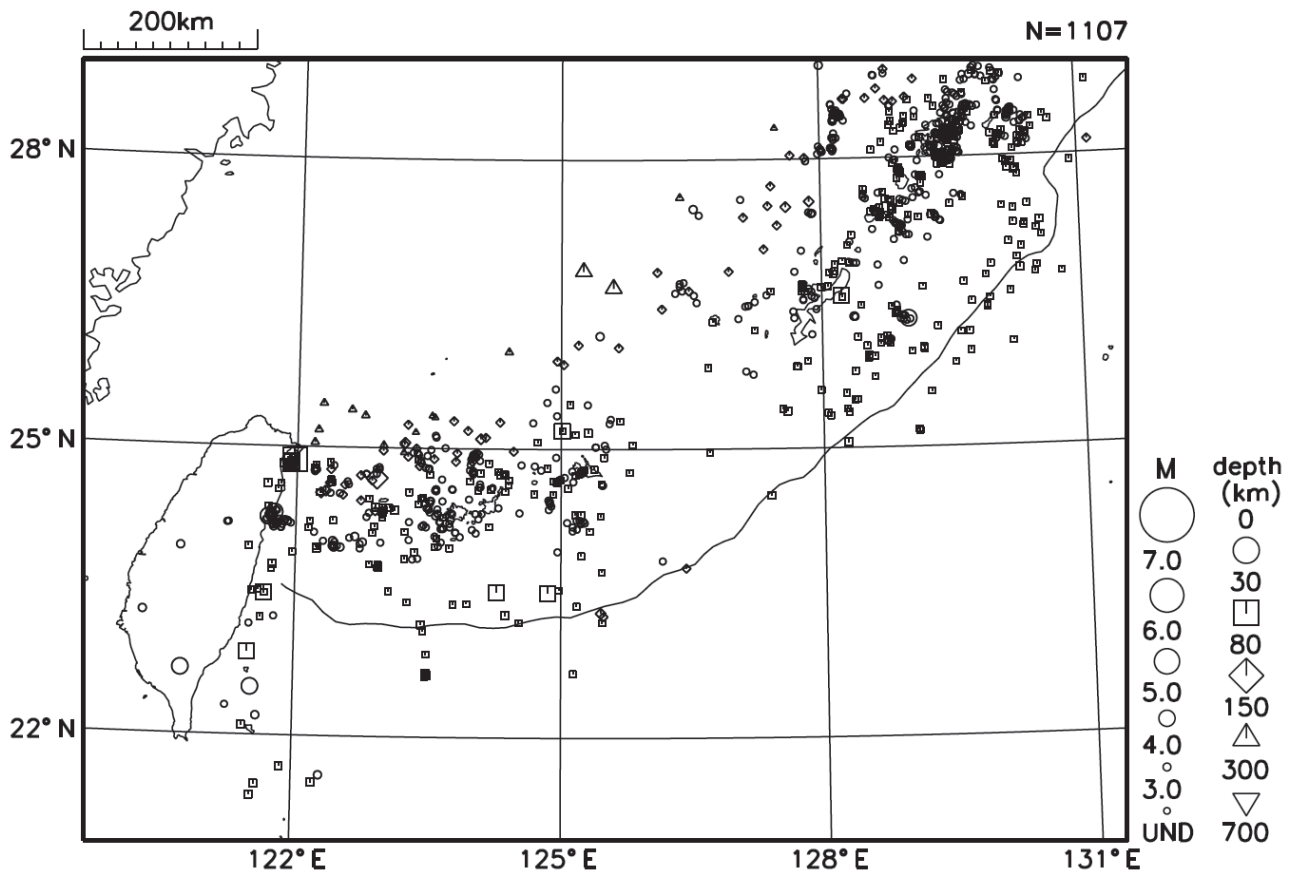


図9 沖縄地方の震央分布図 (2015年10月1日~10月31日)

[概況]

10月に沖縄地方で震度1以上を観測した地震は3回(9月は4回)であった。
10月中、特に目立った活動はなかった。

○その他の地域の地震活動

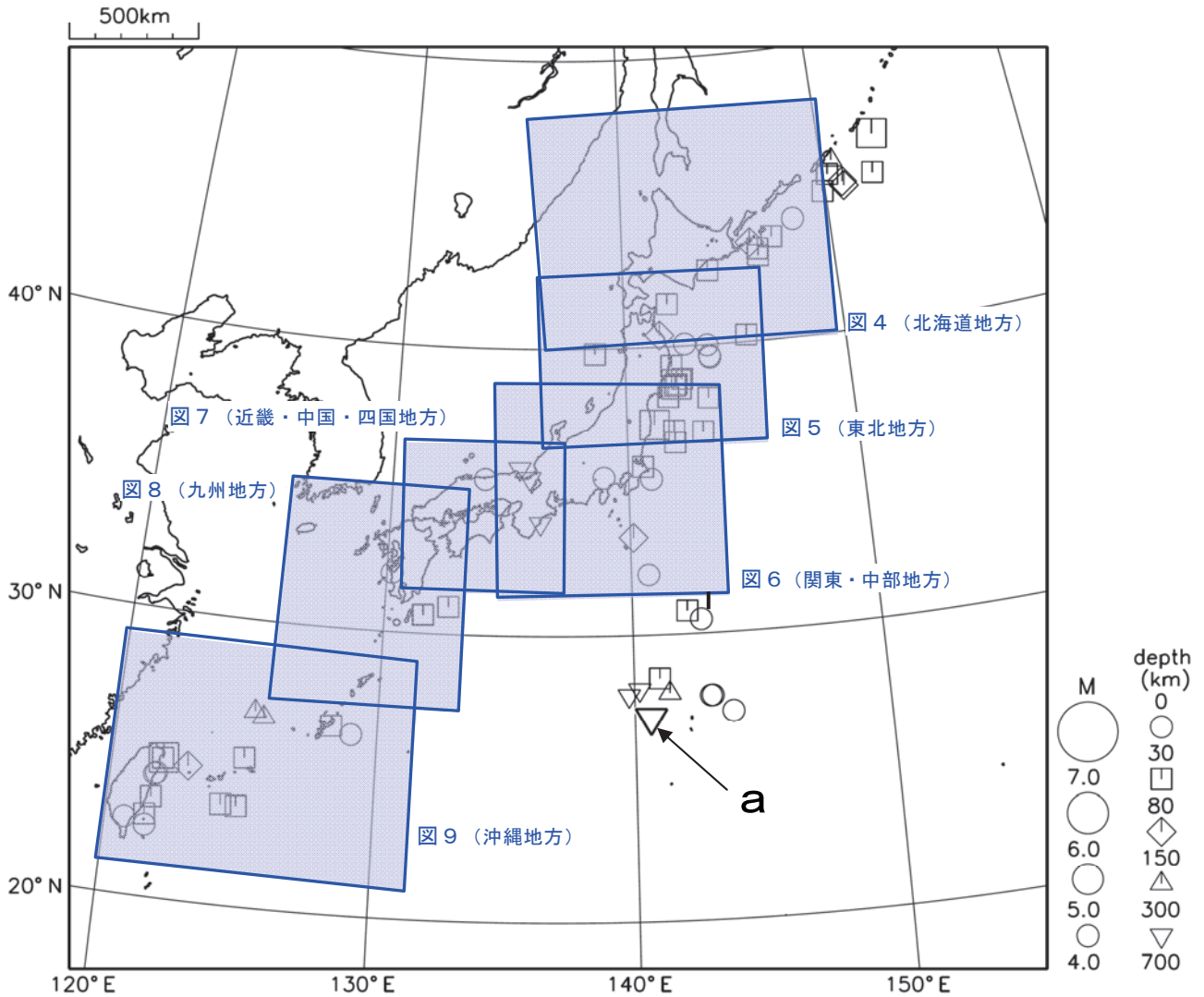


図 10 日本周辺で発生した主な地震の震央分布図 (2015 年 10 月 1 日~10 月 31 日、 $M \geq 4.0$)

[概況]

10 月に日本周辺で発生した $M6.0$ 以上の地震はなかった (9 月は 1 回)。
 10 月中、図 4 ~ 9 の領域外で発生した主な地震活動は次のとおりである。

20 日 18 時 29 分に小笠原諸島西方沖の深さ 314km で $M5.8$ の地震 (図 10 中の a) が発生し、東京都小笠原村母島で震度 3、東京都小笠原村父島で震度 2 を観測した (p. 5、19 参照)。

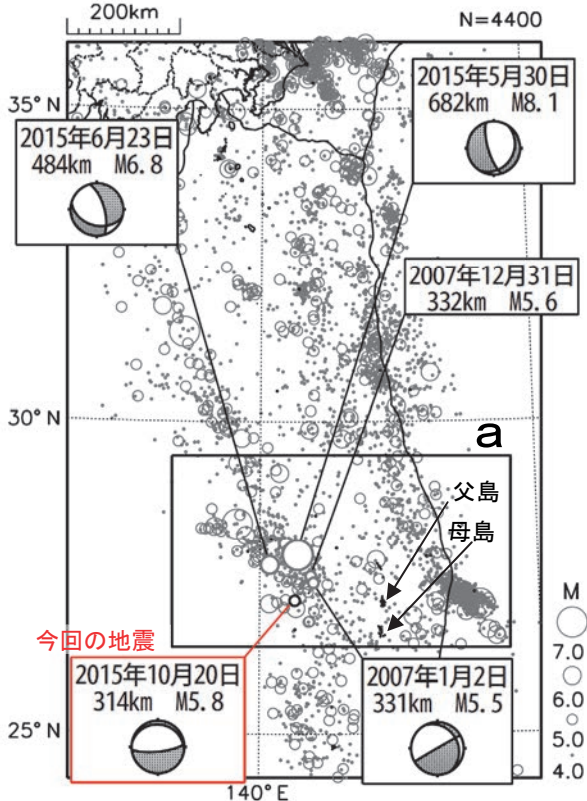
10 月 20 日 小笠原諸島西方沖の地震

震央分布図

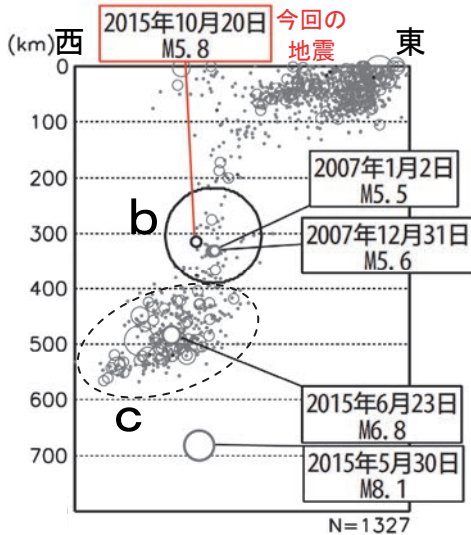
(2001 年 1 月 1 日~2015 年 10 月 31 日、
深さ 0~700km、 $M \geq 4.0$)

2015 年 10 月の地震を濃く表示

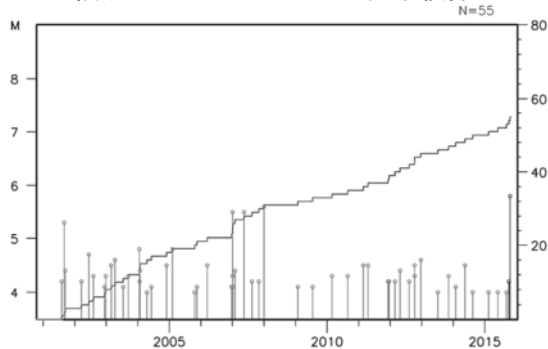
図中の発震機構は CMT 解



領域 a 内の断面図 (東西投影)



領域 b 内の M-T 図及び回数積算図



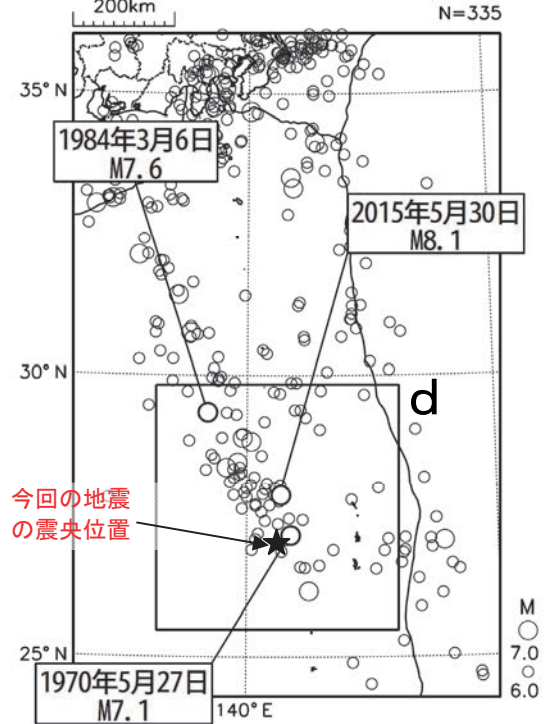
2015 年 10 月 20 日 18 時 29 分に小笠原諸島西方沖の深さ 314km で M5.8 の地震 (最大震度 3) が発生した。この地震は、太平洋プレート内部で発生した。発震機構 (CMT 解) は、概ね鉛直方向に圧力軸を持つ型である。

2001 年 1 月以降の活動を見ると、今回の地震の震源付近 (領域 b) は、M5.0 以上の地震が時々発生している。今回の地震の震源から約 100km から 200km 深い、深さ 500km 前後の場所 (領域 c) では M6.0 以上の地震がしばしば発生しているが、領域 b 内では M6.0 以上の地震は発生していない。また、今回の地震の震源から約 350km 深いところでは、2015 年 5 月 30 日に M8.1 の地震 (最大震度 5 強) の地震が発生し、東京都で地震関連負傷者 8 件、埼玉県で負傷者 3 人、神奈川県で負傷者 2 人等の被害を生じた (総務省消防庁による)。

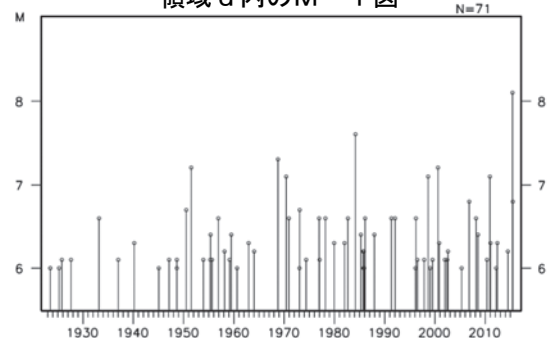
1923 年 1 月以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺 (領域 d) では、M7.0 以上の地震が時々発生している。

震央分布図

(1923 年 1 月 1 日~2015 年 10 月 31 日、
深さ 0~700km、 $M \geq 6.0$)



領域 d 内の M-T 図



●東海地震の想定震源域及びその周辺の地震活動と 地震防災対策強化地域判定会検討結果

東海地震の想定震源域及びその周辺の地震活動

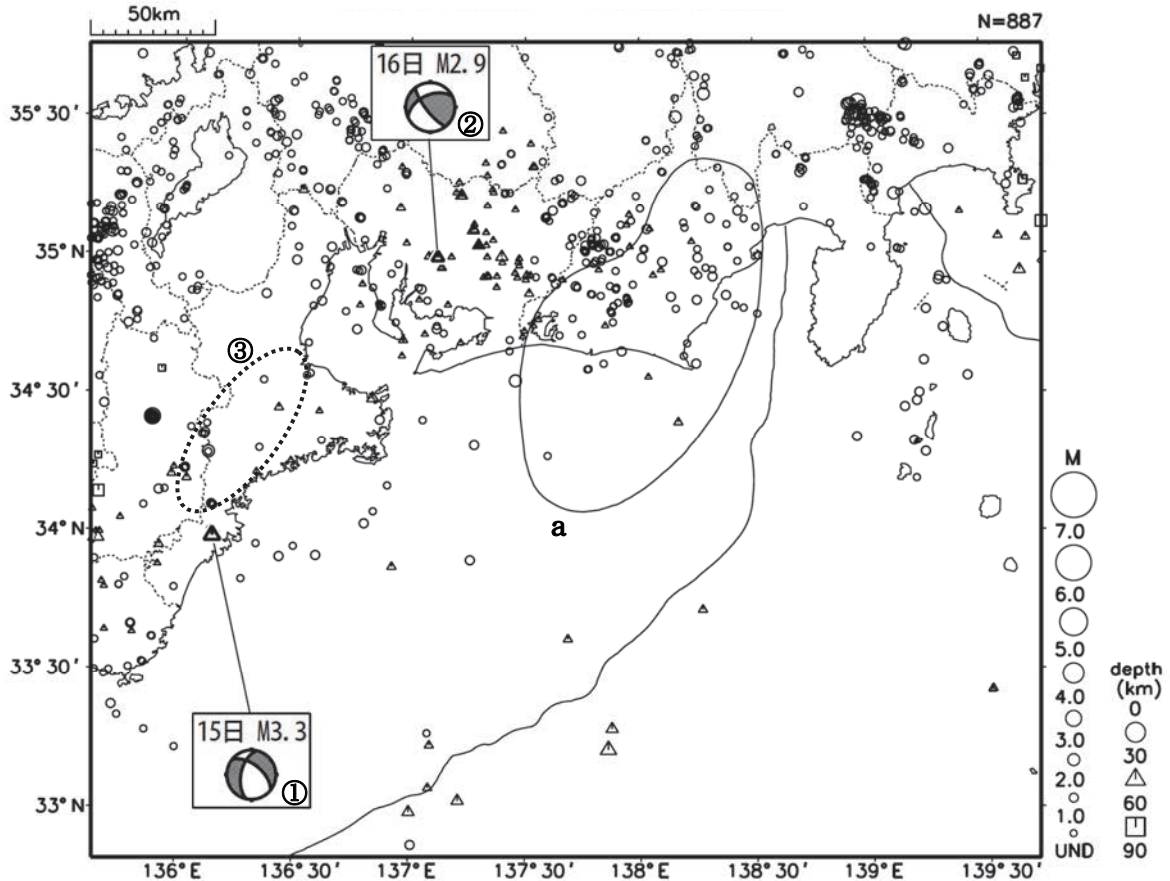


図1 震央分布図（2015年10月1日～31日：深さ0～90km、Mすべて。図中の領域aは東海地震の想定震源域。）

【概況】

特に目立った活動はなかった。

- ① 10月15日13時51分に三重県南部の深さ45kmでM3.3の地震（最大震度1）が発生した。この地震は、発震機構が東北東－西南西方向に張力軸を持つ横ずれ断層型で、フィリピン海プレート内部で発生した。
- ② 10月16日05時56分に愛知県西部の深さ40kmでM2.9の地震（最大震度1）が発生した。この地震は発震機構が東西方向に張力軸を持つ横ずれ断層型で、フィリピン海プレート内部で発生した。
- ③ 10月26日から10月30日にかけて三重県南部を震央とする深部低周波地震を観測した。

注 冒頭の番号は図1中の数字に対応する

地震防災対策強化地域判定会検討結果

10 月 19 日に気象庁において第 354 回地震防災対策強化地域判定会（定例）を開催し、気象庁は「最近の東海地域とその周辺の地殻活動」として次の調査結果を発表した（図 2～図 8）。

現在のところ、東海地震に直ちに結びつくと思われる変化は観測していません。

1. 地震の観測状況

浜名湖周辺のフィリピン海プレート内では、引き続き地震の発生頻度の低い状態が続いています。

2. 地殻変動の観測状況

GNSS観測及び水準測量の結果では、御前崎の長期的な沈降傾向は継続しています。

平成25年はじめ頃から静岡県西部から愛知県東部にかけてのGNSS観測及びひずみ観測にみられている通常とは異なる変化は、現在も継続しています。

3. 地殻活動の評価

平成25年はじめ頃から観測されている通常とは異なる地殻変動は、浜名湖付近のプレート境界において発生している「長期的ゆっくりすべり」に起因すると推定しており、現在も継続しています。

そのほかに東海地震の想定震源域ではプレート境界の固着状況に特段の変化を示すようなデータは今のところ得られていません。

以上のように、現在のところ、東海地震に直ちに結びつくと思われる変化は観測していません。

なお、GNSS観測の結果によると「平成23年（2011年）東北地方太平洋沖地震」による余効変動が、小さくなりつつありますが東海地方においてもみられています。

大規模な地震から国民の生命・財産を保護することを目的として、昭和 53 年（1978 年）12 月に施行された「大規模地震対策特別措置法」では、大規模な地震の発生のおそれがあり、その地震によって大きな被害が予想されるような地域を予め「地震防災対策強化地域」（以下、「強化地域」という。）として指定し、地震予知のための観測施設の整備を強化し、予め地震防災に関する計画をたてる等、各種の措置を講ずることとしている。強化地域は平成 14 年（2002 年）4 月に見直しが行われ、現在、静岡県全域と東京都、神奈川・山梨・長野・岐阜・愛知及び三重の各県にまたがる 157 市町村（平成 24 年 4 月現在）が強化地域に指定されている。強化地域では、マグニチュード 8 クラスと想定されている大地震（東海地震）が起こった場合、震度 6 弱以上（一部地域では震度 5 強程度）になり、沿岸では大津波の来襲が予想されている。

気象庁では、いつ発生してもおかしくない状態にある「東海地震」を予知すべく、東海地域の地震活動や地殻変動等の状況を監視している。また、これらの状況を定期的に評価するため、地震防災対策強化地域判定会を毎月開催して委員の意見提供等を受け、現在の状況を取りまとめたコメント「最近の東海地域とその周辺の地殻活動」を発表している。

【地震防災対策強化地域判定会検討結果の頁で使われる用語】

・「想定震源域」と「固着域」

東海地震発生時には、「固着域」（プレート間が強く「くっついている」と考えられている領域）あるいはその周辺の一部からゆっくりしたずれ（前兆すべり）が始まり、最終的には「想定震源域」全体が破壊すると考えられている。

・「クラスタ」、「クラスタ除去」

地震は時間空間的に群（クラスタ：cluster）をなして起きることが多くある。「本震とその後に起きる余震」、「群発地震」などが典型的なクラスタで、余震活動等の影響を取り除いて地震活動全体の推移を見ることを「クラスタ除去」と言う。図 2 の静岡県中西部の場合、相互の震央間の距離が 3 km 以内で、相互の発生時間差が 7 日以内の地震群をクラスタとして扱い、その中の最大の地震をクラスタに含まれる地震の代表とし、地震が 1 つ発生したと扱う。

・「長期的ゆっくりすべり（長期的スロースリップ）」

主に浜名湖周辺下のフィリピン海プレートと陸のプレートの境界が、数年間にかけてゆっくりとすべる現象で、十数年程度の間隔で繰り返し発生していると考えられており、前回は 2000 年秋頃～2005 年夏頃にかけて発生した。

・「深部低周波地震（微動）」

深さ約 30km～40km で発生する、長周期の波が卓越する地震を「深部低周波地震」と言う。長野県南部～日向灘にかけては帯状につながる深部低周波地震の震央分布が見られる。深部低周波微動は、現象的には深部低周波地震と同じであるが、解析手法に違いがあるため、深部低周波地震が観測されない場合にも観測されることがある。

・「短期的ゆっくりすべり（短期的スロースリップ）」

「短期的ゆっくりすべり」は、深部低周波地震（微動）の発生領域とほぼ同じ領域でのフィリピン海プレートと陸のプレートの境界のすべりと考えられている。数日～1 週間程度継続する「短期的ゆっくりすべり（短期的スロースリップ）」が観測されるときは、ほぼ同時に深部低周波地震（微動）活動が観測されることが多い。

なお、地震活動および地殻活動の解析には Hirose et al. (2008) * によるフィリピン海プレートと陸のプレートの境界データを使用している。

* Hirose, F., J. Nakajima, and A. Hasegawa (2008), Three-dimensional seismic velocity structure and configuration of the Philippine Sea slab in southwestern Japan estimated by double-difference tomography, J. Geophys. Res., 113, B09315, doi:10.1029/2007JB005274.

東海地域の地震活動指数 (クラスタを除いた地震回数による)

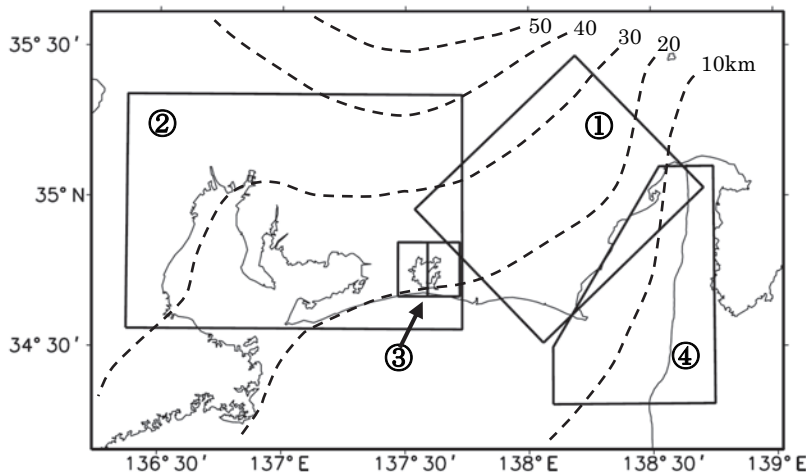
(参考)

2015年10月14日 現在

	① 静岡県中西部		② 愛知県		③ 浜名湖周辺			④ 駿河湾	
	地殻内	フィリ ピン海 プレート	地殻内	フィリ ピン海 プレート	フィリピン海プレート内 全域	西側	東側	全域	余震 除去
短期活動指数	7	5	4	4	3	4	3	4	4
短期地震回数 (平均)	9 (5.29)	8 (7.00)	13 (13.16)	15 (14.15)	4 (6.16)	2 (2.46)	2 (3.70)	6 (6.06)	3 (3.89)
中期活動指数	7	4	3	5	4	6	2	4	4
中期地震回数 (平均)	24 (15.87)	21 (21.00)	34 (39.48)	48 (42.44)	10 (12.32)	7 (4.93)	3 (7.39)	12 (12.12)	6 (7.79)

- * Mしきい値： 静岡県中西部、愛知県、浜名湖周辺：M \geq 1.1、駿河湾：M \geq 1.4
- * クラスタ除去：震央距離が Δr 以内、発生時間差が Δt 以内の地震をグループ化し、最大地震で代表させる。
 静岡県中西部、愛知県、浜名湖周辺： $\Delta r=3\text{km}$ 、 $\Delta t=7\text{日}$
 駿河湾： $\Delta r=10\text{km}$ 、 $\Delta t=10\text{日}$
- * 対象期間： 静岡県中西部、愛知県：短期30日間、中期90日間
 浜名湖周辺、駿河湾：短期90日間、中期180日間
- * 基準期間： おおむね長期的ゆっくりすべり（スロースリップ）発生前の地震活動を基準とする。
 静岡県中西部、愛知県：1997年－2001年（5年間）、
 浜名湖周辺：1998年－2000年（3年間）、駿河湾：1991年－2000年（10年間）

- [各領域の説明]
- ① 静岡県中西部：プレート間が強く「くっついている」と考えられている領域（固着域）。
 - ② 愛知県：フィリピン海プレートが沈み込んでいく先の領域。
 - ③ 浜名湖周辺：固着域の縁。長期的ゆっくりすべり（スロースリップ）が発生する場所であり、同期して地震活動が変化すると考えられている領域。
 - ④ 駿河湾：フィリピン海プレートが沈み込み始める領域。
 余震除去：2009年8月11日の駿河湾の地震（M6.5）と2011年8月1日の駿河湾の地震（M6.2）の余震域の活動を除いて活動指数を求めた場合。



* Hirose et al. (2008) によるプレート境界の等深線を破線で示す

指数	確率 (%)	地震数
8	1	多い
7	4	
6	10	
5	15	ほぼ平常
4	40	
3	15	やや少ない
2	10	
1	4	少ない
0	1	

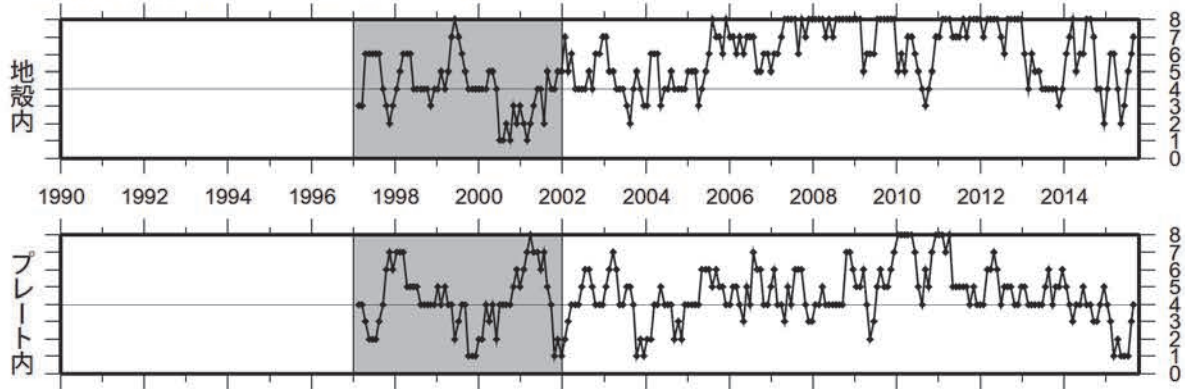
図2 東海地域の地震活動指数

気象庁作成

地震活動指数の推移（中期活動指数）

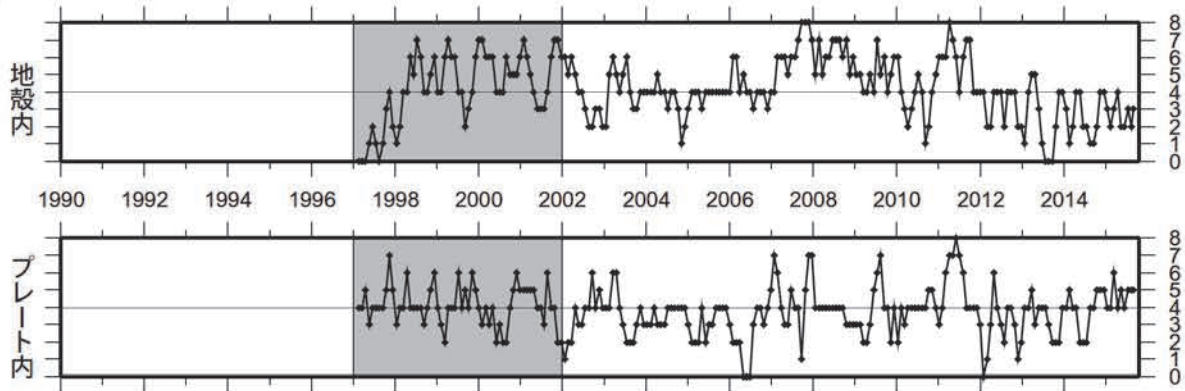
① 静岡県中西部（対象期間：90日）

1997/ 1/ 1~2015/10/14 M ≥ 1.1



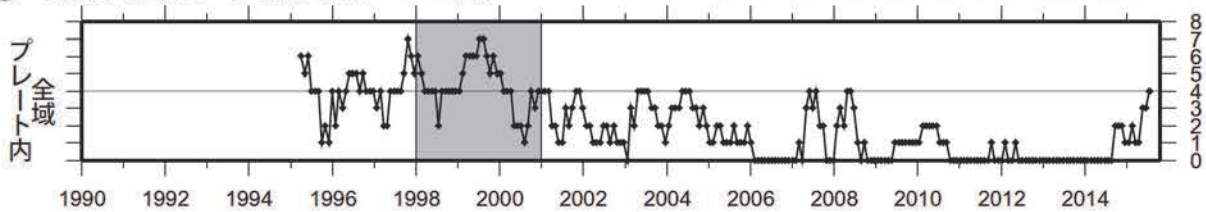
② 愛知県（対象期間：90日）

1997/ 1/ 1~2015/10/14 M ≥ 1.1



③ 浜名湖周辺（対象期間：180日）

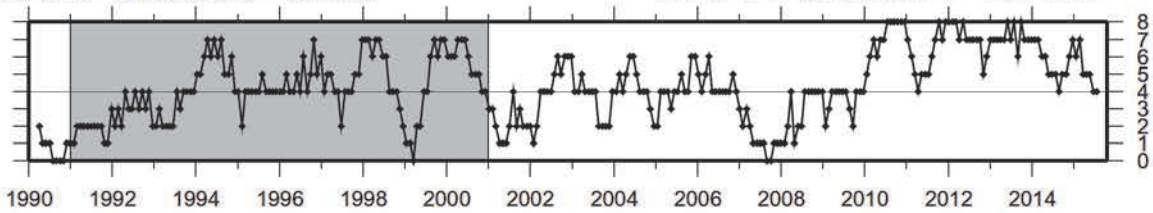
1995/ 1/ 1~2015/10/14 M ≥ 1.1



少ない
(継続中)

④ 駿河湾（対象期間：180日）

1990/ 1/ 1~2015/10/14 M ≥ 1.4



2009年8月11日の駿河湾の地震（M6.5）と2011年8月1日の駿河湾の地震（M6.2）の余震域の活動を除去した場合

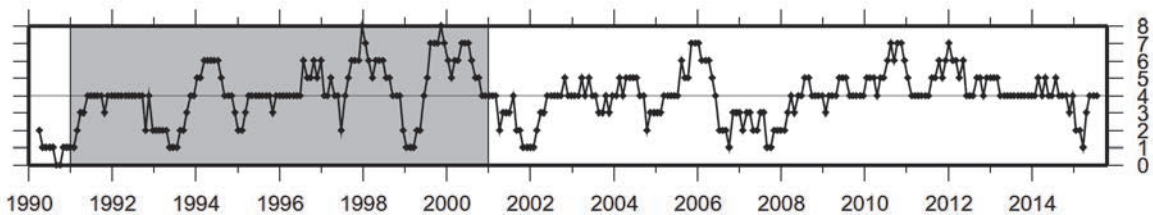


図3 東海地域の地震活動指数の推移

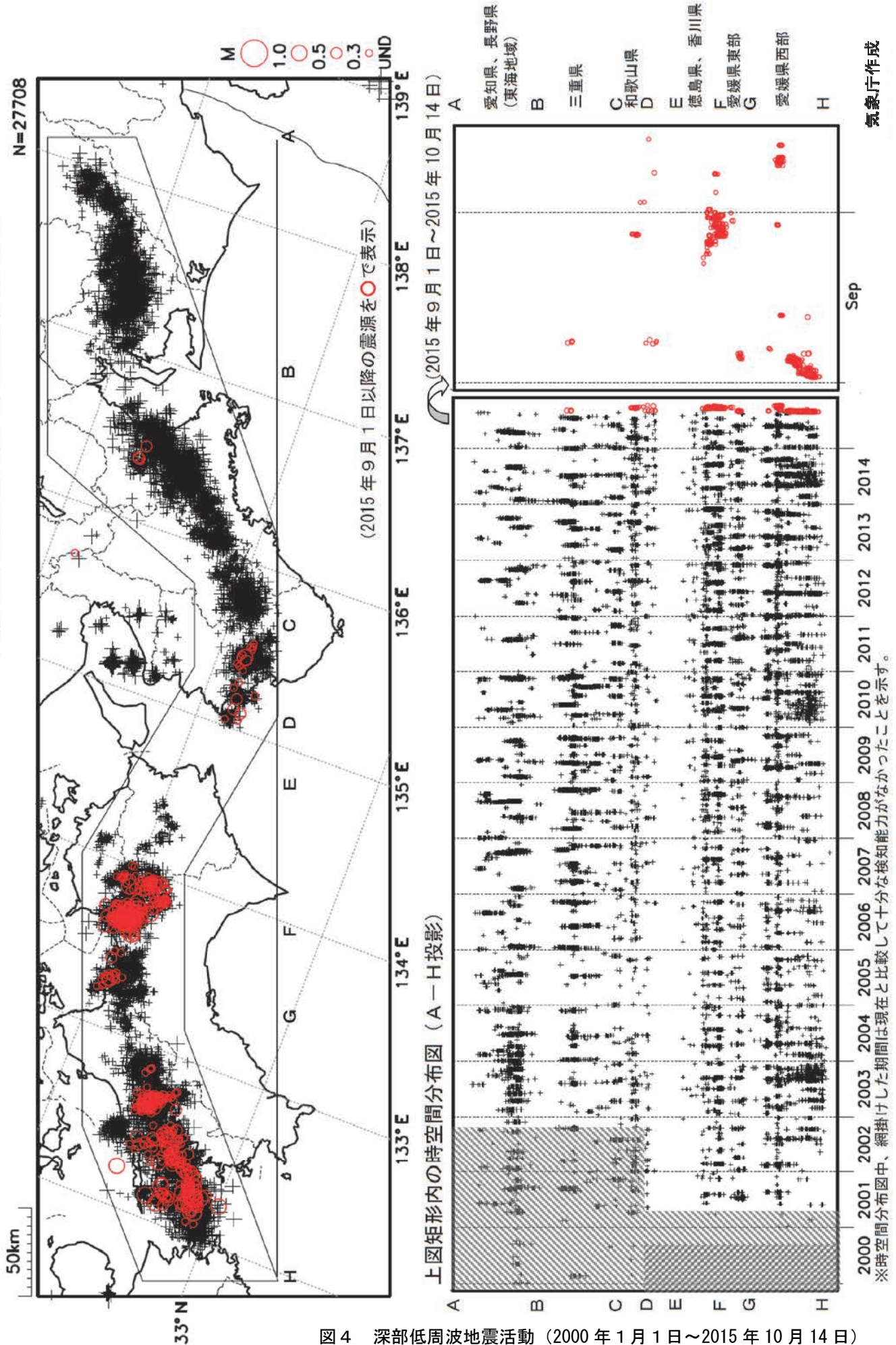
■：基準期間

／：地震活動指数（0－8）

浜名湖周辺のフィリピン海プレート内では、地震の発生頻度の低い状態が続いている。その他の地域では概ね平常レベルである。

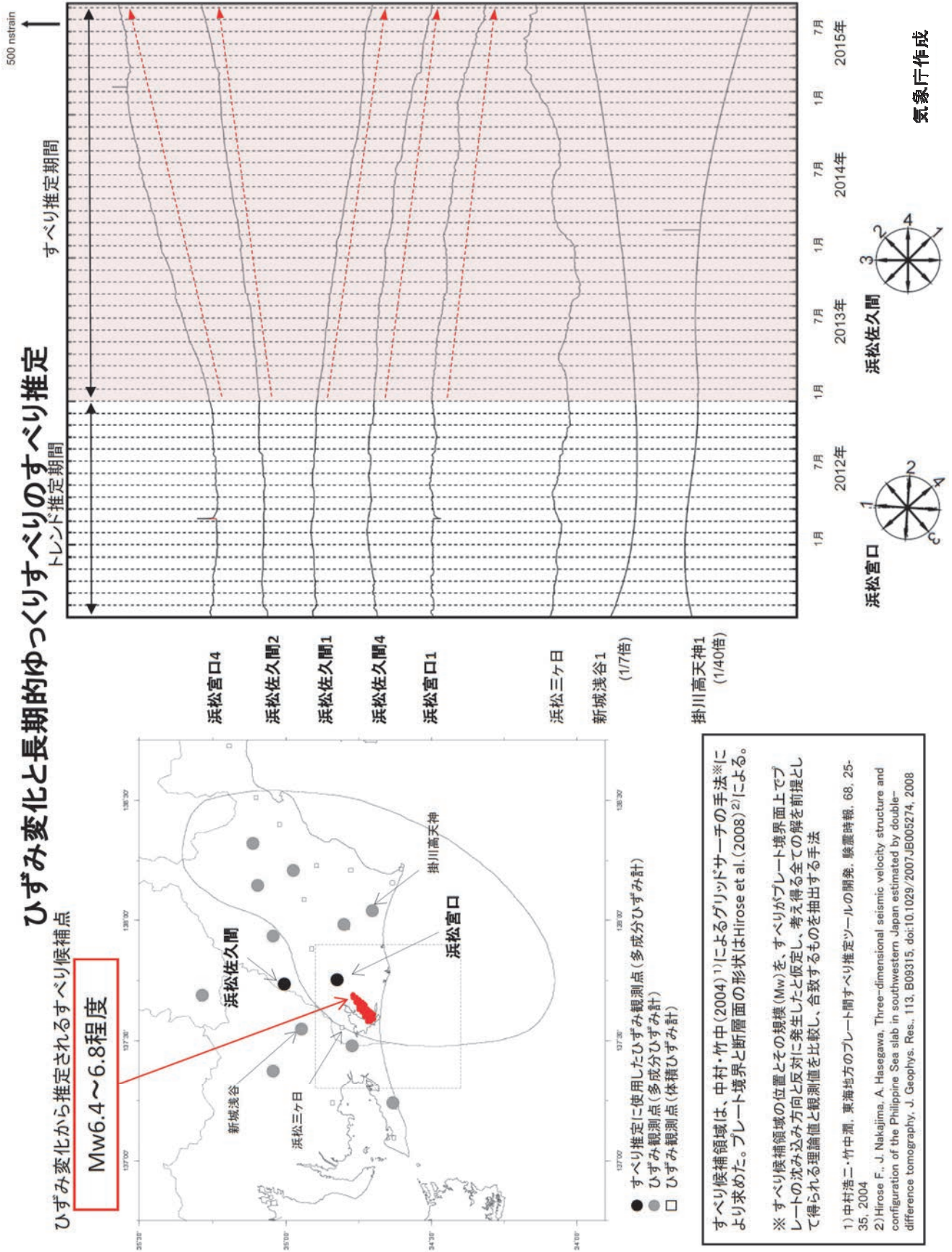
気象庁作成

深部低周波地震活動 (2000 年 1 月 1 日 ~ 2015 年 10 月 14 日)
 深部低周波地震は、「短期的ゆっくりに」に密接に関連する現象とみられており、プレート境界の状態の変化を監視するために、その活動を監視している。



気象庁作成

図 4 深部低周波地震活動 (2000 年 1 月 1 日 ~ 2015 年 10 月 14 日)

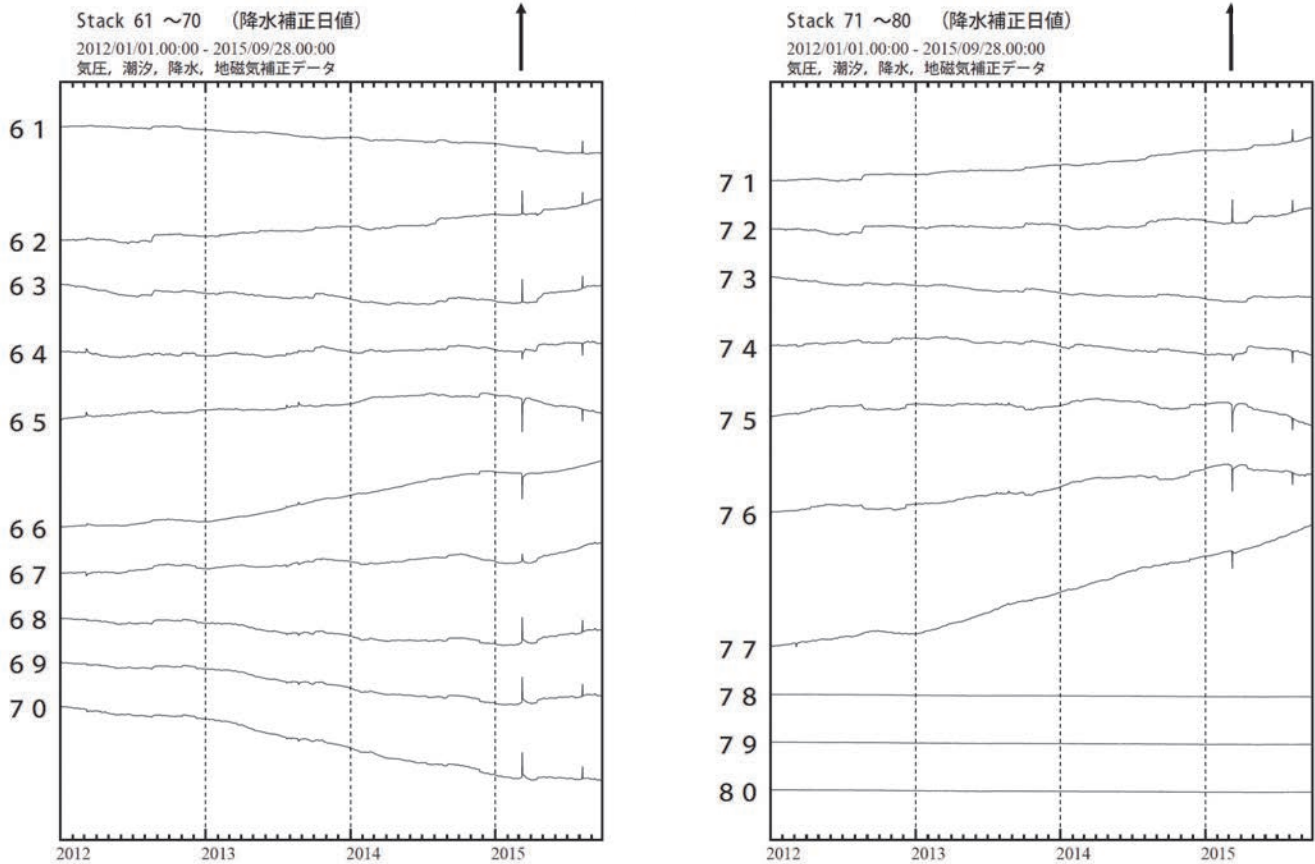


気象庁作成

図5 ひずみ変化と長期的ゆっくりすべりのすべり推定

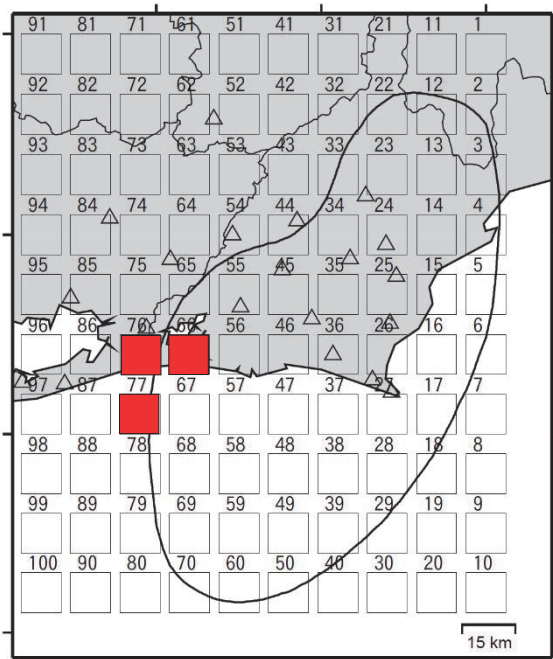
スタッキング*による長期的ゆっくりすべりの検出について

○各グリッドでの時系列変化



日値スタッキング波形。番号は監視グリッド (左下図参照) を示す。

- データ : 補正日値 (体積ひずみ計とアナログ式多成分ひずみ計)
- ノイズレベル : 2011 年 6 月~2012 年 12 月の、60 日階差 (単純な階差) の標準偏差理論値計算 : 0.15° ごとの各グリッドを中心とする、20×20km の断層



グリッド配置及びすべり位置

グリッド No.66, 76 及び No.77 に明瞭な変化が見られている。総すべり量は Mw6.6 相当となる。

□ スタッキンググリッド

*スタッキング手法は、ひずみ計のデータを重ね合わせることによって、微小な地殻変動のシグナルを強調させて、検知能力を向上させる解析方法である。

参考文献

宮岡一樹, 横田 崇 (2012): 地殻変動検出のためのスタッキング手法の開発—東海地域のひずみ計データによるプレート境界すべり早期検知への適用—, 地震 2, 65, 205-218.

図 6 スタッキングによる長期的ゆっくりすべりの検出

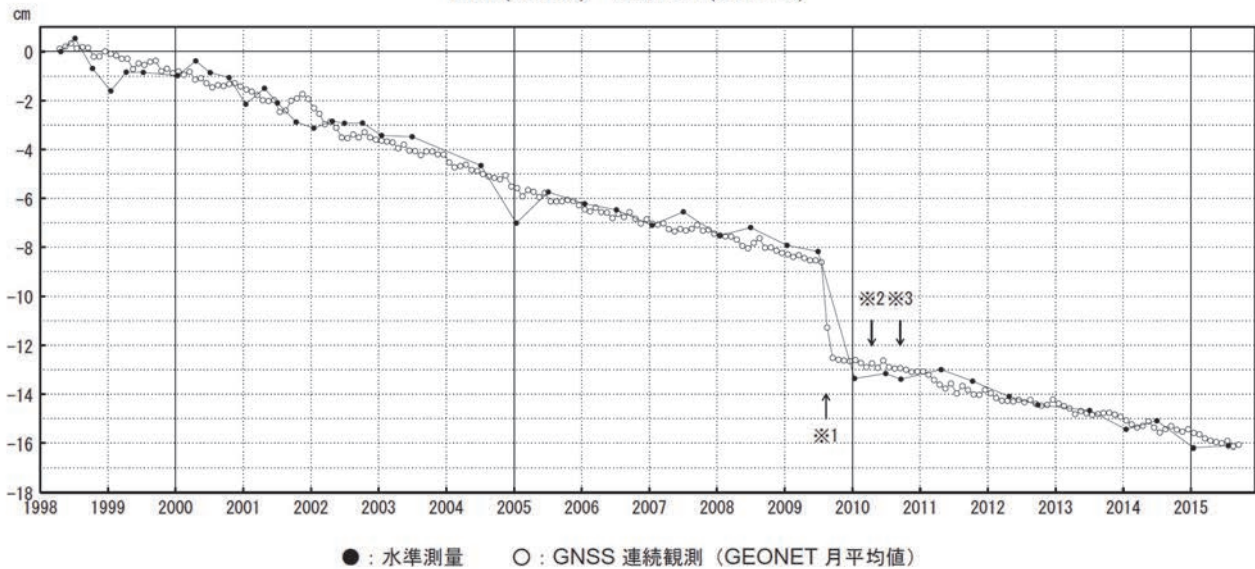
気象庁・気象研究所作成

御前崎 電子基準点の上下変動

水準測量と GNSS 連続観測

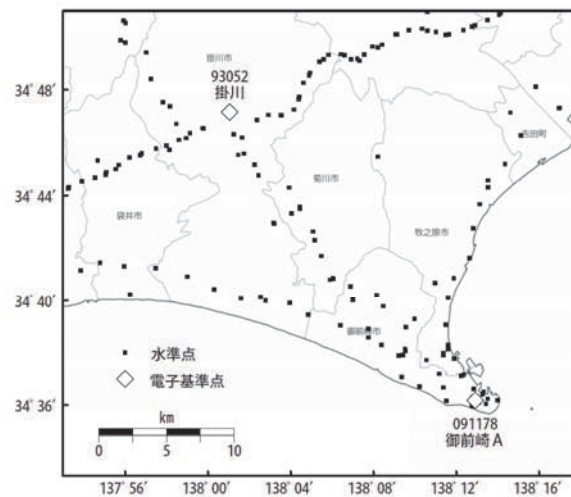
掛川に対して、御前崎が沈降する長期的な傾向が続いている。

掛川 (93052) - 御前崎 A (091178)



・ 最新のプロット点は 09/01~09/19 の平均。

- ※ 1 電子基準点「御前崎」は 2009 年 8 月 11 日の駿河湾の地震 (M6.5) に伴い、地表付近の局所的な変動の影響を受けた。
- ※ 2 2010 年 4 月以降は、電子基準点「御前崎」をより地盤の安定している場所に移転し、電子基準点「御前崎 A」とした。上記グラフは電子基準点「御前崎」と電子基準点「御前崎 A」のデータを接続して表示している。
- ※ 3 水準測量の結果は移転後初めて変動量が計算できる 2010 年 9 月から表示している。

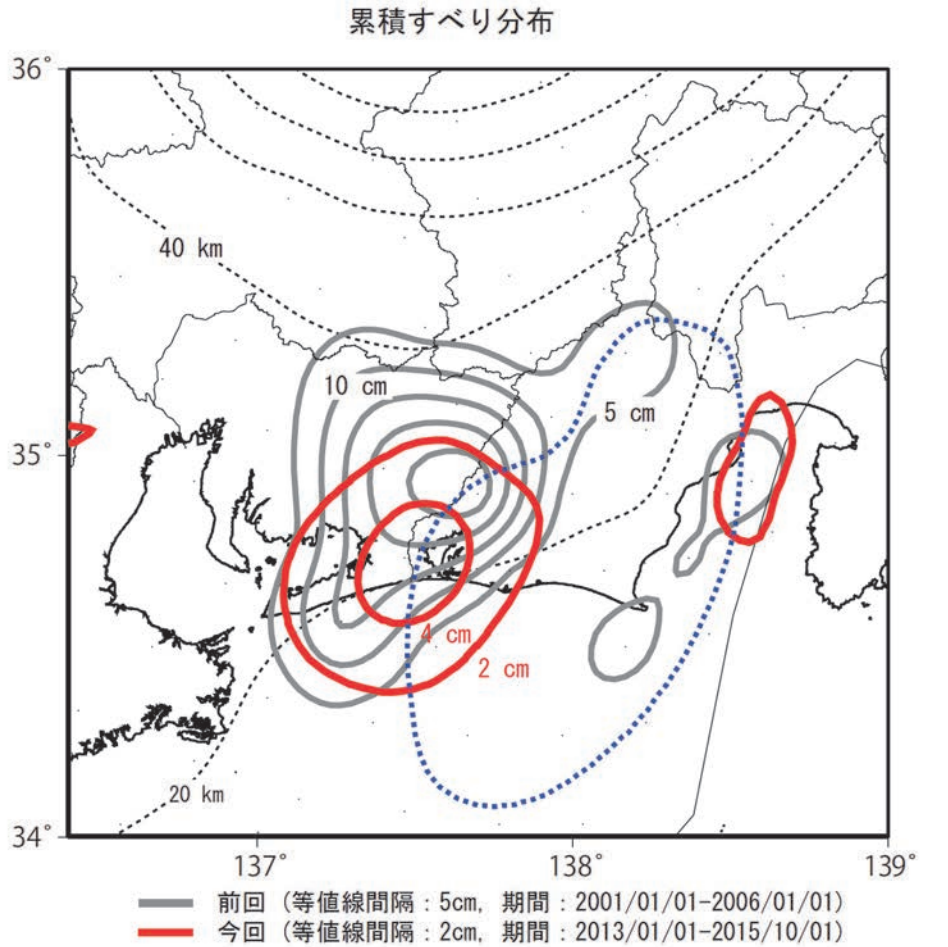


国土地理院

図 7 国土地理院 GNSS 観測結果及び水準測量による御前崎の上下変動

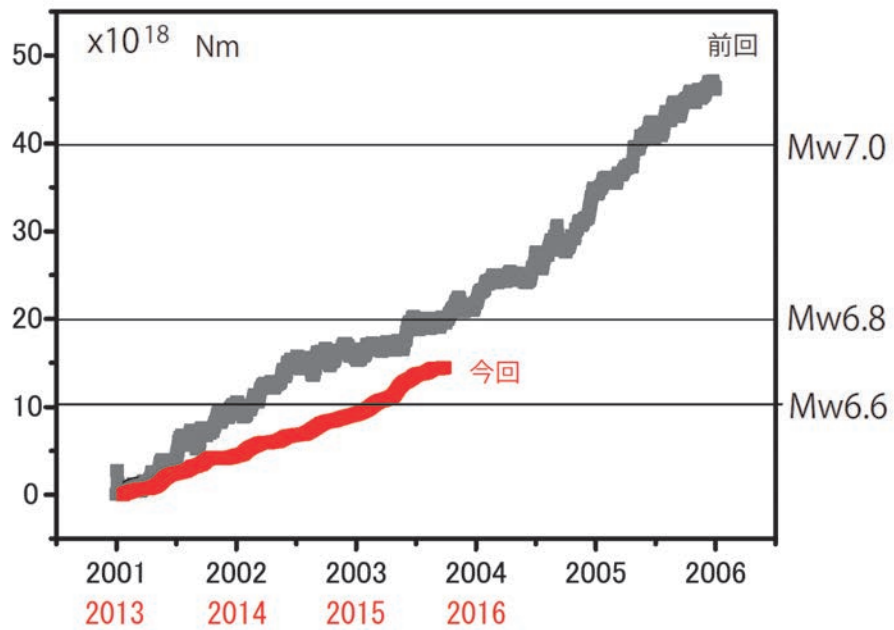
掛川から見た御前崎の上下変動を示したものである。掛川に対して御前崎が沈降するという長期的な傾向に変化は見られない。

非定常地殻変動から推定される累積すべり分布及びモーメントの時間変化（暫定）



- ・それぞれの期間の、累積のすべり量を等値線で示している。
- ・黒破線は、沈み込む海側プレート上面の等深線。
- ・青破線は、東海地震の想定震源域。

モーメントの時間変化



- ・それぞれの期間のモーメントの時間変化を、横軸を重ねて示している。

図 8 国土地理院 GNSS 観測結果による、長期的ゆっくりすべりの発生を示唆する非定常地殻変動から推定される累積すべり分布及びモーメントの時間変化の比較

● 日本の主な火山活動

口永良部島の新岳では、6月19日の噴火以降、噴火は観測されていない。

火山性地震は少ない状態で経過した。火山性微動は観測されていない。

二酸化硫黄放出量はやや少ない状況であった。

地殻変動観測では、5月29日の噴火以降に特段の変化は認められない。

火山活動が高まる傾向はみられないことから、5月29日と同程度の噴火が発生する可能性は低くなっているものと考えられる。しかしながら、5月29日の噴火前にみられた島の隆起が維持されていることから、引き続き噴火の可能性があり、火砕流にも警戒が必要と考えられる。

このことから、21日18時00分に噴火警戒レベル5（避難）を切替えた。

火砕流の流下による影響が及ぶと予想される屋久島町口永良部島の居住地域（前田地区、向江浜地区）では厳重な警戒（避難等の対応）が必要である。

噴火に伴う大きな噴石の飛散が予想される新岳火口から概ね2kmの範囲、及び火砕流の流下による影響が及ぶと予想される新岳火口の西側の概ね2.5kmの範囲では、厳重な警戒（避難等の対応）が必要である。新岳火口から半径1.4海里以内の周辺海域では、噴火による影響が及ぶ恐れがあるので、噴火に警戒が必要である。

桜島では低調な火山活動となっているが、これまでも繰り返し噴火活動が続いており、長期的な始良カルデラの膨張が認められる。このため、今後も活発な噴火活動が継続すると考えられるので、今後の火山活動の推移に注意が必要である。

昭和火口及び南岳山頂火口から概ね2kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒が必要である。

阿蘇山の中岳第一火口では、23日02時59分と06時02分に小規模な噴火が発生した。02時59分の噴火では、噴煙が火口縁上1,400mまで上がり、火口周辺に大きな噴石が飛散するのを確認した。06時02分の噴火では、噴煙が火口縁上1,600mまで上がった。

中岳第一火口では、活発な火山活動が続いており、当分の間は9月14日と同程度の噴火が発生する可能性がある。

火口から概ね2kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒が必要である。風下側では火山灰だけでなく小さな噴石が風に流されて降るため注意が必要である。

西之島では、海上保安庁等の観測によると、噴火による噴石等の堆積や溶岩の流出が継続している。

西之島では、今後も新たに形成された陸地にある火口で噴火活動が継続すると考えられる。また、西之島周辺の海底で噴火が発生する可能性も引き続き考えられ、噴火による影響が海上まで及んだ場合、弾道を描いて飛散する大きな噴石や、水面を高速で広がるベースサージ等の影響が概ね2kmの範囲に及ぶ恐れがあるので、西之島の中心から概ね4km以内では噴火に警戒が必要である。

雌阿寒岳では、1日に実施した現地調査及び上空からの観測（海上保安庁の協力による）により、今年7月の現地調査と比較してポンマチネシリ第4火口の火口壁における地熱域のわずかな拡大や、96-1火口の噴煙の勢いの増大を確認した。全磁力連続観測では、ポンマチネシリ96-1火口近傍の地下における熱活動の活発化の可能性を示す全磁力の変化が継続している。

ポンマチネシリ火口付近の浅いところを震源とする微小な火山性地震は、8月下旬以降少ない状態で経過している。

ポンマチネシリ火口から約500mの範囲では、ごく小さな噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要である。

吾妻山では、大穴火口からの噴気活動はやや活発な状態が続いている。

11日から12日にかけて実施した現地調査では、大穴火口内及びその周辺で2013年以降拡大がみられている地熱域を引き続き確認した。また、14日から15日にかけて大穴火口周辺で実施した全磁力繰り返し観測では、大穴火口周辺の地下での熱活動が活発化している可能性が考えられるデータを引き続き観測した。

大穴火口付近では小規模な噴火が発生する可能性があるため、大穴火口周辺（火口から概ね500mの

範囲）では弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要である。

草津白根山では、9月29日から10月2日にかけて実施した現地調査及び13日の上空からの観測（陸上自衛隊東部方面航空隊の協力による）で、湯釜火口内北東部や北壁及び水釜火口の北から北東側にあたる斜面で熱活動の活発な状態の継続と北側噴気地帯で噴気活動が活発化しているのが認められた。また、東京工業大学によると、北側噴気地帯のガス組成及び湯釜湖水の化学成分に火山活動の活発化を示す変化が継続している。

湯釜火口から概ね1kmの範囲では、小規模な噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要である。

浅間山では、6月19日の噴火以降、噴火は観測されていない。

山頂直下のごく浅い所を震源とする体を感じない火山性地震は多い状態が続いている。また、二酸化硫黄の放出量も多い状態で経過しており、引き続き火山活動はやや高まった状態で経過している。

14日に実施した上空からの観測（陸上自衛隊東部方面航空隊の協力による）では、山頂火口内の火口底中央部及びその周辺に高温領域が引き続き認められた。

今後も火口周辺に影響を及ぼす小規模な噴火が発生する可能性があるため、山頂火口から概ね2kmの範囲では、弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要である。

御嶽山では、7日に実施した現地調査で火口列からの噴煙活動を確認した。地震活動は低下した状態で経過しているが、昨年（2014年）8月以前の状況には戻っていない。御嶽山の火山活動は低下した状態が続き、昨年10月以降噴火が発生していないことから、昨年9月27日と同程度の噴火の可能性は低下していると考えられる。一方、火口列からの噴煙活動や地震活動が続いていることから、昨年9月27日より規模の小さな噴火が今後も突発的に発生する可能性は否定できない。

火口から概ね1kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要である。

箱根山では、大涌谷で7月1日に発生した噴火以降、噴火は観測されていない。

火山性地震は少ない状態で経過している。GNSS連続観測でみられていた箱根山を挟む基線での伸びは8月下旬頃から停滞している。

地震活動には引き続き低下傾向がみられるものの、4月の活動活発化以前の程度に戻るまでは、引き続き大涌谷周辺の火口や噴気孔での小規模な噴火の可能性があると考えられる。また、噴気活動も緩やかな低下傾向がみられるものの活発な状態である。

大涌谷周辺の想定火口域では、小規模な噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要である。

霧島山（新燃岳）では、火口直下を震源とする火山性地震が時々発生した。

GNSS観測によると、新燃岳の北西数kmの地下深くにあると考えられるマグマだまりの膨張を示す地殻変動は、2015年1月頃から停滞している。一方、新燃岳周辺の一部の基線では、わずかに伸びの傾向がみられる。

火口から概ね1kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要である。

諏訪之瀬島の御岳火口では、2日と13日及び31日に噴火が発生した。

今後も火口周辺に影響を及ぼす程度の噴火が発生すると予想されるため、火口から概ね1kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要である。

表 1 10月31日現在の火山現象に関する特別警報・警報・予報等の発表状況
 （※印のついた火山は火山現象に関する海上警報も発表中）

特別警報・警報・予報	噴火警戒レベル及びキーワード	該当火山
噴火警報	レベル5（避難）	口永良部島※
火口周辺警報	レベル3（入山規制）	阿蘇山、桜島
	入山危険	西之島※
	レベル2（火口周辺規制）	雌阿寒岳、吾妻山、草津白根山、浅間山、御嶽山、箱根山、霧島山（新燃岳）、諏訪之瀬島
	火口周辺危険	硫黄島※
噴火警報（周辺海域）	周辺海域警戒	福德岡ノ場※
噴火予報	レベル1（活火山であることに留意）	十勝岳、樽前山、倶多楽、有珠山、北海道駒ヶ岳、秋田焼山、岩手山、秋田駒ヶ岳、安達太良山、磐梯山、那須岳、新潟焼山、焼岳、白山、富士山、伊豆東部火山群、伊豆大島、三宅島、九重山、雲仙岳、霧島山（御鉢）、薩摩硫黄島
	活火山であることに留意	上記以外の活火山

*噴火警戒レベルは、その活用が地域防災計画等で予め定められており、レベル毎の防災対応がキーワードで示されている。



図 1 10月31日現在、火山現象に関する特別警報、警報及び火山現象に関する海上警報発表中の火山

各火山の 10 月の活動解説

【北海道地方】

雌阿寒岳めあかんだけ [火口周辺警戒（噴火警戒レベル 2、火口周辺規制）]

10 月 1 日に実施した現地調査及び上空からの観測（海上保安庁の協力による）では、今年 7 月の現地調査と比較して、ポンマチネシリ第 4 火口北壁における地熱域のわずかな拡大や、96-1 火口の噴煙の勢いの増大を確認した。また、昨年 10 月の現地調査と比較し 96-1 火口底の温度上昇を確認した。また、96-1 火口の噴煙の勢いの増加や強い刺激臭を感じており、火山ガスの放出量が増加している可能性がある。

全磁力¹⁾連続観測によると、全磁力¹⁾は 2014 年 3 月以降概ね横ばいで推移していたが、2015 年 3 月中旬以降は減少傾向を示している。このことから、ポンマチネシリ 96-1 火口近傍の地下では、2015 年 3 月中旬以降熱活動が活発化している可能性がある。

ポンマチネシリ火口付近の浅いところを震源とする体には感じない微小な火山性地震は、4 月中旬以降増減を繰り返しながら多い状態となっていたが、8 月以降徐々に減少してきており、8 月下旬以降は 1 日あたり概ね 10 回以下と少ない状態で経過している。

12 日 19 時 00 分頃に振幅が小さく継続時間の短い火山性微動を観測したが、微動発生の前後で噴煙の様子に特段の変化は認められず、空振計及び地殻変動のデータにも変化はなかった。

GNSS²⁾連続観測では、ポンマチ南 2 と飽別川上流を結ぶ基線と、雌阿寒温泉南 2 と飽別川上流を結ぶ基線がわずかに伸張している。このことから、雌阿寒岳の山体がわずかに膨張している可能性がある。

ポンマチネシリ火口から約 500m の範囲では、ごく小さな噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石³⁾に警戒が必要である。風下側では火山灰や小さな噴石³⁾が風に流されて降るおそれがあるため注意が必要である。

十勝岳とちかだけ [噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）]

62-2 火口及び大正火口の噴煙の高さは火口縁上概ね 200m 以下で経過した。大正火口の噴煙量は 2010 年頃からやや多い状態が続いている。

長期的にみると、62-2 火口付近のごく浅い所（海拔 0 km 以浅）を震源とする火山性地震は、2010 年頃からやや多い状態となっている。

GNSS²⁾連続観測では、2006 年以降、62-2 火口直下浅部の膨張を示すと考えられる変動が引き続き認められている。また、火口に近い前十勝

観測点では観測点周辺の局所的な変動と見られる変化が 5 月頃からみられていたが、7 月以降停滞している。より深い山体内の膨張を示す可能性がある望岳台－翁温泉－湯の滝を結ぶ基線には、特段の変化はみられていない。

十勝岳では、直ちに噴火に至る兆候は認められないが、ここ数年、山体浅部の膨張、大正火口の噴煙量増加、地震増加、火山性微動の発生、発光現象及び地熱域の拡大などを確認しており、長期的にみると十勝岳の火山活動は高まる傾向にあるので、今後の火山活動の推移に注意が必要である。

蔵前山くらまえさん [噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）]

火山活動は概ね静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められない。

山頂溶岩ドーム周辺では 1999 年以降、高温の状態が続いているので、突発的な火山ガス等の噴出に注意が必要である。

なお、以下に挙げる火山では、火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められない。

アトサヌプリ [噴火予報（活火山であることに留意）]

大雪山たいせつざん [噴火予報（活火山であることに留意）]

倶多楽くつたら [噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）]

有珠山うすざん [噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）]

北海道駒ヶ岳ほっかいどうこまがたけ [噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）]

恵山えさん [噴火予報（活火山であることに留意）]

【東北地方】

秋田駒ヶ岳あきたこまがたけ [噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）]

女岳では、2009 年から地熱域の拡大が認められている。

地震活動は概ね低調で、地殻変動及び噴気活動にも大きな変化はみられないが、地熱活動が続いているので今後の火山活動の推移に注意が必要である。

蔵王山ぞおうざん [噴火予報（活火山であることに留意）]

火山性地震は少ない状態で経過した。火山性微動は観測されていない。

GNSS²⁾連続観測では、一部の基線で 2014 年 10 月以降わずかな膨張を示す地殻変動が観測されていたが、2015 年 6 月頃から停滞している。

坊平の傾斜計⁴⁾では、南東上がりの変化が長期的に継続している。

2013 年以降、火山性地震の増加や火山性微動の発生が観測されており、2014 年 10 月以降はわずかな膨張を示す地殻変動が観測されるなど、長期的にみると火山活動はやや高まった状態にあるので、今後の火山活動の推移に注意が必要である。

あづまやま 吾妻山[火口周辺警報（噴火警戒レベル 2、火口周辺規制）]

大穴火口の噴気活動はやや活発な状態が続いている。

遠望カメラによる観測では、大穴火口（一切経山南側山腹）の噴気の高さは 100m 以下で経過した。また、2015 年 1 月以降確認している大穴火口外の噴気が引き続きみられており、噴気活動はやや活発な状況が続いている。

11 日から 12 日及び 14 日から 15 日に現地調査を実施した。大穴火口内及びその周辺で 2013 年以降拡大がみられている地熱域を引き続き確認した。また、一切経山西側の登山道沿いで弱い噴気を観測した。

大穴火口周辺で実施している全磁力¹⁾ 繰り返し観測によると、大穴火口周辺の地下での熱活動が活発化している可能性が考えられる。

大穴火口付近直下を震源とする火山性地震は、7 回（9 月：96 回）と少ない状態で経過した。火山性微動は観測されなかった。

浄土平の傾斜計⁴⁾では、2014 年 4 月以降、緩やかな西側（火口方向側）上がりの変動が継続していたが、2015 年 7 月頃から停滞している。GNSS²⁾ 連続観測では、2014 年 9 月頃から一切経山付近の膨張を示す緩やかな変化がみられていたが、2015 年 6 月頃から停滞している。国土地理院の広域的な地殻変動観測結果では、2014 年 12 月頃から一部の基線で山体の膨張を示す地殻変動がみられていたが、2015 年 7 月頃から停滞している。

大穴火口から概ね 500m の範囲では小規模な噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石³⁾ に警戒が必要である。また、大穴火口の風下側では降灰及び風の影響を受ける小さな噴石³⁾、火山ガスに注意が必要である。

なお、以下に挙げる火山では、火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められない。

いわきさん
岩木山 [噴火予報（活火山であることに留意）]

はっこうださん
八甲田山 [噴火予報（活火山であることに留意）]

あきたやげやま
秋田焼山 [噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）]

いわてさん
岩手山 [噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）]

ちようかいさん
鳥海山 [噴火予報（活火山であることに留意）]

くりこまやま
栗駒山 [噴火予報（活火山であることに留意）]

あだたらやま
安達太良山 [噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）]

ほんだいさん
磐梯山 [噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）]

【関東・中部地方及び伊豆・小笠原諸島】

くまづしらわきさん 草津白根山 [火口周辺警報（噴火警戒レベル 2、火口周辺規制）]

9 月 29 日から 10 月 2 日にかけて実施した現地調査では、前回（5 月 12 日）の観測と同様に、引き続き湯釜火口壁北側、北側噴気地帯に地熱域が認められた。北側噴気地帯の噴気活動については、前回の観測と比べ活発になっていた。また、13 日に陸上自衛隊東部方面航空隊の協力により実施した上空からの観測でも前回（3 月 16 日）同様、湯釜火口壁北側で高温域を確認した。

東京工業大学によると、北側噴気地帯のガス成分及び湯釜湖水の化学成分に火山活動の活発化を示す変化が継続している。

全磁力¹⁾ 連続観測及び繰り返し観測で、2014 年 5 月頃からみられていた湯釜近傍地下の温度上昇を示すと考えられる変化は、2014 年 7 月以降停滞している。

2014 年 3 月上旬から湯釜付近及びその南側を震源とする火山性地震が増加したが、2014 年 8 月下旬以降概ね少ない状態で経過している。

地殻変動観測によると、2014 年 4 月頃から湯釜付近の膨張を示す変動が認められていたが、2015 年 4 月頃より停滞している。

湯釜火口から概ね 1 km の範囲では、小規模な噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石³⁾ に警戒が必要である。噴火時には、風下側で火山灰や小さな噴石³⁾ が風に流されて降る恐れがあるため注意が必要である。

また、ところどころで火山ガスの噴出が見られ、周辺のくぼ地や谷地形などでは滞留した火山ガスが高濃度になることがあるので、注意が必要である。

あさまやま 浅間山[火口周辺警報（噴火警戒レベル 2、火口周辺規制）]

浅間山では、6 月 19 日の噴火以降、噴火は観測されていない。

14 日に陸上自衛隊東部方面航空隊の協力により実施した上空からの観測では、山頂火口内の火口底中央部及びその周辺に高温領域が引き続

き認められた。前回（6月24日）と比較し、山頂火口内の高温領域の分布に大きな変化はみられなかった。火口内や火口周辺に新たな噴出物は確認されず、火口内の地形に変化はみられなかった。

8日、15日及び26日に実施した現地調査では、二酸化硫黄の放出量は1日あたり600～2,000トン（前回9月30日：1,900トン）と引き続き多い状態で経過している。

山頂火口で、夜間に高感度カメラで確認できる程度の微弱な火映⁵⁾を引き続き観測しており、噴煙量は6月以降、増加している。

山頂直下のごく浅い所を震源とする体を感じない火山性地震は多い状態が続いている。発生した地震の多くはBL型地震（低周波地震）であった。7月に増加した周期の短い火山性地震（BH型地震）は、8月以降減少している。震源の浅部への移動等の変化はみられていない。火山性微動は、8月19日以降、やや増加していたが、9月は少ない状態で経過し、10月は発生しなかった。

光波測距観測⁶⁾では、6月頃から山頂と追分の間で縮みの傾向がみられており、山頂部のごく浅いところの膨張によるものと考えられる。傾斜計⁴⁾による地殻変動観測では、6月上旬頃からの穏やかな変化が継続している。国土地理院のGNSS²⁾観測でも、5月頃からわずかな伸びがみられる。これらは浅間山の西側のやや深いところを膨張源とする変化によるものと考えられる。

今後も火口周辺に影響を及ぼす小規模な噴火が発生する可能性があるため、山頂火口から概ね2kmの範囲では、弾道を描いて飛散する大きな噴石³⁾に警戒が必要である。また、風下側では降灰及び風の影響を受ける小さな噴石³⁾に注意が必要である。

みだかはら 弥陀ヶ原 [噴火予報 (活火山であることに留意)]

弥陀ヶ原近傍を震源とする火山性地震の発生回数は少なく、地震活動は低調に経過している。

16日から20日にかけて実施した現地調査では、地獄谷周辺で引き続き活発な噴気活動が認められた。

以前から熱活動が活発な立山地獄谷では、2012年6月以降の観測で噴気の拡大・活発化や温度の上昇傾向が確認されていることから、今後の火山活動の推移に注意が必要である。また、この付近では火山ガスが高濃度になることがあるので、注意が必要である。

おんたけさん 御嶽山 [火口周辺警報 (噴火警戒レベル2、火口周辺規制)]

7日に実施した現地調査では、山頂の火口列で白色噴煙の活動が継続していた。

今期間、火山性地震は少ない状態で経過しているが、2014年8月以前の状況には戻っていない。低周波地震を22日に1回観測した（9月：0回）。この地震の発生時及びその前後で、噴煙や地殻変動の観測データに火山活動の高まりを示す変化はみられていない。

御嶽山の火山活動は低下した状態が続き、昨年（2014年）10月以降噴火が発生していないことから、昨年9月27日と同程度の噴火の可能性は低下していると考えられる。

一方、噴煙活動や地震活動が続いていることから、昨年9月27日より規模の小さな噴火が今後も突発的に発生する可能性は否定できない。火口から概ね1kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石³⁾に警戒が必要である。風下側では降灰及び風の影響を受ける小さな噴石³⁾に注意が必要である。

ふじさん 富士山 [噴火予報 (噴火警戒レベル1、活火山であることに留意)]

2011年3月15日に静岡県東部（富士山の南部付近）で発生したマグニチュード6.4の地震以降、地震活動が活発な状況となっていたが、その後、地震活動は低下してきている。その他の観測データでも浅部の異常を示すものはない。火山活動に特段の変化はなく、噴火の兆候は認められない。

はこねやま 箱根山 [火口周辺警報 (噴火警戒レベル2、火口周辺規制)]

箱根山では、大涌谷で7月1日に発生した噴火以降、噴火は観測されていない。

9日に実施した現地調査では、これまでの調査と同様に15-1火口及び15-2～4の各噴気孔、また、その周辺の大涌谷温泉供給施設から引き続き噴煙や噴気が勢いよく噴出しているのを確認した。前回（9月29日）の調査と同様に、15-1火口内部で土砂噴出とみられる現象を観測した。現象の規模は小さく、噴出の高さは火口縁以下で、観測中火口縁から外へ噴出物が飛散することはなかった。15-1火口の大きさ及び形状の変化は認められなかった。赤外熱映像装置⁷⁾による観測では、引き続き15-1火口の東側で高温領域を確認した。大涌谷全体の状況としては、前回の現地調査の時と比較して、噴煙や噴気の量に大きな変化はみられていない。

火山性地震は7月以降減少しており、少ない状態で経過している。低周波地震及び火山性微

動は観測されていない。

気象庁と神奈川県温泉地学研究所が設置している傾斜計⁴⁾及び気象庁の湯河原鍛冶屋の体積ひずみ計⁸⁾では8月以降火山活動に関連する変動は見られていない。国土地理院のGNSS²⁾連続観測によると、箱根山周辺の基線で4月から山体の膨張を示す地殻変動がみられていたが、8月下旬頃からその傾向が停滞している。

地震活動には引き続き低下傾向がみられるものの、4月の活動活発化以前の程度に戻るまでは、引き続き大涌谷周辺の火口や噴気孔での小規模な噴火の可能性があると考えられる。また、噴気活動も緩やかな低下傾向がみられるものの活発な状態である。

大涌谷周辺の想定火口域では小規模な噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石³⁾に警戒が必要である。また、風下側では火山灰や風に流されて降る小さな噴石³⁾や火山ガスに注意が必要である。

いずのおしま **伊豆大島【噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）】**

16日に西方沖を震源とする火山性地震が一時的に増加した。それ以降、火山性地震の発生回数は少ない状態で経過している。低周波地震や火山性微動は観測されていない。

26日に実施した現地調査では、三原山山頂火口内及びその周辺でごく弱い噴気が引き続き確認された。また、中央火口内の地表面温度分布は、前回（9月29日）の観測と比べ、特段の変化は認められなかった。その他、三原山山頂周辺の噴気温度にも特段の変化は認められない。

GNSS²⁾による観測では、地下深部へのマグマの供給によると考えられる島全体の膨張傾向が続いている。2011年頃から鈍化していたが、2013年8月頃から再び膨張傾向がみられる。その他の観測データには特段の変化はなく、噴火の兆候は認められない。山体の膨張が継続していることから、今後の火山活動に注意が必要である。

みやげしま **三宅島【噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）】**

山頂浅部を震源とする地震は概ね少ない状態で経過している。8日に実施した現地調査では、二酸化硫黄の放出量は1日あたり平均100トン（前回7月21日：400トン）で、やや少ない状態であった。火山ガス放出量は、長期的に減少傾向にあり、2013年9月以降は1日あたり500トン以下で経過している。

9日に実施した現地調査では、主火口及びその周辺で引き続き高温領域が認められ、前回の観測（2015年9月29日）と比べ、火口内の地

形及び高温領域の分布に特段の変化は認められなかった。

GNSS²⁾連続観測によると、2000年以降、山体浅部の収縮を示す地殻変動は徐々に小さくなり、2013年頃から停滞している。島内の長距離の基線で2006年頃から伸びの傾向がみられるなど、山体深部の膨張を示す地殻変動が継続している。

火口内では噴出現象が突発的に発生する可能性があるため、山頂火口内及び主火口から500m以内では火山灰噴出に警戒が必要である。また、火山ガスの放出が継続していることから、火山ガス予報で火山ガスの濃度が高くなる可能性があるためと予想される地域では警戒が必要である。

にしのおしま **西之島【火口周辺警戒（入山危険）及び火山現象に関する海上警戒】**

海上保安庁等の観測によると、噴火による噴石等の堆積や溶岩の流出が継続している。13日に海上保安庁が、18日に第三管区海上保安本部が、29日に海上自衛隊が上空からの観測を実施した。

13日の観測では、第7火口で小規模な噴火を3～5分毎に繰り返しているのが確認された。

溶岩流出が続く火砕丘北東斜面下では、溶岩原の厚みが増しており、溶岩流出口から溶岩流が北方向及び西方向の2方向へ流下していた。

海岸線に到達した溶岩流は認められず、西之島の海岸線に顕著な変化はなかった。

西之島の海岸には、幅約200～500mの青白色の変色水が分布していた。

18日の観測では、第7火口から約5分間に1回程度の間隔で灰色の噴煙を噴出していた。噴火の継続時間は約1分であった。西之島周辺の海岸付近に薄い黄緑色の変色水域が分布していた。

29日の観測では、観測中（11時50分～11時53分）に第7火口の噴火は確認できなかったが、火口付近に弱い噴気が認められた。西之島の海岸に沿って幅約50m～200mの黄緑色の変色水が分布していた。

13日及び18日の観測時に、西之島及び新たな陸地には、津波を発生させる恐れのある海岸線に平行して走る断層やクラックは認められなかった。

西之島では、今後も新たに形成された陸地にある火口で噴火活動が継続すると考えられる。

また、西之島周辺の海底で噴火が発生する可能性も引き続き考えられ、噴火による影響が海上まで及んだ場合、弾道を描いて飛散する大きな噴石³⁾や水面を高速で広がるベースサージ⁹⁾等の影響が概ね2kmの範囲に及ぶおそれがあるので、西之島の中心から概ね4km以内の範囲で

は噴火に警戒が必要である。

硫黄島 [火口周辺警戒（火口周辺危険）及び火山現象に関する海上警戒]

火山性地震はやや少ない状態で経過した。火山性微動は 2 回発生した。火山性微動が観測された時間帯に、その他の観測データに異常は認められなかった。

GNSS²⁾ 連続観測によると、地殻変動は 2014 年 2 月下旬頃から隆起・停滞を繰り返し、2015 年 3 月頃から隆起速度が上がっている。また、国土地理院の GNSS²⁾ 観測によると 2015 年 4 月中旬頃から西向きの変動速度が上がっていたが、9 月以降は停滞している。

硫黄島の島内は全体に地温が高く、多くの噴気地帯や噴気孔があり、過去には各所で小規模な噴火が発生している。このことから火山活動はやや活発な状態で推移しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火が発生すると予想されるので、従来から小規模な噴火が発生している地点（ミリオンダラーホール（旧噴火口）等）及びその周辺では噴火に警戒が必要である。

福德岡ノ場 [噴火警戒（周辺海域警戒）及び火山現象に関する海上警戒]

18 日に第三管区海上保安本部が実施した上空からの観測では、福德岡ノ場付近の海面で火山活動によるとみられる変色水等は認められなかった。これまでの観測によると、福德岡ノ場では長期にわたり火山活動によるとみられる変色水や浮遊物が確認されており、2010 年 2 月 3 日には小規模な海底噴火が発生している。

今後も小規模な海底噴火が発生すると予想されるので、周辺海域では噴火に警戒が必要である。

なお、以下に挙げる火山では、火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められない。

那須岳 [噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）]

日光白根山 [噴火予報（活火山であることに留意）]

新潟焼山 [噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）]

焼岳 [噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）]

白山 [噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）]

乗鞍岳 [噴火予報（活火山であることに留意）]

伊豆東部火山群 [噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）]

新島 [噴火予報（活火山であることに留意）]

神津島 [噴火予報（活火山であることに留意）]

八丈島 [噴火予報（活火山であることに留意）]

青ヶ島 [噴火予報（活火山であることに留意）]

【九州地方及び南西諸島】

九重山 [噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）]

26 日及び 27 日に実施した現地調査では、噴気の状態に特段の変化は認められなかった。

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められないが、GNSS²⁾ 連続観測によると、わずかに伸びの傾向が認められるので、今後の火山活動の推移に注意が必要である。

阿蘇山 [火口周辺警戒（噴火警戒レベル 3、入山規制）]

中岳第一火口では、23 日 02 時 59 分と 06 時 02 分に小規模な噴火が発生した。02 時 59 分の噴火では、噴煙が火口縁上 1,400m まで上がり、火口周辺に大きな噴石³⁾ が飛散し、06 時 02 分の噴火では、噴煙が火口縁上 1,600m まで上がった。

23 日に実施した現地調査では、中岳第一火口周辺の北西から西にかけて、飛散した大きな噴石³⁾ を確認した。

火山性微動の振幅は消長を繰り返しながら 19 日以降大きな状態で経過していたが、23 日 02 時 27 分に発生したごく小規模な噴火以降、概ね小さな状態となった。

孤立型微動は 23 日の噴火前まで概ね多い状態が続いた。火山性地震は時々発生した。

二酸化硫黄の放出量は、1 日あたり 300～1,900 トンであった（9 月：900～1,900 トン）。

傾斜計⁴⁾ では、火山活動に起因すると考えられる特段の変化は認められなかった。GNSS²⁾ 連続観測では、深部にマグマだまりがあると考えられている草千里を挟む基線で、8 月頃からわずかな伸びの傾向が認められる。

中岳第一火口では、活発な火山活動が続いており、当分の間は 9 月 14 日と同程度の噴火が発生する可能性がある。火口から概ね 2 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石³⁾ 及び火砕流に警戒が必要である。風下側では降灰及び風の影響を受ける小さな噴石³⁾ に注意が必要である。

雲仙岳 [噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）]

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過し

ており、噴火の兆候は認められないが、長期的には 2010 年頃から火山性地震の活動がやや活発となっているので、今後の火山活動の推移に注意が必要である。

霧島山（新燃岳）^{まりしまやま しんもえだけ} [火口周辺警報（噴火警戒レベル 2、火口周辺規制）]

新燃岳火口直下を震源とする火山性地震が時々発生した。火山性地震の月回数は 50 回（9 月：7 回）であった。このうち、30 日（18 回）と 31 日（17 回）に一時的に増加した。火山性微動は観測されなかった。

GNSS²⁾ 観測によると、新燃岳の北西数 km の地下深くにあると考えられるマグマだまりの膨張を示す地殻変動は、2015 年 1 月頃から停滞している。一方、新燃岳周辺の一部の基線では、わずかに伸びの傾向がみられる。

新燃岳では火口周辺に影響のある小規模な噴火が発生する可能性があるため、新燃岳火口から概ね 1 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石³⁾ に警戒が必要である。風下側では降灰及び風の影響を受ける小さな噴石³⁾ に注意が必要である。降雨時には、泥流や土石流に注意が必要である。

霧島山（御鉢）^{まりしまやま おはち} [噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）]

7 月頃から火山性地震の活動がやや活発となっているが、10 月の月回数は 16 回で前月（9 月：50 回）と比べ減少した。火山性微動は観測されなかった。

火山活動に特段の変化はなく、噴火の兆候は認められないが、7 月頃から火山性地震の活動がやや活発となっているので、今後の火山活動の推移に注意が必要である。

霧島山（えびの高原（硫黄山）周辺）^{まりしまやま} [噴火予報（活火山であることに留意）]

19 日 15 時 46 分頃に継続時間が約 3 分 30 秒の振幅の小さな火山性微動が発生し、31 日 13 時 04 分頃にも継続時間が約 2 分 30 秒の振幅の小さな火山性微動が発生した。この周辺で火山性微動が発生したのは 2015 年 9 月 2 日以来である。19 日及び 31 日の火山性微動の発生に伴い、韓国岳北東観測点の傾斜計⁴⁾ で、硫黄山の北西方向がごくわずかに隆起するような変動を観測した。火山性地震は火山性微動の発生に伴い 19 日（14 回）と 31 日（17 回）に一時的に増加し、月回数は 68 回（9 月：28 回）であった。

20 日、28 日、31 日に実施した現地調査では、硫黄山及びその周辺では噴気は認められなかった。赤外熱映像装置⁷⁾ による観測では、地表面

温度分布に特段の変化は認められなかった。なお、硫黄山の一部で引き続き硫化水素臭が認められた。

GNSS²⁾ 連続観測によると、えびの高原周辺の一部の基線では、わずかに伸びの傾向が認められる。

噴気は認められないが、7 月頃から振幅の小さな火山性微動が発生する等、火山活動がやや高まってきているので、今後の火山活動の推移に注意が必要である。

桜島^{さくらじま} [火口周辺警報（噴火警戒レベル 3、入山規制）]

昭和火口では、ごく小規模な噴火が時々発生したが、爆発的噴火は発生しなかった。南岳山頂火口では、噴火は観測されていない。

火山性地震の月回数は 47 回で、前月（9 月：569 回）と比べ減少した。震源は南岳直下の深さ 2～3 km 付近と、南岳の西約 2 km の深さ 4～6 km 付近、及び南岳の東約 2.5 km の深さ 5 km 付近に分布した。

桜島島内での傾斜計⁴⁾、伸縮計¹⁰⁾ による観測では、8 月 15 日の急激な山体膨張を示す変動以降、大きな変化はみられない。GNSS²⁾ による観測では、島内でみられていた 2015 年 1 月頃から山体膨張の傾向は、8 月中旬の急激な山体膨張の変動以降、山体の収縮傾向に転じている。

7 日及び 13 日に実施した現地調査では、二酸化硫黄の放出量は 1 日あたり 70 トン（9 月：80～400 トン）と、少ない状態で経過した。

桜島の火山活動は低調となっているが、これまでも繰り返し噴火活動が続いており、長期的な始良カルデラの膨張が認められる。このため、今後も活発な噴火活動が継続すると考えられるので、今後の火山活動の推移に注意が必要である。

昭和火口及び南岳山頂火口から概ね 2 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石³⁾ 及び火砕流に警戒が必要である。風下側では火山灰だけでなく小さな噴石³⁾（火山れき¹¹⁾）が遠方まで風に流されて降るため注意が必要である。爆発的噴火に伴う大きな空振によって窓ガラスが割れるなどのおそれがあるため注意が必要である。また、降雨時には土石流に注意が必要である。

薩摩硫黄島^{さつまいおうじま} [噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）]

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められないが、硫黄岳山頂火口では噴煙活動が続いており、火山灰等の噴出する可能性があ

る。また、火口付近では火山ガスに注意が必要である。

くちのえらぶじま
口永良部島[噴火警報(噴火警戒レベル5、避難)及び火山現象に関する海上警報]←21日に噴火警報(噴火警戒レベル5、避難)及び火山現象に関する海上警報を切り替え

新岳では、6月19日の噴火以降、噴火は観測されていない。

14日に東京大学大学院理学系研究科、京都大学防災研究所、屋久島町及び気象庁が実施した観測では、二酸化硫黄の放出量は1日あたり300トン(前回9月12日:100トン)とやや少ない状況であった。15日に実施した現地調査では、火口周辺の地形や噴気等の状況に変化は見られなかった。また、赤外熱映像装置⁷⁾による観測では、2015年3月頃から5月29日の噴火前に温度上昇が認められていた新岳火口西側割れ目付近の領域の温度は、低下していた。

火山性地震は少ない状態で経過した。火山性微動は観測されていない。

地殻変動観測では、5月29日の噴火以降に特段の変化は認められない。

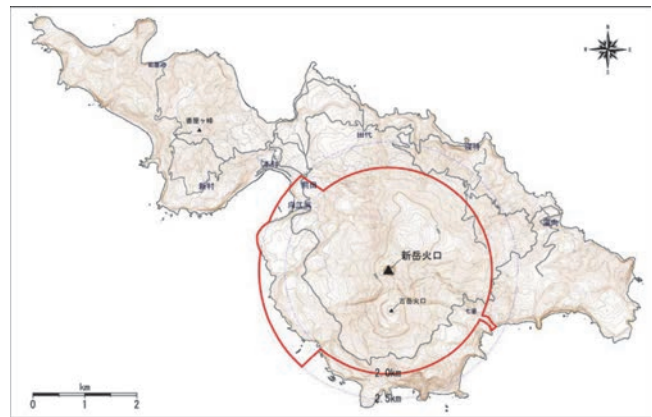
火山活動が高まる傾向はみられないことから、5月29日と同程度の噴火が発生する可能性は低くなっているものと考えられる。しかしながら、5月29日の噴火前にみられた島の隆起が維持されていることから、引き続き噴火の可能性があり、火砕流にも警戒が必要と考えられる。

このことから、21日に噴火警報(噴火警戒レベル5、避難)を切り替えた。

火砕流の流下による影響が及ぶと予想される屋久島町口永良部島の居住地域(前田地区、向江浜地区)では厳重な警戒(避難等の対応)が必要である。

噴火に伴う大きな噴石³⁾の飛散が予想される新岳火口から概ね2kmの範囲、及び火砕流の流下による影響が及ぶと予想される新岳火口の西側の概ね2.5kmの範囲では、厳重な警戒(避難等の対応)が必要である。風下側では、火山灰だけでなく小さな噴石³⁾が遠方まで風に流されて降るため注意が必要である。降雨時には土石流の可能性があるので注意が必要である。

新岳火口から半径1.4海里以内の周辺海域では、噴火による影響が及ぶ恐れがあるので、噴火に警戒が必要である。



口永良部島 警戒が必要な範囲

(新岳火口から概ね2kmの範囲及び火砕流の流下による影響が及ぶと予想される新岳火口の西側の概ね2.5kmの範囲)

すわのせじま
諏訪之瀬島[火口周辺警報(噴火警戒レベル2、火口周辺規制)]

御岳火口では、2日、13日及び31日に噴火が発生し、灰白色の噴煙が最高で火口縁上800mまで上がった。十島村役場諏訪之瀬島出張所によると、2日の噴火に伴って鳴動が確認された。爆発的噴火は発生しなかった。同火口では、夜間に高感度カメラで火映⁵⁾を観測した。

今後も火口周辺に影響を及ぼす程度の噴火が発生すると予想されるので、火口から概ね1kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石³⁾に警戒が必要である。風下側では火山灰だけでなく小さな噴石³⁾が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意が必要である。

なお、以下に挙げる火山では、火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められない。

つるみだけ がらみだけ
鶴見岳・伽藍岳[噴火予報(活火山であることに留意)]

- 1) 火山体の南側で全磁力を観測した場合、全磁力値が減少すると火山体内部で温度上昇が、全磁力値が増加すると火山体内部で温度低下が生じていると推定される。
- 2) GNSS (Global Navigation Satellite Systems) とは、GPSをはじめとする衛星測位システム全般を示す呼称である。
- 3) 噴石については、大きさによる風の影響の程度の違いによって飛散範囲が大きく異なる。本文中「大きな噴石」とは、「風の影響を受けず弾道を描いて飛散する大きな噴石」のことであり、「小さな噴石」とは、それより小さく「風に流されて降る小さな噴石」のことである。
- 4) 火山活動による山体の傾きを精密に観測する機器。火山体直下へのマグマの貫入等により変化が観測されることがある。
- 5) 赤熱した溶岩や高温の火山ガス等が、噴煙や雲に映って明るく見える現象。
- 6) レーザなどを用いて山体に設置した反射鏡までの距離を測定する機器。山体の膨張や収縮による距離の変化を観測する。

- 7) 赤外熱映像装置は物体が放射する赤外線を感知して温度分布を測定する測器である。熱源から離れた場所から測定することができる利点があるが、測定距離や大気等の影響で実際の熱源の温度よりも低く測定される場合がある。
- 8) センサーで周囲の岩盤から受ける力による体積の変化をとらえ、岩石の伸びや縮みを精密に観測する機器。火山体直下へのマグマの貫入等で変化が観測されることがある。
- 9) 火山ガスと火山灰等の混合物が、水面や地表面を高速で横方向に広がり、地表の物を巻き込む現象。人体や建物、船舶等に大きな被害を与える恐れがあり、とても危険である。
- 10) 火山活動による地殻の伸び縮みを観測する機器。マグマ溜まりや火道内の圧力増加によって生じる火口周辺の変化が観測されることがある。
- 11) 霧島山・桜島では「火山れき」の用語が地元で定着していると考えられることから、付加表現している。

表 2 平成 27 年 10 月の火山現象に関する特別警報、警報、予報及び情報等の発表履歴

火山名	特別警報、警報及び予報の状況	発表した火山現象に関する特別警報・警報・予報・情報		概要
		種類、号数等	発表日時	
口永良部島	噴火警報 (噴火警戒レベル 5、避難)	解説情報 第 297 号～317 号 第 319 号～328 号	1 日～31 日 16 時 00 分	噴煙・地震回数等火山活動の状況。現地調査の状況。
		解説情報第 318 号	21 日 18 時 00 分	第 133 回火山噴火予知連絡会見解
		噴火警報	21 日 18 時 00 分	噴火警戒レベル 5（避難）を切り替え、警戒が必要な範囲を新岳火口から概ね 2 km の範囲及び新岳火口の西側の概ね 2.5 km の範囲に設定。
		火山活動解説資料	21 日 18 時 30 分	
阿蘇山	火口周辺警報 (噴火警戒レベル 3、入山規制)	解説情報 第 81 号～86 号 第 88 号～90 号	2 日、5 日、9 日、 13 日、16 日、19 日、 23 日、26 日、30 日 16 時 00 分	噴火活動・火山性微動等火山活動の状況。現地調査の状況。
		解説情報第 87 号	21 日 18 時 00 分	第 133 回火山噴火予知連絡会見解
		降灰予報（詳細）	23 日 03 時 23 分	噴火発生から 6 時間先までに予想される降灰量分布や降灰開始時刻を予想。
桜島	火口周辺警報 (噴火警戒レベル 3、入山規制)	解説情報 第 114 号～122 号	2 日、5 日、9 日、 13 日、16 日、19 日、 23 日、26 日、30 日 16 時 00 分	噴火活動・地震回数等火山活動の状況。現地調査の状況。
雌阿寒岳	火口周辺警報 (噴火警戒レベル 2、火口周辺規制)	解説情報 第 42 号～50 号	2 日、5 日、9 日、 12 日、16 日、19 日、 23 日、26 日、30 日 16 時 00 分	噴煙・地震回数等火山活動の状況。現地調査及び上空からの観測の状況。
		火山活動解説資料	2 日 17 時 00 分	1 日に実施した現地調査及び上空からの観測の状況。
吾妻山	火口周辺警報 (噴火警戒レベル 2、火口周辺規制)	解説情報 第 50 号～53 号	5 日、13 日、19 日、 26 日 16 時 00 分	噴気・地殻変動・地震回数等火山活動の状況。
草津白根山	火口周辺警報 (噴火警戒レベル 2、火口周辺規制)	解説情報 第 42 号～46 号	2 日、9 日、16 日、 23 日、30 日 16 時 00 分	地殻変動・地震回数等火山活動の状況。
浅間山	火口周辺警報 (噴火警戒レベル 2、火口周辺規制)	解説情報 第 77 号～85 号	2 日、5 日、9 日、 12 日、16 日、19 日、 23 日、26 日、30 日 16 時 00 分	噴煙・火山性地震・火山性微動等火山活動の状況。現地調査及び上空からの観測の状況。
御嶽山	火口周辺警報 (噴火警戒レベル 2、火口周辺規制)	解説情報 第 81 号～85 号	2 日、9 日、16 日、 23 日、30 日 16 時 00 分	噴煙・火山性地震・火山性微動等火山活動の状況。
箱根山	火口周辺警報 (噴火警戒レベル 2、火口周辺規制)	解説情報 第 138 号～142 号	2 日、9 日、16 日、 23 日、30 日 16 時 00 分	噴気・地震回数等火山活動の状況。現地調査の状況。
霧島山 (えびの高原 (硫黄山) 周辺)	噴火予報 (活火山であることに留意)	解説情報 第 41 号、第 42 号	19 日 17 時 05 分 20 日 11 時 55 分	19 日に発生した火山性微動と増加した火山性地震の状況。現地調査の状況。
		火山活動解説資料	20 日 16 時 30 分	
		解説情報 第 43 号、第 44 号	28 日 09 時 20 分 28 日 16 時 50 分	27 日に増加した火山性地震の状況。現地調査の状況。
		火山活動解説資料	28 日 18 時 00 分	
		解説情報 第 45 号、第 46 号	31 日 15 時 20 分 31 日 19 時 10 分	31 日に発生した火山性微動と増加した火山性地震の状況。現地調査の状況。

注) 表中、解説情報とは「火山の状況に関する解説情報」のことである。この他、三宅島においては毎日 07 時と 17 時に火山ガス予報を発表している。阿蘇山、桜島、諏訪之瀬島、口永良部島においては、毎日 02 時から 3 時間毎に 8 回降灰予報（定時）を発表している。

資料 1 全国の火山現象に関する特別警報・警報・予報の発表状況のまとめ（平成 27 年 10 月 31 日現在）

(1) 主な活火山

噴火警報、火口周辺警報及び噴火予報の発表履歴欄には、平成 19 年 12 月 1 日の警報及び予報の発表と噴火警戒レベルの運用開始からの経過を示す。この表では、主な活火山として、警報を発表している、または常時観測を行っている火山を示している。また、ここで示すレベルは噴火警戒レベルである。

	火山名	特別警報、警報及び予報の発表状況	特別警報、警報及び予報の発表履歴
北海道地方	アトサヌプリ	噴火予報(活火山であることに留意)	2007年12月1日 噴火予報(平常)
	雌阿寒岳	火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制)	2007年12月1日 噴火予報(平常) 2008年9月29日 火口周辺警報(火口周辺危険) 2008年10月17日 噴火予報(平常) 2008年11月17日 火口周辺警報(火口周辺危険) 2008年12月16日 火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2009年4月10日 噴火予報(レベル1、平常) 2015年7月28日 火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制)
	大雪山	噴火予報(活火山であることに留意)	2007年12月1日 噴火予報(平常)
	十勝岳	噴火予報(レベル1、活火山であることに留意)	2007年12月1日 噴火予報(平常) 2008年12月16日 噴火予報(レベル1、平常) 2014年12月16日 火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2015年2月24日 噴火予報(レベル1、平常)
	樽前山	噴火予報(レベル1、活火山であることに留意)	2007年12月1日 噴火予報(レベル1、平常)
	倶多楽	噴火予報(レベル1、活火山であることに留意)	2007年12月1日 噴火予報(平常) 2015年10月1日 噴火予報(レベル1、活火山であることに留意)
	有珠山	噴火予報(レベル1、活火山であることに留意)	2007年12月1日 噴火予報(平常) 2008年6月9日 噴火予報(レベル1、平常)
	北海道駒ヶ岳	噴火予報(レベル1、活火山であることに留意)	2007年12月1日 噴火予報(レベル1、平常)
	恵山	噴火予報(活火山であることに留意)	2007年12月1日 噴火予報(平常)
東北地方	岩木山	噴火予報(活火山であることに留意)	2007年12月1日 噴火予報(平常)
	秋田焼山	噴火予報(レベル1、活火山であることに留意)	2007年12月1日 噴火予報(平常) 2013年7月25日 噴火予報(レベル1、平常)
	岩手山	噴火予報(レベル1、活火山であることに留意)	2007年12月1日 噴火予報(レベル1、平常)
	秋田駒ヶ岳	噴火予報(レベル1、活火山であることに留意)	2007年12月1日 噴火予報(平常) 2009年10月27日 噴火予報(レベル1、平常)
	鳥海山	噴火予報(活火山であることに留意)	2007年12月1日 噴火予報(平常)
	栗駒山	噴火予報(活火山であることに留意)	2007年12月1日 噴火予報(平常)
	蔵王山	噴火予報(活火山であることに留意)	2007年12月1日 噴火予報(平常) 2015年4月13日 火口周辺警報(火口周辺危険) 2015年6月16日 噴火予報(活火山であることに留意)
	吾妻山	火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制)	2007年12月1日 噴火予報(レベル1、平常) 2014年12月12日 火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制)
	安達太良山	噴火予報(レベル1、活火山であることに留意)	2007年12月1日 噴火予報(平常) 2009年3月31日 噴火予報(レベル1、平常)
	磐梯山	噴火予報(レベル1、活火山であることに留意)	2007年12月1日 噴火予報(平常) 2009年3月31日 噴火予報(レベル1、平常)
関東・中部地方	那須岳	噴火予報(レベル1、活火山であることに留意)	2007年12月1日 噴火予報(平常) 2009年3月31日 噴火予報(レベル1、平常)
	日光白根山	噴火予報(活火山であることに留意)	2007年12月1日 噴火予報(平常)
	草津白根山	火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制)	2007年12月1日 噴火予報(レベル1、平常) 2009年4月10日 噴火予報(レベル1、平常)切替 2014年6月3日 火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制)
	浅間山	火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制)	2007年12月1日 噴火予報(レベル1、平常) 2008年8月8日 火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2009年2月1日 火口周辺警報(レベル3、入山規制) 2009年2月3日 火口周辺警報(レベル3、入山規制)切替 2009年4月7日 火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2010年4月15日 噴火予報(レベル1、平常) 2015年6月11日 火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制)
	新潟焼山	噴火予報(レベル1、活火山であることに留意)	2007年12月1日 噴火予報(平常) 2011年3月31日 噴火予報(レベル1、平常)

	火山名	特別警報、警報及び予報の発表状況	特別警報、警報及び予報の発表履歴
関東・中部地方	焼岳	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日 噴火予報（平常） 2011年3月31日 噴火予報（レベル1、平常）
	乗鞍岳	噴火予報（活火山であることに留意）	2007年12月1日 噴火予報（平常）
	御嶽山	火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）	2007年12月1日 噴火予報（平常） 2008年3月31日 噴火予報（レベル1、平常） 2014年9月27日 火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2014年9月28日 火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2015年1月19日 火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2015年3月31日 火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2015年6月26日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）
	白山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日 噴火予報（平常） 2015年9月2日 噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	富士山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日 噴火予報（レベル1、平常）
	箱根山	火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）	2007年12月1日 噴火予報（平常） 2009年3月31日 噴火予報（レベル1、平常） 2015年5月6日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2015年6月30日 火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2015年9月11日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）
	伊豆東部火山群	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日 噴火予報（平常） 2011年3月31日 噴火予報（レベル1、平常）
伊豆・小笠原諸島	伊豆大島	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日 噴火予報（レベル1、平常）
	新島	噴火予報（活火山であることに留意）	2007年12月1日 噴火予報（平常）
	神津島	噴火予報（活火山であることに留意）	2007年12月1日 噴火予報（平常）
	三宅島	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日 火口周辺警報（火口周辺危険） 2008年3月31日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2015年6月5日 噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	八丈島	噴火予報（活火山であることに留意）	2007年12月1日 噴火予報（平常）
	青ヶ島	噴火予報（活火山であることに留意）	2007年12月1日 噴火予報（平常）
	西之島	火口周辺警報（入山危険）	2007年12月1日 噴火予報（平常） 2013年11月20日 火口周辺警報（火口周辺危険） 2014年6月3日 火口周辺警報（入山危険） 2014年6月11日 火口周辺警報（入山危険）切替 2015年2月24日 火口周辺警報（入山危険）切替
	硫黄島	火口周辺警報（火口周辺危険）	2007年12月1日 火口周辺警報（火口周辺危険）
	福徳岡ノ場	噴火警報（周辺海域警戒）	2007年12月1日 噴火警報（周辺海域警戒）
	鶴見岳・伽藍岳	噴火予報（活火山であることに留意）	2007年12月1日 噴火予報（平常）
九州地方・南西諸島	九重山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日 噴火予報（レベル1、平常）
	阿蘇山	火口周辺警報（レベル3、入山規制）	2007年12月1日 噴火予報（レベル1、平常） 2011年5月16日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2011年6月20日 噴火予報（レベル1、平常） 2013年9月25日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2013年10月11日 噴火予報（レベル1、平常） 2013年12月27日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2014年3月12日 噴火予報（レベル1、平常） 2014年8月30日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2015年9月14日 火口周辺警報（レベル3、入山規制）
	雲仙岳	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日 噴火予報（レベル1、平常）

	火山名	特別警報、警報及び予報の発表状況	特別警報、警報及び予報の発表履歴
九州地方・南西諸島	霧島山 (新燃岳)	火口周辺警報 (レベル 2、火口周辺規制)	2007年12月1日 噴火予報 (レベル 1、平常) 2008年8月22日 火口周辺警報 (レベル 2、火口周辺規制) 2008年10月29日 噴火予報 (レベル 1、平常) 2010年3月30日 火口周辺警報 (レベル 2、火口周辺規制) 2010年4月16日 噴火予報 (レベル 1、平常) 2010年5月6日 火口周辺警報 (レベル 2、火口周辺規制) 2011年1月26日 火口周辺警報 (レベル 3、入山規制) 2011年1月31日 火口周辺警報 (レベル 3、入山規制) 切替 2011年2月1日 火口周辺警報 (レベル 3、入山規制) 切替 2011年3月22日 火口周辺警報 (レベル 3、入山規制) 切替 2012年6月26日 火口周辺警報 (レベル 3、入山規制) 切替 2013年10月22日 火口周辺警報 (レベル 2、火口周辺規制)
	霧島山 (御鉢)	噴火予報 (レベル 1、活火山であることに留意)	2007年12月1日 噴火予報 (レベル 1、平常)
	霧島山 (えびの高原 (硫黄山) 周辺)	噴火予報 (活火山であることに留意)	2007年12月1日 噴火予報 (平常) 2014年10月24日 火口周辺警報 (火口周辺危険) 2015年5月1日 噴火予報 (平常)
	桜島	火口周辺警報 (レベル 3、入山規制)	2007年12月1日 火口周辺警報 (レベル 2、火口周辺規制) 2008年2月3日 火口周辺警報 (レベル 3、入山規制) 2008年2月20日 火口周辺警報 (レベル 2、火口周辺規制) 2008年4月8日 火口周辺警報 (レベル 3、入山規制) 2008年7月14日 火口周辺警報 (レベル 2、火口周辺規制) 2008年7月28日 火口周辺警報 (レベル 3、入山規制) 2008年8月28日 火口周辺警報 (レベル 2、火口周辺規制) 2009年2月2日 火口周辺警報 (レベル 3、入山規制) 2009年2月19日 火口周辺警報 (レベル 2、火口周辺規制) 2009年3月2日 火口周辺警報 (レベル 3、入山規制) 2009年3月10日 火口周辺警報 (レベル 3、入山規制) 切替 2009年4月24日 火口周辺警報 (レベル 2、火口周辺規制) 2009年7月19日 火口周辺警報 (レベル 3、入山規制) 2010年9月30日 火口周辺警報 (レベル 2、火口周辺規制) 2010年10月13日 火口周辺警報 (レベル 3、入山規制) 2012年3月12日 火口周辺警報 (レベル 3、入山規制) 切替 2012年3月21日 火口周辺警報 (レベル 3、入山規制) 切替 2015年8月15日 噴火警報 (レベル 4、避難準備) 2015年9月1日 火口周辺警報 (レベル 3、入山規制)
	薩摩硫黄島	噴火予報 (レベル 1、活火山であることに留意)	2007年12月1日 火口周辺警報 (レベル 2、火口周辺規制) 2012年11月29日 噴火予報 (レベル 1、平常) 2013年6月4日 火口周辺警報 (レベル 2、火口周辺規制) 2013年7月10日 噴火予報 (レベル 1、平常)
	口永良部島	噴火警報 (レベル 5、避難)	2007年12月1日 火口周辺警報 (レベル 2、火口周辺規制) 2008年1月25日 噴火予報 (レベル 1、平常) 2008年9月4日 火口周辺警報 (レベル 2、火口周辺規制) 2008年10月27日 火口周辺警報 (レベル 3、入山規制) 2009年3月18日 火口周辺警報 (レベル 2、火口周辺規制) 2009年8月4日 噴火予報 (レベル 1、平常) 2009年9月27日 火口周辺警報 (レベル 2、火口周辺規制) 2009年10月30日 噴火予報 (レベル 1、平常) 2011年12月15日 火口周辺警報 (レベル 2、火口周辺規制) 2012年1月20日 噴火予報 (レベル 1、平常) 2014年8月3日 火口周辺警報 (レベル 3、入山規制) 2014年8月7日 火口周辺警報 (レベル 3、入山規制) 切替 2015年5月29日 噴火警報 (レベル 5、避難) 2015年10月21日 噴火警報 (レベル 5、避難) 切替
	諏訪之瀬島	火口周辺警報 (レベル 2、火口周辺規制)	2007年12月1日 火口周辺警報 (レベル 2、火口周辺規制)

（２）その他の活火山

以下の活火山では平成 19 年 12 月 1 日に噴火予報（平常）を発表した（但し、*印の活火山では、活火山として選定された平成 23 年 6 月 7 日に噴火予報（平常）を発表）。その後、いずれも火山活動に特段の変化はなく、予報事項に変更はない。

	火 山 名
北海道地方	知床硫黄山、羅臼岳、天頂山*、摩周、雄阿寒岳*、丸山、利尻山、恵庭岳、羊蹄山、ニセコ、渡島大島、茂世路岳、散布山、指臼岳、小田萌山、択捉焼山、択捉阿登佐岳、ベルタルベ山、ルルイ岳、爺爺岳、羅臼山、泊山
東北地方	恐山、八甲田山、十和田、八幡平、鳴子、肘折、沼沢、燧ヶ岳
関東・中部地方	高原山、赤城山、榛名山、横岳、妙高山、弥陀ヶ原、アカシタナ山
伊豆・小笠原諸島	利島、御蔵島、ベヨネース列岩、須美寿島、伊豆鳥島、嬭婦岩、海形海山、海徳海山、噴火浅根、北福德堆、南日吉海山、日光海山
中国・九州地方 及び南西諸島	三瓶山、阿武火山群、由布岳、福江火山群、米丸・住吉池、若尊、池田・山川、開聞岳、口之島、中之島、硫黄島、西表島北北東海底火山

注）平成 27 年 5 月 18 日から（平常）は（活火山であることに留意）に変更している。

資料 2 第 133 回火山噴火予知連絡会について

平成 27 年 10 月 21 日、第 133 回火山噴火予知連絡会が開催された。同連絡会では、全国の火山活動の評価のほか、口永良部島、阿蘇山等の火山活動について特に重点的に検討を行い、委員及び関係機関からの報告をもとにとりまとめた。その結果を気象庁が以下のとおり発表した。

**第 133 回火山噴火予知連絡会
口永良部島の火山活動に関する検討結果**

口永良部島では、5 月 29 日と同程度の噴火が発生する可能性は低くなっているものの、引き続き噴火の可能性があり、火砕流に警戒が必要です。

口永良部島では 6 月 18 日 12 時 17 分頃に新岳火口で噴火が発生し、新岳火口の東約 9 km の海上で小さな噴石の降下が確認されましたが、新たな火砕流の痕跡や新岳火口の状況の大きな変化はみられませんでした。この噴火の規模は 5 月 29 日の噴火を上回るものではなかったと考えられます。その後 6 月 19 日の噴火以降、噴火は発生していません。

1 日あたりの二酸化硫黄放出量は、6 月は 800 から 1,700 トンでしたが、次第に減少し、9 月には概ね 100 から 200 トンとやや少ない状態となりました。また、5 月 29 日の噴火以降火映は観測されておらず、9 月の現地調査では、新岳火口の西側割れ目付近の熱異常域の温度の低下が認められています。

火山性地震は、8 月上旬までは時々多くなりましたが、その後少なくなりました。地殻変動観測で 3 月頃までにみられていた島の隆起を示す変動はその後停滞しており、マグマの上昇を示すような顕著な変化は認められません。

以上のように火山活動が高まる傾向はみられないことから、5 月 29 日と同程度の噴火が発生する可能性は低くなっているものと考えられます。しかしながら、5 月 29 日の噴火前にみられた島の隆起が維持されていることから、引き続き噴火の可能性があり、火砕流にも警戒が必要と考えられます。

噴火に伴う大きな噴石の飛散が予想される新岳火口から概ね 2 km の範囲、及び火砕流の流下による影響が及ぶと予想される新岳火口の西側の概ね 2.5 km の範囲では、厳重な警戒（避難等の対応）をしてください。風下側では、火山灰だけでなく小さな噴石が風に流されて降るおそれがあるため注意してください。降雨時には土石流の可能性があるので注意してください。

**第 133 回火山噴火予知連絡会
阿蘇山の火山活動に関する検討結果**

阿蘇山では活発な火山活動が続いており、今後も 9 月 14 日と同程度の噴火が発生する可能性があります。

阿蘇山中岳第一火口では、9 月 14 日 09 時 43 分に噴火が発生し、噴煙が火口縁上 2,000 m まで上がり、弾道を描く大きな噴石が火口中心から約 700 m の範囲に飛散し、小規模な火砕流が火口縁から最大約 1.3 km 流下しました。この噴火はマグマ水蒸気噴火と考えられます。その後も小規模な噴火がほぼ連続しています。

二酸化硫黄放出量は、1 日あたり 900 から 1,900 トンと多い状態が続いています。

火山性微動の振幅は 10 月 1 日以降急激な増減がみられ、振幅の増大時には噴煙の勢いが増す傾向がみられています。

GNSS 連続観測では、深部にマグマだまりがあると考えられている草千里を挟む基線で 8 月頃からわずかな伸びがみられています。

以上のように、阿蘇山では活発な火山活動が続いており、当分の間は 9 月 14 日と同程度の噴火が発生する可能性がありますので、火口から概ね 2 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒してください。風下側では、火山灰だけでなく小さな噴石が風に流されて降るおそれがあるため注意してください。

**第 133 回火山噴火予知連絡会
全国の火山活動の評価**

第 132 回火山噴火予知連絡会（平成 27 年 6 月 15 日）以降の全国の火山活動について検討を行い、結果を以下のとおり取りまとめました。

○全国の主な火山活動

今期間（平成 27 年 6 月 15 日～10 月 21 日）、口永良部島、桜島、箱根山、西之島、阿蘇山、諏訪之瀬島で噴火が発生しました。

口永良部島〔噴火警報（噴火警戒レベル 5）〕については別に「口永良部島の火山活動に関する検討結果」として取りまとめました。

阿蘇山〔火口周辺警報（噴火警戒レベル 3）〕については別に「阿蘇山の火山活動に関する検討結果」として取りまとめました。

桜島〔火口周辺警報（噴火警戒レベル 3）〕

8 月 15 日に南岳直下を震源とする地震が多発

し、マグマの貫入に伴うものとみられる山体膨張を示す急激な地殻変動が観測されました。その後マグマの浅部への上昇は停止し、新たなマグマの貫入も認められていません。

昭和火口の噴火活動は、7 月以降は低調な活動となっています。南岳山頂火口では 9 月 13 日及び 28 日に噴火が発生しています。

始良カルデラの膨張は続いており、また、長期的に活発な噴火活動が続いてきたことから、今後も活発な噴火活動が続くと考えられますので、火山活動の推移に注意してください。昭和火口及び南岳山頂火口から概ね 2 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒してください。

西之島〔火口周辺警報（入山危険）〕

西之島では噴石等を放出する噴火や溶岩の流出が続いています。9 月 16 日時点で、新たな陸地の面積は約 2.7km² になっています。

島の中心から概ね 4 km 以内では噴火に警戒してください。

御嶽山〔火口周辺警報（噴火警戒レベル 2）〕

2014 年 10 月以降噴火の発生はなく、火山活動が低下した状態が続いていますが、火口列からの噴煙活動や地震活動は続いており、今後も小規模な噴火が発生する可能性があります。

火口から概ね 1 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。風下側では降灰及び風の影響を受ける小さな噴石に注意してください。

箱根山〔火口周辺警報（噴火警戒レベル 2）〕

6 月 29 日に傾斜変動を伴う火山性微動が発生し、地震活動も一時的に活発になりました。その後 6 月 29 日から 7 月 1 日にかけてごく小規模な噴火が発生したものとみられます。

5 月以降にこの付近でみられた局所的な隆起と考えられる変化は 7 月以降認められず、GNSS 連続観測でみられていた山体膨張を示す変動は 8 月下旬頃から停滞しています。

地震活動は低下傾向が見られますが、4 月の活発化以前の程度に戻るまでは、大涌谷周辺の火口や噴気孔での小規模な噴火の可能性があると考えられます。また、噴気活動も緩やかな低下傾向がみられるものの活発な状態です。

大涌谷周辺の想定火口域では、小規模な噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。風下側では火山灰、風に流されて降る小さな噴石及び火山ガスに注意してください。

草津白根山〔火口周辺警報（噴火警戒レベル 2）〕

2014 年 3 月上旬からの地殻変動観測によると

湯釜付近の膨張を示す変動が鈍化しつつも継続しています。湯釜火口内北東部や北壁及び水釜火口の北から北東側にあたる斜面で熱活動の活発な状態が続いています。また、北側噴気地帯の噴気活動が活発化し、ガス組成及び湯釜湖水の化学成分の活動活発化を示す変化が継続しています。

草津白根山では火山活動が活発化した状態が続いており、小規模な噴火が発生する可能性があることから、湯釜火口から概ね 1 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。

吾妻山〔火口周辺警報（噴火警戒レベル 2）〕

火山性地震はやや多い状態で経過しています。大穴火口の噴気活動や熱活動はやや活発な状態が続いています。一方、GNSS 観測及び SAR 干渉解析で 2014 年 9 月頃からみられていた一切経山付近の膨張を示す変化は、GNSS 連続観測や傾斜観測によれば、2015 年 7 月頃から停滞しています。

大穴火口付近では小規模な噴火が発生する可能性がありますので、大穴火口周辺では、弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。風下側では降灰及び風の影響を受ける小さな噴石、火山ガスに注意してください。

浅間山〔火口周辺警報（噴火警戒レベル 2）〕

6 月 16 日及び 19 日に山頂火口でごく小規模な噴火が発生しました。二酸化硫黄放出量は 6 月以降 1 日あたり概ね 1,000 トンを超える多い状態が続いています。火山性地震は 4 月下旬頃から多い状態が続いています。地殻変動観測では、浅間山の西側のやや深い所や山頂付近のごく浅い所の膨張を示すとみられる変化が観測されています。

火口から概ね 2 km の範囲では弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。登山者等は危険な地域には立ち入らないよう地元自治体等の指示に従ってください。また、風下側では降灰及び風の影響を受ける小さな噴石に注意してください。

雌阿寒岳〔火口周辺警報（噴火警戒レベル 2）〕

7 月 13 日から 8 月中旬にかけて、ポンマチネシリ火口付近の浅いところを震源とする微小な火山性地震が増加しました。7 月末以降の観測で、ポンマチネシリ第 3 及び第 4 火口の地熱域の拡大、96-1 火口の噴煙の勢いの増大が認められています。全磁力連続観測では、2015 年 3 月中旬以降、ポンマチネシリ 96-1 火口近傍の地下で熱活動が活発化している可能性を示す変化がみられています。

ポンマチネシリ火口から約 500m の範囲では、ごく小さな噴火に伴う弾道を描いて飛散する大

きな噴石に警戒してください。風下側では火山灰や小さな噴石が風に流されて降るおそれがあるため注意してください。

諏訪之瀬島〔火口周辺警報（噴火警戒レベル 2）〕

御岳火口では、9 月 24 日に爆発的噴火が 69 回発生するなど、活発な噴火活動が継続しています。今後も火口周辺に影響を及ぼす程度の噴火が発生すると予想されますので、火口から概ね 1 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。風下側では火山灰だけでなく小さな噴石が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。

各地方の主な活火山の火山活動評価

1. 北海道地方

①アトサヌプリ〔噴火予報（活火山であることに留意）〕

・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

②雌阿寒岳〔火口周辺警報（噴火警戒レベル 2、火口周辺規制）〕 ←平成 27 年 7 月 28 日に噴火警戒レベルを 1（活火山であることに留意）から 2（火口周辺規制）に引上げ

- ・7 月 13 日から、ポンマチネシリ火口付近の浅い所を震源とする微小な火山性地震が一時的に増加し、その後やや減少したものの、7 月 26 日から再び地震回数が増加しました。
- ・7 月 27 日の上空からの観測及び 7 月 28 日の現地調査で、ポンマチネシリ第 3・第 4 火口で地熱域が拡大し、96-1 火口の噴煙の勢いが増大しているのが認められました。
- ・全磁力連続観測では、2015 年 3 月中旬以降、ポンマチネシリ 96-1 火口近傍の地下で熱活動が活発化している可能性を示す変化がみられています。
- ・これらのことから、ごく小規模な水蒸気噴火の発生する可能性があると考えられ、気象庁は 7 月 28 日に火口周辺警報（噴火警戒レベル 2、火口周辺規制）を発表しました。
- ・今回の活動について 2008 年の噴火前の活動と比較すると、地震活動、地熱域の広がりはいずれも小規模なものに留まっていますが、地震活動は 8 月下旬以降少ない状態ながらも継続しており、全磁力の変化も続いています。10 月 1 日の現地調査でも、ポンマチネシリ第 4 火口の地熱域のわずかな拡大や 96-1 火口からの噴煙の勢いの増大が認められています。
- ・ポンマチネシリ火口から約 500m の範囲では、ごく小さな噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。風下側では火山灰や小さな噴石が風に流されて降るおそれ

があるため注意してください。

③大雪山〔噴火予報（活火山であることに留意）〕

・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

④十勝岳〔噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）〕

- ・8 月 3 日及び 9 月 17 日に実施した上空からの観測や、6 月から 9 月にかけて実施した現地調査で、振子沢噴気孔群で地熱域の広がりを観測しました。また、7 月及び 9 月に実施したガス観測では二酸化硫黄の放出量が 4 月の観測に比べて増加しているのを確認しました。62-2 火口とその周辺では熱活動が徐々に高まっていると考えられます。全磁力観測でも熱活動の高まりに関連すると思われる変化を観測しています。
- ・地殻変動観測では、62-2 火口近傍の GNSS 観測点で山体浅部の局所的な膨張によるとみられる変動が 2015 年 5 月頃から大きくなっていましたが、7 月以降鈍化しています。SAR 干渉解析でも山体浅部の局所的な膨張がみられています。
- ・ここ数年、山体浅部の膨張、大正火口の噴煙量増加、地震増加、火山性微動の発生、発光現象及び地熱域の拡大などを確認しており、長期的にみると火山活動は高まる傾向にあるので、今後の火山活動の推移に注意してください。

⑤樽前山〔噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）〕

- ・火山活動は概ね静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。
- ・山頂溶岩ドーム周辺では、1999 年以降、高温の状態が続いているので、突発的な火山ガス等の噴出に注意してください。

⑥倶多楽〔噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）〕

・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

⑦有珠山〔噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）〕

・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

⑧北海道駒ヶ岳〔噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）〕

・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

- ⑨恵山 [噴火予報（活火山であることに留意）]
 ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

2. 東北地方

- ①岩木山 [噴火予報（活火山であることに留意）]
 ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

- ②八甲田山 [噴火予報（活火山であることに留意）]
 ・地獄沼東岸で地熱域の拡大が確認されましたが、地震活動や地殻変動などのその他の火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

- ③秋田焼山 [噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）]
 ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

- ④岩手山 [噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）]
 ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

- ⑤秋田駒ヶ岳 [噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）]
 ・女岳では、2009 年以降拡大した地熱域が引き続き確認され、一部の地熱域でわずかな拡大が認められました。
 ・地震活動は、一時的に増加することもありましたが概ね低調で、地殻変動にも特段の変化はみられませんでした。地熱活動が続いていますので、今後の火山活動の推移に注意してください。

- ⑥鳥海山 [噴火予報（活火山であることに留意）]
 ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

- ⑦栗駒山 [噴火予報（活火山であることに留意）]
 ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

- ⑧蔵王山 [噴火予報（活火山であることに留意）]
 ・2015 年 4 月以降増加していた御釜付近が震源とみられる火山性地震は、6 月中旬から 7 月上旬にかけて比較的多い状態となりましたが、それ以外の期間は少ない状態で経過しました。
 ・7 月 7 日から 9 日にかけて実施した GNSS 繰り返し観測では、前回の観測（2014 年 8 月）と比較して御釜周辺の基線で伸びの変化がみられました。また、GNSS 連続観測では、山腹の基線

で 2014 年 10 月以降わずかな膨張を示す変化がみられていましたが、2015 年 6 月頃から停滞しています。

- ・9 月の現地観測において、振子沢付近の枯渇していた温泉地で、温泉の湧出を確認しました。
- ・2013 年以降、火山性地震の増加や火山性微動の発生が観測されており、長期的にみると火山活動はやや高まった傾向にありますので、今後の火山活動の推移に注意してください。

- ⑨吾妻山 [火口周辺警報（噴火警戒レベル 2、火口周辺規制）]
 ・火山性地震は、6 月には月回数 255 回と多い状態でしたが、7 月以降は増減を繰り返しやや多い状態で経過しました。

- ・6 月に実施した大穴火口付近の GNSS 繰り返し観測では、前回（2014 年 10 月 31 日～11 月 3 日）の観測以降、大穴火口を挟む基線で伸びを示す変化がみられました。また、GNSS 連続観測では、2014 年 9 月頃から一切経山付近の膨張を示す緩やかな変化がみられていましたが、2015 年 6 月頃から停滞しています。

- ・浄土平観測点（大穴火口の東南東約 1 km）の傾斜計では、2014 年 7 月下旬から西南西（大穴火口のやや南）上がりの変化が継続していましたが、2015 年 7 月頃から停滞しています。

- ・8 月及び 10 月に実施した現地観測では、大穴火口内で地熱域の拡大と火口内及びその周辺で弱い噴気を確認しました。その他の地熱域に大きな変化は認められません。大穴火口の噴気活動や熱活動はやや活発な状態が続いています。

- ・2003 年より大穴火口周辺で実施している全磁力繰り返し観測では、2014 年 10 月から 2015 年 8 月にかけて大穴火口周辺の地下の熱活動の活発化を示す可能性がある変化が観測されています。

- ・大穴火口付近では小規模な噴火が発生する可能性がありますので、大穴火口周辺では、弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。また、大穴火口の風下側では降灰及び風の影響を受ける小さな噴石、火山ガスに注意してください。

- ⑩安達太良山 [噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）]
 ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

- ⑪磐梯山 [噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）]
 ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過して

おり、噴火の兆候は認められません。

3. 関東・中部地方、伊豆・小笠原諸島

①那須岳 [噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

②日光白根山 [噴火予報（活火山であることに留意）]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

③草津白根山 [火口周辺警報（噴火警戒レベル 2、火口周辺規制）]

- ・2014 年 3 月上旬から湯釜付近及びその南側を震源とする火山性地震が増加していましたが、2014 年 8 月下旬以降概ねやや少ない状態で経過しています。
- ・6 月 28 日に継続時間約 2 分の火山性微動が発生しました。火山性微動の発生前後で地震活動やその他の観測データに変化はみられませんでした。
- ・GNSS による地殻変動観測では、2014 年 4 月頃から湯釜を挟む基線でわずかな伸びの傾向がみられていましたが、短い基線では 2015 年 4 月頃、長い基線では 8 月頃より停滞しています。
- ・湯釜周辺の傾斜計の湯釜付近の膨張を示す変動は鈍化しながらも引き続き認められています。
- ・2014 年 5 月頃から湯釜近傍地下の岩石の熱消磁によると考えられる全磁力変化がみられていましたが、7 月以降は停滞しています。
- ・湯釜火口内北東部や北壁及び水釜火口の北から北東側にあたる斜面で熱活動の活発な状態が継続しています。また、2015 年 9 月以降、北側噴気地帯で噴気活動が活発になっています。
- ・2014 年 5 月以降、北側噴気地帯の硫化水素ガス成分の減少した状態が継続しています。
- ・草津白根山の火山活動は活発化した状態が続いており、小規模な噴火が発生する可能性があることから、湯釜火口から概ね 1 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。

④浅間山 [火口周辺警報（噴火警戒レベル 2、火口周辺規制）]

- ・6 月 16 日及び 19 日に山頂火口でごく小規模な噴火が発生しました。
- ・6 月以降火口底の温度の上昇がみられており、6 月 16 日以降は、高感度カメラで確認できる程度の弱い火映を、夜間に時々観測しています。
- ・二酸化硫黄放出量は、6 月に入って急増し、その後 1 日あたり概ね 1,000 トンを超える状態が

続いています。

- ・火山性地震は 4 月下旬から増加し、その後も多い状態が続いています。発生している地震はその多くが BL 型地震ですが、7 月から 8 月にかけては BH 型地震も増加しました。火山性微動も 2014 年頃から増加する傾向がみられています。
- ・光波測距観測による地殻変動観測では、6 月頃から山頂と追分の間で縮みの傾向がみられており、山頂付近のごく浅い所の膨張によるものと考えられます。
- ・傾斜計による地殻変動観測では、6 月上旬頃からの緩やかな変化が継続しています。山体周辺の GNSS による地殻変動観測でも、5 月頃からわずかな伸びがみられます。これらは浅間山の西側のやや深い所を膨張源とする変化によるものと考えられます。
- ・火口から概ね 2 km の範囲では弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。登山者等は危険な地域には立ち入らないよう地元自治体等の指示に従ってください。
- ・風下側では降灰及び風の影響を受ける小さな噴石に注意してください。

⑤新潟焼山 [噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

⑥弥陀ヶ原 [噴火予報（活火山であることに留意）]

- ・弥陀ヶ原近傍の地震は少ない状態で経過しています。
- ・立山地獄谷では以前から熱活動が活発でしたが、2012 年 6 月以降の観測で噴気の拡大・活発化や温度の上昇傾向が確認されており、今後の火山活動の推移に注意してください。また、この付近では火山ガスに注意してください。

⑦焼岳 [噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

⑧乗鞍岳 [噴火予報（活火山であることに留意）]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

⑨御嶽山 [火口周辺警報（噴火警戒レベル 2、火口周辺規制）] ←平成 27 年 6 月 26 日に噴火警戒レベルを 3（入山規制）から 2（火口周辺規制）に引下げ。

- ・今期間、噴火は発生しませんでした。火山活動が低下した状態が続き、昨年（2014 年）10 月

以降噴火が発生していないことから、昨年 9 月 27 日と同程度の噴火の可能性は低下していると考えられます。

- ・このことから、気象庁は 6 月 26 日に火口周辺警報（噴火警戒レベル 2、火口周辺規制）を発表しました。
- ・剣ヶ峰山頂の南西側の火口列からの噴煙は、高さ火口縁上概ね 100～1,000m で経過しています。
- ・7 月 20 日 04 時 54 分に継続時間約 3 分の火山性微動が発生しました。この火山性微動の発生に伴い、傾斜計にわずかな山側（北西）上がりの変化が観測されました。火山性微動の発生時の遠望カメラによる噴煙の状況は、視界不良のため確認できませんでしたが、空振計の観測データに特段の変化はみられませんでした。
- ・火山性微動の発生直後を含め、7 月 19 日から 20 日にかけて、地震回数が一時的に増加しました。低周波地震は、6 月に 5 回、7 月に 2 回、8 月に 1 回観測しています。いずれも振幅は小さく、発生前後で他のデータに特段の変化はみられていません。
- ・火口列からの噴煙活動や地震活動は続いており、今後も小規模な噴火が発生する可能性があります。
- ・火口から概ね 1 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。風下側では降灰及び風の影響を受ける小さな噴石に注意してください。

⑩白山 [噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

⑪富士山 [噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）]

- ・2011 年 3 月 15 日に山頂の南南西約 5 km、深さ 15 km を震源とする静岡県東部の地震（マグニチュード 6.4、最大震度 6 強）が発生しました。それ以降、その震源から山頂直下付近にかけて地震活動が活発な状況となりました。その後、地震活動は低下しつつも継続しています。
- ・その他の観測データに異常を示すものはなく、噴火の兆候は認められません。

⑫箱根山 [火口周辺警報（噴火警戒レベル 2、火口周辺規制）] ←平成 27 年 6 月 30 日に噴火警戒レベルを 2（火口周辺規制）から 3（入山規制）に引き上げ。平成 27 年 9 月 11 日に噴火警戒レベルを 3（入山規制）から 2（火口周辺規制）に引き下げ。

- ・4 月下旬以降、地震活動の活発化、地殻変動及び勢いの強い蒸気の噴出が観測されていましたが、6 月に入って地震回数には減少傾向がみ

られていました。

- ・6 月 29 日 07 時 32 分から継続時間約 5 分の火山性微動が発生しました。火山性微動の発生に伴い、地下浅部の体積膨張を示す地殻変動が観測されました。この火山性微動の発生以降一時的に地震活動が活発になりました。
- ・6 月 29 日から翌 30 日にかけての現地調査で、火山灰の降下を観測しました。また、新たな噴気孔（火口）を確認し、この期間にごく小規模な噴火が発生したものとみて、気象庁は 6 月 30 日に火口周辺警報を発表して、噴火警戒レベルを 2（火口周辺規制）から 3（入山規制）に引き上げました。
- ・ごく小規模な噴火は、6 月 29 日から 7 月 1 日にかけて断続的に発生したものとみられます。その後噴火は観測されていません。
- ・SAR 干渉解析によりみられていた局所的な隆起を示すと考えられる変化は 7 月頃以降認められません。また、GNSS 連続観測でみられていた箱根山を挟む基線での伸びは 8 月下旬頃から停滞しています。
- ・このほか地震活動も低下傾向にあったことから、気象庁は 9 月 11 日に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベルを 3（入山規制）から 2（火口周辺規制）に引き下げました。
- ・地震活動は引き続き低下傾向がみられるものの、4 月の活発化以前の程度に戻るまでは、引き続き大涌谷周辺の火口や噴気孔での小規模な噴火の可能性があると考えられます。また、噴気活動も緩やかな低下傾向がみられるものの活発な状態です。
- ・大涌谷周辺の想定火口域では、小規模な噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。
- ・風下側では火山灰、風に流されて降る小さな噴石及び火山ガスに注意してください。

⑬伊豆東部火山群 [噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

⑭伊豆大島 [噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）]

- ・地殻変動観測によると、短期的な膨張や収縮があるものの、長期的には、地下深部へのマグマ供給によると考えられる島全体の膨張傾向が継続しています。
- ・その他の観測データには特段の変化はなく、噴火の兆候は認められません。長期的には山体の膨張が継続していることから、今後の火山活動に注意してください。

⑮新島 [噴火予報（活火山であることに留意）]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

⑯神津島 [噴火予報（活火山であることに留意）]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

⑰三宅島 [噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）]

- ・噴火は 2013 年 1 月 22 日を最後に発生していません。
- ・噴煙は白色で、高さは火口縁上概ね 300m 以下で経過しています。
- ・山頂浅部を震源とする地震は概ね少ない状態で経過しています。
- ・二酸化硫黄の放出量は長期的には緩やかな減少傾向にあり、7 月 21 日に実施した現地調査では、1 日あたり 400 トンと、やや少ない状態でした。
- ・GNSS による観測では、山体浅部の収縮を示す地殻変動は徐々に小さくなり、2013 年頃から停滞しています。一方、島内の長距離の基線で 2006 年頃から伸びの傾向がみられるなど、山体深部の膨張を示す地殻変動が継続しています。
- ・主火孔における噴煙活動及び火山ガスの放出が継続していることから、規模の小さな噴出現象が突発的に発生する可能性があります。

⑱八丈島 [噴火予報（活火山であることに留意）]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

⑲青ヶ島 [噴火予報（活火山であることに留意）]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

⑳西之島 [火口周辺警報（入山危険）]

- ・2013 年 11 月 20 日に西之島の南東海上で確認された噴火では、噴石等を放出する爆発的噴火や溶岩の流出により新島が拡大し、2013 年 12 月 26 日には西之島旧島と一体となりました。
- ・その後も噴火活動は継続し、新たに形成された陸地（西之島旧島と接続した新島部分）の拡大が確認されており、西之島旧島のほとんどを埋没させています。2015 年 9 月 16 日時点で、新たに形成された陸地の面積は約 2.7km² になっています。
- ・西之島では噴火が継続しており、島の中心から概ね 4 km 以内では噴火に警戒してください。

㉑硫黄島 [火口周辺警報（火口周辺危険）]

- ・海上自衛隊からの情報提供によると、島北部の北の鼻の海岸付近で 8 月 7 日にごく小規模な噴火が発生し、噴煙が高さ 100m 程度上がりました。8 月 8 日以降噴火は発生していません。
- ・島西部の旧火口（通称：ミリオンダラーホール）では、2013 年 4 月 12 日以降、噴火は確認されていませんが、現地調査及び海上自衛隊からの情報提供によると、8 月に噴気が上がっているのを確認しています。
- ・地震活動はやや少ない状態で推移しています。火山性微動は時々観測されています。島北部で噴火が発生した 8 月 7 日には火山性微動を連続的に観測しました。
- ・GNSS による地殻変動観測では、2014 年 2 月下旬頃から隆起・停滞を繰り返し、2015 年 3 月頃から隆起速度が上がっています。また、4 月中旬から西向きの変動速度が上がっていましたが、7 月以降は以前の速度に戻っています。
- ・硫黄島では火口周辺に影響を及ぼす程度の噴火が発生すると予想されますので、従来から小規模な噴火が発生した地点およびその周辺では警戒してください。

㉒福徳岡ノ場 [噴火警報（周辺海域警戒）]

- ・長期間にわたり変色水が確認されており、小規模な海底噴火が発生すると予想されますので、周辺海域では警戒してください。

4. 九州地方・南西諸島**①鶴見岳・伽藍岳 [噴火予報（活火山であることに留意）]**

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

②九重山 [噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。
- ・GNSS 連続観測によると、2012 年頃からわずかに伸びの傾向が認められますので、今後の火山活動の推移に注意してください。

③阿蘇山 [火口周辺警報（噴火警戒レベル 3、入山規制）] ←平成 27 年 9 月 14 日に噴火警戒レベルを 2（火口周辺規制）から 3（入山規制）に上げ

- ・中岳第一火口では、6 月 10 日に 141 火孔内の一部に湯だまりを確認し、7 月 23 日以降はごく小規模な土砂噴出を確認しました。7 月 31 日以降は、141 火孔南西側に約 600℃の高温の噴気孔を確認しました。8 月 8 日、9 月 3 日及び 9 月 10 日から 11 日かけてごく小規模な噴火が発生しました。
- ・南側火口壁からは、白色の噴気や青白色のガス

が噴出しており、熱異常域の最高温度は約 300～400℃と高い状態が続きました。

- 火山性微動の振幅は 7 月 14 日以降小さくなっていましたが、9 月 11 日頃からやや大きくなりました。孤立型微動は概ね多い状態で経過しました。中岳第一火口付近のごく浅い所を震源とする火山性地震が 9 月 6～10 日に一時的に増加しました。
- 9 月 14 日 09 時 43 分に中岳第一火口で噴火が発生し、灰色の噴煙が火口縁上 2,000m まで上がりました。この噴火に伴い小規模な火砕流が発生し、火口周辺に流下しました。また、大きな噴石が火口周辺に飛散するのを確認しました。
- 気象庁は、今後も同程度の噴火が発生し、火砕流の流下や弾道を描いて飛散する大きな噴石が火口から 1 km を超える可能性があるかと判断し、同日火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベルを 2（火口周辺規制）から 3（入山規制）に引き上げました。
- この噴火発生直後に、九州地方整備局の協力で気象庁機動調査班（JMA-MOT）が実施した上空からの観測により、中岳第一火口周辺に変色域が広がっており、その範囲が南東方向に約 1.3km、北東方向に約 1.0km であることを確認しました。この変色域は概ね火砕流が流下した範囲に対応すると考えられます。
- 噴火が発生した 9 月 14 日に実施した現地調査及び聞き取り調査によると、火口より西側の熊本県北部から福岡県の一部で降灰を確認しました。
- この噴火はマグマ水蒸気噴火とみられ、その噴出量は約 4 万トンと推定されています。
- 火山性微動の振幅は、9 月 14 日 11 時頃以降概ね小さな状態となっていました。10 月 1 日以降は振幅の急激な増減がみられています。また、火山性微動の振幅が大きくなると噴煙の勢いが増す傾向が認められます。
- 二酸化硫黄放出量は、期間をとおして 1 日あたり 900～1,900 トンと多い状態が続いています。
- GNSS 連続観測では、深部にマグマだまりがあると考えられている草千里を挟む基線の伸びは、2015 年 3 月頃から停滞していましたが、8 月頃から再びわずかな伸びがみられています。
- 以上のように、阿蘇山では活発な火山活動が続いており、当分の間は 9 月 14 日と同程度の噴火が発生する可能性がありますので、火口から概ね 2 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒してください。風下側では降灰及び風の影響を受ける小さな噴石に注意してください。

④雲仙岳 [噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火

山であることに留意)]

- 火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。
- 長期的には 2010 年頃から火山性地震の活動がやや活発となっており、また、GNSS 連続観測では、山体西側の基線で、2015 年 6 月頃から、わずかな伸びの傾向が認められますので、今後の火山活動の推移に注意してください。

⑤霧島山

新燃岳 [火口周辺警報（噴火警戒レベル 2、火口周辺規制)]

- 新燃岳では、2011 年 9 月 7 日を最後に噴火は発生していません。
- 7 月 6 日には白色の噴煙が火口縁上 400m まで上がりました。火口にたまった溶岩内部には依然高温状態の部分もあると考えられます。
- 新燃岳火口直下を震源とする火山性地震は時々発生しました。火山性微動は 3 月 1 日に発生して以降、観測されていません。
- GNSS 観測によると、新燃岳の北西数 km（えびの高原付近）の地下深くにあると考えられるマグマだまりの膨張を示す地殻変動は、2015 年 1 月頃から停滞しています。一方、新燃岳周辺の一部の基線では、わずかに伸びの傾向がみられます。
- 今後も火口周辺に影響のある小規模な噴火が発生する可能性がありますので、新燃岳火口から概ね 1 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。噴火時には、風下側では火山灰だけではなく小さな噴石（火山れき）が風に流されて降るおそれがあるため注意してください。降雨時には泥流や土石流に注意してください。

御鉢 [噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意)]

- 9 月 15 日に火山性地震が 20 回と一時的に増加しました。地震の日回数が 20 回以上となったのは、2010 年 5 月 2 日の 21 回以来です。その他の観測結果に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。
- 火山性地震は 7 月頃からわずかに増加していますので、今後の火山活動の推移に注意してください。
- 活火山であることから、規模の小さな噴出現象が突発的に発生する可能性がありますので、留意してください。

えびの高原（硫黄山）周辺 [噴火予報（活火山であることに留意)]

- 7 月 26 日、9 月 2 日及び 10 月 19 日にそれぞれ 1 回、継続時間が最長約 3 分 30 秒の火山性

- 微動が発生しました。震源はいずれも硫黄山付近とみられます。この火山性微動に伴って、硫黄山の北西がわずかに隆起することを示す傾斜変動が観測されましたが、いずれも 2014 年 8 月 20 日の火山性微動に比べて小さな変動でした。
- ・火山性地震は 7 月 5 日、26 日及び 10 月 19 日に一時的に増加しました。
 - ・GNSS 連続観測では、えびの高原（硫黄山）周辺の一部の基線でわずかに伸びの傾向が認められ、水準測量でも周辺領域のわずかな隆起が観測されています。
 - ・現地調査では、噴気や熱異常域は認められていません。
 - ・7 月及び 9 月に実施した全磁力繰り返し観測では、硫黄山の北側の観測点で、南側の観測点に比べてわずかな増加を示す変化がみられており、今後の推移に注意が必要です。
 - ・活火山であることから、規模の小さな噴出現象が突発的に発生する可能性がありますので、留意してください。

⑥桜島 [火口周辺警報（噴火警戒レベル 3、入山規制）] ←平成 27 年 8 月 15 日に噴火警戒レベルを 3（入山規制）から 4（避難準備）に引上げ、9 月 1 日にレベル 4（避難準備）から 3（入山規制）に引下げ

- ・8 月 15 日 07 時頃から南岳直下を震源とする火山性地震が多発しました。更に同日 09 時頃から、桜島島内に設置している傾斜計及び伸縮計で、山体膨張を示す急激な地殻変動が観測されました。このため、気象庁では、同日噴火警報（居住地域）を発表し、噴火警戒レベルを 3（入山規制）から 4（避難準備）に引き上げました。
- ・これらの活動は、南岳直下の海面下 1～3 km を中心とする領域にマグマがダイク状に貫入して、圧力が増加したことによるものと考えられます。干渉 SAR と GNSS を用いた解析では、その体積膨張量は約 200 万立方メートルと見積もられています。
- ・南岳直下で多発した火山性地震は翌 16 日以降急激に減少し、傾斜計等の地殻変動観測によると、8 月 17 日以降地盤の顕著な隆起を示す変化はみられていません。
- ・このことから、南岳直下のマグマの浅部への上昇は停止し、深部からの新たなマグマの貫入も生じていないと考えられます。気象庁では、桜島の火山活動が噴火警戒レベルを 4 に引き上げる前の状態に戻ったものと判断し、9 月 1 日に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベルを 3（入山規制）に引き下げました。
- ・昭和火口の噴火活動は 9 月上旬に一時的に活発化したものの、7 月以降はこれまでと比べて低調な活動となりました。

- ・南岳山頂火口では、9 月 13 日及び 28 日に噴火が発生し、そのうち 9 月 28 日 02 時 33 分の噴火では噴煙が火口縁上 2,700m まで上がりました。そのほかにも 8 月と 9 月にごく小規模な噴火が時々発生しました。
- ・火山性地震は 8 月 15 日に多発したほかは概ね少ない状況ですが、9 月に入ってから従来の南岳直下に加えて、南岳の西方約 2 km、深さ 4 km 付近で A 型地震が時々発生しています。
- ・始良カルデラの膨張を示す伸びの傾向は、2013 年 6 月頃から停滞していましたが、2015 年 1 月頃から伸びの傾向が続いています。
- ・1 日あたりの二酸化硫黄放出量は、6 月は多い状態でしたが、7 月から 8 月かけて減少して少ない状態となり、9 月はやや少ない状態となっています。
- ・以上のように、桜島の噴火活動は、7 月以降は概ね低調な状態となっていますが、始良カルデラの膨張が続いており、また、長期的に活発な噴火活動が続いてきたことから、今後も活発な噴火活動が継続すると考えられます。また、再びマグマが貫入した場合などには、火山活動の更なる活発化は避けられないものとみられ、引き続き火山活動の推移を注意深く監視していく必要があります。
- ・昭和火口及び南岳山頂火口から概ね 2 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒してください。風下側では火山灰だけでなく小さな噴石（火山れき）が遠方まで風に流されて降るため注意してください。
- ・爆発的噴火に伴う大きな空振によって窓ガラスが割れるなどのおそれがあるため注意してください。また、降雨時には土石流に注意してください。

⑦薩摩硫黄島 [噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。
- ・硫黄岳火口では、噴煙活動が続いており、火口内では火山灰等の噴出する可能性があります。また、火口付近では火山ガスに注意してください。

⑧口永良部島 [噴火警報（噴火警戒レベル 5、避難）]

- ・6 月 18 日 12 時 17 分頃に噴火が発生しました。天候不良のため噴煙の状況は不明でしたが、火山性微動の発生状況から同日 12 時 47 分まで継続していたと考えられます。この噴火に伴い、新岳北東山麓観測点（新岳火口から北東約

2.3km) で、19.4Pa の空振を観測し、傾斜計では火口方向が下がる変動を観測しました。島の東海上（新岳火口から約 9 km）の巡視船で、この噴火に伴う最大 2.5cm 程度の小さな噴石が降ったのを確認しています。同日実施した現地調査及び聞き取り調査では、屋久島町、西之表市及び中種子町で降灰を確認しました。その後の上空からの観測では、新岳火口周辺や山体斜面に新たな火砕流の痕跡等は認められず、熱異常域はこれまでと変化はありませんでした。

- 火山性地震は、8 月上旬まで時々多く発生していましたが、その後は少なくなりました。また、やや周期の長い火山性地震が時々発生しました。火山性地震の震源は、新岳付近のごく浅い所とみられます。
- 1 日あたりの二酸化硫黄放出量は、6 月は 800～1,700 トンでしたが、次第に減少し、9 月には概ね 100～200 トンとやや少ない状況となりました。
- 5 月 29 日の噴火以降は観測されておらず、9 月の現地調査では、新岳火口の西側割れ目付近の熱異常域の温度の低下が認められています。
- GNSS 連続観測では、5 月 29 日の噴火以降に特段の変化は認められません。3 月頃までにみられていた島の隆起を示す変動はその後停滞しています。
- 5 月 29 日と同程度の噴火が発生する可能性は低くなっていると考えられますが、5 月 29 日の噴火前にみられた島の隆起が維持されていることから、今後も噴火が発生する可能性があります。大きな噴石の飛散が予想される新岳火口から概ね 2 km の範囲及び火砕流の流下による影響が及ぶと予想される新岳火口の西側の概ね 2.5km の範囲では厳重な警戒（避難等の対応）をしてください。
- 風下側では火山灰だけでなく小さな噴石が風に流されて降るおそれがあるため注意してください。降雨時には土石流の可能性があるので注意してください。

⑨諏訪之瀬島 [火口周辺警報（噴火警戒レベル 2、火口周辺規制）]

- 御岳火口では、9 月 24 日に爆発的噴火が 69 回発生するなど、活発な噴火活動が継続しました。爆発的噴火の日回数が 50 回以上となったのは、2013 年 12 月 30 日の 66 回以来です。
- 噴火に伴う噴煙の高さの最高は、9 月 25 日の火口縁上 1,500m でした。また、同火口では夜間に遠望カメラ（高感度カメラ）で火映を時々観測しました。
- 十島村役場諏訪之瀬島出張所によると、集落（御岳の南南西約 4 km）で時々降灰が観測されまし

た。

- 火山性地震はやや少ない状態で経過しました。火山性微動は、断続的に発生しました。
- 諏訪之瀬島では、今後も火口周辺に影響を及ぼす程度の噴火が発生すると予想されますので、火口から概ね 1 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。風下側では火山灰だけでなく小さな噴石が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。

●世界の主な地震

平成 27 年（2015 年）10 月に世界で発生したマグニチュード（M）6.0 以上または被害を伴った地震の震央分布を図 1 に示す。また、その震源要素等を表 1 に示す。

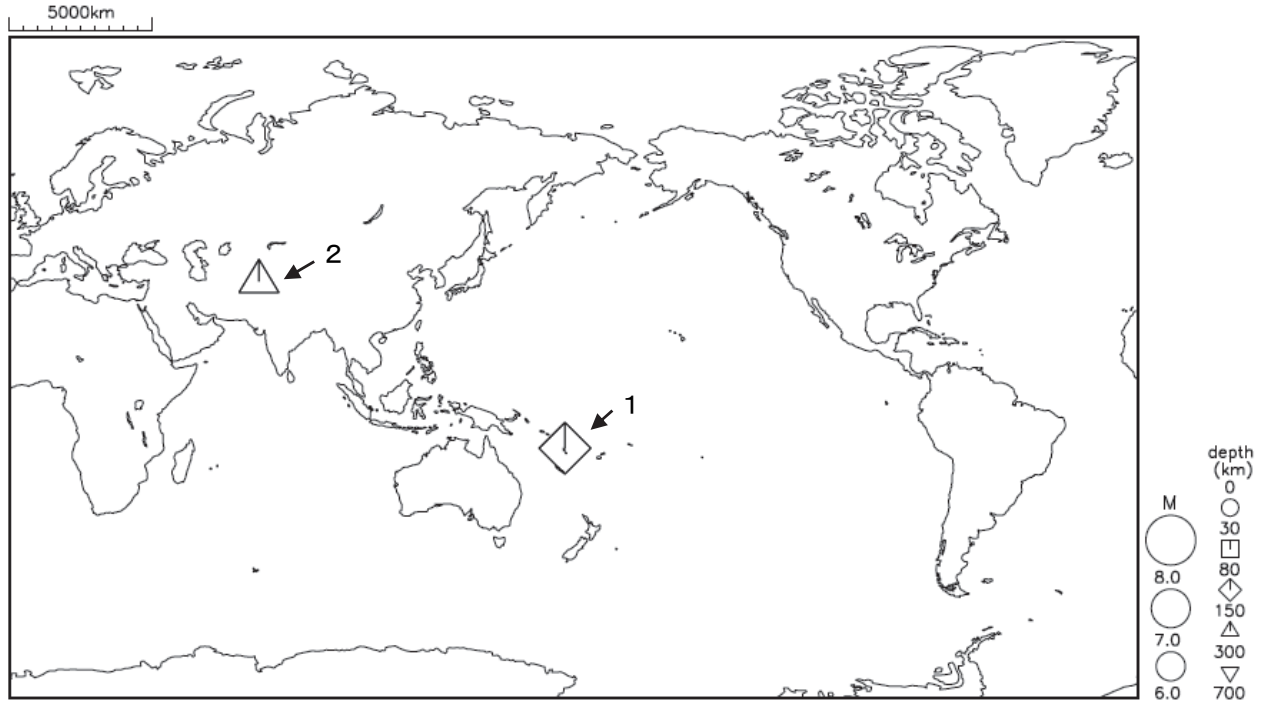


図 1 平成 27 年（2015 年）10 月に世界で発生した M6.0 以上または被害を伴った地震の震央分布

- * : 震源要素は米国地質調査所 (USGS) ホームページの” Earthquake Archive Search & URL Builder” (<http://earthquake.usgs.gov/earthquakes/search/>) による（2015 年 11 月 2 日現在）。ただし、日本付近で発生した地震の震源要素は気象庁による。
- ** : 数字は、表 1 の番号に対応する。
- *** : マグニチュードは表 1 の mb（実体波マグニチュード）、Mj（気象庁マグニチュード）、Mw（モーメントマグニチュード）のいずれかを用いて表示している。

表 1 平成 27 年（2015 年）10 月に世界で発生した M6.0 以上または被害を伴った地震の震源要素等

番号	地震発生時刻	緯度	経度	深さ (km)	mb	Mj	Mw	震央地名	備考 (被害状況など)	北西	遠地
1	10月21日06時52分	S14° 50.5′	E167° 18.3′	127			(7.1)	バヌアツ諸島			○
2	10月26日18時09分	N36° 26.4′	E70° 43.0′	213			(7.5)	アフガニスタン、ヒンドークシ	パキスタンで死者279人、アフガニスタンで死者107人等		○

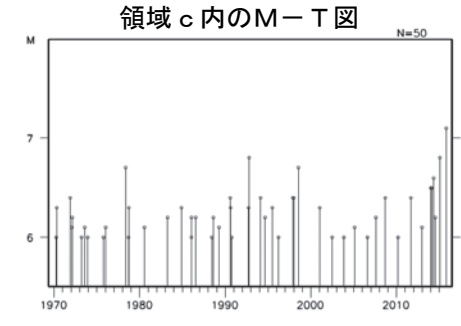
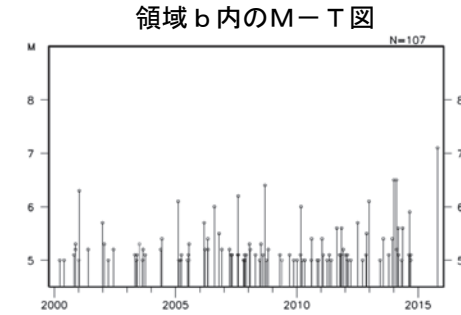
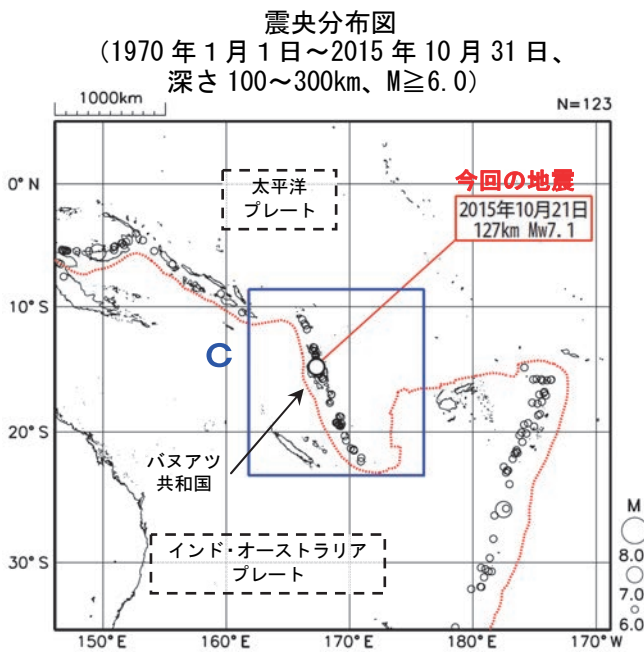
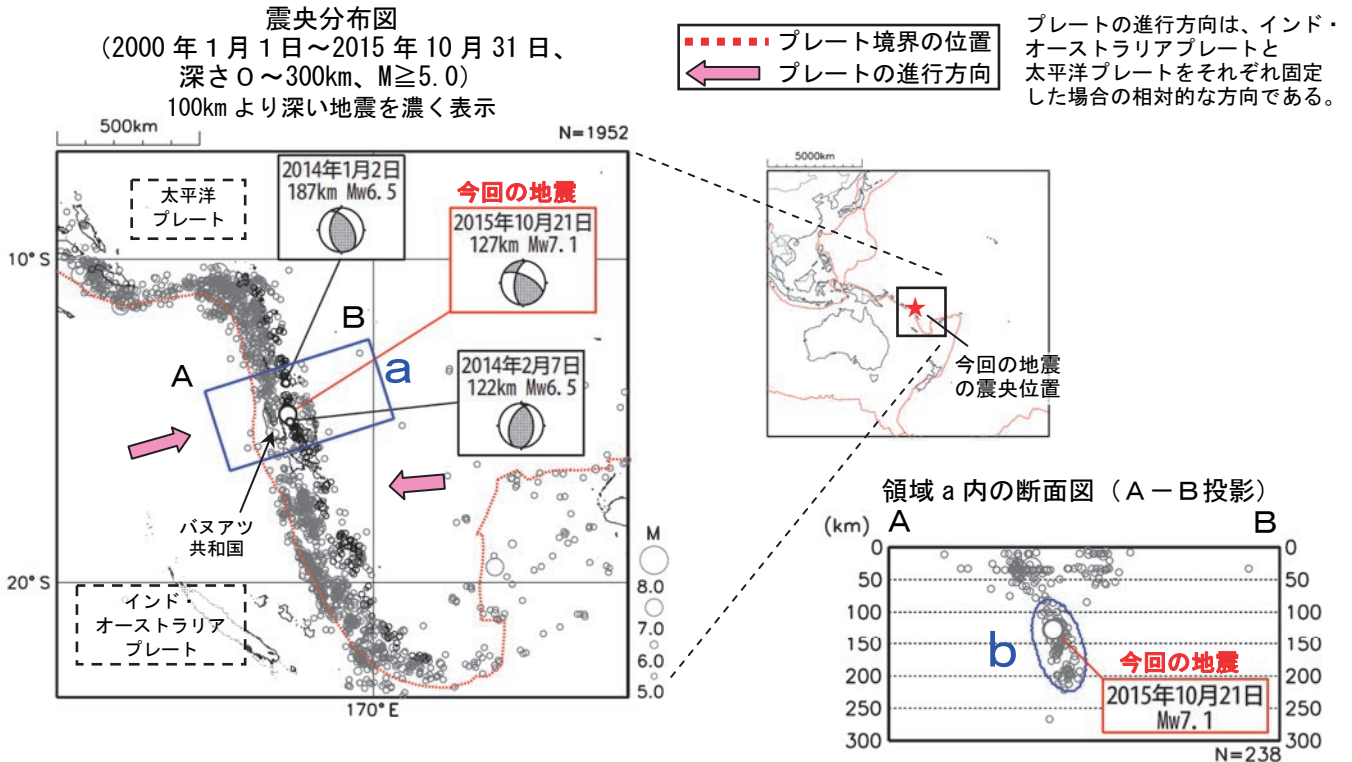
- ・震源要素は米国地質調査所 (USGS) ホームページの” Earthquake Archive Search & URL Builder” (<http://earthquake.usgs.gov/earthquakes/search/>) による（2015 年 11 月 2 日現在）。ただし、日本付近で発生した地震の震源要素、Mj の欄に記載したマグニチュード、Mw の欄に括弧を付して記載したモーメントマグニチュードは、気象庁による。
- ・地震発生時刻は日本時間 [日本時間 = 協定世界時 + 9 時間] である。
- ・10 月 26 日のアフガニスタン、ヒンドークシの地震の被害状況は OCHA (UN Office for the Coordination of Humanitarian Affairs : 国連人道問題調整事務所) による（2015 年 11 月 5 日現在）。
- ・「北西」欄の○印は、気象庁が北西太平洋域に提供している北西太平洋津波情報 (NWPTA) (地震・火山月報 (防災編) 2005 年 5 月号参照) を発表したことを表す。
- ・「遠地」欄の○印は、気象庁が「遠地地震に関する情報」を発表したことを表す。

10 月 21 日 バヌアツ諸島の地震

2015 年 10 月 21 日 06 時 52 分 (日本時間) に、バヌアツ諸島の深さ 127km で Mw7.1 の地震が発生した。この地震は、発震機構 (気象庁による CMT 解) が東北東-西南西に圧力軸を持つ型である。この地震の震央周辺は、インド・オーストラリアプレートが太平洋プレートの下に高角度で沈み込んでいるところで、今回の地震は、沈み込むインド・オーストラリアプレート内部で発生した。

1970 年以降の活動をみると、今回の地震の震源周辺 (領域 c) では、M7.0 を超える地震は発生していなかった。

なお、気象庁は、この地震について、同日 07 時 15 分に遠地地震に関する情報 (日本への津波の影響なし) を発表した。



本資料中、2014 年 1 月 2 日、2014 年 2 月 7 日の地震の発震機構と Mw は Global CMT による。今回の地震の発震機構と Mw は気象庁による。その他の震源要素は米国地質調査所 (USGS) による (2015 年 11 月 2 日現在)。プレート境界の位置と進行方向は Bird (2003) * より引用。
* 参考文献 Bird, P. (2003) An updated digital model of plate boundaries, *Geochemistry Geophysics Geosystems*, 4 (3), 1027, doi:10.1029/2001GC000252.

● 世界の主な火山活動

平成 27 年（2015 年）10 月に噴火が報告された主な火山（日本を除く）*は以下のとおり。

今期間、顕著な噴火の報告はなかった。



図 平成 27 年（2015 年）10 月に噴火した主な火山（日本を除く）*

* 米国スミソニアン自然史博物館のホームページ “Global Volcanism Program | Smithsonian / USGS Weekly Volcanic Activity Report” (http://www.volcano.si.edu/reports_weekly.cfm) による。日付は全て現地時間。火山名の読み方は、原則として気象庁：「火山観測指針（参考編）」による。

●特集 2015 年 10 月 26 日 アフガニスタン、ヒンドークシの地震

(1) 概要及び最近の地震活動

2015 年 10 月 26 日 18 時 09 分 (日本時間、以下同じ) にアフガニスタン、ヒンドークシの深さ 213km で Mw7.5 の地震が発生した。この地震は、発震機構 (気象庁による CMT 解) が鉛直方向に張力軸を持つ型である。今回の地震により、パキスタンで死者 279 人、アフガニスタンで死者 107 人等の被害を生じた。

余震活動は低調であり、M6.0 以上の余震は発生していない (2015 年 11 月 2 日現在)。

今回の地震の震央周辺はインド・オーストラリアプレートがユーラシアプレートに衝突している地域で、大きな被害を伴う地震が度々発生している場所である。

2000 年 1 月以降の活動を見ると、今回の地震の震源付近 (領域 b) では、M6.0 以上の地震が時々発生している。2002 年 3 月 3 日に深さ 213km で発生した Mw7.3 の地震では、地震に関連して発生した地滑りにより死者 150 人以上の被害を生じた。

なお、気象庁は、今回の地震について 10 月 26 日 18 時 42 分に遠地地震に関する情報を発表した。

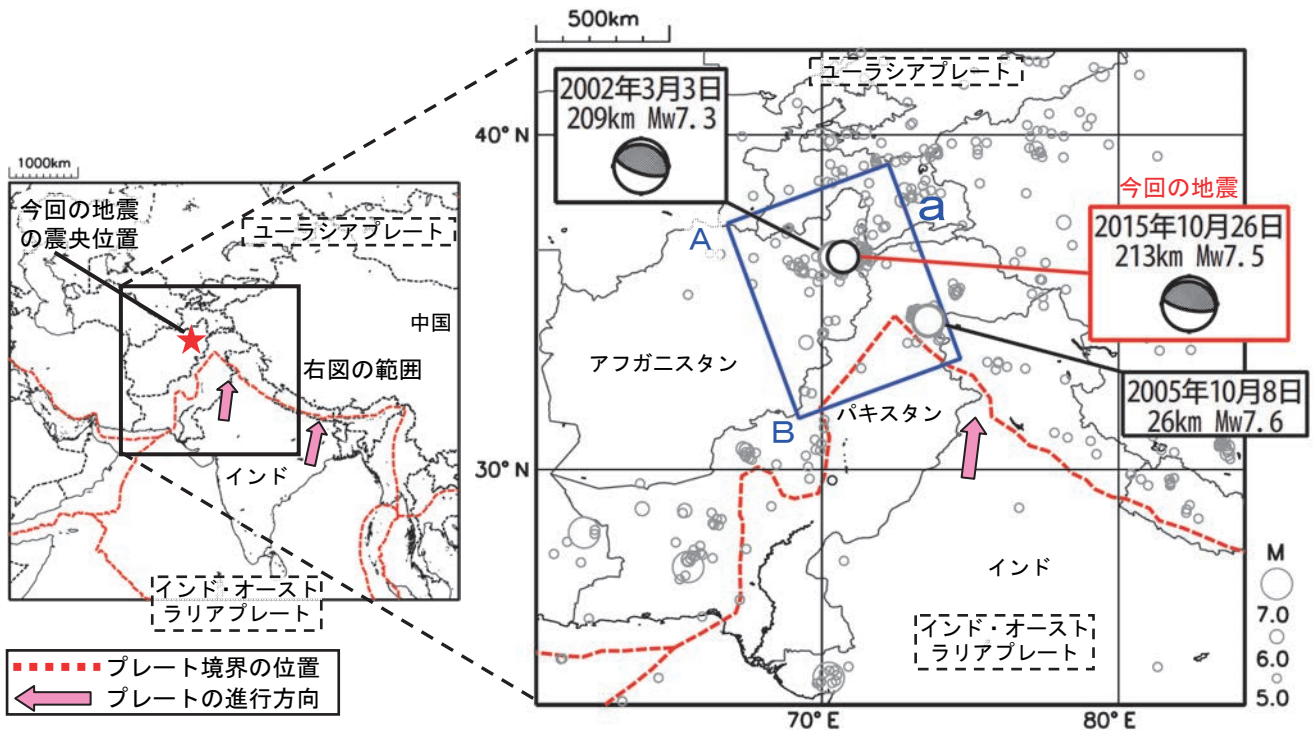


図 1-1 震央分布図
(2000 年 1 月 1 日～2015 年 10 月 31 日、深さ 0～300km、M \geq 5.0)
2015 年 10 月の地震を濃く表示

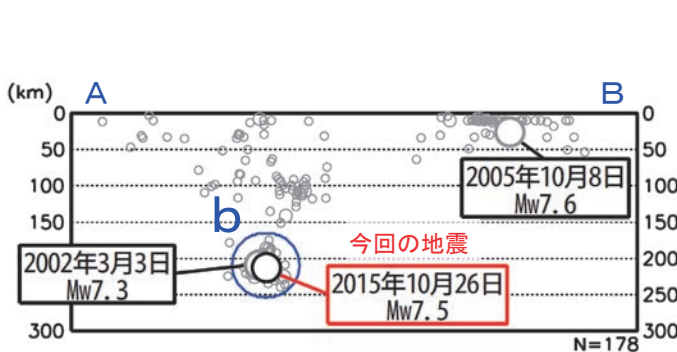


図 1-2 領域 a 内の断面図 (A-B 投影)

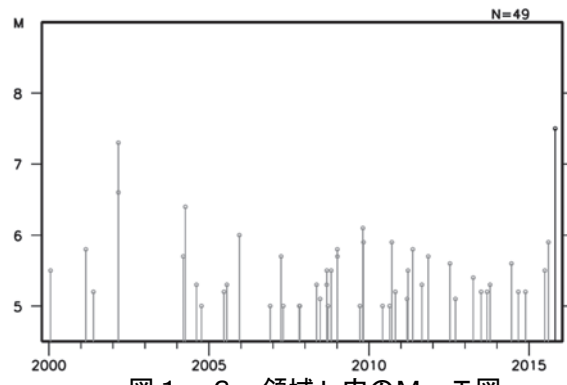


図 1-3 領域 b 内の M-T 図

本資料中、今回の地震の発震機構と Mw は気象庁による。2002 年 3 月 3 日の地震の発震機構は GlobalCMT による。その他の震源要素は米国地質調査所 (USGS) による (2015 年 11 月 2 日現在)。プレート境界の位置と進行方向は Bird (2003) *より引用。今回の地震の被害は、OCHA (UN Office for the Coordination of Humanitarian Affairs: 国連人道問題調整事務所) による (2015 年 11 月 5 日現在)。2002 年 3 月 3 日の地震の被害は USGS による。

* 参考文献 Bird, P. (2003) An updated digital model of plate boundaries, *Geochemistry Geophysics Geosystems*, 4(3), 1027, doi:10.1029/2001GC000252.

(2) 周辺の過去の地震活動

1900 年以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺 (領域 c) では、M7.0 以上の地震が時々発生しており、被害を伴った地震も多数発生している。最近では、2002 年 3 月 25 日に Mw6.1 の地震 (深さ 10 km) が発生し、死者約 1,000 人などの被害を生じた。また、2005 年 10 月 8 日には、今回の地震の南東約 350 km で発生した Mw7.6 の地震 (深さ 15 km) により、死者約 86,000 人などの被害が生じた。

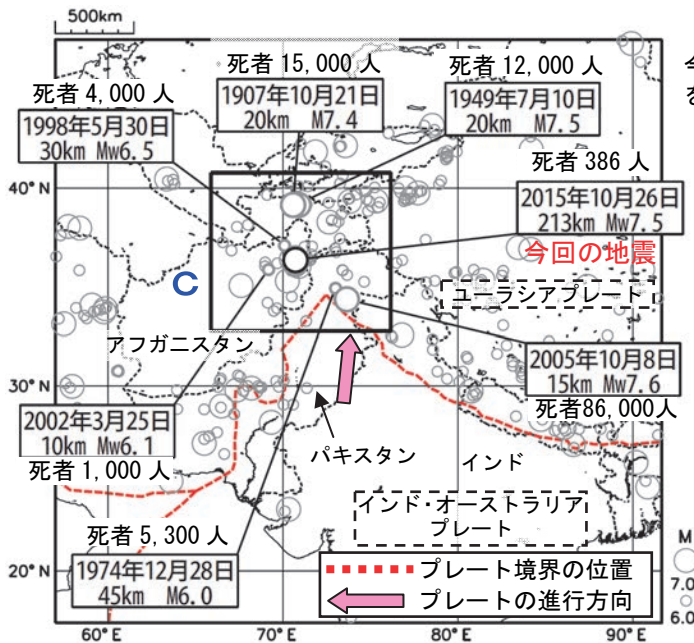


図 2-1 震央分布図

(1900 年 1 月 1 日~2015 年 10 月 31 日、深さ 0~300km、M \geq 6.0)
2015 年 10 月の地震を濃く表示

今回の地震及び死者 1000 人以上の被害を生じた地震に吹き出しを付けた。

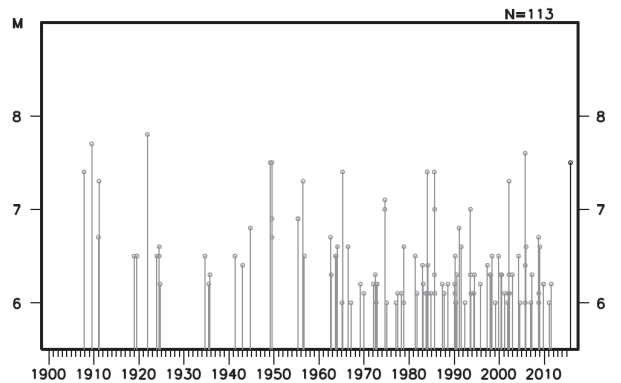


図 2-2 領域 c 内の M-T 図

(3) 今回の地震周辺のテクトニクスと発震機構

今回の地震が発生した場所は、北上するインド・オーストラリアプレートとユーラシアプレートが衝突しているために地震活動が活発な場所である。地殻内の浅い場所で発生するものや今回発生した地震と同じように 250km 程度のやや深い場所で発生するものまで、震源が鉛直方向に広く分布している。また、今回の地震の震源周辺で発生する地震の発震機構は、鉛直方向に張力軸を持つ型が多い。

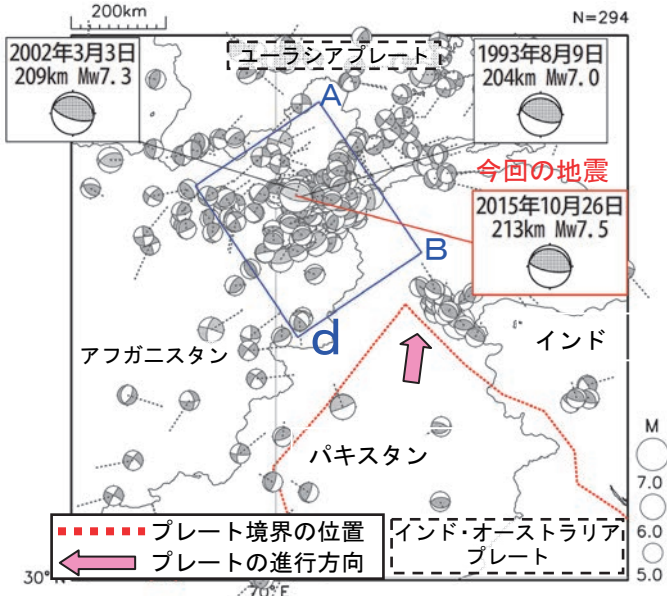


図 3-1 発震機構解と張力軸の分布図

(1900 年 1 月 1 日~2015 年 10 月 31 日、深さ 0~300km、M \geq 5.0)
各発震機構から伸びる点線は張力軸を示す

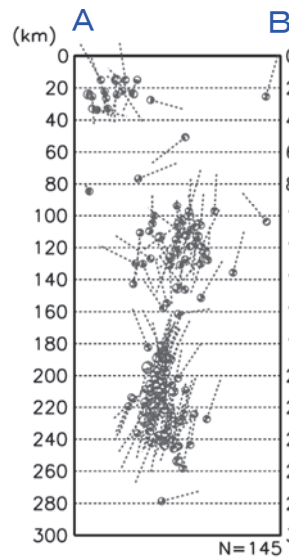


図 3-2 領域 d 内の断面図 (A-B 投影)

(水平方向に対し深さ方向 3 倍に拡大)

本資料中、今回の地震の発震機構と Mw は気象庁による。その他の発震機構と Mw は GlobalCMT による。その他の震源要素は米国地質調査所 (USGS) による。ただし、1900 年~2009 年の震源要素は国際地震センター (ISC) による。今回の地震の被害は、OCHA による (2015 年 11 月 5 日現在)。過去の被害は、宇津及び国立研究開発法人建築研究所国際地震工学センターの「世界の被害地震の表」による。また、2005 年 10 月 8 日の地震の被害は USGS による。プレート境界の位置と進行方向は Bird (2003) より引用。

(4) 震源過程

2015 年 10 月 26 日 18 時 09 分 (日本時間) にアフガニスタン、ヒンドークシで発生した地震について、米国地震学連合 (IRIS) のデータ管理センター (DMC) より広帯域地震波形記録を取得し、遠地実体波を用いた震源過程解析 (注 1) を行った。

初期破壊開始点は、米国地質調査所 (USGS) による震源の位置 (36° 26.4' N、70° 43.0' E、深さ 213km) とした。断層面は、気象庁 CMT 解の 2 枚の節面のうち、高角傾斜の節面 (走向 101°、傾斜 71°) を仮定して解析した。最大破壊伝播速度は 3.2km/s とした。理論波形の計算には CRUST2.0 (Bassin et al., 2000) および IASP91 (Kennett and Engdahl, 1991) の地下構造モデルを用いた。主な結果は以下のとおり (この結果は暫定であり、今後更新することがある)。

- ・主なすべり域の大きさは走向方向に約 30km、傾斜方向に約 60km であった。
- ・主なすべりは初期破壊開始点の西方にあり、最大すべり量は 2.7m であった (周辺の構造から剛性率を 70GPa として計算)。
- ・主な破壊継続時間は約 20 秒であった。
- ・モーメントマグニチュード (Mw) は 7.6 であった。

結果の見方は、http://www.data.jma.go.jp/svd/eqev/data/world/about_srcproc.html を参照。

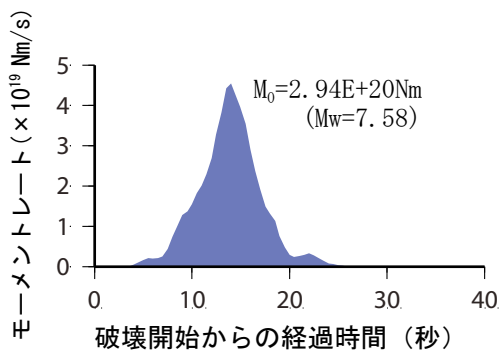


図 4-1 震源時間関数

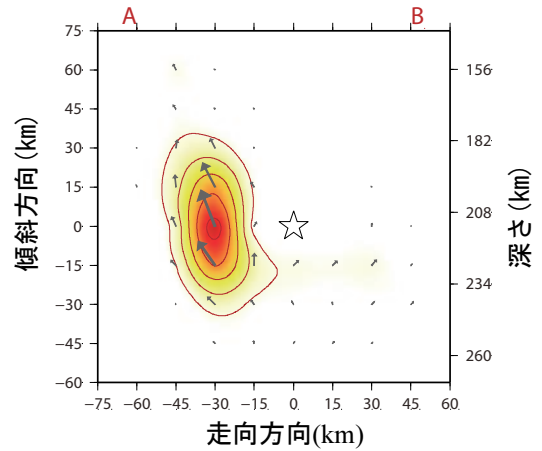


図 4-2 断層面上でのすべり量分布

星印は初期破壊開始点、矢印は下盤側に対する上盤側の動きを表す。

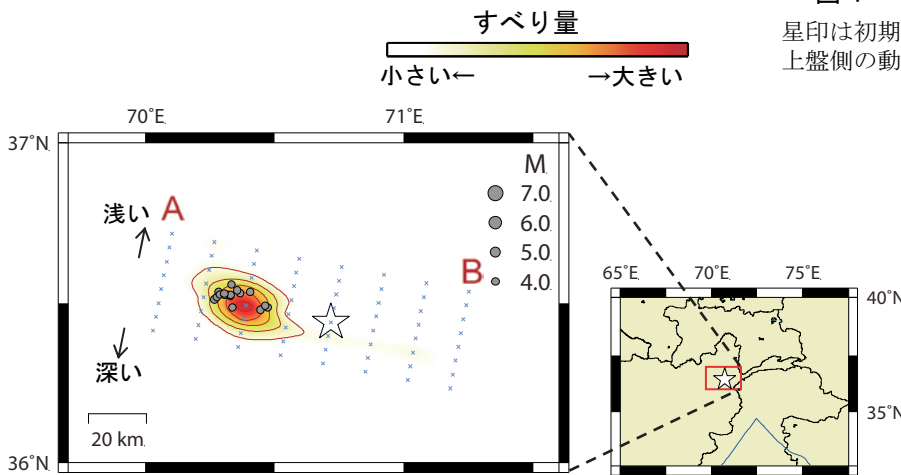


図 4-3 地図上に投影したすべり量分布

星印はこの地震の破壊開始点を示す。また、灰色の丸は本震発生後 7 日以内の余震の震央を示す (M4.0 以上、USGS による)。青線はプレート境界を示す。

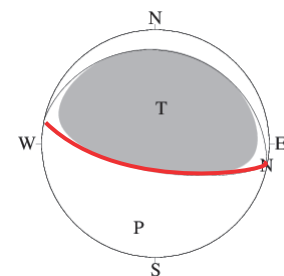


図 4-4 解析に用いたメカニズム解 (気象庁 CMT 解)

断層面の設定に用いた節面 (走向 101°、傾斜 71°、すべり角 90°) を赤線で示す。

(注 1) 解析に使用したプログラム

M. Kikuchi and H. Kanamori, Note on Teleseismic Body-Wave Inversion Program, <http://www.eri.u-tokyo.ac.jp/ETAL/KIKUCHI/>

●付録 1. 震度 1 以上を観測した地震の表

※ 震度データは、震度データベース検索 [気象庁ホームページ: <http://www.data.jma.go.jp/svd/eqdb/data/shindo/index.php>] で確認できる。震源要素及び震度は再調査後、修正することがある。確定した震源要素は地震月報 (カタログ編) [気象庁ホームページ: <http://www.data.jma.go.jp/svd/eqev/data/bulletin/index.html>] に掲載する。

※ 震度データは都道府県別に掲載し、各観測点の末尾に計測震度 (平成 25 年 12 月 地震・火山月報 (防災編) の付録 2 参照) を記す。なお、* のついている地点は、地方公共団体もしくは国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点、(注) を付した地震については、近接した地域でほぼ同時刻に発生した地震であるため震度の分離ができないことを示す。震源の深さの後に 'F' を付した地震は、その深さに仮定して震源決定していることを示す。震度 3 以上を観測した地震については、震源要素を **太字** で表示する。

地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
1	1 11 27	福島県会津 山形県 福島県	37° 45.9' N	140° 00.2' E	8km	M: 3.2
		1 飯豊町上原* = 1.3 1 喜多方市熱塩加納町* = 0.9				
2	1 20 10	茨城県沖 茨城県	36° 26.5' N	140° 48.1' E	57km	M: 3.9
		3 常陸大宮市野口* = 3.2 日立市助川小学校* = 2.8 日立市役所* = 2.6 2 常陸大宮市北町* = 2.3 常陸太田市町屋町 = 2.2 笠間市石井* = 2.1 常陸大宮市上小瀬* = 2.1 東海村東海* = 2.0 土浦市常名 = 1.9 高萩市安良川* = 1.8 大子町池田* = 1.8 桜川市羽田* = 1.8 常陸太田市高柿町* = 1.8 筑西市門井* = 1.7 城里町石塚* = 1.7 日立市十王町友部* = 1.7 ひたちなか市南神敷台* = 1.6 水戸市千波町* = 1.6 那珂市瓜連* = 1.6 水戸市金町 = 1.6 常陸太田市町田町* = 1.5 常陸太田市大中町* = 1.5 常陸大宮市山方* = 1.5 1 水戸市内原町* = 1.4 城里町徳蔵* = 1.4 城里町阿波山* = 1.4 筑西市海老ヶ島* = 1.4 かすみがうら市大和田* = 1.4 桜川市岩瀬* = 1.4 常陸太田市金井町* = 1.3 土浦市下高津* = 1.3 石岡市柿岡 = 1.3 茨城鹿嶋市鉢形 = 1.3 高萩市下手綱* = 1.3 かすみがうら市上土田* = 1.3 笠間市下郷* = 1.3 笠間市笠間* = 1.3 鉾田市汲上* = 1.3 ひたちなか市東石川* = 1.3 小美玉市小川* = 1.2 美浦村受領* = 1.2 稲敷市江戸崎甲* = 1.2 小美玉市堅倉* = 1.2 石岡市若宮* = 1.1 牛久市城中町* = 1.1 桜川市真壁* = 1.1 鉾田市鉾田 = 1.1 茨城鹿嶋市宮中* = 1.1 常陸大宮市中富町 = 1.1 小美玉市上玉里* = 1.0 茨城町小堤* = 1.0 常陸大宮市高部* = 1.0 つくば市研究学園* = 1.0 那珂市福田* = 0.9 筑西市下中山* = 0.9 鉾田市造谷* = 0.8 稲敷市柴崎* = 0.8 取手市寺田* = 0.8 北茨城市磯原町* = 0.8 笠間市中央* = 0.8 行方市麻生* = 0.8 阿見町中央* = 0.7 坂東市山* = 0.7 つくば市天王台* = 0.7 つくば市小茎* = 0.7 大洗町磯浜町* = 0.7 潮来市堀之内 = 0.7 石岡市八郷* = 0.6 龍ヶ崎市役所* = 0.6 下妻市本城町* = 0.6 行方市玉造* = 0.6 牛久市中央* = 0.6 ひたちなか市山ノ上町 = 0.6 稲敷市役所* = 0.5 稲敷市須賀津* = 0.5 筑西市舟生 = 0.5 土浦市藤沢* = 0.5 潮来市辻* = 0.5 行方市山田* = 0.5 結城市結城* = 0.5 福島県 2 浅川町浅川* = 1.5 1 田村市大越町* = 1.4 檜枝岐村上河原* = 1.4 棚倉町棚倉中居野 = 1.3 田村市滝根町* = 1.2 田村市船引町 = 1.2 矢祭町東館* = 1.1 小野町中通* = 1.1 田村市都路町* = 1.1 小野町小野新町* = 1.0 田村市常葉町* = 1.0 二本松市油井* = 0.9 白河市新白河* = 0.9 郡山市開成* = 0.8 玉川村小高* = 0.8 矢祭町戸塚* = 0.8 檜葉町北田* = 0.8 福島伊達市霊山町* = 0.7 泉崎村泉崎* = 0.7 鏡石町不時沼* = 0.7 浪江町幾世橋 = 0.6 郡山市朝日 = 0.5 いわき市三和町 = 0.5 福島広野町下北迫大谷地原* = 0.5 古殿町松川横川 = 0.5 天栄村下松本* = 0.5 栃木県 2 真岡市田町* = 1.9 宇都宮市明保野町 = 1.7 真岡市石島* = 1.7 市貝町市塙* = 1.7 益子町益子 = 1.5 茂木町茂木* = 1.5 1 宇都宮市中里町* = 1.4 小山市神鳥谷* = 1.3 日光市中鉢石町* = 1.1 芳賀町祖母井* = 1.1 那須烏山市中央 = 1.1 栃木那珂川町馬頭* = 1.1 下野市石橋* = 1.1 鹿沼市晃望台* = 1.0 真岡市荒町* = 1.0 茂木町北高岡天矢場* = 1.0 下野市田中* = 1.0 那須烏山市大金* = 0.9 鹿沼市今宮町* = 0.9 大田原市湯津上* = 0.9 日光市鬼怒川温泉大原* = 0.8 那須烏山市役所* = 0.8 日光市今市本町* = 0.8 鹿沼市口栗野* = 0.8 宇都宮市旭* = 0.7 日光市足尾町中才* = 0.7 足利市大正町* = 0.6 栃木那珂川町小川* = 0.6 下野市小金井* = 0.6 日光市芹沼* = 0.5 栃木さくら市喜連川* = 0.5 栃木市岩舟町静* = 0.5 群馬県 2 沼田市利根町* = 1.7 桐生市黒保根町* = 1.6 1 片品村東小川 = 1.0 桐生市元宿町* = 0.8 片品村鎌田* = 0.7 沼田市西倉内町 = 0.6 桐生市新里町* = 0.6 沼田市下久屋町* = 0.5 沼田市白沢町* = 0.5 埼玉県 1 熊谷市江南* = 0.5 東松山市松葉町* = 0.5 嵐山町杉山* = 0.5 千葉県 1 千葉中央区都町* = 0.9 野田市鶴奉* = 0.9 成田市花崎町 = 0.9 香取市佐原平田 = 0.8 香取市役所* = 0.7 野田市東宝珠花* = 0.7 香取市仁良* = 0.6 八千代市大和田新田* = 0.6 栄町安食台* = 0.6				
3	1 22 42	沖縄本島近海 沖縄県	26° 40.9' N	127° 46.3' E	47km	M: 3.9
		2 恩納村恩納* = 1.8 うるま市石川石崎* = 1.8 名護市港* = 1.5 沖縄市美里* = 1.5 国頭村辺土名* = 1.5 1 本部町役場* = 1.4 宜野座村宜野座* = 1.4 今帰仁村仲宗根* = 1.2 中城村当間* = 1.2 座間味村座間味* = 1.2 うるま市みどり町* = 1.2 宜野湾市野嵩* = 1.1 名護市豊原 = 1.1 うるま市与那城平安座* = 1.1 南城市佐敷* = 1.1 金武町金武* = 1.0 西原町与那城* = 1.0 うるま市与那城饒辺* = 1.0 八重瀬町東風平* = 1.0 東村平良* = 1.0 名護市宮里 = 0.9 北中城村喜舎場* = 0.9 南城市玉城富里* = 0.8 国頭村典 = 0.8 那覇市港町* = 0.7 南城市知念久手堅* = 0.7 与那原町上与那原* = 0.7 北谷町桑江* = 0.7 豊見城市翁長* = 0.6 伊江村東江前* = 0.6 読谷村座喜味 = 0.5 嘉手納町嘉手納* = 0.5 南城市大里仲間* = 0.5				
4	2 04 07	奈良県 奈良県	34° 24.6' N	135° 52.6' E	10km	M: 2.8
		1 吉野町上市* = 1.4 高取町観音寺* = 1.2 宇陀市大宇陀迫間* = 1.2 桜井市初瀬 = 1.0 宇陀市榛原下井足* = 0.7 宇陀市菟田野松井* = 0.5				

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
5	2 05 39	群馬県北部 群馬県 1 中之条町日影=0.6	36° 44.8' N	138° 44.5' E	5km	M: 2.2
6	2 12 10	和歌山県北部 和歌山県 1 湯浅町湯浅*=0.9 由良町里*=0.6	33° 59.8' N	135° 14.1' E	6km	M: 2.4
7	2 15 11	和歌山県南部 和歌山県 1 白浜町日置*=0.8 すさみ町周参見*=0.6	33° 32.3' N	135° 33.2' E	11km	M: 2.8
8	2 18 19	新潟県上中越沖 新潟県 2 上越市木田*=1.7 小千谷市城内=1.6 上越市大潟区土底浜*=1.5 1 糸魚川市大野*=1.0 上越市名立区名立大町*=1.0 上越市牧区柳島*=0.9 上越市柿崎区柿崎*=0.8 上越市大手町=0.8 上越市清里区荒牧*=0.6 上越市吉川区原之町*=0.6 妙高市田町*=0.6 妙高市関川*=0.6 小千谷市旭町*=0.6 佐渡市河原田本町*=0.6 糸魚川市能生*=0.5 上越市大島区岡*=0.5 石川県 1 輪島市鳳至町=0.6 珠洲市正院町*=0.5	37° 26.6' N	138° 02.0' E	27km	M: 3.8
9	2 20 36	奄美大島近海 鹿児島県 2 瀬戸内町西古見=1.7 奄美市住用町西仲間*=1.6 1 宇検村湯湾*=1.3 瀬戸内町古仁屋*=1.0 大和村思勝*=0.8 奄美市名瀬港町=0.5	28° 14.2' N	129° 21.6' E	11km	M: 3.3
10	3 04 09	鹿児島県薩摩地方 鹿児島県 4 阿久根市赤瀬川=3.7 3 阿久根市鶴見町*=3.3 鹿児島出水市野田町*=3.2 鹿児島出水市高尾野町*=2.7 長島町伊唐島*=2.7 2 長島町指江*=2.2 長島町鷹巣*=2.1 さつま町神子*=2.1 鹿児島出水市緑町*=2.0 長島町獅子島*=2.0 薩摩川内市神田町*=1.7 薩摩川内市東郷町*=1.7 鹿児島出水市桂島*=1.7 伊佐市大口鳥巢*=1.7 霧島市横川町中ノ*=1.6 薩摩川内市中郷=1.5 薩摩川内市入来町*=1.5 1 伊佐市大口山野=1.4 薩摩川内市祁答院町*=1.2 霧島市隼人町内山田=1.2 伊佐市菱刈前目*=1.2 さつま町宮之城保健センタ*=1.1 いちき串木野市緑町*=1.1 霧島市福山町牧之原*=1.0 日置市日吉町日置*=0.9 さつま町求名*=0.9 湧水町吉松*=0.9 鹿児島市本城*=0.6 霧島市国分中央*=0.6 枕崎市高見町=0.6 始良市宮島町*=0.6 さつま町宮之城屋地=0.5 始良市蒲生町上久徳*=0.5 薩摩川内市樋脇町*=0.5 薩摩川内市上甕町*=0.5 熊本県 2 天草市牛深町=2.2 上天草市大矢野町=1.9 芦北町芦北=1.6 水俣市陣内*=1.5 球磨村渡*=1.5 1 天草市東浜町*=1.3 水俣市牧ノ内*=1.3 天草市五和町*=1.2 上天草市姫戸町*=1.2 八代市坂本町*=1.1 上天草市松島町*=1.1 天草市新和町*=1.1 天草市倉岳町*=1.1 天草市栖本町*=1.0 津奈木町小津奈木*=0.8 人吉市西間下町=0.8 八代市平山新町=0.8 天草市有明町*=0.8 熊本美里町永富*=0.6 錦町一武*=0.6 天草市河浦町*=0.5 上天草市龍ヶ岳町*=0.5 人吉市蟹作町*=0.5 福岡県 長崎県 1 みやま市高田町*=0.5 1 雲仙市小浜町雲仙=1.1 南島原市口之津町*=1.0	32° 04.1' N	130° 12.3' E	9km	M: 4.1
11	3 08 29	宮城県沖 岩手県 2 一関市千厩町*=1.5 1 陸前高田市高田町*=0.9 住田町世田米*=0.8 一関市大東町=0.7 一関市室根町*=0.7 大船渡市大船渡町=0.6 大船渡市猪川町=0.6 一関市東山町*=0.5 宮城県 1 気仙沼市唐桑町*=1.1 石巻市桃生町*=1.1 石巻市北上町*=1.0 登米市豊里町*=0.9 気仙沼市赤岩=0.8 気仙沼市笹が陣*=0.8 女川町女川浜*=0.7 石巻市大街道南*=0.6 石巻市泉町=0.6 南三陸町志津川=0.5 南三陸町歌津*=0.5 登米市東和町*=0.5	38° 38.2' N	141° 54.3' E	48km	M: 3.8
12	3 23 19	種子島近海 鹿児島県 1 錦江町田代支所*=0.6 大崎町仮宿*=0.5 中種子町野間*=0.5	30° 33.7' N	131° 17.1' E	28km	M: 3.7
13	3 23 31	福島県沖 福島県 1 田村市都路町*=1.3 田村市船引町=1.0 いわき市三和町=0.5 福島広野町下北迫大谷地原*=0.5 浪江町幾世橋=0.5	37° 21.7' N	141° 23.8' E	55km	M: 3.7
14	4 00 51	沖縄本島近海 沖縄県 3 恩納村恩納*=2.6 国頭村奥=2.5 2 国頭村辺土名*=2.4 名護市港*=2.2 今帰仁村仲宗根*=2.1 本部町役場*=2.0 うるま市石川石崎*=1.9 名護市豊原=1.8 金武町金武*=1.7 宜野座村宜野座*=1.7 うるま市与那城平安座*=1.7 東村平良*=1.6 うるま市与那城饒辺*=1.6 大宜味村大兼久*=1.5 読谷村座喜味=1.5 うるま市みどり町*=1.5 1 名護市宮里=1.4 沖縄市美里*=1.4 中城村当間*=1.3 伊平屋村役場*=1.2 西原町与那城*=1.2 南城市佐敷*=1.2 座間味村座間味*=1.1 与那原町上与那原*=1.1 北谷町桑江*=1.0 南城市玉城富里*=1.0 宜野湾市野嵩*=1.0 北中城村喜舎場*=0.9 八重瀬町東風平*=0.9 南城市知念久手堅*=0.8 那覇市港町*=0.8 伊平屋村我喜屋=0.8 南城市大里仲間*=0.8 伊是名村仲田*=0.7 伊江村東江前*=0.7 鹿児島県 1 知名町瀬利覚=0.7	26° 34.8' N	128° 13.3' E	43km	M: 4.5
15	4 04 35	宮城県沖 岩手県 2 一関市千厩町*=1.8 1 一関市室根町*=1.2 一関市大東町=1.1 一関市東山町*=0.8 住田町世田米*=0.7 宮城県 1 石巻市鮎川浜*=1.3 石巻市北上町*=1.3 石巻市桃生町*=1.2 女川町女川浜*=1.2 涌谷町新町裏=1.1	38° 15.9' N	141° 51.1' E	47km	M: 4.0

地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
		宮城川崎町前川* = 1.1 石巻市大街道南* = 1.0 気仙沼市唐桑町* = 0.9 気仙沼市笹が陣* = 0.9 南三陸町志津川 = 0.9 石巻市泉町 = 0.8 南三陸町歌津* = 0.6 岩沼市桜* = 0.6 登米市津山町* = 0.5 登米市中田町 = 0.5 仙台宮城野区苦竹* = 0.5 登米市東和町* = 0.5 福島県 1 飯館村伊丹沢* = 0.9 福島伊達市霊山町* = 0.8 相馬市中村* = 0.7 田村市船引町 = 0.5 南相馬市鹿島区西町* = 0.5				
16	4 09 22	トカラ列島近海 鹿児島県 1 鹿児島十島村宝島* = 0.9	29° 11.5' N	129° 06.3' E	10km	M: 2.7
17	4 11 57	宮城県沖 岩手県 1 大船渡市猪川町 = 1.0 一関市千厩町* = 0.5 大船渡市大船渡町 = 0.5 宮城県 1 気仙沼市笹が陣* = 0.9 気仙沼市赤岩 = 0.5	38° 53.3' N	141° 58.4' E	49km	M: 3.5
18	4 17 06	宮城県沖 岩手県 1 一関市室根町* = 0.6 宮城県 1 石巻市北上町* = 0.9 女川町女川浜* = 0.8 石巻市桃生町* = 0.7 登米市中田町 = 0.5	38° 26.0' N	141° 39.6' E	54km	M: 3.4
19	5 04 39	宮城県沖 岩手県 1 一関市千厩町* = 1.1 大船渡市大船渡町 = 0.9 釜石市中妻町* = 0.9 一関市花泉町* = 0.8 一関市室根町* = 0.8 奥州市前沢区* = 0.7 大船渡市猪川町 = 0.7 住田町世田米* = 0.6 北上市相去町* = 0.5 宮古市田老* = 0.5 釜石市只越町 = 0.5 宮城県 1 南三陸町志津川 = 1.1 石巻市桃生町* = 1.1 女川町女川浜* = 1.1 気仙沼市笹が陣* = 1.0 気仙沼市唐桑町* = 0.9 登米市豊里町* = 0.8 気仙沼市赤岩 = 0.8 宮城県美里町北浦* = 0.7 大崎市田尻* = 0.6 岩沼市桜* = 0.6 大崎市古川大崎 = 0.6 大崎市古川三日町 = 0.5	38° 38.7' N	142° 10.2' E	41km	M: 4.2
20	5 09 14	島根県東部 島根県 1 出雲市佐田町反辺* = 1.3 出雲市湖陵町二部* = 0.8	35° 14.8' N	132° 41.9' E	6km	M: 2.4
21	5 17 56	釧路地方中南部 北海道 1 標茶町塘路* = 0.5	43° 01.8' N	144° 24.6' E	76km	M: 3.1
22	5 19 24	千葉県東方沖 茨城県 1 笠間市石井* = 0.5	35° 36.2' N	141° 02.3' E	17km	M: 3.5
23	5 19 54	福島県沖 福島県 1 檜葉町北田* = 1.4	37° 28.2' N	141° 21.8' E	35km	M: 3.3
24	5 21 27	和歌山県北部 和歌山県 3 海南市下津* = 3.0 有田市初島町* = 2.7 海南市日方* = 2.6 2 和歌山市一番丁* = 2.0 有田市箕島 = 1.9 紀美野町下佐々* = 1.7 有田川町下津野* = 1.7 紀の川市貴志川町神戸* = 1.6 和歌山市男野芝丁 = 1.6 湯浅町湯浅* = 1.6 紀の川市粉河 = 1.5 和歌山広川町広* = 1.5 1 紀の川市桃山町元* = 1.4 由良町里* = 1.0 有田川町中井原* = 0.9 和歌山日高町高家* = 0.7 紀美野町神野市場* = 0.7 日高川町川原河* = 0.7 岩出市西野* = 0.6 紀の川市那賀総合センター* = 0.5 大阪府 1 泉佐野市市場* = 0.9 泉南市男里* = 0.9 泉大津市東雲町* = 0.6 阪南市尾崎町* = 0.5	34° 08.5' N	135° 08.8' E	5km	M: 3.8
25	5 21 45	茨城県沖 茨城県 2 日立市助川小学校* = 1.8 1 東海村東海* = 1.0 日立市役所* = 0.6 常陸大宮市上小瀬* = 0.6	36° 32.0' N	140° 46.0' E	18km	M: 3.3
26	6 02 17	奈良県 奈良県 3 吉野町上市* = 3.1 2 高取町観音寺* = 1.9 大淀町桧垣本 = 1.7 宇陀市大宇陀迫間* = 1.5 1 下市町下市* = 1.3 東吉野村小川* = 1.3 奈良川上村迫* = 1.2 天川村洞谷* = 1.2 天川村洞川 = 1.1 明日香村岡* = 0.9 黒滝村寺戸* = 0.9 樫原市八木町* = 0.8 御所市役所* = 0.7 宇陀市菟田野松井* = 0.7 宇陀市榛原下井足* = 0.7 桜井市初瀬 = 0.6 五條市本町* = 0.6 葛城市柿本* = 0.5	34° 24.6' N	135° 52.7' E	10km	M: 3.4
27	6 18 09	岩手県沿岸北部 青森県 2 階上町道仏* = 1.5 1 青森南部町苦米地* = 0.9 八戸市内丸* = 0.5 岩手県 2 遠野市青笹町* = 1.7 1 宮古市区界* = 1.0 葛巻町葛巻元木 = 1.0 宮古市茂市* = 0.9 宮古市川井* = 0.9 花巻市大迫総合支所* = 0.9 盛岡市玉山区薮川* = 0.8 盛岡市玉山区洪民* = 0.8 遠野市宮守町* = 0.8 葛巻町消防分署* = 0.7 八幡平市田頭* = 0.7 普代村銅屋* = 0.7 宮古市田老* = 0.7 久慈市枝成沢 = 0.6 田野畑村田野畑 = 0.6 一関市室根町* = 0.6 住田町世田米* = 0.5	39° 45.2' N	141° 50.6' E	58km	M: 3.7
28	6 18 32	宮城県沖 岩手県 3 一関市千厩町* = 2.7 一関市室根町* = 2.6 釜石市中妻町* = 2.5 一関市藤沢町* = 2.5 陸前高田市高田町* = 2.5 2 遠野市青笹町* = 2.1 一関市東山町* = 2.1 大船渡市大船渡町 = 2.1 大船渡市猪川町 = 2.1 住田町世田米* = 2.0 釜石市只越町 = 2.0 宮古市田老* = 1.9 北上市相去町* = 1.8 平泉町平泉* = 1.8 奥州市前沢区* = 1.8 奥州市胆沢区* = 1.7 一関市大東町 = 1.7 奥州市江刺区* = 1.7 山田町大沢* = 1.7 盛岡市玉山区薮川* = 1.6 遠野市宮守町* = 1.6 矢巾町南矢幅* = 1.6 奥州市衣川区* = 1.6	38° 42.0' N	142° 14.8' E	39km	M: 5.0

地震 番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
		<p>花巻市大迫町=1.6 宮古市五月町*=1.6 一関市花泉町*=1.5 金ヶ崎町西根*=1.5</p> <p>1 盛岡市玉山区洪民*=1.4 一関市竹山町*=1.4 宮古市区界*=1.3 盛岡市山王町=1.3 八幡平市田頭*=1.3 宮古市鎌ヶ崎=1.3 山田町八幡町=1.2 滝沢市鶴飼*=1.2 花巻市大迫総合支所*=1.2 北上市柳原町=1.2 普代村銅屋*=1.2 宮古市川井*=1.1 花巻市東和町*=1.1 野田村野田*=1.1 大船渡市盛町*=1.1 花巻市石鳥谷町*=1.1 奥州市水沢区大鐘町=1.0 奥州市水沢区佐倉河*=1.0 宮古市長沢=1.0 盛岡市馬場町*=1.0 宮古市茂市*=1.0 二戸市浄法寺町*=1.0 紫波町紫波中央駅前*=1.0 一関市川崎町*=0.9 西和賀町沢内川舟*=0.9 花巻市材木町*=0.9 八幡平市大更=0.8 久慈市枝成沢=0.8 大槌町小鏡*=0.8 岩手町五日市*=0.8 葛巻町葛巻元木=0.7 九戸村伊保内*=0.7 二戸市福岡=0.6 雫石町千刈田=0.6 西和賀町川尻*=0.5</p> <p>3 南三陸町志津川=2.7 気仙沼市笹が陣*=2.5</p> <p>2 石巻市桃生町*=2.4 気仙沼市赤岩=2.3 気仙沼市唐桑町*=2.1 涌谷町新町裏=2.1 女川町女川浜*=2.1 塩竈市旭町*=2.0 登米市迫町*=1.9 石巻市鮎川浜*=1.9 大崎市古川三日町=1.8 岩沼市桜*=1.8 石巻市北上町*=1.8 栗原市栗駒=1.8 登米市豊里町*=1.8 大崎市田尻*=1.7 登米市中田町=1.7 宮城美里町北浦*=1.7 宮城美里町木間塚*=1.6 気仙沼市本吉町津谷*=1.6 色麻町四竈*=1.6 石巻市前谷地*=1.6 栗原市若柳*=1.5 栗原市一迫*=1.5 大崎市古川大崎=1.5 気仙沼市本吉町西川内=1.5 名取市増田*=1.5 登米市東和町*=1.5 仙台青葉区作並*=1.5 仙台宮城野区苦竹*=1.5 登米市登米町*=1.5 石巻市相野谷*=1.5 登米市南方町*=1.5 南三陸町歌津*=1.5 利府町利府*=1.5 栗原市築館*=1.5</p> <p>1 大崎市古川北町*=1.4 大崎市鳴子*=1.4 大崎市鹿島台*=1.4 石巻市街道南*=1.4 大郷町柏川*=1.4 大衡村大衡*=1.4 栗原市高清水*=1.3 栗原市金成*=1.3 登米市米山町*=1.3 大崎市松山*=1.3 宮城川崎町前川*=1.3 東松島市矢本*=1.3 栗原市瀬峰*=1.3 栗原市志波姫*=1.3 大崎市三本木*=1.2 蔵王町円田*=1.2 大河原町新南*=1.2 山元町浅生原*=1.2 石巻市泉町=1.2 石巻市雄勝町*=1.2 登米市石越町*=1.2 宮城加美町中新田*=1.2 栗原市鶯沢*=1.2 仙台青葉区大倉=1.1 仙台宮城野区五輪=1.1 仙台若林区遠見塚*=1.1 栗原市花山*=1.1 東松島市小野*=1.1 松島町高城=1.1 七ヶ浜町東宮浜*=1.1 宮城加美町小野田*=1.1 仙台空港=1.0 角田市角田*=1.0 柴田町船岡=1.0 大和町吉岡*=1.0 亙理町下小路*=1.0 仙台泉区将監*=1.0 大崎市岩出山*=0.9 登米市津山町*=0.9 富谷町富谷*=0.8 仙台青葉区落合*=0.8 宮城加美町宮崎*=0.7 白石市亙理町*=0.7 仙台青葉区雨宮*=0.7 村田町村田*=0.6 石巻市大瓜=0.5</p> <p>1 階上町道仏*=1.4 八戸市南郷*=1.3 青森南部町苦米地*=1.1 青森南部町平*=1.0 五戸町古館=0.9 八戸市内丸*=0.9 おいらせ町中下田*=0.9 八戸市湊町=0.8</p> <p>秋田県 1 大仙市刈和野*=0.7 大仙市北長野*=0.6 大仙市高梨*=0.6 東成瀬村椿川*=0.5 東成瀬村田子内*=0.5</p> <p>山形県 1 中山町長崎*=0.6 尾花沢市若葉町*=0.5</p> <p>福島県 1 本宮市本宮*=1.4 福島伊達市霊山町*=1.2 国見町藤田*=1.1 田村市大越町*=1.1 田村市常葉町*=1.0 田村市滝根町*=1.0 本宮市白岩*=1.0 相馬市中村*=1.0 飯館村伊丹沢*=1.0 二本松市針道*=0.9 川俣町樋ノ口*=0.9 玉川村小高*=0.9 新地町谷地小屋*=0.9 二本松市油井*=0.9 福島市五老内町*=0.8 檜葉町北田*=0.8 田村市船引町=0.8 南相馬市鹿島区西町*=0.8 白河市新白河*=0.7 田村市都路町*=0.7 須賀川市岩瀬支所*=0.7 福島伊達市梁川町*=0.7 天栄村下松本*=0.7 福島市松木町=0.7 須賀川市八幡山*=0.6 小野町小野新町*=0.6 二本松市金色*=0.6 浪江町幾世橋=0.6 南相馬市鹿島区栞塚=0.6 南相馬市原町区高見町*=0.6 南相馬市原町区三島町=0.5 いわき市三和町=0.5 棚倉町棚倉中居野=0.5</p> <p>茨城県 1 笠間市石井*=0.5</p>				
29	6 19 06	<p>宮城県沖 岩手県</p> <p>38° 42.3' N 142° 14.1' E 39km M: 3.9</p> <p>1 一関市千厩町*=1.0 釜石市中妻町*=0.9 一関市室根町*=0.9 遠野市青笹町*=0.7 一関市藤沢町*=0.6 陸前高田市高田町*=0.5 住田町世田米*=0.5 釜石市只越町=0.5</p> <p>宮城県 1 南三陸町志津川=0.9 気仙沼市赤岩=0.7 気仙沼市唐桑町*=0.7</p>				
30	6 19 17	<p>宮城県沖 岩手県</p> <p>38° 42.1' N 142° 14.8' E 39km M: 4.5</p> <p>2 一関市室根町*=2.4 一関市千厩町*=1.9 釜石市中妻町*=1.7 遠野市青笹町*=1.6 住田町世田米*=1.6 大船渡市大船渡町=1.5 奥州市前沢区*=1.5 陸前高田市高田町*=1.5 一関市東山町*=1.5</p> <p>1 一関市藤沢町*=1.4 大船渡市猪川町=1.3 北上市相去町*=1.3 山田町大沢*=1.3 釜石市只越町=1.2 遠野市宮守町*=1.1 宮古市田老*=1.1 平泉町平泉*=1.1 奥州市江刺区*=1.0 一関市大東町=0.9 八幡平市田頭*=0.9 花巻市大迫町=0.9 宮古市五月町*=0.9 宮古市区界*=0.9 盛岡市玉山区洪民*=0.8 宮古市鎌ヶ崎=0.8 奥州市胆沢区*=0.8 矢巾町南矢幅*=0.8 盛岡市玉山区蕨川*=0.8 金ヶ崎町西根*=0.8 宮古市長沢=0.7 奥州市衣川区*=0.7 一関市竹山町*=0.7 山田町八幡町=0.6 宮古市川井*=0.6 一関市川崎町*=0.5 北上市柳原町=0.5 盛岡市山王町=0.5 宮古市茂市*=0.5 花巻市石鳥谷町*=0.5 一関市花泉町*=0.5 花巻市大迫総合支所*=0.5</p> <p>宮城県 2 気仙沼市唐桑町*=2.1 気仙沼市笹が陣*=1.6 気仙沼市赤岩=1.5 南三陸町志津川=1.5</p> <p>1 登米市東和町*=1.1 石巻市桃生町*=1.1 栗原市栗駒=0.9 気仙沼市本吉町西川内=0.8 登米市中田町=0.8 登米市登米町*=0.8 登米市迫町*=0.8 南三陸町歌津*=0.7 石巻市北上町*=0.7 涌谷町新町裏=0.6 女川町女川浜*=0.6 栗原市築館*=0.5 大崎市古川三日町=0.5 大崎市古川大崎=0.5 大崎市鳴子*=0.5 気仙沼市本吉町津谷*=0.5</p> <p>青森県 1 階上町道仏*=0.9 八戸市湊町=0.5</p>				
31	6 20 48	<p>宮城県沖 岩手県</p> <p>38° 42.3' N 142° 13.9' E 39km M: 3.9</p> <p>1 一関市千厩町*=1.2 一関市室根町*=1.2 一関市藤沢町*=1.1 釜石市中妻町*=0.9 陸前高田市高田町*=0.9 一関市東山町*=0.8 遠野市青笹町*=0.6 大船渡市大船渡町=0.6 住田町世田米*=0.6</p> <p>宮城県 1 気仙沼市笹が陣*=1.2 南三陸町志津川=1.2 気仙沼市赤岩=0.9 気仙沼市唐桑町*=0.9</p>				

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
32	7 05 25	宮城県沖 岩手県 宮城県	38° 17.1' N	142° 01.0' E	49km	M: 3.8 1 一関市千厩町*=0.7 一関市室根町*=0.5 一関市藤沢町*=0.5 1 女川町女川浜*=0.7 石巻市北上町*=0.6
33	7 09 20	宮城県沖 岩手県 宮城県	38° 52.9' N	142° 30.0' E	38km	M: 4.1 1 一関市室根町*=0.9 住田町世田米*=0.7 大船渡市猪川町=0.6 大船渡市大船渡町=0.5 1 気仙沼市笹が陣*=0.7 気仙沼市赤岩=0.6
34	7 16 46	山梨県東部・富士五湖 神奈川県 山梨県 東京都 静岡県	35° 33.2' N	138° 57.8' E	22km	M: 3.3 2 山北町山北*=1.5 相模原緑区中野*=1.5 1 秦野市曾屋=0.9 南足柄市関本*=0.7 湯河原町中央=0.6 相模原中央区上溝*=0.6 2 大月市御太刀*=2.3 上野原市役所*=1.7 甲州市勝沼町勝沼*=1.5 大月市大月=1.5 1 富士河口湖町長浜*=1.4 上野原市上野原=1.3 西桂町小沼*=1.3 甲州市大和町初鹿野*=1.3 富士河口湖町船津=1.2 富士吉田市上吉田*=1.2 笛吹市境川町藤壘*=1.1 笛吹市八代町南*=1.1 富士河口湖町勝山*=0.8 鳴沢村役場*=0.8 都留市上谷*=0.7 大月市役所*=0.7 小菅村小菅小学校*=0.7 笛吹市春日居町寺本*=0.6 甲州市役所*=0.6 甲州市塩山上於曾*=0.5 丹波山村丹波*=0.5 山梨市三富川浦*=0.5 1 青梅市日向和田*=0.6 1 小山町藤曲*=0.8
35	8 03 52	静岡県東部 静岡県	35° 18.7' N	138° 43.0' E	12km	M: 1.5 1 富士市大淵*=0.7
36	8 04 33	岩手県沖 岩手県	39° 38.8' N	142° 06.4' E	48km	M: 3.2 1 釜石市只越町=0.5
37	8 06 54	豊後水道 愛媛県	33° 24.9' N	132° 21.8' E	42km	M: 3.0 1 宇和島市丸穂*=0.5
38	8 21 49	青森県東方沖 青森県	40° 54.0' N	142° 07.0' E	51km	M: 3.3 1 階上町道仏*=0.8
39	8 23 44	岩手県沿岸北部 岩手県	39° 39.2' N	141° 57.3' E	62km	M: 3.2 1 八幡平市田頭*=0.6
40	9 01 01	大隅半島東方沖 宮崎県 鹿児島県	31° 35.7' N	131° 28.4' E	38km	M: 3.4 1 日南市吾田東*=1.4 日南市南郷町南町*=1.3 日南市油津=1.0 都城市菖蒲原=0.9 宮崎市松橋*=0.9 都城市姫城町*=0.8 日南市中央通*=0.8 串間市都井*=0.7 串間市奈留=0.7 三股町五本松*=0.6 日南市北郷町郷之原*=0.5 日南市北郷町大藤=0.5 1 大崎町仮宿*=1.3 鹿屋市新栄町=0.7 鹿屋市礼元*=0.6 曾於市大隅町中之内*=0.6
41	10 05 32	長野県北部 長野県	36° 49.5' N	138° 22.4' E	10km	M: 2.6 1 飯山市飯山福寿町*=1.4 木島平村往郷*=1.2 山ノ内町消防署*=1.0 中野市豊津*=0.7 中野市三好町*=0.7
42	11 07 16	根室半島南東沖 北海道	43° 05.8' N	145° 46.9' E	51km	M: 3.7 2 根室市落石東*=1.6 1 根室市瑠瑠瑠*=1.3 浜中町霧多布*=1.2 根室市牧の内*=1.0 標津町北2条*=0.9 羅臼町岬町*=0.7 浜中町湯沸=0.5 別海町本別海*=0.5
43	11 11 12	茨城県南部 栃木県	36° 15.0' N	140° 03.5' E	55km	M: 2.8 1 宇都宮市明保野町=0.6
44	11 11 20	岐阜県飛騨地方 岐阜県	36° 05.2' N	137° 32.5' E	6km	M: 2.0 1 高山市高根町*=0.6
45	11 12 00	宮城県沖 岩手県	38° 31.8' N	141° 48.8' E	50km	M: 3.0 1 一関市千厩町*=0.5
46	11 17 11	父島近海 東京都	27° 08.7' N	142° 35.3' E	29km	M: 3.9 1 小笠原村父島三日月山=1.4 小笠原村父島西町=1.1
47	12 09 48	宮城県沖 岩手県 宮城県	38° 45.2' N	142° 11.8' E	36km	M: 3.6 1 一関市千厩町*=1.0 1 気仙沼市笹が陣*=0.7 気仙沼市唐桑町*=0.7
48	12 14 42	茨城県北部 福島県 茨城県	36° 49.7' N	140° 33.3' E	7km	M: 3.3 1 矢祭町戸塚*=0.9 1 常陸太田市大中町*=1.1 常陸大宮市上小瀬*=0.7 常陸大宮市山方*=0.6 土浦市常名=0.6 日立市助川小学校*=0.5 笠間市石井*=0.5 笠間市笠間*=0.5

地震 番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
49	13 00 03	茨城県北部 茨城県 1 常陸太田市大中町*=1.1 高萩市安良川*=0.7	36° 49.7' N	140° 33.3' E	8km	M: 3.0
50	13 04 40	宮城県沖 宮城県 1 気仙沼市赤岩=0.7	38° 41.7' N	142° 14.2' E	39km	M: 3.7
51	13 09 00	福島県沖 福島県 1 浪江町幾世橋=0.5	36° 56.7' N	141° 09.9' E	26km	M: 3.3
52	13 09 17	宮古島近海 沖縄県 3 宮古島市平良狩俣*=2.5 2 宮古島市城辺福西*=2.1 石垣市平久保=1.8 宮古島市平良下里=1.6 宮古島市城辺福北=1.5 宮古島市平良西里*=1.5 宮古島市伊良部長浜*=1.5 宮古島市平良池間=1.5 1 宮古島市伊良部国仲=1.4 多良間村塩川=1.2 石垣市登野城=1.2 石垣市新栄町*=1.2 宮古島市上野新里=1.1 石垣市美崎町*=1.0 竹富町船浮=0.9 竹富町上原*=0.8 石垣市伊原間*=0.5	25° 11.2' N	125° 00.5' E	70km	M: 4.8
53	13 13 24	岩手県沖 青森県 1 青森南部町苦米地*=1.0 五戸町古館=1.0 階上町道仏*=0.9 青森南部町平*=0.8 八戸市南郷*=0.8 おいらせ町中下田*=0.7 八戸市湊町=0.5 八戸市内丸*=0.5 岩手県 1 盛岡市玉山区藪川*=1.1 盛岡市玉山区洪民*=0.9 八幡平市田頭*=0.7 宮古市田老*=0.6 宮古市鉾ヶ崎=0.5 宮古市五月町*=0.5	40° 04.0' N	142° 42.3' E	27km	M: 4.5
54	13 21 04	宮城県沖 岩手県 1 一関市千厩町*=1.4 一関市東山町*=1.4 一関市室根町*=1.4 住田町世田米*=1.2 一関市大東町=1.0 一関市藤沢町*=1.0 大船渡市大船渡町=0.5 宮城県 1 気仙沼市笹が陣*=0.9 気仙沼市赤岩=0.8 登米市豊里町*=0.8 石巻市桃生町*=0.6 南三陸町志津川=0.5	38° 52.0' N	141° 38.2' E	61km	M: 3.4
55	13 22 08	長野県北部 長野県 1 栄村小赤沢*=0.8	36° 48.9' N	138° 37.1' E	1km	M: 2.5
56	13 23 58	宮城県沖 岩手県 2 一関市室根町*=1.6 1 大船渡市大船渡町=1.2 釜石市中妻町*=1.2 住田町世田米*=1.1 宮古市川井*=1.1 大船渡市猪川町=1.1 山田町大沢*=1.1 釜石市只越町=1.0 一関市千厩町*=0.9 陸前高田市高田町*=0.9 宮古市田老*=0.7 一関市東山町*=0.7 八幡平市田頭*=0.7 遠野市青笹町*=0.6 一関市大東町=0.5 宮古市長沢=0.5 宮城県 1 気仙沼市唐桑町*=1.4 気仙沼市笹が陣*=1.3 気仙沼市赤岩=1.2 栗原市若柳*=0.8 南三陸町志津川=0.7	38° 53.9' N	142° 29.7' E	41km	M: 3.9
57	15 04 36	根室半島南東沖 北海道 2 別海町常盤=2.3 根室市牧の内*=2.3 根室市厚床*=2.3 根室市落石東*=2.2 根室市瑠瑠瑠*=2.0 別海町西春別*=1.6 1 標茶町塘路*=1.3 標津町北2条*=1.3 浜中町霧多布*=1.2 別海町本別海*=1.2 根室市弥栄=1.0 根室市豊里=1.0 羅臼町岬町*=0.8 厚岸町真栄*=0.6 厚岸町尾幌=0.6 白糠町西1条*=0.5	43° 26.2' N	146° 04.7' E	96km	M: 4.1
58 (注)	15 05 35 15 05 34	千葉県東方沖 千葉県東方沖 千葉県 2 香取市仁良*=1.9 1 成田市花崎町=1.3 芝山町小池*=1.2 旭市高生*=1.2 旭市萩園*=1.1 成田市松子*=1.1 旭市南堀之内*=1.0 旭市二*=1.0 香取市佐原諏訪台*=0.9 匝瑳市今泉*=0.9 神崎町神崎本宿*=0.8 成田市猿山*=0.8 栄町安食台*=0.8 香取市役所*=0.7 香取市岩部*=0.7 山武市埴谷*=0.7 山武市蓮沼ハ*=0.7 匝瑳市八日市場ハ*=0.7 成田国際空港=0.6 多古町多古=0.6 香取市佐原平田=0.6 千葉県中央区都町*=0.5 横芝光町宮川*=0.5 山武市松尾町富士見台=0.5 茨城県 1 稲敷市柴崎*=1.4 稲敷市結佐*=1.0 茨城鹿嶋市鉢形=0.9 潮来市辻*=0.8 稲敷市江戸崎甲*=0.8 潮来市堀之内=0.8 土浦市下高津*=0.7 石岡市柿岡=0.7 稲敷市須賀津*=0.7 龍ヶ崎市役所*=0.7 坂東市岩井=0.7 取手市寺田*=0.6 かすみがうら市大和田*=0.5 行方市麻生*=0.5 小美玉市上玉里*=0.5 茨城鹿嶋市宮中*=0.5 土浦市常名=0.5	35° 25.1' N 35° 25.1' N	140° 58.0' E 140° 58.3' E	18km 19km	M: 4.0 M: 3.5
59	15 10 06	茨城県南部 茨城県 1 水戸市内原町*=0.8 笠間市下郷*=0.8 小美玉市上玉里*=0.7 土浦市常名=0.7 笠間市石井*=0.6 石岡市柿岡=0.6 筑西市海老ヶ島*=0.6 笠間市笠間*=0.5 城里町石塚*=0.5	36° 00.6' N	139° 55.8' E	41km	M: 2.9
60	15 11 36	根室半島南東沖 北海道 1 浜中町霧多布*=0.7 根室市瑠瑠瑠*=0.5	43° 02.4' N	145° 56.1' E	74km	M: 3.9
61	15 13 51	三重県南部 奈良県 1 吉野町上市*=0.7	33° 59.0' N	136° 08.7' E	45km	M: 3.3
62	15 14 29	天草灘 熊本県 1 天草市天草町*=0.5	32° 26.6' N	129° 56.6' E	13km	M: 2.4

地震 番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
63	15 14 41	鳥取県中部 鳥取県	35° 26.2' N	133° 54.6' E	8km	M: 2.1
		1 湯梨浜町龍島*=1.2				
64	15 16 03	宮城県沖 岩手県	38° 46.5' N	142° 00.9' E	55km	M: 3.7
		1 住田町世田米*=1.4 一関市千厩町*=1.1 大船渡市猪川町=0.9 大船渡市大船渡町=0.9 一関市室根町*=0.8 陸前高田市高田町*=0.8 釜石市只越町=0.6				
		宮城県 1 気仙沼市笹が陣*=1.1 気仙沼市赤岩=0.7 南三陸町志津川=0.7				
65	16 05 36	栃木県北部 栃木県	36° 37.6' N	139° 25.1' E	9km	M: 3.0
		2 日光市足尾町通洞*=1.6				
		1 日光市中鉢石町*=1.1 日光市足尾町中才*=1.0 鹿沼市今宮町*=0.9				
		群馬県 1 沼田市利根町*=0.6 片品村東小川=0.6 片品村鎌田*=0.5				
66	16 05 56	愛知県西部 愛知県	34° 59.6' N	137° 07.0' E	40km	M: 2.9
		1 豊田市小坂町*=0.8 豊田市小坂本町=0.6				
67	16 09 13	徳島県南部 徳島県	33° 54.0' N	134° 27.5' E	10km	M: 2.3
		1 那賀町和食*=0.7				
68	16 10 59	長野県中部 長野県	36° 18.2' N	137° 53.2' E	4km	M: 2.3
		2 安曇野市穂高支所=1.8				
		1 安曇野市堀金*=1.1 安曇野市穂高福祉センター*=1.0 安曇野市明科*=0.9				
69	16 15 32	徳島県南部 徳島県	33° 54.5' N	134° 26.3' E	39km	M: 2.8
		1 那賀町和食*=0.6				
70	16 16 34	宮城県沖 岩手県	38° 18.6' N	141° 54.3' E	46km	M: 3.8
		2 一関市千厩町*=1.6 一関市室根町*=1.5				
		1 住田町世田米*=1.3 一関市藤沢町*=1.2 一関市東山町*=1.0 一関市大東町=0.7 陸前高田市高田町*=0.6 釜石市只越町=0.6 大船渡市大船渡町=0.6 釜石市中妻町*=0.5 奥州市前沢区*=0.5 一関市花泉町*=0.5 大船渡市猪川町=0.5				
		宮城県 2 登米市豊里町*=1.6 石巻市北上町*=1.6				
		1 気仙沼市笹が陣*=1.4 女川町女川浜*=1.4 気仙沼市唐桑町*=1.3 石巻市桃生町*=1.3 気仙沼市赤岩=1.2 石巻市雄勝町*=1.1 南三陸町歌津*=1.1 涌谷町新町裏=1.0 石巻市大街道南*=0.9 石巻市鮎川浜*=0.9 気仙沼市本吉町西川内=0.8 栗原市栗駒=0.8 登米市中田町=0.8 東松島市小野*=0.7 登米市東和町*=0.7 石巻市泉町=0.5				
71	16 17 33	青森県三八上北地方 青森県	40° 24.6' N	141° 35.4' E	111km	M: 4.1
		2 階上町道仏*=2.0 八戸市湊町=1.6				
		1 東通村砂子又沢内*=1.4 青森南部町苦米地*=1.3 八戸市内丸*=1.1 七戸町森ノ上*=1.1 五戸町古館=1.0 東北町上北南*=0.9 青森南部町平*=0.9 おひらせ町中下田*=0.9 八戸市南郷*=0.8 東通村白糠*=0.8 野辺地町野辺地*=0.8 三戸町在府小路町*=0.8 東通村砂子又蒲谷地=0.5				
		岩手県 1 久慈市枝成沢=1.4 普代村銅屋*=1.3 久慈市川崎町=1.0 岩手洋野町大野*=1.0 軽米町軽米*=1.0 九戸村伊保内*=0.7 岩手洋野町種市=0.6 宮古市田老*=0.6 盛岡市玉山区藪川*=0.5				
72	17 01 11	五島列島近海 長崎県	32° 49.8' N	129° 43.1' E	11km	M: 2.7
		1 長崎市神浦江川町*=1.1 長崎市長浦町=0.7 西海市大瀬戸町*=0.7				
73	17 01 13	五島列島近海 長崎県	32° 49.8' N	129° 43.3' E	11km	M: 2.7
		1 長崎市神浦江川町*=0.6				
74	17 02 31	橘湾 長崎県	32° 40.1' N	129° 58.8' E	12km	M: 2.9
		2 長崎市元町*=1.7				
		1 雲仙市南串山町*=1.3 諫早市多良見町*=1.2 雲仙市小浜町雲仙=0.6				
75	17 14 17	根室半島南東沖 北海道	43° 11.7' N	146° 25.9' E	51km	M: 4.5
		2 根室市落石東*=2.4 根室市瑠瑠瑠*=2.1 中標津町丸山*=1.7				
		1 標津町北2条*=1.3 羅臼町岬町*=1.0 根室市豊里=0.9 別海町常盤=0.8 浜中町霧多布*=0.8 根室市牧の内*=0.8 別海町本別海*=0.6 根室市弥栄=0.6				
76	17 17 53	鳥取県中部 鳥取県	35° 26.2' N	133° 54.7' E	8km	M: 3.8
		4 湯梨浜町龍島*=3.9				
		3 鳥取市鹿野町鹿野*=2.7 湯梨浜町久留*=2.6 鳥取市鹿野町鹿野小学校*=2.5				
		2 倉吉市葵町*=2.3 北栄町土下*=2.2 三朝町大瀬*=1.9 湯梨浜町泊*=1.8 鳥取市気高町浜村*=1.8 鳥取市青谷町青谷*=1.8 北栄町由良宿*=1.7 琴浦町徳万*=1.7				
		1 鳥取市吉方=1.4 日吉津村日吉津*=1.3 鳥取市吉成*=1.2 琴浦町赤碓*=1.1 琴浦町赤碓中学校*=1.0 鳥取市福部町細川*=1.0 智頭町智頭=0.9 江府町江尾*=0.9 境港市東本町=0.8 鳥取市用瀬町用瀬*=0.8 鳥取市佐治町加瀬木*=0.7 倉吉市関金町大鳥居*=0.7 伯耆町吉長*=0.6 境港市上道町*=0.5				
		岡山県 2 鏡野町上齋原*=2.0				
		1 津山市阿波*=1.1 岡山区建部町*=1.0 真庭市蒜山下和*=0.9 真庭市蒜山下福田*=0.9 鏡野町井坂*=0.8 津山市新野東*=0.8 和気町尺所*=0.8 津山市中北下*=0.8 津山市加茂町*=0.7 真庭市豊栄*=0.6 赤磐市上市=0.6 岡山区御津金川*=0.6 鏡野町竹田*=0.6				

地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
77	17 18 40	香川県 1 真庭市蒜山上福田*=0.5 岡山東区瀬戸町*=0.5 さぬき市長尾総合公園*=0.9 土庄町甲=0.5	35° 26.1' N	133° 54.7' E	8km	M: 2.3
78	17 18 50	鳥取県中部 鳥取県 1 湯梨浜町龍島*=1.4	35° 26.1' N	133° 54.4' E	8km	M: 2.0
79	18 01 16	岩手県沖 青森県 2 階上町道仏*=2.1 1 青森南部町苦米地*=1.2 八戸市湊町=1.1 八戸市内丸*=1.1 青森南部町平*=1.0 八戸市南郷*=1.0 三戸町在府小路町*=0.8 五戸町古館=0.7 青森南部町沖田面*=0.6 おいらせ町中下田*=0.6 五戸町倉石中市*=0.5 岩手県 2 九戸村伊保内*=1.7 1 軽米町軽米*=1.4 岩手洋野町種市=1.0 岩手洋野町大野*=1.0 久慈市枝成沢=0.9 葛巻町葛巻元木=0.8 八幡平市田頭*=0.8 久慈市川崎町=0.8 野田村野田*=0.7 葛巻町消防分署*=0.5 葛巻町役場*=0.5 田野畑村役場*=0.5	40° 21.2' N	142° 04.7' E	51km	M: 3.9
80	18 08 30	鳥取県中部 鳥取県 4 湯梨浜町龍島*=3.6 3 北栄町土下*=2.7 鳥取市鹿野町鹿野*=2.5 2 鳥取市鹿野町鹿野小学校*=2.4 倉吉市葵町*=2.3 湯梨浜町泊*=2.3 湯梨浜町久留*=2.2 北栄町由良宿*=1.8 鳥取市吉成*=1.8 鳥取市青谷町青谷*=1.7 鳥取市吉方=1.7 鳥取市気高町浜村*=1.7 琴浦町徳万*=1.5 1 鳥取市福部町細川*=1.4 三朝町大瀬*=1.4 鳥取市用瀬町用瀬*=1.2 八頭町船岡*=1.1 琴浦町赤碓*=0.9 琴浦町赤碓中学校*=0.8 鳥取市国府町宮下*=0.7 八頭町郡家*=0.7 岩美町浦富=0.6 鳥取市佐治町加瀬木*=0.6 鳥取市河原町渡一木*=0.6 日吉津村日吉津*=0.6 岡山県 2 鏡野町上齋原*=2.1 1 真庭市蒜山下和*=1.2 岡山北区建部町*=1.1 鏡野町井坂*=0.7 鏡野町竹田*=0.7 津山市新野東*=0.6 岡山北区御津金川*=0.6 真庭市下方*=0.5 真庭市豊栄*=0.5 真庭市蒜山下福田*=0.5 津山市中北下*=0.5 京都府 兵庫県 1 与謝野町加悦*=0.5 与謝野町四辻*=0.5 1 朝来市和田山町枚田=0.5	35° 26.2' N	133° 54.3' E	8km	M: 4.2
81	18 08 36	鳥取県中部 鳥取県 4 湯梨浜町龍島*=4.3 3 湯梨浜町久留*=3.1 北栄町土下*=2.9 鳥取市鹿野町鹿野小学校*=2.7 倉吉市葵町*=2.6 北栄町由良宿*=2.5 2 鳥取市鹿野町鹿野*=2.4 鳥取市気高町浜村*=2.3 鳥取市青谷町青谷*=2.2 三朝町大瀬*=2.2 琴浦町徳万*=2.2 湯梨浜町泊*=2.0 鳥取市吉方=1.8 鳥取市吉成*=1.7 日吉津村日吉津*=1.7 琴浦町赤碓*=1.5 鳥取市福部町細川*=1.5 1 琴浦町赤碓中学校*=1.4 倉吉市関金町大鳥居*=1.3 伯耆町吉長*=1.2 境港市東本町=1.2 江府町江尾*=1.2 大山町赤坂*=1.1 米子市淀江町*=1.0 倉吉市岩倉長峯=0.9 伯耆町溝口*=0.8 境港市上道町*=0.8 岩美町浦富=0.8 八頭町郡家*=0.7 鳥取南部町天萬*=0.7 米子市博労町=0.7 鳥取市用瀬町用瀬*=0.6 鳥取日野町根万*=0.5 鳥根県 岡山県 1 安来市伯太町東母里*=0.6 隠岐の島町都万*=0.6 1 津山市中北下*=1.4 鏡野町上齋原*=1.4 鏡野町井坂*=1.2 真庭市蒜山下和*=1.2 真庭市蒜山下福田*=1.2 津山市阿波*=1.1 真庭市蒜山上福田*=1.0 岡山北区建部町*=1.0 津山市加茂町*=1.0 赤磐市上市=0.9 津山市新野東*=0.9 真庭市豊栄*=0.9 和気町尺所*=0.7 岡山東区瀬戸町*=0.6 津山市小中原*=0.6 広島県 香川県 1 府中町大通り*=0.7 1 さぬき市長尾東*=1.1 さぬき市長尾総合公園*=1.0 土庄町甲=0.8 東かがわ市西村=0.5	35° 26.3' N	133° 54.7' E	8km	M: 4.3
82	18 08 39	鳥取県中部 鳥取県 1 湯梨浜町龍島*=0.9	35° 26.3' N	133° 54.3' E	8km	M: 2.1
83	18 09 47	青森県東方沖 青森県 3 東通村砂子又沢内*=2.7 2 階上町道仏*=2.0 東通村砂子又蒲谷地=1.9 野辺地町田狭沢*=1.8 野辺地町野辺地*=1.7 平内町小湊=1.6 六ヶ所村尾駈=1.5 1 八戸市湊町=1.3 七戸町森ノ上*=1.3 むつ市金曲=1.2 むつ市金谷*=1.2 青森南部町平*=1.0 むつ市大畑町中島*=1.0 東通村尻屋*=1.0 東通村白糠*=1.0 八戸市南郷*=1.0 青森南部町苦米地*=0.9 外ヶ浜町蟹田*=0.9 八戸市内丸*=0.9 横浜町林ノ脇*=0.9 五戸町古館=0.9 五戸町倉石中市*=0.8 東北町上北南*=0.8 三沢市桜町*=0.8 横浜町寺下*=0.7 大間町大間*=0.7 東北町塔ノ沢山*=0.7 おいらせ町中下田*=0.7 六ヶ所村出戸=0.7 六戸町大落瀬*=0.6 藤崎町水木*=0.5 北海道 2 函館市泊町*=1.5 1 函館市新浜町*=1.3 様似町栄町*=0.9 千歳市若草*=0.9 むかわ町穂別*=0.9 新ひだか町静内山手町=0.9 千歳市北栄=0.8 えりも町えりも岬*=0.8 安平町早来北進*=0.7 浦河町潮見=0.7 新ひだか町三石旭町*=0.6 函館市日ノ浜町*=0.6 苫小牧市末広町=0.6 厚真町鹿沼=0.6 新ひだか町静内御幸町*=0.6 浦河町築地*=0.5 千歳市支笏湖温泉*=0.5 日高地方日高町門別*=0.5 新千歳空港=0.5	41° 29.5' N	142° 00.1' E	65km	M: 4.4

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
84	18 10 21	岩手県 鳥取県中部 鳥取県	1 軽米町軽米*=1.2 久慈市枝成沢=1.0 35° 26.4' N	133° 54.8' E	8km	M: 2.8
85	18 10 26	鳥取県中部 鳥取県	2 湯梨浜町龍島*=1.6 1 湯梨浜町久留*=1.0 北栄町土下*=1.0 鳥取市鹿野町鹿野*=0.7 倉吉市葵町*=0.6 35° 26.0' N	133° 54.9' E	7km	M: 1.7
86	18 15 13	山梨県中・西部 山梨県	1 山梨市三富川浦*=0.5 35° 48.6' N	138° 45.0' E	9km	M: 2.3
87	18 16 16	兵庫県南東部 大阪府 兵庫県	1 能勢町今西*=0.7 1 三田市下里*=0.7 34° 57.5' N	135° 22.2' E	7km	M: 2.7
88	18 22 52	鳥取県中部 鳥取県	2 湯梨浜町龍島*=1.8 35° 26.1' N	133° 54.7' E	8km	M: 2.3
89	19 01 29	鳥取県中部 鳥取県	1 湯梨浜町龍島*=1.1 35° 26.3' N	133° 54.8' E	9km	M: 2.6
90	19 11 14	鳥取県中部 鳥取県 岡山県	3 湯梨浜町龍島*=2.9 1 北栄町土下*=1.4 倉吉市葵町*=1.2 湯梨浜町久留*=1.1 鳥取市鹿野町鹿野*=0.7 鳥取市鹿野町鹿野小学校*=0.6 1 鏡野町上齋原*=0.7 35° 26.0' N	133° 53.8' E	8km	M: 3.0
91	19 17 00	鳥取県中部 鳥取県	1 湯梨浜町龍島*=0.5 35° 26.2' N	133° 54.8' E	7km	M: 1.9
92	19 17 07	鳥取県中部 鳥取県	1 湯梨浜町龍島*=0.8 35° 26.1' N	133° 54.7' E	7km	M: 1.9
93	19 22 27	福島県浜通り 福島県 茨城県	1 古殿町松川新桑原*=1.2 古殿町松川横川=1.0 浅川町浅川*=0.8 小野町中通*=0.5 1 日立市助川小学校*=0.5 37° 04.8' N	140° 39.2' E	11km	M: 3.4
94	19 22 57	鳥取県中部 鳥取県	3 湯梨浜町龍島*=2.7 1 北栄町土下*=1.1 湯梨浜町久留*=0.8 倉吉市葵町*=0.8 35° 26.1' N	133° 53.8' E	8km	M: 2.7
95	20 01 41	長野県中部 山梨県	1 山梨北杜市長坂町*=1.4 山梨北杜市高根町*=0.7 35° 48.5' N	138° 11.0' E	16km	M: 2.9
96	20 06 44	九州地方南東沖 鹿児島県	2 中種子町野間*=1.8 肝付町新富*=1.7 錦江町田代支所*=1.7 西之表市住吉=1.6 南大隅町根占*=1.6 西之表市西之表=1.5 1 鹿屋市新栄町=1.4 錦江町城元*=1.4 鹿屋市串良町岡崎*=1.3 鹿屋市札元*=1.3 南種子町中之上*=1.3 屋久島町口永良部島公民館*=1.3 西之表市役所*=1.2 指宿市開闢十町*=1.0 大崎町仮宿*=1.0 錦江町田代麓=1.0 鹿児島市喜入町*=0.9 鹿児島市東郡元=0.7 指宿市山川新生町=0.7 垂水市田神*=0.7 南種子町西之*=0.5 宮崎県 1 串間市都井*=1.0 30° 38.5' N	131° 34.0' E	35km	M: 4.5
97	20 06 47	九州地方南東沖 鹿児島県	1 錦江町田代支所*=0.7 30° 39.7' N	131° 34.7' E	30km	M: 3.9
98	20 07 05 (注) 20 07 05	大隅半島東方沖 九州地方南東沖 鹿児島県	1 錦江町田代支所*=0.6 中種子町野間*=0.6 30° 39.9' N 30° 39.3' N	131° 32.8' E 131° 36.2' E	34km 25km	M: 4.1 M: 3.9
99	20 08 38	宮城県沖 岩手県 宮城県	1 住田町世田米*=0.5 1 宮城美里町北浦*=0.5 38° 32.2' N	141° 44.9' E	54km	M: 3.5
100	20 09 53	紀伊水道 和歌山県	2 有田市初島町*=2.1 海南市日方*=1.9 海南市下津*=1.8 1 和歌山市一番丁*=0.8 有田市箕島=0.7 有田川町下津野*=0.7 紀美野町下佐々*=0.6 湯浅町湯浅*=0.6 和歌山市男野芝丁=0.5 34° 09.0' N	135° 10.0' E	4km	M: 3.0
101	20 11 41	奄美大島近海 鹿児島県	1 喜界町滝川=1.1 奄美市笠利町里*=0.7 28° 22.7' N	130° 11.8' E	27km	M: 3.6

地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
102	20 18 29	小笠原諸島西方沖 東京都 3 小笠原村母島=3.2 2 小笠原村父島三日山=2.4 小笠原村父島西町=2.3	27° 07.6' N	140° 37.6' E	314km	M: 5.8
103	21 04 27	岩手県沿岸北部 岩手県 1 宮古市田老*=0.7	40° 02.2' N	141° 44.7' E	68km	M: 3.0
104	21 04 47	十勝沖 北海道 2 標茶町塘路*=1.5 1 釧路市音別町中園*=1.4 別海町西春別*=1.3 幕別町本町*=1.2 釧路市阿寒町中央*=1.2 弟子屈町弟子屈*=1.1 十勝池田町西1条*=1.1 豊頃町茂岩本町*=1.0 十勝大樹町生花*=1.0 足寄町南1条*=1.0 足寄町上螺湾=0.9 弟子屈町美里=0.9 標津町北2条*=0.9 本別町向陽町*=0.9 本別町北2丁目=0.7 白糠町西1条*=0.7 新得町2条*=0.6 釧路市幸町=0.6 標茶町川上*=0.6 帯広市東6条*=0.5 中標津町養老牛=0.5	42° 35.5' N	143° 59.3' E	62km	M: 4.0
105	21 05 15	岩手県沖 岩手県 1 大船渡市猪川町=0.6 住田町世田米*=0.6	39° 06.5' N	142° 07.9' E	45km	M: 3.1
106	21 06 42	茨城県沖 茨城県 1 笠間市石井*=0.6	36° 37.5' N	141° 28.0' E	43km	M: 3.6
107	21 12 53	八丈島東方沖 東京都 1 八丈町富士グラウンド*=0.9 八丈町三根=0.7 青ヶ島村=0.7 八丈町榎立=0.5	33° 25.8' N	140° 07.7' E	93km	M: 4.4
108	21 14 11	宮城県沖 岩手県 1 一関市千厩町*=1.2 一関市東山町*=0.7 一関市室根町*=0.7 住田町世田米*=0.5 一関市藤沢町*=0.5 宮城県 1 南三陸町志津川=0.5	38° 29.6' N	141° 49.9' E	55km	M: 3.6
109	21 14 59	茨城県沖 福島県 1 白河市新白河*=0.7	36° 50.4' N	140° 56.1' E	81km	M: 3.4
110	21 15 04	福島県沖 宮城県 4 宮城川崎町前川*=3.6 3 岩沼市桜*=3.4 蔵王町円田*=3.4 山元町浅生原*=3.2 仙台若林区遠見塚*=3.2 名取市増田*=3.2 七ヶ宿町関*=3.2 大河原町新南*=3.2 仙台青葉区作並*=3.1 白石市互理町*=3.0 角田市角田*=3.0 仙台宮城野区五輪=3.0 柴田町船岡=3.0 丸森町鳥屋*=3.0 互理町下小路*=3.0 色麻町四竈*=2.9 仙台市田尻*=2.9 宮城加美町中新田*=2.9 仙台青葉区雨宮*=2.8 仙台青葉区落合*=2.8 仙台泉区将監*=2.8 塩竈市旭町*=2.8 仙台太白区山田*=2.7 大衡村大衡*=2.7 大崎市古川三日町=2.7 石巻市桃生町*=2.6 村田町村田*=2.6 仙台空港=2.6 仙台青葉区大倉=2.5 松島町高城=2.5 富谷町富谷*=2.5 仙台宮城野区苦竹*=2.5 2 大崎市鹿島台*=2.4 東松島市矢本*=2.4 大郷町粕川*=2.4 涌谷町新町裏=2.3 登米市迫町*=2.3 東松島市小野*=2.3 利府町利府*=2.3 大崎市松山*=2.3 宮城美里町木間塚*=2.2 丸森町上滝=2.2 女川町女川浜*=2.2 多賀城市中央*=2.2 登米市南方町*=2.2 大崎市三本木*=2.2 七ヶ浜町東宮浜*=2.2 登米市中田町=2.1 南三陸町志津川=2.1 大崎市古川大崎=2.1 大和町吉岡*=2.1 石巻市大街道南*=2.1 大崎市古川北町*=2.1 栗原市清水*=2.0 石巻市北上町*=2.0 宮城美里町北浦*=2.0 栗原市築館*=1.9 登米市豊里町*=1.9 登米市米山町*=1.9 宮城加美町小野田*=1.9 石巻市前谷地*=1.8 石巻市泉町=1.8 気仙沼市笹が陣*=1.7 登米市東和町*=1.7 気仙沼市赤岩=1.7 大崎市鳴子*=1.7 栗原市若柳*=1.7 栗原市瀬峰*=1.7 気仙沼市唐桑町*=1.6 登米市登米町*=1.6 栗原市一迫*=1.6 宮城加美町宮崎*=1.6 登米市石越町*=1.6 栗原市栗駒=1.6 大崎市岩出山*=1.6 栗原市志波姫*=1.5 石巻市雄勝町*=1.5 1 石巻市鮎川浜*=1.4 栗原市花山*=1.3 栗原市金成*=1.3 南三陸町歌津*=1.3 石巻市相野谷*=1.3 栗原市鷲沢*=1.1 気仙沼市本吉町津谷*=1.0 石巻市大瓜=0.9 気仙沼市本吉町西川内=0.9 福島県 4 白河市新白河*=4.3 福島広野町下北迫大谷地原*=4.1 いわき市三和町=3.9 国見町藤田*=3.9 檜葉町北田*=3.9 川内村上川内早渡*=3.9 川内村上川内小山平*=3.8 桑折町東大隅*=3.8 南相馬市小高区*=3.8 田村市都路町*=3.7 田村市滝根町*=3.7 郡山市湖南町*=3.7 古殿町松川新桑原*=3.7 福島伊達市前川原*=3.6 本宮市白岩*=3.6 いわき市平梅本*=3.6 田村市大越町*=3.6 川俣町樋ノ口*=3.5 田村市船引町=3.5 浪江町幾世橋=3.5 天栄村下松本*=3.5 猪苗代町千代田*=3.5 田村市常葉町*=3.5 3 白河市表郷*=3.4 福島伊達市保原町*=3.4 いわき市平四ツ波*=3.4 葛尾村落合落合*=3.4 西郷村熊倉*=3.3 棚倉町棚倉中居野=3.3 郡山市朝日=3.3 白河市郭内=3.3 福島市五老内町*=3.3 南相馬市鹿島区西町*=3.3 会津若松市材木町=3.3 会津若松市東栄町*=3.3 会津美里町新鶴序舎*=3.3 須賀川市岩瀬支所*=3.3 二本松市針道*=3.3 二本松市油井*=3.2 福島市松木町=3.2 中島村滑津*=3.2 郡山市開成*=3.2 福島広野町下北迫苗代替*=3.2 富岡町本岡*=3.2 本宮市本宮*=3.1 大玉村玉井*=3.1 相馬市中村*=3.1 鏡石町不時沼*=3.1 二本松市金色*=3.1 新地町谷地小屋*=3.1 白河市大信*=3.1 浅川町浅川*=3.1 福島伊達市梁川町*=3.1 猪苗代町城南=3.1 柳津町柳津*=3.1 須賀川市八幡山*=3.1 福島伊達市霊山町*=3.1 福島市桜木町*=3.0 飯館村伊丹沢*=3.0 南相馬市原町区三島町=3.0 南相馬市原町区高見町*=3.0 福島伊達市月館町*=3.0 白河市東*=3.0 玉川村小高*=3.0 白河市八幡小路*=2.9 いわき市小浜浜=2.9 いわき市錦町*=2.9 会津若松市北会津町*=2.9 小野町小野新町*=2.9 川内村下川内=2.9 須賀川市長沼支所*=2.9 矢祭町戸塚*=2.8 石川町下泉*=2.8 会津坂下町市中三番甲*=2.8 小野町中通*=2.8 南相馬市原町区本町*=2.8 大玉村曲藤=2.8 福島市飯野町*=2.7 矢祭町東館*=2.7 須賀川市牛袋町*=2.7 矢吹町一本木*=2.7	37° 18.8' N	141° 11.5' E	37km	M: 5.3

地震 番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模	
		<p>棚倉町棚倉館ヶ丘*=2.6 古殿町松川横川=2.6 南相馬市鹿島区栴窪=2.6 泉崎村泉崎*=2.6 会津美里町本郷庁舎*=2.6 大熊町野上*=2.6 湯川村清水田*=2.5 会津美里町高田庁舎*=2.5 三春町大町*=2.5 埴町埴*=2.5 磐梯町磐梯*=2.5 平田村永田*=2.5 2 喜多方市塩川町*=2.4 下郷町高崎*=2.4 西会津町登世島*=2.4 鮫川村赤坂中野*=2.3 喜多方市高郷町*=2.2 西会津町野沢=2.2 下郷町塩生*=2.1 二本松市小浜*=2.1 会津若松市河東町*=1.9 南会津町田島=1.8 南会津町滝原*=1.7 福島昭和村下中津川*=1.7 喜多方市山都町*=1.6 喜多方市御清水*=1.6 柳津町大成沢=1.5 1 南会津町界*=1.4 喜多方市熱塩加納町*=1.3 北塩原村北山*=1.3 三島町宮下*=1.3 喜多方市松山町*=1.2 檜枝岐村上河原*=1.2 只見町黒谷*=1.1 福島金山町川口*=0.8 4 笠間市石井*=3.5 3 笠間市笠間*=3.4 水戸市内原町*=3.3 日立市助川小学校*=3.3 東海村東海*=3.3 城里町石塚*=3.3 桜川市岩瀬*=3.3 水戸市千波町*=3.2 日立市役所*=3.2 常陸大宮市北町*=3.2 那珂市福田*=3.2 常陸大宮市上小瀬*=3.1 土浦市常名=3.1 桜川市真壁*=3.1 ひたちなか市南神敷台*=3.0 大子町池田*=3.0 常陸大宮市野口*=3.0 那珂市瓜連*=3.0 小美玉市堅倉*=3.0 桜川市羽田*=3.0 水戸市金町=3.0 常陸太田市高柿町*=3.0 笠間市中央*=3.0 日立市十王町友部*=2.9 石岡市柿岡=2.9 筑西市舟生=2.9 筑西市門井*=2.9 高萩市安良川*=2.9 笠間市下郷*=2.9 ひたちなか市東石川*=2.9 常陸大宮市山方*=2.9 かすみがうら市上土田*=2.8 常陸太田市大中町*=2.8 高萩市下手綱*=2.8 北茨城市磯原町*=2.8 土浦市下高津*=2.8 石岡市若宮*=2.8 茨城町小堤*=2.8 坂東市山*=2.7 筑西市海老ヶ島*=2.7 かすみがうら市大和田*=2.7 小美玉市上玉里*=2.7 鉾田市汲上*=2.7 常陸太田市町田町*=2.6 城里町阿波山*=2.6 常陸大宮市高部*=2.6 坂東市馬立*=2.6 稲敷市江戸崎甲*=2.6 石岡市八郷*=2.5 取手市寺田*=2.5 つくば市天王台*=2.5 つくば市研究学園*=2.5 茨城鹿嶋市鉢形=2.5 城里町徳蔵*=2.5 土浦市藤沢*=2.5 常陸太田市町屋町=2.5 2 常陸太田市金井町*=2.4 茨城鹿嶋市宮中*=2.4 美浦村受領*=2.4 行方市麻生*=2.4 鉾田市鉾田=2.4 常総市新石下*=2.4 牛久市城中町*=2.3 つくば市小茎*=2.3 鉾田市造谷*=2.3 常総市水海道諏訪町*=2.3 常陸大宮市中富町=2.3 阿見町中央*=2.2 五霞町小福田*=2.2 稲敷市役所*=2.2 筑西市下山*=2.2 下妻市鬼怒*=2.2 境町旭町*=2.1 稲敷市柴崎*=2.1 龍ヶ崎市役所*=2.1 下妻市本城町*=2.1 茨城古河市下大野*=2.0 茨城古河市仁連*=2.0 八千代町菅谷*=2.0 結城市結城*=2.0 坂東市岩井=2.0 牛久市中央*=2.0 行方市山田*=2.0 ひたちなか市山ノ上町=2.0 大洗町磯浜町*=2.0 潮来市堀之内=2.0 潮来市辻*=2.0 つくばみらい市福田*=1.9 稲敷市須賀津*=1.9 取手市井野*=1.9 行方市玉造*=1.9 守谷市大柏*=1.8 稲敷市結佐*=1.8 つくばみらい市加藤*=1.7 取手市藤代*=1.6 河内町源清田*=1.5 神栖市溝口*=1.5 1 茨城古河市長谷町*=1.4 利根町布川=1.3 神栖市波崎*=0.7 4 那須町寺子*=3.7 3 大田原市湯津上*=3.4 宇都宮市白沢町*=3.3 那須塩原市共興社*=3.2 市貝町市塙*=3.2 那須烏山市中央=3.2 那須塩原市あたご町*=3.1 宇都宮市明保野町=3.1 芳賀町祖母井*=3.1 大田原市本町*=3.0 那須塩原市鍋掛*=2.9 那須塩原市塩原庁舎*=2.9 高根沢町石末*=2.9 栃木那珂川町馬頭*=2.9 宇都宮市中里町*=2.8 栃木さくら市喜連川*=2.8 栃木那珂川町小川*=2.8 那須塩原市中塩原*=2.7 宇都宮市旭*=2.7 真岡市石島*=2.7 益子町益子=2.7 日光市今市本町*=2.7 鹿沼市晃望台*=2.6 茂木町茂木*=2.6 矢板市本町*=2.6 那須塩原市養沼=2.6 鹿沼市今宮町*=2.5 那須烏山市大金*=2.5 下野市小金井*=2.5 2 日光市芹沼*=2.4 日光市中鉢石町*=2.4 大田原市黒羽田町=2.4 那須烏山市役所*=2.4 日光市瀬川=2.3 日光市鬼怒川温泉大原*=2.3 塩谷町玉生*=2.3 小山市神鳥谷*=2.3 真岡市田町*=2.3 栃木さくら市氏家*=2.3 下野市田中*=2.3 栃木市旭町=2.2 栃木市岩舟町静*=2.1 下野市石橋*=2.1 宇都宮市塙田*=2.0 足利市大正町*=2.0 佐野市葛生東*=2.0 真岡市荒町*=2.0 鹿沼市口栗野*=1.8 日光市藤原*=1.8 上三川町しらさぎ*=1.8 茂木町北高岡天矢場*=1.8 野木町丸林*=1.8 栃木市大平町富田*=1.8 栃木市藤岡町藤岡*=1.8 佐野市中町*=1.8 壬生町通町*=1.7 栃木市万町*=1.7 佐野市亀井町*=1.7 日光市足尾町中才*=1.7 栃木市西方町本城*=1.6 佐野市田沼町*=1.6 日光市中宮祠=1.6 日光市日蔭*=1.6 日光市足尾町通洞*=1.6 1 栃木市都賀町家中*=1.4 小山市中央町*=1.4 日光市湯元*=1.2 3 米沢市林泉寺*=3.2 白鷹町荒砥*=3.0 上山市河崎*=2.9 米沢市アルカディア=2.9 米沢市駅前=2.7 米沢市金池*=2.5 南陽市三間通*=2.5 高島町高島*=2.5 2 中山町長崎*=2.4 天童市老野森*=2.3 東根市中央*=2.3 山形川西町上小松*=2.3 山辺町緑ヶ丘*=2.1 河北町谷地=2.1 白鷹町黒鴨=2.1 村山市中央*=1.9 西川町大井沢*=1.9 山形朝日町宮宿*=1.8 山形市緑町=1.8 河北町役場*=1.8 山形小国町小国小坂町*=1.7 飯豊町上原*=1.7 山形市薬師町*=1.7 大石田町緑町*=1.7 尾花沢市若葉町*=1.6 山形市旅籠町*=1.6 長井市ままの上*=1.6 山形小国町岩井沢=1.6 飯豊町椿*=1.5 寒河江市中央*=1.5 1 鶴岡市温海川=1.4 寒河江市西根*=1.4 大江町左沢*=1.3 酒田市亀ヶ崎=1.1 最上町向町*=1.1 舟形町舟形*=1.1 大蔵村清水*=1.1 戸沢村古口*=1.1 鶴岡市藤島*=1.1 酒田市飛鳥*=1.0 三川町横山*=1.0 酒田市山田*=0.9 新庄市東谷地田町=0.9 鶴岡市道田町*=0.9 西川町海味*=0.8 庄内町余目*=0.8 庄内町狩川*=0.7 真室川町新町*=0.6 新庄市沖の町*=0.6 3 成田市花崎町=2.5 2 香取市役所*=2.3 野田市鶴奉*=2.3 八千代市大和田新田*=2.2 栄町安食台*=2.2 香取市佐原平田=2.1 香取市仁良*=2.1 野田市東宝珠花*=2.1 成田市中台*=2.1 白井市復*=2.1 東金市日吉台*=2.0 千葉中央区都町*=2.0 千葉若葉区小倉台*=2.0 成田国際空港=2.0 柏市旭町=2.0 鎌ヶ谷市新鎌ヶ谷*=2.0 富里市七栄*=2.0 芝山町小池*=1.9 香取市佐原諏訪台*=1.9 山武市埴谷*=1.9 千葉花見川区花島町*=1.9 千葉稲毛区園生町*=1.9 成田市松子*=1.9 八街市八街*=1.9 印西市笠神*=1.9 柏市大島町*=1.8 印西市美瀬*=1.8 船橋市湊町*=1.7 成田市役所*=1.7 習志野市鷺沼*=1.7 柏市柏*=1.7 印西市大森*=1.7 千葉美浜区ひび野=1.6 千葉佐倉市海隣寺町*=1.6 浦安市日の出=1.6 四街道市鹿渡*=1.6 酒々井町中央台*=1.6</p>					
		茨城県					
		栃木県					
		山形県					
		千葉県					

地震 番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
		<p>神崎町神崎本宿*1.6 多古町多古*1.6 山武市松尾町富士見台*1.6 千葉美浜区稲毛海岸*1.5 成田市猿山*1.5 東金市東新宿*1.5 旭市南堀之内*1.5 1 香取市羽根川*1.4 香取市岩部*1.4 千葉中央区千葉市役所*1.4 松戸市西馬橋*1.4 我孫子市我孫子*1.4 一宮町一宮*1.3 千葉中央区中央港*1.3 千葉緑区おゆみ野*1.3 東金市東岩崎*1.2 九十九里町片貝*1.2 横芝光町宮川*1.2 山武市殿台*1.2 山武市松尾町五反田*1.2 流山市平和台*1.2 長南町長南*1.1 匝瑳市八日市場*1.1 横芝光町栗山*1.1 市原市姉崎*1.1 市川市八幡*1.0 松戸市根本*1.0 旭市二*1.0 山武市蓮沼*1.0 浦安市猫美*0.9 旭市高生*0.9 旭市萩園*0.9 東庄町笹川*0.9 匝瑳市今泉*0.8 大網白里市大網*0.8 銚子市川口町*0.8 銚子市若宮町*0.8 茂原市道表*0.7 長柄町大津倉*0.7 君津市久留里市場*0.7</p> <p>2 一関市室根町*2.1 一関市千厩町*2.0 一関市東山町*1.8 住田町世田米*1.7 一関市藤沢町*1.7 普代村銅屋*1.6 一関市花泉町*1.6 一関市大東町*1.5 釜石市中妻町*1.5</p> <p>1 盛岡市玉山区薮川*1.4 矢巾町南矢幅*1.4 北上市相去町*1.4 平泉町平泉*1.4 奥州市衣川区*1.3 大船渡市大船渡町*1.3 奥州市前沢区*1.3 奥州市胆沢区*1.2 陸前高田市高田町*1.2 盛岡市山王町*1.1 北上市柳原町*1.0 大船渡市猪川町*1.0 遠野市青笹町*1.0 金ヶ崎町西根*1.0 花巻市東和町*1.0 花巻市石鳥谷町*0.9 一関市竹山町*0.9 八幡平市田頭*0.9 奥州市江刺区*0.9 宮古市田老*0.9 盛岡市玉山区洪民*0.8 山田町大沢*0.8 奥州市水沢区大鐘町*0.8 遠野市宮守町*0.8 釜石市只越町*0.8 久慈市川崎町*0.7 山田町八幡町*0.7 花巻市大迫町*0.7 奥州市水沢区佐倉河*0.7 大船渡市盛町*0.7 宮古市区界*0.7 宮古市五月町*0.6 宮古市鉏ヶ崎*0.5 久慈市枝成沢*0.5 宮古市川井*0.5</p> <p>2 沼田市白沢町*2.4 桐生市黒保根町*2.3 邑楽町中野*2.3 前橋市堀越町*2.1 沼田市利根町*2.0 太田市西本町*2.0 渋川市吹屋*2.0 千代田町赤岩*2.0 大泉町日の出*2.0 前橋市粕川町*1.9 前橋市富士見町*1.9 前橋市鼻毛石町*1.9 桐生市元宿町*1.9 沼田市西倉内町*1.9 吉岡町下野田*1.7 沼田市下久屋町*1.7 高崎市高松町*1.7 桐生市新里町*1.7 館林市城町*1.7 桐生市織姫町*1.6 伊勢崎市今泉町*1.6 伊勢崎市境*1.6 太田市浜町*1.6 安中市安中*1.6 太田市新田金井町*1.5 館林市美園町*1.5 板倉町板倉*1.5</p> <p>1 伊勢崎市東町*1.4 太田市粕川町*1.4 太田市大原町*1.3 渋川市有馬*1.3 安中市松井田町*1.3 群馬明和町新里*1.3 みどり市東町*1.3 みどり市笠懸町*1.3 みどり市大間々町*1.3 片品村東小川*1.3 高崎市足門町*1.3 渋川市北橋町*1.2 玉村町下新田*1.2 神流町生利*1.1 甘楽町小幡*1.1 東吾妻町本宿*1.1 群馬昭和三井*1.1 前橋市昭和町*1.0 前橋市大手町*1.0 高崎市箕郷町*1.0 高崎市新町*1.0 高崎市吉井町吉井川*1.0 渋川市伊香保町*1.0 片品村鎌田*1.0 みなかみ町鹿野沢*1.0 東吾妻町原町*1.0 富岡市七日市*0.9 富岡市妙義町*0.9 榛東村新井*0.9 前橋市駒形町*0.9 中之条町日影*0.9 群馬高山村中山*0.9 渋川市石原*0.8 高崎山下室田*0.8 神流町神ヶ原*0.8 みなかみ町後閑*0.8 東吾妻町奥田*0.8 川場村谷地*0.7 長野原町長野原*0.7 渋川市村上*0.7 群馬上野村川和*0.6 藤岡市鬼石*0.6 高崎市倉渕町*0.6 中之条町中之条町*0.5</p> <p>2 久喜市下早見*2.2 東松山市松葉町*2.1 滑川町福田*2.1 春日部市金崎*2.1 加須市大利根*2.0 春日部市粕壁*2.0 さいたま岩槻区本丸*1.9 熊谷市江南*1.9 本庄市児玉町*1.9 ときがわ町桃木*1.9 和光市広沢*1.9 宮代町笠原*1.9 久喜市青葉*1.8 嵐山町杉山*1.8 鴻巣市中央*1.7 鴻巣市川里*1.7 幸手市東*1.7 越生町越生*1.7 杉戸町清地*1.7 さいたま見沼区堀崎*1.7 熊谷市大里*1.6 東松山市市ノ川*1.6 鴻巣市吹上富士見*1.6 川越市新宿町*1.6 春日部市谷原新田*1.6 桶川市上日出谷*1.6 坂戸市千代田*1.6 毛呂山町中央*1.6 さいたま北区宮原*1.6 白岡市千駄野*1.6 長瀨町野上下郷*1.6 川島町平沼*1.5 久喜市鷲宮*1.5 埼玉美里町木部*1.5 秩父市近戸町*1.5 行田市本丸*1.5 加須市騎西*1.5 狭山市入間川*1.5 上尾市本町*1.5 北本市本町*1.5 蓮田市黒浜*1.5</p> <p>1 熊谷市妻沼*1.4 行田市南河原*1.4 加須市下三俣*1.4 加須市北川辺*1.4 羽生市東*1.4 深谷市川本*1.4 久喜市栗橋*1.4 吉見町下細谷*1.4 川口市青木分室*1.4 草加市高砂*1.4 戸田市上戸田*1.4 新座市野火止*1.4 吉川市吉川*1.4 さいたま西区指扇*1.4 さいたま浦和区高砂*1.4 秩父市上町*1.4 横瀬町横瀬*1.4 さいたま大宮区天沼町*1.3 小川町大塚*1.3 鳩山町大豆戸*1.3 三郷市幸房*1.3 埼玉三芳町藤久保*1.3 さいたま南区別所*1.2 熊谷市宮町*1.2 ときがわ町玉川*1.2 川越市旭町*1.2 朝霞市本町*1.2 本庄市本庄*1.2 八潮市中央*1.2 深谷市仲町*1.2 深谷市岡部*1.2 久喜市菖蒲*1.2 さいたま中央区下落合*1.2 越谷市越ヶ谷*1.1 富士見市鶴馬*1.1 鶴ヶ島市三ツ木*1.1 松伏町松伏*1.1 熊谷市桜町*1.1 さいたま大宮区大門*1.1 所沢市北有楽町*1.1 飯能市名栗*1.1 伊奈町小室*1.0 東秩父村御堂*1.0 川口市青木*1.0 さいたま緑区中尾*1.0 秩父市荒川*1.0 入間市豊岡*1.0 志木市中宗岡*1.0 蕨市中央*0.9 ふじみ野市福岡*0.9 皆野町皆野*0.9 埼玉神川町植竹*0.9 上里町七本木*0.9 埼玉神川町下阿久原*0.8 秩父市吉田*0.8 寄居町寄居*0.8 長瀨町本野上*0.8 小鹿野町小鹿野*0.7 さいたま桜区道場*0.7 ふじみ野市大井*0.7 日高市南平沢*0.7 さいたま浦和区常盤*0.6 川口市三ツ和*0.5 秩父市中津川*0.5 飯能市征矢町*0.5</p> <p>2 東京千代田区大手町*2.1 東京渋谷区本町*2.0 調布市西つつじヶ丘*2.0 東京中野区江古田*1.9 東京杉並区桃井*1.9 東京杉並区高井戸*1.9 町田市中町*1.7 小平市小川町*1.7 東京文京区大塚*1.6 東京中野区中野*1.6 東京北区西ヶ原*1.6 東京江戸川区中央*1.6 武蔵野市吉祥寺東町*1.6 三鷹市野崎*1.6 東京新宿区上落合*1.5 東京江東区塩浜*1.5 西東京市中町*1.5 東大和市中央*1.5 多摩市関戸*1.5</p> <p>1 東京千代田区富士見*1.4 東京文京区スポーツセンタ*1.4 東京板橋区相生町*1.4 東京練馬区豊玉北*1.4 東京練馬区東大泉*1.4 東京足立区伊興*1.4 東京足立区神明南*1.4 武蔵野市緑町*1.4 東京千代田区麴町*1.3 東京文京区本郷*1.3 東京江東区越中島*1.3 東京江東区森下*1.3 東京品川区平塚*1.3 東京目黒区中央町*1.3 東京荒川区東尾久*1.3 東京葛飾区立石*1.3 東京江戸川区船堀*1.3 町田市忠生*1.3 町田市森野*1.3 日野市神明*1.3 国分寺市戸倉*1.3 狛江市和泉本町*1.3 稲城市東長沼*1.3</p>				
		岩手県				
		群馬県				
		埼玉県				
		東京都				

地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
		<p>東京江戸川区鹿骨*1.2 八王子市堀之内*1.2 東京府中市白糸台*1.2 東村山市本町*1.2 清瀬市中里*1.2 東京中央区築地*1.2 東京中央区勝どき*1.2 東京港区白金*1.2 東京新宿区百人町*1.2 東京世田谷区世田谷*1.2 東京世田谷区成城*1.2 東京渋谷区宇田川町*1.2 青梅市日向和田*1.1 東京品川区北品川*1.1 東京国際空港=1.1 東京大田区本羽田*1.1 東京北区赤羽南*1.1 東京練馬区光が丘*1.1 小金井市本町*1.1 国分寺市本多*1.1 東京江東区東陽*1.1 八王子市石川町*1.0 東京港区海岸=1.0 東京新宿区歌舞伎町*1.0 東京品川区広町*1.0 あきる野市伊奈*1.0 東京中野区中央*1.0 東京豊島区南池袋*0.9 東京荒川区荒川*0.9 東京板橋区高島平*0.9 東京足立区千住中居町*0.9 東京葛飾区金町*0.9 東京墨田区東向島*0.9 東京江東区青海*0.9 東京世田谷区中野*0.8 武蔵村山市本町*0.8 東京港区芝公園*0.8 瑞穂町箱根ヶ崎*0.8 東京新宿区西新宿*0.8 東京台東区東上野*0.8 東京大田区多摩川*0.8 東京府中市寿町*0.7 調布市小島町*0.7 東京杉並区阿佐谷*0.7 東京墨田区吾妻橋*0.7 青梅市東青梅*0.7 檜原村本宿*0.6 八王子市大横町*0.6 東京江東区亀戸*0.5 東京足立区中央本町*0.5 清瀬市中清戸*0.5 羽村市緑ヶ丘*0.5</p> <p>2 横浜港北区日吉本町*1.9 川崎宮前区宮前平*1.9 横浜神奈川区神大寺*1.6 横浜緑区十日市場町*1.5 相模原緑区久保沢*1.5</p> <p>1 横浜青葉区榎が丘*1.4 横浜青葉区市ヶ尾町*1.4 川崎川崎区宮前町*1.4 相模原中央区上溝*1.4 相模原緑区中野*1.4 横浜保土ヶ谷区上菅田町*1.3 横浜瀬谷区三ツ境*1.3 相模原南区磯部*1.3 相模原緑区大島*1.3 相模原緑区橋本*1.3 横浜鶴見区末広町*1.2 横浜中区山手町*1.2 横浜旭区上白根町*1.2 横浜旭区川井宿町*1.2 横浜緑区鴨居*1.2 川崎中原区小杉町*1.2 川崎麻生区片平*1.2 座間市緑ヶ丘*1.2 愛川町角田*1.2 相模原中央区水郷田名*1.2 川崎中原区小杉陣屋町*1.1 川崎宮前区野川*1.1 清川村煤ヶ谷*1.1 相模原南区相模大野*1.1 横浜都筑区池辺町*1.0 川崎高津区下作延*1.0 川崎多摩区登戸*1.0 綾瀬市深谷*1.0 横浜神奈川区広台太田町*1.0 横浜中区山吹町*1.0 横浜戸塚区鳥が丘*1.0 横浜港南区丸山台東部*1.0 横浜磯子区洋光台*0.9 横浜旭区今宿東町*0.9 横浜瀬谷区中屋敷*0.9 三浦市城山町*0.9 大和市下鶴間*0.9 湯河原町中央*0.7 川崎麻生区万福寺*0.7 茅ヶ崎市茅ヶ崎*0.6 横浜泉区和泉町*0.6 横浜南区六ツ川*0.6 相模原緑区小淵*0.6 横浜青葉区美しが丘*0.5 秦野市曾屋*0.5</p> <p>2 見附市昭和町*2.2 阿賀町鹿瀬中学校*2.2 長岡市小島谷*1.7 長岡市山古志竹沢*1.7 聖籠町諏訪山*1.7 村上市岩船駅新*1.6 阿賀町津川*1.6 長岡市中之島*1.5 三条市新堀*1.5</p> <p>1 加茂市幸町*1.4 新発田市中央町*1.4 村上市府屋*1.4 刈羽村割町新田*1.3 南魚沼市六日町*1.3 阿賀町豊川*1.3 長岡市上岩井*1.2 新発田市本町*1.2 新発田市住田*1.2 阿賀野市姥ヶ橋*1.2 新潟空港=1.2 新潟秋葉区新津東町*1.2 三条市荻堀*1.1 新発田市乙次*1.1 五泉市太田*1.1 弥彦村矢作*1.1 阿賀野市岡山町*1.1 阿賀野市山崎*1.1 新潟西区寺尾東*1.1 長岡市与板町与板*1.0 田上町原ヶ崎新田*1.0 新発田市稲荷岡*1.0 村上市片町*1.0 村上市山口*1.0 燕市分水桜町*1.0 関川村下関*1.0 阿賀町白崎*1.0 新潟南区白根*1.0 上越市三和区井ノ口*0.9 長岡市寺泊敦ヶ曾根*0.9 出雲崎町米田*0.9 魚沼市須原*0.9 南魚沼市塩沢庁舎*0.9 村上市岩沢*0.9 燕市秋葉町*0.9 村上市三之町*0.8 阿賀野市保田*0.8 胎内市新和町*0.8 新潟中央区美咲町*0.8 燕市吉田西太田*0.7 長岡市浦*0.7 新潟北区葛塚*0.7 十日町市松代*0.7 村上市寒川*0.6 五泉市村松乙*0.5 新潟西蒲区役所*0.5</p> <p>1 階上町道仏*1.2 八戸市南郷*0.9 五戸町古館*0.6</p> <p>1 由利本荘市西目町沼田*0.8 にかほ市平沢*0.7 大仙市高梨*0.7 羽後町西馬音内*0.6 大仙市刈野*0.6 秋田市河辺和田*0.6 由利本荘市岩城内道川*0.5 横手市大雄*0.5</p> <p>1 山梨北杜市長坂町*1.4 笛吹市境川町藤壘*1.1 上野原市役所*0.9 上野原市上野原*0.8 甲州市塩山上於曾*0.7 甲府市飯田*0.6 大月市大月*0.5 富士河口湖町船津*0.5 丹波山村丹波*0.5</p> <p>1 佐久市中込*0.7 長野南牧村海ノ口*0.7 小海町豊里*0.6 軽井沢町追分*0.6</p> <p>1 東伊豆町奈良本*0.9 伊豆市中伊豆グラウンド*0.8 富士宮市弓沢町*0.5 富士宮市野中*0.5</p>				
111 (注)	21 15 07 21 15 06	<p>福島県沖 福島県沖 福島県</p> <p>1 福島広野町下北迫大谷地原*0.9 白河市新白河*0.8 檜葉町北田*0.7 田村市常葉町*0.6 田村市都路町*0.5 川内村上川内早渡*0.5</p>	37° 18.2' N 37° 18.5' N	141° 09.3' E 141° 09.4' E	34km 34km	M: 3.5 M: 3.3
112	21 15 12	<p>福島県沖 福島県</p> <p>1 白河市新白河*0.5 福島広野町下北迫大谷地原*0.5</p>	37° 18.0' N	141° 10.6' E	36km	M: 3.3
113	21 15 41	<p>石川県加賀地方 石川県</p> <p>1 白山市別宮町*1.1</p>	36° 21.0' N	136° 40.2' E	12km	M: 2.4
114	22 01 14	<p>鳥取県中部 鳥取県</p> <p>1 湯梨浜町龍島*1.3</p>	35° 26.0' N	133° 54.8' E	7km	M: 2.1
115	22 09 02	<p>宮城県沖 宮城県</p> <p>1 石巻市桃生町*0.9 女川町女川浜*0.8 石巻市大街道南*0.5</p>	38° 21.9' N	142° 19.4' E	30km	M: 3.7
116	22 09 51	<p>岩手県沖 岩手県 宮城県</p> <p>2 釜石市只越町*1.5 釜石市中妻町*1.5 1 一関市千厩町*1.4 住田町世田米*1.3 大船渡市大船渡町*1.1 山田町大沢*0.8 一関市室根町*0.8 一関市大東町*0.7 一関市藤沢町*0.6 陸前高田市高田町*0.5</p> <p>2 気仙沼市笹か陣*1.5 1 気仙沼市赤岩*1.1 南三陸町志津川*1.0 気仙沼市唐桑町*0.8</p>	39° 05.9' N	142° 12.5' E	43km	M: 3.9

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
117	22 10 41	福島県沖 福島県 1 白河市新白河*0.6 福島広野町下北迫大谷地原*0.6	37° 18.0' N	141° 10.4' E	35km	M: 3.2
118	22 18 11	和歌山県南方沖 和歌山県 1 日高川町土生*0.8	33° 14.9' N	135° 07.6' E	34km	M: 3.6
119	22 23 16	島根県東部 島根県 2 雲南市吉田町吉田*1.6 1 雲南市掛合町掛合*1.4 奥出雲町三成*1.4 雲南市三刀屋町三刀屋*1.3 雲南市木次町木次*1.1	35° 11.3' N	132° 55.5' E	6km	M: 3.1
120	22 23 42	根室半島南東沖 北海道 1 根室市瑠瑠瑠*0.5	43° 16.8' N	146° 10.6' E	46km	M: 3.5
121	23 01 01	鳥取県中部 鳥取県 1 湯梨浜町龍島*0.8	35° 26.1' N	133° 53.7' E	8km	M: 1.7
122	23 01 18	岩手県沖 岩手県 3 釜石市中妻町*2.6 釜石市只越町*2.5 2 大船渡市大船渡町*2.0 住田町世田米*2.0 山田町八幡町*1.9 山田町大沢*1.8 遠野市青笹町*1.8 宮古市鯉ヶ崎*1.6 大船渡市盛町*1.6 大槌町小鏡*1.5 宮古市田老*1.5 一関市室根町*1.5 大船渡市猪川町*1.5 1 一関市千厩町*1.3 宮古市茂市*1.2 盛岡市玉山区薮川*1.2 遠野市宮守町*1.2 八幡平市田頭*1.1 北上市相去町*1.1 宮古市川井*1.1 一関市大東町*1.1 陸前高田市高田町*1.1 宮古市五月町*1.1 盛岡市玉山区洪民*1.1 矢巾町南矢幅*1.0 奥州市胆沢区*0.9 宮古市区界*0.9 花巻市大迫町*0.9 一関市東山町*0.9 盛岡市山王町*0.8 宮古市長沢*0.8 葛巻町葛巻元木*0.8 一関市藤沢町*0.8 花巻市石鳥谷町*0.7 花巻市大迫総合支所*0.7 一関市花泉町*0.6 軽米町軽米*0.6 平泉町平泉*0.6 久慈市枝成沢*0.5 北上市柳原町*0.5 岩泉町大川*0.5 金ヶ崎町西根*0.5 宮城県 2 気仙沼市唐桑町*1.6 1 気仙沼市笹が陣*1.4 気仙沼市赤岩*1.3 石巻市桃生町*1.2 涌谷町新町裏*1.1 南三陸町歌津*0.8 栗原市栗駒*0.7 登米市中田町*0.7 登米市登米町*0.7 南三陸町志津川*0.7 登米市東和町*0.6 大崎市古川北町*0.5 石巻市大街道南*0.5 青森県 1 階上町道仏*1.1 青森南部町苔米地*0.9 八戸市南郷*0.8 五戸町古館*0.7 八戸市湊町*0.6 八戸市内丸*0.6	39° 20.4' N	142° 03.6' E	48km	M: 4.6
123	23 03 44	岐阜県飛騨地方 岐阜県 1 高山市高根町*1.1	36° 03.8' N	137° 33.6' E	8km	M: 2.7
124	23 10 24	鳥取県中部 鳥取県 1 湯梨浜町龍島*0.6	35° 26.0' N	133° 53.5' E	8km	M: 1.5
125	23 16 55	岩手県沖 青森県 1 階上町道仏*0.7	40° 22.2' N	142° 40.6' E	34km	M: 3.9
126	24 13 13	千葉県北西部 千葉県 2 船橋市湊町*1.6 千葉緑区おゆみ野*1.5 千葉中央区中央港*1.5 1 長南町長南*1.4 千葉中央区千葉市役所*1.4 千葉中央区都町*1.4 千葉花見川区花島町*1.4 千葉稲毛区園生町*1.4 千葉美浜区ひび野*1.3 木更津市役所*1.3 千葉美浜区稲毛海岸*1.2 市原市姉崎*1.2 君津市久留里市場*1.1 富津市下飯野*1.1 鎌ヶ谷市新鎌ヶ谷*1.1 浦安市日の出*1.1 白井市復*1.1 浦安市猫実*1.0 八千代市大和田新田*1.0 習志野市鷺沼*0.9 南房総市富浦町青木*0.9 野田市鶴奉*0.9 成田市花崎町*0.9 柏市旭町*0.8 千葉若葉区小倉台*0.8 木更津市太田*0.7 東金市日吉台*0.7 長柄町大津倉*0.7 君津市久保*0.7 成田市中台*0.7 館山市長須賀*0.5 東京都 2 東京台東区千束*1.9 東京墨田区東向島*1.8 東京江東区塩浜*1.7 東京渋谷区本町*1.6 東京江戸川区鹿骨*1.6 東京品川区平塚*1.5 東京墨田区吾妻橋*1.5 東京江東区青海*1.5 1 東京中央区勝どき*1.4 東京品川区北品川*1.4 東京葛飾区立石*1.4 東京国際空港*1.3 東京大田区本羽田*1.3 東京渋谷区宇田川町*1.3 東京荒川区荒川*1.3 東京足立区千住中居町*1.3 東京葛飾区金町*1.3 東京江戸川区中央*1.3 東京港区海岸*1.3 東京墨田区横川*1.3 東京江東区亀戸*1.2 東京目黒区中央町*1.2 東京江戸川区船堀*1.2 町田市中町*1.2 東京世田谷区中町*1.2 東京江東区越中島*1.2 東京千代田区大手町*1.1 東京江東区東陽*1.1 東京足立区神明南*1.1 東京江東区森下*1.1 東京練馬区豊北*1.0 東京大田区多摩川*1.0 東京港区白金*1.0 東京荒川区東尾久*1.0 調布市西つじヶ丘*0.9 東京文京区スポーツセンター*0.9 小金井市本町*0.9 東京世田谷区成城*0.9 東京文京区本郷*0.9 東京文京区大塚*0.9 東京北区西ヶ原*0.9 東京北区赤羽南*0.9 東京板橋区相生町*0.9 東京大田区大森東*0.8 東京新宿区上落合*0.8 八王子市堀之内*0.8 武蔵野市吉祥寺東町*0.8 東京品川区広町*0.8 東京新宿区百人町*0.8 小平市小川町*0.8 西東京市中町*0.7 東大和市中央*0.7 東京足立区伊興*0.7 東京中野区中野*0.7 東京杉並区桃井*0.7 町田市森野*0.7 東京大田区蒲田*0.6 狛江市和泉本町*0.6 三鷹市野崎*0.6 町田市忠生*0.5 東京杉並区高井戸*0.5 国分寺市本多*0.5 東京板橋区板橋*0.5 東京中野区中央*0.5 東京練馬区東大泉*0.5 神奈川県 2 横浜神奈川区神大寺*2.0 横浜神奈川区広台太田町*2.0 横浜鶴見区馬場*1.8 横浜中区山手町*1.8 横浜鶴見区末広町*1.7 藤沢市辻堂東海岸*1.7 横浜中区山下町*1.5 横浜中区山吹町*1.5 横浜保土ヶ谷区上菅田町*1.5 横浜戸塚区鳥が丘*1.5 横浜港南区丸山台東部*1.5	35° 48.1' N	140° 05.0' E	66km	M: 3.7

地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
		<p>三浦市城山町*1.5</p> <p>1 横浜西区浜松町*1.4 横浜緑区十日市場町*1.4 横浜青葉区市ケ尾町*1.4 川崎川崎区宮前町*1.4 横浜港北区日吉本町*1.3 横浜戸塚区平戸町*1.3 横浜緑区鴨居*1.3 横浜瀬谷区三ツ境*1.3 川崎川崎区千鳥町*1.3 川崎中原区小杉町*1.3 川崎宮前区宮前平*1.3 藤沢市長後*1.3 横浜旭区川井宿町*1.2 横浜瀬谷区中屋敷*1.2 横浜青葉区榎が丘*1.2 横浜磯子区洋光台*1.2 大和市下鶴間*1.2 横浜磯子区磯子*1.1 横浜金沢区白帆*1.1 座間市緑ヶ丘*1.1 相模原南区相模大野*1.1 横浜中区日本大通*1.0 横浜旭区今宿東町*1.0 横浜旭区上白根町*1.0 茅ヶ崎市茅ヶ崎*1.0 綾瀬市深谷*1.0 横浜鶴見区鶴見*1.0 横浜戸塚区戸塚町*0.9 横浜保土ヶ谷区神戸町*0.9 清川村煤ヶ谷*0.9 川崎中原区小杉陣屋町*0.8 横浜金沢区釜利谷南*0.8 横浜港南区丸山台北部*0.8 相模原中央区上溝*0.8 横浜泉区和泉町*0.7 横須賀市光の丘*0.7 箱根町湯本*0.6 川崎高津区下作延*0.6 相模原緑区中野*0.6 横浜南区六ツ川*0.5 藤沢市朝日町*0.5 湯河原町中央*0.5 川崎多摩区登戸*0.5</p> <p>茨城県 1 坂東市岩井*1.0 取手市寺田*0.9 つくば市小荳*0.7 筑西市門井*0.7 土浦市常名*0.6 笠間市石井*0.6 牛久市中央*0.6 笠間市下郷*0.5 石岡市柿岡*0.5 牛久市城中町*0.5</p> <p>埼玉県 1 さいたま緑区中尾*1.4 さいたま南区別所*1.3 宮代町笠原*1.3 草加市高砂*1.2 志木市中宗岡*1.1 白岡市千駄野*1.0 所沢市北有楽町*0.9 和光市広沢*0.9 八潮市中央*0.9 春日部市粕壁*0.9 杉戸町清地*0.8 さいたま中央区下落合*0.8 春日部市谷原新田*0.8 三郷市幸房*0.8 春日部市金崎*0.8 さいたま大宮区天沼町*0.7 新座市野火止*0.7 蕨市中央*0.7 富士見市鶴馬*0.7 朝霞市本町*0.7 吉川市吉川*0.7 さいたま浦和区高砂*0.6 埼玉三芳町藤久保*0.6 川口市三ツ和*0.6 狭山市入間川*0.5 さいたま北区宮原*0.5</p> <p>静岡県 1 熱海市網代*0.8 東伊豆町奈良本*0.8 伊豆市中伊豆グラウンド*0.7</p>				
127	24 13 26	<p>十勝地方中部 北海道</p> <p>2 浦幌町桜町*2.1</p> <p>1 帯広市東6条*1.3 十勝池田町西1条*1.2 安平町早来北進*1.1 新得町2条*1.0 安平町追分柏が丘*1.0 むかわ町穂別*1.0 豊頃町茂岩本町*1.0 十勝大樹町生花*1.0 十勝清水町南4条*0.8 帯広市東4条*0.8 幕別町本町*0.6 厚真町鹿沼*0.5 芽室町東2条*0.5 本別町向陽町*0.5 十勝大樹町東本通*0.5 音更町元町*0.5</p>	42° 47.6' N	143° 09.3' E	97km	M: 3.8
128	25 00 42	<p>神奈川県西部 神奈川県</p> <p>2 箱根町湯本*1.7</p>	35° 13.3' N	139° 07.1' E	9km	M: 2.2
129	25 01 17	<p>鳥取県中部 鳥取県</p> <p>1 湯梨浜町龍島*1.1</p>	35° 26.0' N	133° 54.3' E	7km	M: 1.8
130	25 01 55	<p>兵庫県南西部 兵庫県</p> <p>1 姫路市香寺町中屋*1.2 宍粟市山崎町船元*1.2 たつの市新宮町*1.1 福崎町南田原*1.0 姫路市豊富*0.8 佐用町下徳久*0.8 市川町西川辺*0.6 宍粟市山崎町中広瀬*0.5</p>	34° 58.4' N	134° 36.5' E	14km	M: 3.1
131	25 17 15	<p>山梨県東部・富士五湖</p> <p>3 山北町山北*3.0 松田町松田惣領*2.6</p> <p>2 小田原市荻窪*2.4 厚木市中町*2.4 神奈川大井町金子*2.2 湯河原町中央*2.2 秦野市曾屋*2.2 南足柄市関本*2.1 横浜旭区川井宿町*2.1 秦野市平沢*2.0 相模原中央区上溝*2.0 箱根町湯本*2.0 真鶴町岩*2.0 開成町延沢*1.9 厚木市寿町*1.9 愛川町角田*1.8 藤沢市打戻*1.8 相模原緑区中野*1.8 横浜瀬谷区三ツ境*1.8 海老名市大谷*1.7 厚木市下津古久*1.7 寒川町宮山*1.7 中井町比奈窪*1.7 横浜戸塚区島が丘*1.7 清川村煤ヶ谷*1.6 小田原市久野*1.6 相模原中央区水郷田名*1.6 綾瀬市深谷*1.6 大磯町月京*1.6 伊勢原市伊勢原*1.5 藤沢市辻堂東海岸*1.5 横浜港南区丸山台東部*1.5 横浜泉区岡津町*1.5 横浜青葉区市ケ尾町*1.5 相模原南区相模大野*1.5 平塚市浅間町*1.5</p> <p>1 横浜神奈川区神大寺*1.4 横浜中区山手町*1.4 横浜保土ヶ谷区上菅田町*1.4 横浜磯子区磯子*1.4 横浜港北区日吉本町*1.4 横浜旭区上白根町*1.4 横浜泉区和泉町*1.4 川崎中原区小杉町*1.4 茅ヶ崎市茅ヶ崎*1.4 二宮町中里*1.4 横浜瀬谷区中屋敷*1.3 横浜青葉区榎が丘*1.3 藤沢市大庭*1.3 藤沢市長後*1.3 横浜西区浜松町*1.3 相模原南区磯部*1.3 横浜中区山下町*1.3 横浜港北区大倉山*1.3 横浜旭区今宿東町*1.2 横浜鶴見区馬場*1.2 横浜緑区鴨居*1.2 横浜神奈川区広台太田町*1.2 川崎宮前区野川*1.2 三浦市城山町*1.2 座間市緑ヶ丘*1.2 横浜金沢区白帆*1.2 相模原中央区中央*1.2 横浜戸塚区戸塚町*1.1 川崎川崎区宮前町*1.1 横浜緑区十日市場町*1.1 川崎麻生区片平*1.1 大和市下鶴間*1.0 横浜磯子区洋光台*1.0 横浜金沢区釜利谷南*1.0 相模原緑区大島*1.0 相模原緑区久保沢*1.0 相模原緑区橋本*1.0 横浜鶴見区末広町*1.0 川崎宮前区宮前平*1.0 川崎麻生区万福寺*1.0 横浜保土ヶ谷区神戸町*0.9 横須賀市坂本町*0.9 横須賀市光の丘*0.8 川崎中原区小杉陣屋町*0.7 川崎多摩区登戸*0.7 鎌倉市御成町*0.7 相模原緑区与瀬*0.6 川崎高津区下作延*0.6 横浜南区大岡*0.6 横浜青葉区美しが丘*0.5 藤沢市朝日町*0.5</p> <p>山梨県 3 富士河口湖町長浜*2.8 大月市御大刀*2.7 忍野村忍草*2.5 大月市大月*2.5 2 富士吉田市上吉田*2.4 西桂町小沼*2.4 山中湖村山中*2.4 富士河口湖町船津*2.4 都留市上谷*2.3 上野原市役所*2.1 富士河口湖町勝山*2.1 富士河口湖町役場*2.0 丹波山村丹波*2.0 鳴沢村役場*1.9 富士川町鯉沢*1.9 身延町大磯小磯*1.7 大月市役所*1.6 上野原市上野原*1.6 道志村役場*1.6 甲州市勝沼町勝沼*1.6 甲州市大和町初鹿野*1.5 1 甲府市古閑町*1.4 笛吹市境川町藤袋*1.3 笛吹市八代町南*1.3 笛吹市役所*1.3 山梨北杜市長坂町*1.3 中央市大島居*1.3 上野原市秋山*1.3 小菅村小菅小学校*1.3 甲州市役所*1.2 富士河口湖町本栖*1.2 甲府市飯田*1.2 甲府市相生*1.2 甲州市塩山上於曾*1.1 中央市成島*1.1 昭和町押越*1.1 甲府市上曾根町*1.0 南アルプス市寺部*1.0 笛吹市芦川町中芦川*1.0 市川三郷町六郷支所*1.0 甲斐市下今井*0.9</p>	35° 30.3' N	138° 57.1' E	21km	M: 4.3

地震 番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
		<p>埼玉県</p> <p>笛吹市春日居町寺本*0.9 中央市白井阿原*0.9 山梨市牧丘町窪平*0.9 早川町葉袋*0.9 山梨北杜市高根町*0.8 甲州市塩山下於曾*0.8 富士川町天神中条*0.8 笛吹市御坂町夏目原*0.8 笛吹市一宮町末木*0.7 山梨市小原西*0.6 山梨北杜市明野町*0.5 山梨市三富川浦*0.5 2 秩父市中津川*1.7 1 秩父市荒川*1.3 長瀬町野上下郷*1.3 小鹿野町役場両神序舎*1.3 さいたま大宮区天沼町*1.1 さいたま北区宮原*1.0 小鹿野町小鹿野*1.0 さいたま浦和区高砂*0.8 秩父市上町*0.8 秩父市近戸町*0.8 草加市高砂*0.8 埼玉美里町木部*0.8 川島町平沼*0.7 富士見市鶴馬*0.7 毛呂山町中央*0.7 横瀬町横瀬*0.7 さいたま中央区下落合*0.7 越生町越生*0.7 さいたま緑区中尾*0.7 東松山市松葉町*0.6 鴻巣市吹上富士見*0.6 所沢市北有楽町*0.6 さいたま南区別所*0.6 越谷市越ヶ谷*0.6 日高市南平沢*0.6 秩父市吉田*0.6 吉川市吉川*0.6 本庄市児玉町*0.6 さいたま岩槻区本丸*0.5 ふじみ野市福岡*0.5 久喜市下早見*0.5 滑川町福田*0.5 春日部市谷原新田*0.5 上尾市本町*0.5 加須市大利根*0.5 三郷市幸房*0.5</p> <p>東京都</p> <p>2 あきる野市伊奈*2.2 国分寺市戸倉*1.9 青梅市日向和田*1.7 檜原村本宿*1.7 国分寺市本多*1.6 東京渋谷区宇田川町*1.6 東京杉並区高井戸*1.5 1 町田市中町*1.4 小平市小川町*1.4 町田市森野*1.3 東村山市本町*1.3 東京世田谷区世田谷*1.3 東京渋谷区本町*1.3 調布市西つつじヶ丘*1.2 町田市忠生*1.2 東京千代田区大手町*1.2 小金井市本町*1.2 日野市神明*1.2 三鷹市野崎*1.2 東京中央区勝どき*1.1 青梅市東青梅*1.0 東京中野区中野*1.0 東京杉並区桃井*1.0 八王子市堀之内*1.0 東京足立区神明南*0.9 東京葛飾区立石*0.9 西東京市中町*0.9 狛江市和泉本町*0.9 東京世田谷区成城*0.9 日の出町平井*0.9 東京江東区塩浜*0.9 東京北区西ヶ原*0.9 東京練馬区東大泉*0.9 東大和市中央*0.8 清瀬市中里*0.8 東京府中市寿町*0.8 東京世田谷区中町*0.8 東京港区海岸*0.8 東京新宿区上落合*0.8 東京江戸川区中央*0.8 東京足立区千住中居町*0.7 東京品川区平塚*0.7 東京目黒区中央町*0.7 八王子市大横町*0.7 武蔵野市緑町*0.7 檜原村役場*0.7 武蔵野市吉祥寺東町*0.7 東京府中市白糸台*0.7 東京板橋区相生町*0.7 東京足立区伊興*0.7 東京品川区北品川*0.7 東京荒川区東尾久*0.6 東京千代田区麹町*0.6 東京港区白金*0.6 東京文京区本郷*0.6 東京江東区越中島*0.6 東京中野区江古田*0.5 東京北区赤羽南*0.5 東京新宿区百人町*0.5 東京文京区スポーツセンター*0.5 東京江東区森下*0.5 東京国際空港*0.5 奥多摩町氷川*0.5 東京大田区多摩川*0.5</p> <p>長野県</p> <p>2 佐久市中込*1.8 小海町豊里*1.6 佐久穂町畑*1.5 佐久市白田*1.5 1 立科町芦田*1.4 佐久市下小田切*1.3 佐久市望月*1.3 長野南牧村海ノ口*1.3 東御市県*1.3 長野川上村大深山*1.1 小川村高府*1.0 青木村田沢青木*1.0 南相木村見上*0.9 北相木村役場*0.8 佐久穂町高野町*0.8 上田市上田古戦場公園*0.8 長野市戸隠*0.7 佐久市甲*0.7 茅野市葛井公園*0.6</p> <p>静岡県</p> <p>2 三島市東本町*2.3 伊豆の国市長岡*2.1 富士市吉永*2.1 三島市大社町*2.0 小山市藤曲*2.0 伊豆市中伊豆グラウンド*1.9 静岡清水町堂庭*1.9 函南町平井*1.7 沼津市戸田*1.7 松崎町江奈*1.6 沼津市御幸町*1.5 沼津市高島本町*1.5 富士宮市弓沢町*1.5 富士宮市野中*1.5 長泉町中土狩*1.5 1 東伊豆町奈良本*1.4 富士市大淵*1.4 御殿場市茱萸沢*1.4 熱海市泉*1.3 西伊豆町一色*1.3 伊豆の国市四日町*1.3 御殿場市萩原*1.3 熱海市中央町*1.2 西伊豆町宇久須*1.1 裾野市石脇*1.0 裾野市佐野*1.0 静岡駿河区曲金*1.0 西伊豆町仁科*0.9 静岡清水区蒲原新栄*0.9 河津町田中*0.8 南伊豆町下賀茂*0.8 富士市永田町*0.8 藤枝市岡部町岡部*0.8 伊豆市土肥*0.7 南伊豆町石廊崎*0.6 伊豆市市山*0.6 熱海市網代*0.5 南伊豆町入間*0.5 伊豆市八幡*0.5</p> <p>茨城県</p> <p>1 坂東市岩井*0.9 筑西市舟生*0.6 取手市寺田*0.6</p> <p>栃木県</p> <p>1 鹿沼市晃望台*0.9 宇都宮市明保野町*0.5</p> <p>群馬県</p> <p>1 群馬上野村川和*1.3 神流町神ヶ原*1.2 下仁田町下小坂*1.1 神流町生利*1.0 富岡市七日市*1.0 安中市安中*0.9 安中市松井田町*0.8 富岡市妙義町*0.6 高崎市吉井町吉井川*0.6 前橋市富士見町*0.5 群馬南牧村大日向*0.5 甘楽町小幡*0.5 沼田市白沢町*0.5</p> <p>千葉県</p> <p>1 南房総市富浦町青木*1.2 市原市姉崎*0.8 館山市長須賀*0.7 浦安市日の出*0.6</p>				
132	25 23 11	鳥取県中部 鳥取県	35° 26.4' N	133° 54.7' E	9km	M: 2.2
		1 湯梨浜町龍島*0.8				
133	26 02 18	岩手県沖 青森県 岩手県	40° 21.1' N	142° 04.8' E	50km	M: 3.9
		2 階上町道仏*1.8 1 青森南部町苦米地*0.8 八戸市内丸*0.7 八戸市湊町*0.7 2 九戸村伊保内*1.5 1 軽米町軽米*0.9 岩手洋野町大野*0.8 久慈市川崎町*0.7 久慈市枝成沢*0.7 野田村野田*0.6 葛巻町葛巻元木*0.6 八幡平市田頭*0.6 岩手洋野町種市*0.6 田野畑村役場*0.5				
134	26 09 01	宮城県沖 宮城県	38° 18.2' N	141° 49.2' E	47km	M: 3.2
		1 女川町女川浜*0.6				
135	26 13 02	網走地方 北海道	43° 29.6' N	144° 03.3' E	0km	M: 2.5
		1 釧路市阿寒町阿寒湖温泉*1.1				
136	26 16 15	浦河沖 北海道	42° 02.0' N	142° 34.9' E	64km	M: 3.7
		1 新ひだか町三石旭町*1.0 新ひだか町静内山手町*0.8 浦河町潮見*0.7 浦河町築地*0.6 新ひだか町静内御幸町*0.5 浦河町野深*0.5				

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
137	27 03 16	島根県東部 鳥取県 島根県	35° 19.5' N	133° 14.8' E	9km	M: 2.6 1 鳥取南部町天萬*0.6 境港市東本町=0.6 1 安来市伯太町東母里*0.7
138	27 03 51	釧路沖 北海道	42° 34.4' N	144° 34.9' E	82km	M: 3.8 1 十勝大樹町生花*0.8
139	27 06 09	宮城県沖 岩手県	38° 36.1' N	142° 10.5' E	35km	M: 3.5 1 釜石市中妻町*0.5
140	27 12 01	茨城県沖 茨城県	36° 17.8' N	140° 56.4' E	38km	M: 3.4 1 日立市助川小学校*1.4 ひたちなか市南神敷台*1.3 東海村東海*1.3 日立市役所*1.2 笠間市石井*0.8 高萩市安良川*0.5
141	27 12 44	福島県沖 福島県 茨城県	37° 12.6' N	141° 11.8' E	84km	M: 3.9 1 田村市大越町*1.4 田村市滝根町*1.4 二本松市油井*1.2 田村市都路町*1.2 玉川村小高*1.1 小野町小野新町*1.1 棚倉町棚倉中居野=1.1 小野町中通*1.0 二本松市針道*0.9 須賀川市八幡山*0.9 田村市常葉町*0.9 浪江町幾世橋=0.8 浅川町浅川*0.8 田村市船引町=0.7 鏡石町不時沼*0.7 白河市新白河*0.7 南相馬市鹿島区栞窪=0.6 二本松市金色*0.6 檜葉町北田*0.6 矢祭町戸塚*0.6 富岡町本岡*0.5 1 日立市十王町友部*1.3 日立市助川小学校*0.8 高萩市安良川*0.8 笠間市石井*0.6 常陸大宮市山方*0.6 常陸大宮市上小瀬*0.6 水戸市内原町*0.5
142	27 15 19	千葉県東方沖 千葉県	35° 40.9' N	140° 48.6' E	20km	M: 3.0 1 旭市高生*0.9 香取市仁良*0.7 旭市二*0.6
143	27 18 12	千葉県東方沖 千葉県	35° 24.9' N	140° 38.2' E	39km	M: 3.4 2 長南町長南*1.5 1 大網白里市大網*1.2 市原市姉崎*1.1 九十九里町片貝*1.0 千葉緑区おゆみ野*1.0 山武市蓮沼*1.0 東金市日吉台*0.9 東金市東新宿=0.8 芝山町小池*0.7 千葉中央区都町*0.7 山武市埴谷*0.6 一宮町一宮=0.6 山武市松尾町富士見台=0.6
144	27 18 38	茨城県沖 茨城県	36° 14.1' N	140° 55.7' E	46km	M: 3.2 1 日立市助川小学校*0.8
145	27 21 17	岩手県沖 青森県 岩手県	40° 22.5' N	142° 16.0' E	42km	M: 3.8 2 階上町道仏*1.7 八戸市内丸*1.5 1 八戸市湊町=1.1 八戸市南郷*1.1 青森南部町苦米地*1.0 青森南部町平*0.9 五戸町古館=0.6 三戸町在府小路町*0.6 八戸市島守=0.5 1 軽米町軽米*1.1 久慈市川崎町=0.9 岩手洋野町大野*0.9 盛岡市玉山区薮川*0.9 九戸村伊保内*0.9 久慈市長内町*0.7 久慈市枝成沢=0.6 八幡平市田頭*0.6
146	28 03 08	大阪湾 兵庫県	34° 35.7' N	135° 03.0' E	7km	M: 2.5 2 明石市相生*1.5 1 明石市中崎=1.4 神戸垂水区日向*1.1
147	28 05 42	福島県沖 宮城県 福島県	37° 04.8' N	142° 02.3' E	45km	M: 4.2 1 岩沼市桜*1.1 角田市角田*1.0 石巻市桃生町*1.0 亘理町下小路*0.9 名取市増田*0.7 山元町浅生原*0.7 蔵王町円田*0.7 1 田村市大越町*1.0 白河市新白河*0.9 郡山市湖南町*0.8 福島伊達市霊山町*0.7 天栄村下松本*0.6 本宮市本宮*0.6 川内村上川内早渡*0.6 いわき市三和町=0.5 檜葉町北田*0.5 田村市都路町*0.5
148	28 06 21	宮城県沖 岩手県	38° 55.2' N	141° 55.7' E	50km	M: 3.4 1 一関市室根町*0.7 一関市千厩町*0.5
149	28 07 55	東京都多摩西部 東京都	35° 45.5' N	139° 10.7' E	16km	M: 2.3 1 檜原村本宿*0.8
150	28 10 51	千葉県東方沖 千葉県	35° 47.8' N	140° 55.3' E	14km	M: 3.3 1 銚子市若宮町*0.6
151	28 12 29	根室半島南東沖 北海道	42° 58.0' N	146° 25.7' E	64km	M: 4.5 2 根室市牧の内*2.2 浜中町霧多布*2.1 根室市瑠瑠瑠*1.9 中標津町丸山*1.8 根室市落石東*1.7 別海町本別海*1.6 1 中標津町養老牛=1.3 別海町常盤=1.3 別海町西春別*1.3 標茶町塘路*1.2 厚岸町尾幌=1.1 標津町北2条*1.1 根室市弥栄=1.1 根室市豊里=1.0 浜中町湯沸=0.9 釧路市幸町=0.8 鶴居村鶴居東*0.7 弟子屈町弟子屈*0.6
152	28 14 44	千葉県東方沖 千葉県	35° 47.7' N	140° 55.1' E	14km	M: 3.3 1 銚子市川口町=0.6 銚子市若宮町*0.6

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
153	28 21 58	鳥取県中部 鳥取県 2 湯梨浜町龍島* =1.6	35° 26.1' N	133° 53.8' E	8km	M: 2.1
154	29 07 34	茨城県北部 茨城県 1 高萩市安良川* =0.7	36° 43.6' N	140° 36.6' E	7km	M: 2.6
155	29 11 55	福島県沖 福島県 1 檜葉町北田* =0.9	37° 36.7' N	141° 48.2' E	28km	M: 3.9
156	29 11 56	福井県嶺北 石川県 2 加賀市大聖寺南町* =1.5 福井県 1 白山市別宮町* =1.3 加賀市直下町 =1.0 加賀市山中温泉湯の出町* =0.8 小松市小馬出町 =0.8 2 福井坂井市三国町中央 =2.1 越前町西田中* =1.9 福井市小羽町* =1.9 福井市大手* =1.7 福井坂井市坂井町下新庄* =1.6 福井市蒲生町* =1.5 1 福井市豊島 =1.4 あわら市市姫* =1.3 あわら市国影* =1.3 福井坂井市春江町随応寺* =1.3 福井市板垣* =1.2 鯖江市水落町* =1.1 越前町織田* =1.0 越前町江波* =1.0 越前市粟田部* =0.8 福井坂井市丸岡町西里丸岡* =0.6	36° 04.6' N	136° 06.9' E	10km	M: 3.5
157	29 16 28	新潟県中越地方 新潟県 2 十日町市千歳町* =1.6 1 十日町市上山* =1.2 南魚沼市塩沢庁舎* =0.7 南魚沼市塩沢小学校* =0.6	37° 05.4' N	138° 48.3' E	8km	M: 2.7
158	29 21 42	新潟県上越地方 新潟県 2 妙高市関川* =2.3 1 妙高市関山* =1.3 長野県 1 信濃町柏原東裏* =1.2 飯綱町芋川* =1.1	36° 52.0' N	138° 09.7' E	7km	M: 2.6
159	30 02 18	釧路沖 北海道 1 浜中町霧多布* =0.5	42° 55.9' N	145° 29.0' E	46km	M: 3.3
160	30 06 51	群馬県北部 群馬県 2 沼田市利根町* =1.6 1 片品村鎌田* =1.0 片品村東小川 =0.7	36° 42.5' N	139° 20.2' E	8km	M: 2.7
161	30 16 22	熊本県熊本地方 熊本県 2 菊池市旭志* =1.8 熊本西区春日 =1.6 1 菊陽町久保田* =1.4 熊本東区佐土原* =1.4 山都町下馬尾* =1.2 合志市竹迫* =1.1 熊本中央区大江* =1.1 大津町引水* =1.1 山鹿市鹿本町* =1.0 益城町宮園* =1.0 大津町大津* =1.0 南阿蘇村河陽* =0.9 熊本北区植木町* =0.9 菊池市泗水町* =0.8 西原村小森* =0.8 菊池市隈府* =0.7 山鹿市菊鹿町* =0.7 山鹿市鹿央町* =0.6 菊池市七城町* =0.6 嘉島町上島* =0.6 山鹿市老人福祉センター* =0.5 福岡県 1 みやま市高田町* =0.5	32° 53.0' N	130° 49.0' E	13km	M: 3.2
162	30 17 43	熊本県熊本地方 熊本県 2 熊本西区春日 =2.0 菊池市旭志* =1.9 菊陽町久保田* =1.5 熊本東区佐土原* =1.5 山鹿市鹿本町* =1.5 1 益城町宮園* =1.3 和水町江田* =1.3 熊本中央区大江* =1.3 熊本北区植木町* =1.3 菊池市泗水町* =1.2 大津町引水* =1.2 菊池市隈府* =1.2 山鹿市鹿央町* =1.1 山鹿市菊鹿町* =1.1 大津町大津* =1.1 西原村小森* =1.1 合志市竹迫* =1.0 山鹿市老人福祉センター* =1.0 宇城市松橋町 =1.0 玉東町木葉* =0.9 菊池市七城町* =0.9 嘉島町上島* =0.8 山鹿市山鹿* =0.6 玉名市横島町* =0.6 山都町下馬尾* =0.6 八代市坂本町* =0.6 山鹿市鹿北町* =0.5 宇城市不知火町* =0.5 福岡県 1 みやま市高田町* =1.0 大分県 1 日田市中津江村栃野* =0.8	32° 53.0' N	130° 49.1' E	13km	M: 3.3
163	30 19 32	岩手県沿岸北部 青森県 2 階上町道仏* =1.5 1 青森南部町苦米地* =1.0 八戸市内丸* =0.8 岩手県 2 遠野市青笹町* =1.6 1 宮古市川井* =1.0 普代村銅屋* =1.0 盛岡市玉山区藪川* =0.9 八幡平市田頭* =0.9 田野畑村田野畑 =0.8 宮古市区界* =0.8 宮古市茂市* =0.8 遠野市宮守町* =0.8 葛巻町葛巻元木 =0.7 久慈市枝成沢 =0.7 花巻市大迫総合支所* =0.7 盛岡市玉山区洪民* =0.7 野田村野田* =0.6 葛巻町役場* =0.6 岩手洋野町大野* =0.6 久慈市川崎町 =0.6 岩泉町大川* =0.6 一関市室根町* =0.6 一関市千厩町* =0.5 葛巻町消防分署* =0.5	39° 45.5' N	141° 50.2' E	58km	M: 3.7
164	31 01 31	和歌山県南部 奈良県 2 天川村洞川 =2.1 吉野町上市* =1.6 王寺町王寺* =1.6 天川村沢谷* =1.6 宇陀市大宇陀迫間* =1.5 1 斑鳩町法隆寺西* =1.4 高取町観音寺* =1.3 桜井市初瀬 =1.3 香芝市本町* =1.2 上牧町上牧* =1.1 下北山村寺垣内* =1.1 葛城市柿本* =1.1 天理市川原城町* =1.1 三郷町勢野西* =1.1 三宅町伴堂* =1.0 田原本町役場* =1.0 広陵町南郷* =1.0 河合町池部* =1.0 奈良川上村迫* =1.0 葛城市長尾* =1.0 御所市役所* =1.0 安堵町東安堵* =1.0 奈良市半田開町 =0.9 大和郡山口市北郡山町* =0.9 奈良川西町結崎* =0.9 橿原市八木町* =0.9 五條市本町* =0.9 生駒市東新町* =0.9 大淀町桧垣本 =0.9 黒滝村寺戸* =0.8 十津川村小原* =0.8 大和高田市野口* =0.8 桜井市栗殿* =0.8 大和高田市大中* =0.8 宇陀市榛原下井足* =0.8 東吉野村小川* =0.7	33° 58.4' N	135° 38.5' E	54km	M: 3.9

地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
		和歌山県 2 湯浅町湯浅*1.6 橋本市東家*1.5 白浜町日置*1.5 1 田辺市本宮町本宮*1.4 由良町里*1.3 田辺市中辺路町栗栖川*1.3 御坊市藪=1.2 紀の川市粉河=1.1 かつらぎ町丁ノ町*1.0 高野町高野山中学校=1.0 みなべ町土井=1.0 有田川町下津野*1.0 日高川町川原河*0.9 田辺市中辺路町近露=0.8 田辺市龍神村西*0.8 新宮市熊野川町日足*0.8 高野町役場*0.7 和歌山広川町広*0.7 日高川町高津尾*0.7 日高川町土生*0.7 紀の川市那賀総合センター*0.7 紀の川市桃山町元*0.7 有田川町清水*0.7 橋本市高野口町名倉*0.7 古座川町高池=0.7 和歌山市一番丁*0.6 有田市初島町*0.6 和歌山日高町高家*0.6 みなべ町芝*0.6 和歌山市男野芝丁=0.6 紀美野町下佐々*0.5 三重県 1 尾鷲市南浦*1.1 尾鷲市南陽町=1.0 三重紀北町相賀*0.6 京都府 1 城陽市寺田*1.0 京田辺市田辺*0.9 木津川市加茂町里*0.6 和束町釜塚*0.5 井手町井手*0.5 大阪府 1 富田林市高辺台*1.4 河内長野市清見台*1.1 泉佐野市りんくう往来*1.1 大阪堺市南区桃山台*1.0 柏原市安堂町*1.0 河内長野市役所*1.0 大阪和泉市府中町*1.0 大阪堺市西区鳳東町*1.0 大阪狭山市狭山*0.9 忠岡町忠岡東*0.9 熊取町野田*0.9 大阪北区茶屋町*0.9 大阪太子町山田*0.8 八尾市本町*0.8 泉大津市東雲町*0.8 千早赤阪村水分*0.7 大阪堺市美原区黒山*0.7 大阪東淀川区柴島*0.7 交野市私部*0.7 枚方市大垣内*0.7 田尻町嘉祥寺*0.7 大阪東住吉区杭全*0.7 羽曳野市誉田*0.6 河南町白木*0.6 大阪平野区平野南*0.6 泉佐野市市場*0.6 岸和田市畑町*0.5 大阪都島区都島本通*0.5 泉南市消防本部*0.5 大阪堺市中区深井清水町=0.5 富田林市本町=0.5 岸和田市岸城町=0.5 兵庫県 1 神戸垂水区日向*1.1 明石市中崎=0.5				
165	31 07 00	鳥取県中部 鳥取県 1 湯梨浜町龍島*0.8	35° 25.9' N	133° 53.7' E	8km	M: 1.7
166	31 07 07	鳥取県中部 鳥取県 1 湯梨浜町龍島*0.9	35° 25.9' N	133° 53.9' E	7km	M: 1.7
167	31 16 56	秋田県沖 秋田県 2 三種町豊岡*1.9 秋田市雄和妙法*1.8 男鹿市角間崎*1.7 井川町北川尻*1.6 由利本荘市西目町沼田*1.5 由利本荘市桜小路*1.5 1 能代市緑町=1.4 大仙市高梨*1.3 能代市追分町*1.3 由利本荘市石脇=1.3 にかほ市象潟町浜ノ田*1.2 由利本荘市尾崎*1.2 由利本荘市前郷*1.2 横手市大雄*1.1 男鹿市船川*1.1 由利本荘市岩谷町*1.1 湯上市天王*1.1 男鹿市男鹿中=1.0 湯沢市沖鶴=1.0 秋田市雄和女米木=0.9 秋田美郷町六郷東根=0.9 湯上市昭和久保*0.9 三種町鶴川*0.9 由利本荘市岩城内道川*0.9 羽後町西馬音内*0.8 にかほ市金浦*0.8 大仙市刈和野*0.8 にかほ市平沢*0.8 三種町鹿渡*0.7 仙北市西木町上檜木内*0.7 由利本荘市矢島町矢島町*0.7 八郎潟町大道*0.6 秋田市河辺和田*0.6 大仙市南外*0.6 湯沢市寺沢*0.5 大潟村中央*0.5 五城目町西磯ノ目=0.5 大仙市神宮寺*0.5 由利本荘市鳥海町伏見*0.5 山形県 2 戸沢村古口*1.9 1 鶴岡市温海川=1.4 酒田市亀ヶ崎=1.4 酒田市山田*1.3 酒田市本町*1.2 大石田町緑町*1.2 庄内町狩川*1.1 西川町大井沢*1.1 三川町横山*1.0 酒田市飛鳥=1.0 大蔵村肘折*1.0 酒田市宮野浦*1.0 飯豊町上原*1.0 鶴岡市道田町*1.0 遊佐町舞鶴*0.9 鶴岡市上山添*0.9 遊佐町遊佐=0.9 白鷹町荒砥*0.8 鶴岡市下名川*0.8 尾花沢市若葉町*0.7 酒田市飛鳥*0.7 庄内町余目*0.7 鶴岡市温海*0.7 中山町長崎*0.7 河北町谷地=0.6 庄内町清川*0.6 酒田市観音寺*0.6 鶴岡市馬場町=0.6 大蔵村清水*0.6 山辺町緑ヶ丘*0.6 鶴岡市藤島*0.5 鶴岡市羽黒町*0.5 新潟県 2 村上市府屋*1.5 1 佐渡市河原田本町*1.3 村上市寒川*1.1 粟島浦村笹畑=0.9 村上市片町*0.6 新潟北区葛塚*0.6 佐渡市新徳瓜生屋*0.6 村上市塩町=0.5 村上市岩沢*0.5 佐渡市相川三町目=0.5 佐渡市両津湊*0.5 佐渡市畑野*0.5	39° 49.4' N	138° 39.1' E	37km	M: 4.8
168	31 19 27	胆振地方中東部 北海道 1 千歳市若草*0.9	42° 44.8' N	141° 34.4' E	15km	M: 1.7
169	31 23 20	千葉県北東部 茨城県 2 稲敷市結佐*2.4 神栖市溝口*2.1 稲敷市役所*1.8 小美玉市上玉里*1.7 潮来市辻*1.7 行方市麻生*1.6 潮来市堀之内=1.6 石岡市若宮*1.5 河内町源清田*1.5 鉾田市汲上*1.5 茨城鹿嶋市鉢形=1.5 稲敷市須賀津*1.5 笠間市石井*1.5 かすみがうら市上土田*1.5 1 茨城鹿嶋市宮中*1.4 日立市役所*1.3 稲敷市江戸崎甲*1.3 高萩市下手綱*1.3 東海村東海*1.3 土浦市下高津*1.3 石岡市柿岡=1.3 土浦市常名=1.2 美浦村受領*1.2 小美玉市小川*1.2 筑西市舟生=1.2 かすみがうら市大和田*1.2 神栖市波崎*1.2 行方市山田*1.2 小美玉市堅倉*1.2 稲敷市柴崎*1.1 龍ヶ崎市役所*1.1 日立市助川小学校*1.1 笠間市中央*1.1 ひたちなか市南神敷台*1.1 行方市玉造*1.1 桜川市岩瀬*1.1 鉾田市造谷*1.1 土浦市藤沢*1.0 阿見町中央*1.0 桜川市真壁*1.0 鉾田市鉾田=1.0 牛久市城中町*1.0 石岡市八郷*1.0 水戸市内原町*0.9 つくば市小笠*0.9 笠間市笠間*0.9 取手市寺田*0.9 つくば市天王台*0.8 利根町布川=0.8 ひたちなか市山ノ上町=0.6 水戸市金町=0.6 坂東市岩井=0.5 千葉県 2 香取市役所*2.2 旭市南堀之内*2.1 匝瑳市今泉*2.0 多古町多古=2.0 横芝光町富川*1.9 成田市花崎町=1.9 神崎町神崎本宿*1.8 横芝光町栗山*1.8 香取市羽根川*1.7 匝瑳市八日市場ハ*1.6 香取市佐原平田=1.6 印西市笠神*1.6 香取市仁良*1.5 旭市高生*1.5 千葉佐倉市海隣寺町*1.5	35° 51.6' N	140° 37.7' E	51km	M: 4.5

地震 番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
		<p>1 旭市萩園*=1.4 香取市佐原諏訪台*=1.4 成田市松子*=1.4 印西市大森*=1.4 東金市日吉台*=1.3 旭市ニ*=1.3 香取市岩部*=1.3 山武市埴谷*=1.3 山武市松尾町五反田*=1.3 成田国際空港=1.3 九十九里町片貝*=1.2 芝山町小池*=1.2 山武市松尾町富士見台=1.2 山武市蓮沼ハ*=1.2 千葉美浜区ひび野=1.2 成田市役所*=1.2 銚子市若宮町*=1.2 市原市姉崎*=1.2 栄町安食台*=1.2 山武市殿台*=1.1 千葉中央区都町*=1.1 野田市鶴奉*=1.1 長南町長南*=1.1 八千代市大和田新田*=1.1 八街市八街*=1.1 四街道市鹿渡*=1.0 千葉花見川区花島町*=1.0 千葉若葉区小倉台*=1.0 成田市猿山*=0.9 東金市東新宿=0.9 千葉稲毛区園生町*=0.9 千葉中央区千葉市役所*=0.9 一宮町一宮=0.8 千葉美浜区稲毛海岸*=0.8 千葉中央区中央港=0.8 銚子市川口町=0.8 浦安市日の出=0.7 君津市久留里市場*=0.6</p> <p>福島県 栃木県</p> <p>1 玉川村小高*=1.4 いわき市錦町*=0.7 須賀川市八幡山*=0.6</p> <p>1 市貝町市塙*=1.1 真岡市石島*=1.0 小山市神鳥谷*=0.8 益子町益子=0.8 真岡市田町*=0.7 那須烏山市中央=0.5</p> <p>群馬県 埼玉県</p> <p>1 邑楽町中野*=0.6</p> <p>1 春日部市谷原新田*=1.0 春日部市粕壁*=0.7 宮代町笠原*=0.7 草加市高砂*=0.6 久喜市下早見=0.6 春日部市金崎*=0.5 加須市大利根*=0.5 吉川市吉川*=0.5 さいたま緑区中尾*=0.5</p> <p>東京都</p> <p>1 町田市中町*=0.9 東京江東区森下*=0.8 東京千代田区大手町=0.6 東京江戸川区鹿骨*=0.6 東京足立区神明南*=0.5</p>				

●付録 2. 過去 1 年間に震度 1 以上を観測した地震の最大震度別の月別回数
 <平成26年(2014年)11月～平成27年(2015年)10月>

	1	2	3	4	5弱	5強	6弱	6強	7	計	記事
平成26年(2014年)											
11月	177	67	16	5	1		1			267	22日 長野県北部(震度6弱) 地震活動(震度6弱:1回、震度5弱:1回、 震度4:2回、震度3:9回、震度2:25回、 震度1:67回)
12月	111	38	13	4						166	
平成27年(2015年)											
1月	94	39	13	3						149	
2月	100	42	8	3		2				155	6日 徳島県南部(震度5強) 17日 岩手県沖(震度5強) 三陸沖の地震活動 (震度4:1回、震度3:1回、震度2:5回、 震度1:5回)
3月	90	33	17	2						142	
4月	85	38	8	2						133	
5月	108	37	10	2	2	2				161	13日 宮城県沖(震度5強) 22日 奄美大島近海(震度5弱) 25日 埼玉県北部(震度5弱) 30日 小笠原諸島西方沖(震度5強) 神奈川県西部の地震活動 (震度2:2回、震度1:19回)
6月	107	38	10	4	1					160	4日 網走地方(震度5弱) 神奈川県西部の地震活動 (震度3:2回、震度2:4回、震度1:10回)
7月	84	36	11	2	1	1				135	10日 岩手県内陸北部(震度5弱) 13日 大分県南部(震度5強) 八丈島近海の地震活動 (震度2:3回、震度1:8回)
8月	97	41	23	4						165	
9月	80	37	11	1	1					130	12日 東京湾(震度5弱)
10月	106	46	12	5						169	鳥取県中部の地震活動 (震度4:3回、震度3:2回、震度2:3回、 震度1:15回)
平成27年計	951	387	123	28	5	5	0	0	0	1499	
過去1年計	1239	492	152	37	6	5	1	0	0	1932	(平成26年11月～平成27年10月)

注)「記事」欄には主に震度5弱以上を観測した地震、または震度1以上を10回以上観測した地震活動について記載した。

●付録3. 日本及びその周辺におけるマグニチュード (M)別の月別地震回数
 <平成26年（2014年）11月～平成27年（2015年）10月>

	M3.0 ～ M3.9	M4.0 ～ M4.9	M5.0 ～ M5.9	M6.0 ～ M6.9	M7.0 以上	計 M3.0 以上	計 M4.0 以上	記事
平成26年（2014年）								
11月	428	72	9	1		510	82	22日 長野県北部 (M6.7)
12月	369	79	7	2		457	88	11日 石垣島北西沖 (M6.1) 20日 福島県沖 (M6.0)
平成27年（2015年）								
1月	377	82	10			469	92	
2月	461	93	10	5		569	108	14日 台湾付近 (M6.2) 17日 三陸沖 (M6.9) 20日 三陸沖 (M6.5) 21日 三陸沖 (M6.4) 25日 鳥島近海 (M6.1)
3月	406	73	6			485	79	
4月	371	66	11	3		450	81	20日 与那国島近海 (M6.8) 20日 与那国島近海 (M6.0) 20日 与那国島近海 (M6.4)
5月	360	70	10	3	1	444	84	11日 鳥島近海 (M6.3) 13日 宮城県沖 (M6.8) 30日 小笠原諸島西方沖 (M8.1) 31日 鳥島近海 (M6.6)
6月	359	78	13	1		451	92	23日 小笠原諸島西方沖 (M6.8)
7月	363	85	5	1		454	91	7日 北海道東方沖 (M6.3)
8月	375	64	15	1		455	80	17日 硫黄島近海 (M6.1)
9月	335	92	11	1		439	104	2日 鳥島近海 (M6.1)
10月	373	68	5			446	73	
平成27年計	3780	771	96	15	1	4663	883	
過去1年計	4577	922	112	18	1	5630	1053	(平成26年11月～平成27年10月)

注) 日本及びその周辺：原則、北緯20～49度、東経120～154度の範囲。「記事」欄には主にM6.0以上の地震について記載した。

● 付録 4. 緊急地震速報の提供状況

平成 27 年 10 月に緊急地震速報（警報）を発表した地震はなかった。また、緊急地震速報（予報）を発表した地震の回数は 92 回であった。

平成 19 年 10 月～平成 27 年 10 月に緊急地震速報を発表した地震の月別回数

年 月	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	計
平成 19 年 (2007 年)										0(48)	0(33)	0(39)	0(120)
平成 20 年 (2008 年)	0(35)	0(41)	0(48)	1(42)	1(70)	3(75)	2(63)	0(47)	1(58)	0(46)	1(40)	0(57)	9(622)
平成 21 年 (2009 年)	0(44)	0(39)	0(34)	0(34)	0(24)	0(54)	0(36)	2(65)	0(47)	1(44)	0(39)	0(47)	3(507)
平成 22 年 (2010 年)	0(53)	1(44)	1(50)	0(36)	0(27)	0(35)	0(47)	0(51)	1(40)	1(50)	0(40)	1(34)	5(507)
平成 23 年 (2011 年)	0(50)	0(74)	45(1191)	26(770)	5(425)	5(304)	5(248)	3(239)	4(188)	1(163)	2(135)	1(136)	97(3923)
平成 24 年 (2012 年)	2(149)	3(141)	3(142)	2(128)	1(129)	3(118)	0(102)	1(107)	0(70)	0(109)	0(77)	1(134)	16(1406)
平成 25 年 (2013 年)	0(81)	2(99)	0(53)	3(103)	0(91)	0(83)	0(102)	2(97)	1(61)	0(80)	0(93)	1(67)	9(1010)
平成 26 年 (2014 年)	0(70)	0(70)	1(68)	0(62)	0(53)	0(57)	2(97)	1(96)	1(68)	0(84)	1(87)	0(75)	6(887)
平成 27 年 (2015 年)	0(67)	1(88)	0(90)	1(77)	3(71)	0(84)	1(74)	0(88)	0(81)	0(92)			6(812)

※ 表中の数字は緊急地震速報（警報）の発表回数、（）内の数字は緊急地震速報（予報）の発表回数を示す。

緊急地震速報（警報及び予報）の提供には、気象庁の地震計の観測データに加え、国立研究開発法人防災科学技術研究所及び国立研究開発法人海洋研究開発機構の地震観測データを利用している。

● 付録 5. 長周期地震動階級 1 以上を観測した地震

平成 27 年 10 月に長周期地震動階級* 1 以上を観測した地震はなかった。（平成 27 年 9 月は 0 回）

年 \ 月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
平成 25 年 (2013 年)			1	4	2	0	0	1	1	1	0	0	10
平成 26 年 (2014 年)	0	0	1	0	1	1	3	0	1	1	1	0	9
平成 27 年 (2015 年)	0	1	0	1	2	0	2	0	0	0			6

平成 25 年 3 月～平成 27 年 10 月に長周期地震動階級 1 以上を観測した地震の月別回数
（平成 25 年 3 月 28 日の長周期地震動に関する観測情報（試行）**の提供開始以降）

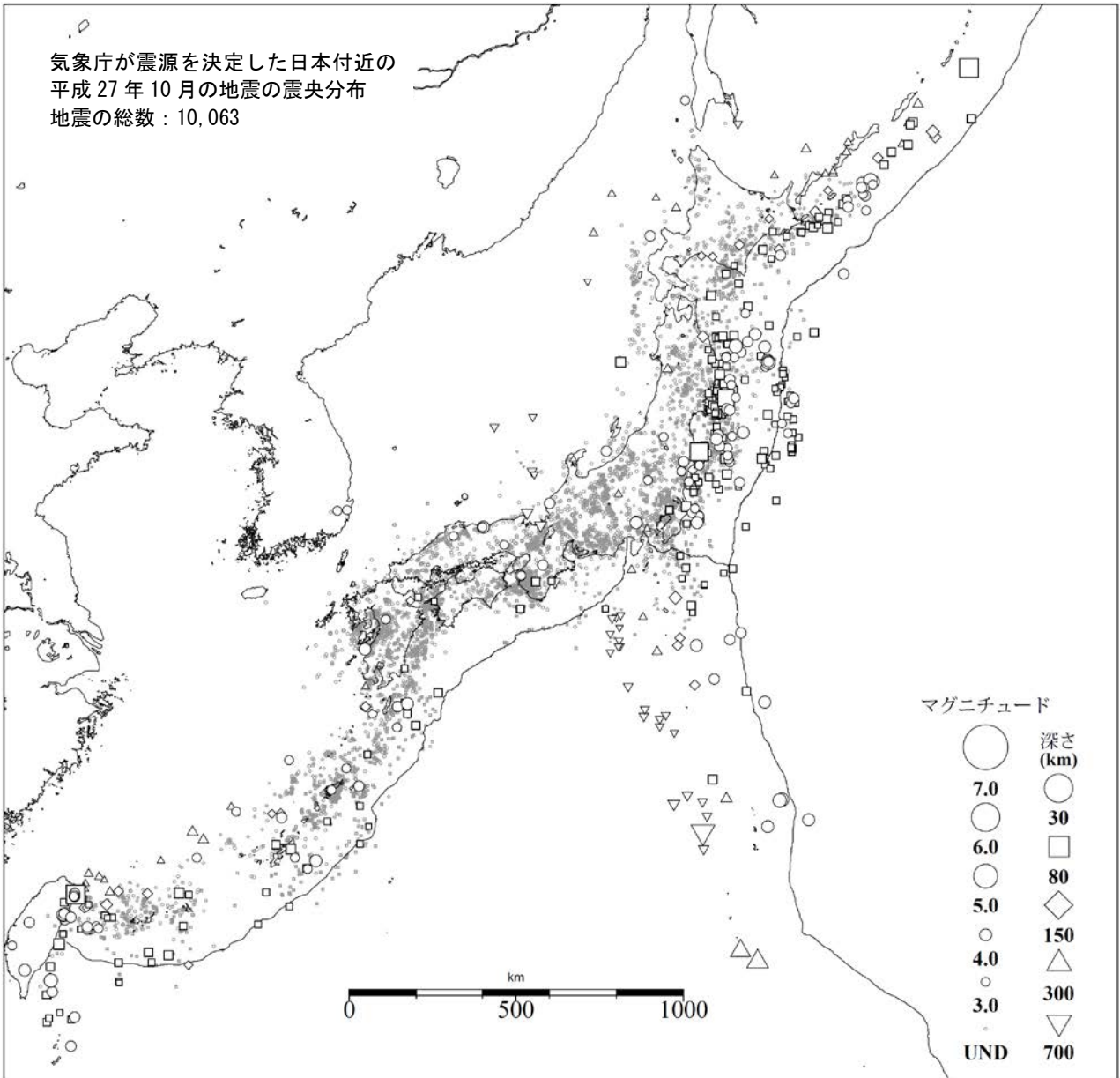
長周期地震動階級関連解説表

長周期地震動階級	人の体感・行動	室内の状況	備考
長周期地震動階級 1	室内にいたほとんどの人が揺れを感じる。驚く人もいる。	ブラインドなど吊り下げものが大きく揺れる。	—
長周期地震動階級 2	室内で大きな揺れを感じ、物に掴まりたいと感じる。物につかまらなると歩くことが難しいなど、行動に支障を感じる。	キャスター付き什器がわずかに動く。棚にある食器類、書棚の本が落ちることがある。	—
長周期地震動階級 3	立っていることが困難になる。	キャスター付き什器が大きく動く。固定していない家具が移動することがあり、不安定なものは倒れることがある。	間仕切壁などにひび割れ・亀裂が入ることがある。
長周期地震動階級 4	立っていることができず、はわないと動くことができない。揺れにほんろうされる。	キャスター付き什器が大きく動き、転倒するものがある。固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。	間仕切壁などにひび割れ・亀裂が多くなる。

※ 長周期地震動階級に関する詳細は、地震・火山月報（防災編）平成 25 年 12 月号「付録 5. 長周期地震動階級関連解説表」を参照。

※※ 長周期地震動に関する観測情報（試行）に関する詳細は、地震・火山月報（防災編）平成 25 年 4 月号「特集 3. 長周期地震動に関する観測情報（試行）について」を参照。

気象庁が震源を決定した日本付近の
平成 27 年 10 月の地震の震央分布
地震の総数 : 10,063



(M3.0 以上の地震については白抜きで示す)